



神奈川県

環境農政局環境部資源循環課

KANAGAWA

神奈川県

産業廃棄物総合実態調査報告書

(平成 21 年度実績)

平成 23 年 2 月

目 次

第 1 章 調査の概要	1
第 1 節 調査の目的	1
第 2 節 調査に関する基本的事項	1
1 . 調査実施期間等	1
2 . 調査対象廃棄物	1
3 . 調査対象業種	2
4 . 調査対象区域と地区区分	4
5 . 発生量及び処理状況の流れ図	5
第 3 節 調査の方法	7
1 . 調査方法の概要	7
2 . 標本調査について	7
第 4 節 調査結果の利用上の留意事項	11
1 . 産業廃棄物の種類の区分について	11
2 . 建設業の廃棄物について	11
3 . 単位と数値に関する処理	11
第 5 節 標本抽出・回収結果	12
第 2 章 調査結果	14
第 1 節 結果の概要	14
第 2 節 廃棄物の排出・処理状況	15
1 . 発生から処理・処分までの流れ	15
2 . 排出の状況	19
3 . 中間処理等の状況	23
4 . 再生利用の状況	25
5 . 最終処分の状況	26
第 3 節 業種別の調査結果	28
1 . 建設業	28
2 . 製造業	32

3 . 電気・ガス・水道業	42
4 . 鉱業	48
5 . その他の業種	51
第4節 特別管理産業廃棄物の排出・処理状況	57
1 . 排出及び処理状況の概要	57
2 . 種類別	58
3 . 業種別	59
4 . 地区別	60
第3章 前回調査結果との比較	61
第1節 排出量	61
1 . 業種別	61
2 . 種類別	62
3 . 地区別	63
第2節 処理状況	66
1 . 概要	66
2 . 再生利用量の比較	67
3 . 最終処分量の比較	68
< 調査結果表 >	71
< 参考資料 >	165

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

平成21年度における県内の産業廃棄物の発生、処理・処分等の状況を総合的に調査することにより、本県の産業廃棄物行政の施策の検討に資するとともに、あわせて神奈川県産業廃棄物処理計画の改訂のための基礎資料を得ることを目的とする。

第2節 調査に関する基本的事項

1. 調査実施期間等

調査実施期間：平成22年5月21日から平成23年2月28日まで

調査票回収期間：平成22年6月14日から平成22年6月30日まで

調査対象期間：平成21年4月1日から平成22年3月31日までの1年間

2. 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び同法施行令に定める表1-2-1及び表1-2-2の産業廃棄物とした。なお、これらの産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて種類をさらに細区分した。

表1-2-1 産業廃棄物の区分

	調査対象廃棄物	細区分化の例等
1	燃え殻	
2	汚泥	有機性、無機性
3	廃油	一般廃油、廃溶剤、固形油、油でい、油付着物類
4	廃酸	
5	廃アルカリ	
6	廃プラスチック類	廃プラスチック、廃タイヤ、石綿含有廃棄物
7	紙くず	
8	木くず	
9	繊維くず	
10	動植物性残さ	動物性残さ、植物性残さ
11	動物系固形不要物	
12	ゴムくず	
13	金属くず	鉄、非鉄
14	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラス陶磁器くず、石綿含有廃棄物
15	鋳さい	
16	がれき類	工作物の新築・除去に伴う、コンクリート片、廃アスファルト、建設混合廃棄物、石綿含有廃棄物
17	ばいじん	
18	動物のふん尿	
19	動物の死体	
20	処分するために処理したもの	コンクリート固型化物など 本報告書では、混合物等と合わせて「その他の産業廃棄物」として集計した

表 1-2-2 特別管理産業廃棄物の区分

	調査対象廃棄物	細区分化の例
1	廃油	揮発油類、灯油類、軽油類
2	廃酸	PH が 2.0 以下の廃酸
3	廃アルカリ	PH が 12.5 以上の廃アルカリ
4	感染性廃棄物	
5	廃石綿等	
6	特定有害廃棄物（廃石綿等を除く）	

また、次の有償物、廃棄物等については、それぞれ記載のとおり取扱うこととした。

- (1) 法令上廃棄物とならない有償物も今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、今回の調査対象に含めた。
- (2) 紙くず、繊維くず及び動植物性残さ、動物系固形不要物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、繊維くず及び動植物性残さ、動物系固形不要物については、原則として事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。
- (3) 酸性又はアルカリ性の排水であって、これを公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を対象とし、脱水前の量を発生量とした。
- (4) 自社で廃棄物を焼却処理した後に発生した燃え殻は、焼却処理前の廃棄物をこの発生量とした。

3 . 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（[平成 19 年 11 月改訂]総務省）に記載された分類を基本に、産業廃棄物の排出量等を勘案し、表 1-2-3 の業種とした。

なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-2-3 調査対象業種

日本標準産業分類	略 称
< 農業、林業 > 耕種農業 畜産農業 林業	農業 林業
< 漁業 > 漁業 水産養殖業	漁業 漁業 水産養殖業
< 鉱業、採石業、砂利採取業 > 採石業、砂・砂利・玉石採取業 その他の鉱業	鉱業 採石業、砂利採取業 その他の鉱業
< 建設業 > 総合工事業 職別工事業 設備工事業	建設業 総合工事業 職別工事業 設備工事業
< 製造業 > 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く） 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他
< 電気・ガス・熱供給・水道業 > 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 下水道業	電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 下水道業
< 情報通信業 > 新聞業 出版業	情報通信業 新聞業 出版業
< 運輸業、郵便業 > 鉄道業 道路旅客運送業 道路貨物運送業	運輸業 鉄道業 道路旅客運送業 道路貨物運送業
< 卸売業・小売業 > 再生資源卸売業 百貨店、総合スーパー 自動車小売業 燃料小売業	卸・小売業 再生資源卸売業 百貨店、総合スーパー 自動車小売業 燃料小売業
< 医療、福祉 > 医療業	医療・福祉 医療業
< サービス業 > 洗濯業 写真業 自動車整備業 産業廃棄物処理業 自然科学研究所 と畜場	サービス業 洗濯業 写真業 自動車整備業 産業廃棄物処理業 自然科学研究所 と畜場

注) < >内は大分類、その下の業種は中・小分類を示す。

4. 調査対象区域と地区区分

本調査では、神奈川県内全域を調査対象とし、次の構成市町村により9区分した。

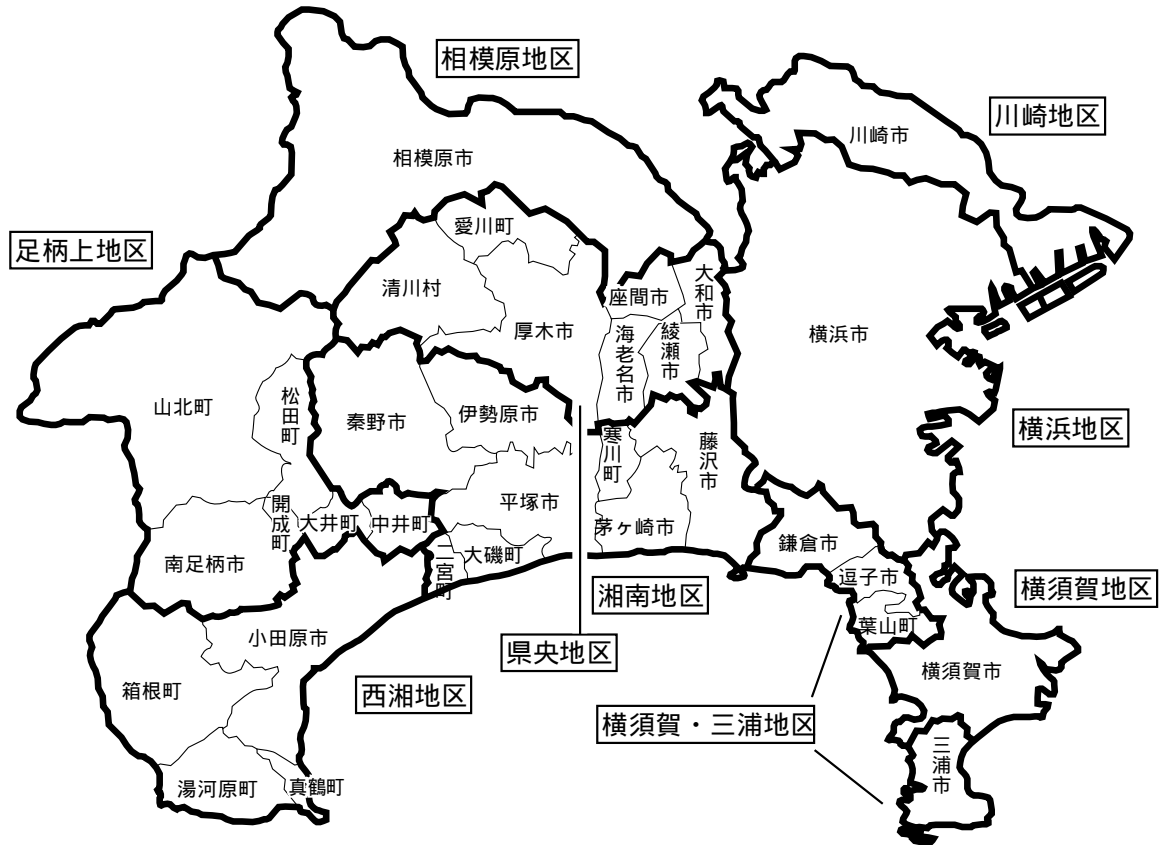


図 1-2-1 地区区分

表 1-2-4 地区区分

地区名		市町村名
横浜地区		横浜市
川崎地区		川崎市
相模原地区		相模原市
横須賀地区		横須賀市
県 所 管 地 区	横須賀・三浦地区 (横須賀市を除く)	鎌倉市、逗子市、三浦市、(三浦郡)葉山町
	県央地区 (相模原市を除く)	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市 (愛甲郡)愛川町、清川村
	湘南地区	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市 (高座郡)寒川町 (中郡)大磯町、二宮町
	足柄上地区	南足柄市 (足柄上郡)中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
	西湘地区	小田原市、(足柄下郡)箱根町、真鶴町、湯河原町

5. 発生量及び処理状況の流れ図

調査の集計結果は、図 1-2-2 の発生量及び処理状況の流れ図に示した項目により取りまとめた。

なお、図 1-2-2 における各項目の用語の定義は、表 1-2-5 のとおりである。

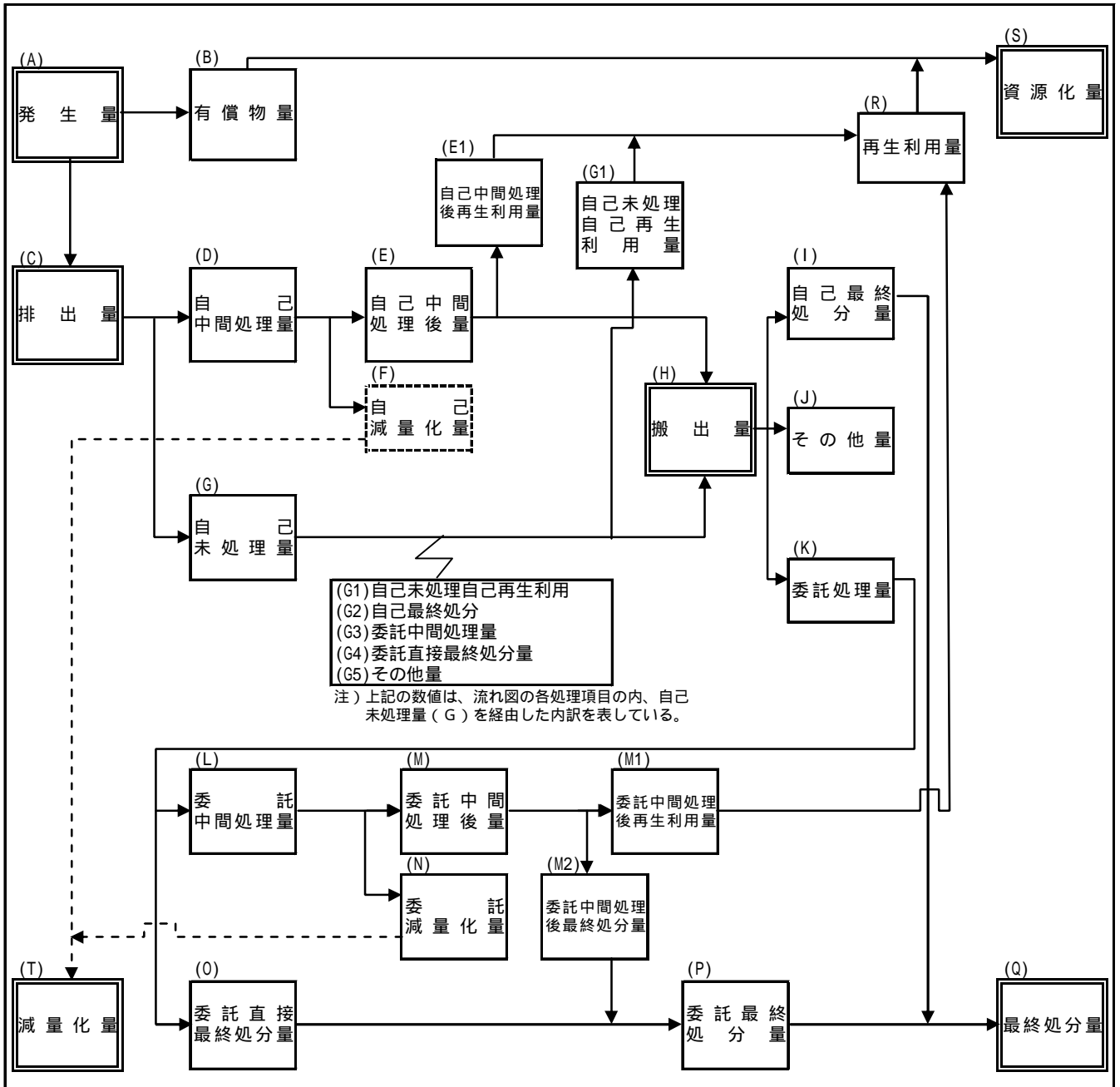


図 1-2-2 発生量及び処理状況の流れ図

表 1-2-5 発生量及び処理状況の流れ図に関する用語の定義

記号	項目	定義
(A)	発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量。
(B)	有償物量	(A)の発生量のうち、中間処理をすることなく、他者に有償で売却した量。(他者に有償売却できるものを自己利用した場合を含む)
(C)	排出量	(A)の発生量のうち、(B)の有償物量を除いた量。
(D)	自己中間処理量	(C)の排出量のうち、自ら中間処理をした廃棄物量の中間処理前の量。
(E)	自己中間処理後量	(D)で中間処理をした後の量。
(E1)	自己中間処理後再生利用量	(E)の自己中間処理後量のうち、自ら利用し又は他者に有償で売却した量。
(F)	自己減量化量	(D)の自己中間処理量から(E)の自己中間処理後量を差し引いた量。
(G)	自己未処理量	(C)の排出量のうち、自ら中間処理をしなかった量。
(G1)	自己未処理自己再生利用量	(G)の自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量。
(G2)	自己最終処分量	(G)の自己未処理量のうち、自己最終処分をした量。
(G3)	委託中間処理量	(G)の自己未処理量のうち、委託中間処理をした量。
(G4)	委託直接最終処分量	(G)の自己未処理量のうち、委託直接最終処分をした量。
(G5)	その他量	(G)の自己未処理のうちでその他(保管等)となった量。
(H)	搬出量	(I)の自己最終処分量、(J)のその他量、(K)の委託処理量の合計。
(I)	自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量。
(J)	その他量	保管している量、又は、それ以外の量。
(K)	委託処理量	中間処理又は最終処分を委託した量。
(L)	委託中間処理量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等が中間処理をした量。
(M)	委託中間処理後量	(L)で中間処理をした後の量。
(M1)	委託中間処理後再生利用量	(M)の委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量。
(M2)	委託中間処理後最終処分量	(M)の委託中間処理後量のうち、最終処分された量。
(N)	委託減量化量	(L)の委託中間処理量から(M)の委託中間処理後量を差し引いた量。
(O)	委託直接最終処分量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等が中間処理をすることなく最終処分をした量。
(P)	委託最終処分量	(O)の委託直接最終処分量と(M2)の委託中間処理後最終処分量の合計。
(Q)	最終処分量	(I)の自己最終処分量と(P)の委託最終処分量の合計。
(R)	再生利用量	(E1)の自己中間処理後再生利用量、(G1)の自己未処理自己再生利用量、(M1)の委託中間処理後再生利用量の合計。
(S)	資源化量	(B)の有償物量と(R)の再生利用量の合計。
(T)	減量化量	(F)の自己減量化量と(N)の委託減量化量の合計。

第3節 調査の方法

1. 調査方法の概要

調査は、郵送によるアンケート調査を基本として行い、回答を得た産業廃棄物の発生量及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の発生量を説明する事業活動量指標（製造品出荷額等）を基に、県内の産業廃棄物の排出量等を推定した。

- ・電気・ガス・水道業においては全数調査とし、火力発電所、ガス製造所、熱供給業、浄水場、下水処理場の全施設に対してアンケート調査を実施し、すべての施設より回答を得た。
- ・上記以外の業種については、標本調査とし、業種別、従業者規模別等にアンケート調査の対象事業所を抽出した。

2. 標本調査について

標本調査は、調査票の郵送、郵便または電子メールにより調査票の回収を行うアンケート調査を実施した。

回答を得た産業廃棄物の発生量及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の発生量を説明する活動量指標（製造品出荷額等）を基に、県内の産業廃棄物の排出量等を推定した。

（1）標本抽出方法

標本調査の抽出は、平成18年度事業所・企業統計を基に、業種別、従業者規模別等に事業所を層別し、これらの各層ごとに実施した。

表 1-3-1 標本抽出方法

業種分類		抽出方法等
大分類	中小分類	
農業、林業	耕種農業 畜産農業 林業	5人以上全数
漁業	全業種	5人以上全数
鉱業	採石、砂利採取業 その他の鉱業	5人以上全数
建設業	全業種	資本金 3000 万円以上：全数 資本金 1000～3000 万未満：無作為抽出 県外大手企業：全数
製造業	全業種	従業者 30 人以上：全数 従業者 30 人未満：無作為抽出
電気・ガス・水道業	火力発電所 ガス製造所 熱供給業 浄水場 下水処理場	全数
情報通信業	新聞業 出版業	従業者 30 人以上：全数 従業者 30 人未満：無作為抽出
運輸業	鉄道業	保線区、検車区等：全数
	道路旅客運送業 道路貨物運送業	従業者 100 人以上：全数 従業者 100 人未満：無作為抽出
卸・小売業	再生資源卸売業 百貨店、総合スーパー 自動車小売業 燃料小売業	従業者 30 人以上：全数 従業者 30 人未満：無作為抽出
医療・福祉	医療業	病院：全数 一般診療所、歯科診療所 従業者 100 人以上：全数 従業者 100 人未満：無作為抽出
サービス業	洗濯業 写真業 自動車整備業 自然科学研究所	従業者 30 人以上：全数 従業者 30 人未満：無作為抽出
	産業廃棄物処理業	中間処理・最終処分業者を対象 県内処分業者：全数（産業廃棄物処理業者名簿より抽出）

(2) アンケート調査項目

アンケート調査の項目は、活動量指標（製造品出荷額等）と廃棄物の発生量及び処理状況に関するものとし、調査票の形式は、各業種の発生廃棄物や処理状況の特性を考慮して、次の6種類の調査票を作成した。

- ・建設業用
- ・車関連業種用（道路旅客及び道路貨物運送業、自動車及び燃料小売業、自動車整備業）
- ・医療業用
- ・製造業等用（上記以外の業種）
- ・産業廃棄物処理業用
- ・と畜場等用（動物系固形不要物用）

各調査票の調査項目の詳細は、本報告書の165頁以降の参考資料のとおりである。

(3) 排出原単位の算出と調査対象全体の排出量の推定方法

1) 排出原単位の算出

排出原単位は、アンケート調査等によって得られた標本の業種別、種類別の集計産業廃棄物排出量と、業種別の集計活動量指標から、図1-3-1のA式により活動量指標単位当たりの産業廃棄物排出量（排出原単位）を算出した。

2) 調査対象全体の排出量の推定方法

1)で算出された排出原単位と、業種別の調査対象全体（母集団）における調査当該年度の活動量指標を用いて、図1-3-1のB式によって調査対象全体の産業廃棄物の排出量を推定した。

排出原単位の算出	
A式	$= W / O$: 産業廃棄物の排出原単位
	W : 標本に基づく集計産業廃棄物排出量
	O : 標本に基づく集計活動量指標
調査対象全体の排出量の推定方法	
B式	$w = x O$ W : 調査当該年度の推定産業廃棄物排出量
	O : 調査当該年度の母集団の活動量指標

図1-3-1 排出原単位の算出と排出量の推定計算の概念図

3) 活動量指標

本調査で推定に用いた活動量指標及び原単位の区分は、次のとおりである。

表 1-3-2 推定の区分と活動量指標

業 種	活動量指標	出 典
農業、林業	従業者数	事業所・企業統計調査報告
漁業		
鉱業		
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告
製造業	製造品出荷額等	工業統計調査報告
情報通信業	従業者数	事業所・企業統計調査報告
運輸業		
卸・小売業		
医療・福祉	病床数	医療機関名簿
サービス業	従業者数	事業所・企業統計調査報告

電気・ガス・水道業は全数調査のため推定していない

第4節 調査結果の利用上の留意事項

1. 産業廃棄物の種類の区分について

(1) 中間処理後の廃棄物の種類について

廃棄物の種類は、中間処理により変化する場合があるので、中間処理後の廃棄物の種類を処理前の種類及び中間処理方法により推定した。

例：木くず（中間処理：焼却） [燃え殻]

中間処理後の変化した廃棄物の種類で記載した場合には「変換」とし、中間処理前の排出時における廃棄物の種類で記載した場合には「無変換」とした。

(2) その他の産業廃棄物の取扱いについて

数種類の廃棄物をまとめて回答するなどして、本章第2節で定めた調査対象廃棄物に分類が困難な廃棄物については、その他の産業廃棄物として集計した。

2. 建設業の廃棄物について

建設業の推定計算を行うために、活動量指標として元請完成工事高を用いたが、この指標は県全体値のみが入手可能で、地区別の値は公表されていない。今回調査では、排出事業者には横浜地区、川崎地区、相模原地区、横須賀地区、県所管地区ごとの工事件数、元請完成工事高、各工事からの発生廃棄物とその処理状況をアンケート調査し、回答を得た完成工事高の集計値を用いて各地区ごとの発生量及び処理状況を数値化した。

3. 単位と数値に関する処理

(1) 単位に関する内容

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを明らかにするため、表の単位は「千t/年」で表示しているが、フロー図及び文章中においては、原則として「千t」で記述している。

(2) 数値の処理

本報告書に記載されている千t表示及び構成比(%)の数値は、四捨五入しているために、総数と個々の合計とは一致しないものがある。

また、表中のブランク(空欄)は、1t以上の該当値がなかったものである。

第5節 標本抽出・回収結果

神奈川県内に所在する総事業所数 282,390 件（平成 18 年事業所・企業統計調査報告）のうち、アンケート調査の対象となったのは 78,810 事業所である。

このうち、業種特性、規模別特性等を考慮し、設定された業種別、従業者規模別の抽出率を基に、14,587 事業所（抽出率 18.5%）を抽出し、アンケート調査を実施した。ただし、川崎市に所在する事業所については、川崎市でアンケート票の発送・回収・集計を実施した。

回収された調査票は、8,888 事業所（回収率 60.9%）であり、このうち、廃業及び休業、建設業においては、県内元請工事の実績無し等の理由により無効となった調査票を除いた有効調査票は、7,107 事業所であった。

総事業所数	: 282,390 事業所（平成 18 年事業所・企業統計調査報告より）
調査対象事業所数	: 78,810 事業所
アンケート送付事業所数	: 14,587 事業所（抽出率 18.5%）
回答数	: 8,888 事業所
回収率	: 60.9 %
有効回答数	: 7,107 事業所

標本抽出及び回収結果は、表 1-5-1 のとおりであり、表中の項目の説明は次のとおりである。

- A 調査対象事業所数：アンケート調査の対象とした業種の県内全体の事業所数
- B 抽出事業所数：調査対象事業所よりアンケート調査の対象として抽出した事業所数
（標本抽出方法：第 1 章表 1-3-1）
- C 抽出率： $B \div A \times 100$
- D 回収事業所数：アンケート調査票を送付し調査票が回収（返送）された事業所数
- E 回収率： $D \div B \times 100$
- F 有効調査票数：事業所の休・廃業、又は建設業において「県内元請工事の実績無し」等の理由により無効となった調査票を除いた数
- G 集計活動量指標値：有効調査票より入力した各業種の活動量指標値（従業者数、元請完成工事高、製造品出荷額等）の集計値
- H 母集団の活動量指標値：各業種の活動量指標値の県全体値（母集団値）
- I 指標カバー率：県全体（母集団）の活動量指標値に対する有効調査票による集計活動量指標値の割合 $G \div H \times 100$
- J 集計廃棄物量：有効調査票より入力した各業種の廃棄物の発生量の集計値
- K 推定廃棄物量：第 1 章 3 節 2 . (3) に基づき推定した各業種の廃棄物の発生量の推定値
- L 捕捉率：推定した廃棄物量に対する集計廃棄物計量の割合
 $J \div K \times 100$

表 1-5-1 標本抽出・回収結果

	(A) 調査対象 事業所数	(B) 抽出事 業所数	(C) 抽出率 (B) ÷ (A)	(D) 回収事業 所数	(E) 回収率 (D) ÷ (B)	(F) 有効調査 票数	(G) 集計活動量 指標値	(H) 母集団活動 量指標値	(I) 指標力 パー率 (G) ÷ (H)	(J) 集計廃棄 物量 <万トン>	(K) 推定廃棄 物量 <万トン>	(L) 捕捉率 (J) ÷ (K)
合計	78,810	14,587	18.5%	8,888	60.9%	7,107	-	-	-	1,437	1,947	73.8%
農業、林業	235	100	42.6%	72	72.0%	68	1,069	1,975	54.1%	11	20	53.9%
耕種農業	43	28	65.1%	19	67.9%	17	249	416	59.9%	0	0	89.1%
畜産農業	172	57	33.1%	41	71.9%	39	696	1,211	57.5%	11	20	53.9%
林業	20	15	75.0%	12	80.0%	12	124	348	35.6%	0	0	100.0%
漁業	26	18	69.2%	9	50.0%	6	68	289	23.5%	0	0	40.0%
漁業	20	14	70.0%	6	42.9%	3	45	255	17.6%	0	0	0.0%
水産養殖業	6	4	66.7%	3	75.0%	3	23	34	67.6%	0	0	66.7%
鉱業	37	27	73.0%	18	66.7%	16	152	377	40.3%	32	111	29.0%
建設業	26,604	4,424	16.6%	2,755	62.3%	1,661	156,342	332,415	47.0%	261	518	50.4%
製造業	21,095	6,122	29.0%	3,564	58.2%	3,050	1,315,486	1,949,748	67.5%	530	688	77.1%
食料品	1,249	617	49.4%	340	55.1%	284	74,829	139,031	53.8%	59	66	88.9%
飲料・飼料	108	60	55.6%	36	60.0%	31	19,265	41,819	46.1%	7	12	57.1%
繊維	688	121	17.6%	67	55.4%	48	2,105	4,898	43.0%	0	1	15.6%
木材	225	49	21.8%	28	57.1%	25	927	1,681	55.2%	0	0	59.4%
家具	658	112	17.0%	59	52.7%	49	3,982	10,594	37.6%	1	1	47.6%
パルプ・紙	384	161	41.9%	89	55.3%	77	14,957	26,384	56.7%	15	16	92.0%
印刷	1,329	273	20.5%	146	53.5%	124	10,270	20,894	49.2%	3	4	70.7%
化学	458	316	69.0%	242	76.6%	217	173,475	208,475	83.2%	55	63	87.1%
石油・石炭	59	51	86.4%	37	72.5%	32	115,553	134,395	86.0%	9	10	86.7%
プラスチック	1,086	307	28.3%	175	57.0%	148	15,768	41,984	37.6%	2	5	34.0%
ゴム	145	61	42.1%	35	57.4%	32	9,342	13,345	70.0%	2	3	72.9%
皮革	34	13	38.2%	7	53.8%	5	110	250	44.1%	0	0	43.6%
窯業・土石	415	226	54.5%	150	66.4%	134	27,522	46,889	58.7%	77	140	55.1%
鉄鋼	244	145	59.4%	94	64.8%	84	50,705	107,719	47.1%	217	262	83.1%
非鉄金属	283	123	43.5%	77	62.6%	74	38,997	49,387	79.0%	37	38	97.9%
金属	3,526	709	20.1%	370	52.2%	329	32,780	70,204	46.7%	7	15	50.2%
はん用機器	1,471	361	24.5%	203	56.2%	178	87,293	113,692	76.8%	3	4	74.9%
生産用機器	2,343	473	20.2%	259	54.8%	220	42,373	133,827	31.7%	1	4	28.2%
業務用機器	807	208	25.8%	135	64.9%	122	29,677	68,111	43.6%	1	3	54.0%
電子部品	1,125	330	29.3%	186	56.4%	152	23,772	29,877	79.6%	4	4	97.6%
電気機器	1,394	468	33.6%	277	59.2%	233	65,751	91,130	72.2%	2	2	70.9%
情報通信機器	566	208	36.7%	124	59.6%	104	99,362	113,693	87.4%	1	1	78.6%
輸送用機器	1,457	555	38.1%	335	60.4%	273	371,062	452,262	82.0%	29	35	81.8%
その他	1,041	175	16.8%	93	53.1%	75	5,610	29,210	19.2%	0	1	28.4%
水道業	93	93	100.0%	93	100.0%	91	-	-	-	592	592	100.0%
電気業	16	16	100.0%	16	100.0%	14	-	-	-	33	33	100.0%
ガス業	12	12	100.0%	12	100.0%	12	-	-	-	0	0	100.0%
熱供給業	9	9	100.0%	9	100.0%	9	-	-	-	0	0	100.0%
上水道業	16	16	100.0%	16	100.0%	16	-	-	-	56	56	100.0%
下水道業	40	40	100.0%	40	100.0%	40	-	-	-	503	503	100.0%
情報通信業	169	75	44.4%	38	50.7%	34	880	1,915	46.0%	0	0	30.6%
新聞業	45	29	64.4%	15	51.7%	14	590	889	66.4%	0	0	78.9%
出版業	124	46	37.1%	23	50.0%	20	290	1,026	28.3%	0	0	22.9%
運輸業	4,930	998	20.2%	581	58.2%	526	47,012	138,398	34.0%	1	2	54.3%
鉄道業	252	114	45.2%	88	77.2%	78	6,113	12,324	49.6%	0	1	68.4%
道路旅客運送業	1,401	247	17.6%	158	64.0%	152	18,729	35,484	52.8%	0	0	55.1%
道路貨物運送業	3,277	637	19.4%	335	52.6%	296	22,170	90,590	24.5%	1	1	48.2%
卸・小売業	7,008	942	13.4%	488	51.8%	457	41,068	101,793	40.3%	3	7	46.0%
再生資源卸売業	898	108	12.0%	65	60.2%	57	897	4,574	19.6%	1	2	67.5%
百貨店	215	195	90.7%	114	58.5%	110	33,990	46,491	73.1%	1	2	80.1%
自動車小売業	3,835	382	10.0%	182	47.6%	171	4,009	31,961	12.5%	1	3	23.1%
燃料小売業	2,060	257	12.5%	127	49.4%	119	2,172	18,767	11.6%	0	1	20.4%
医療・福祉	10,328	762	7.4%	601	78.9%	557	63,636	122,560	51.9%	3	4	77.7%
サービス業	7,866	607	7.7%	330	54.4%	312	46,121	79,803	57.8%	3	4	67.5%
写真業	454	58	12.8%	19	32.8%	18	155	2,390	6.5%	0	0	6.4%
自然科学研究所	299	166	55.5%	130	78.3%	117	41,681	44,160	94.4%	2	2	92.5%
洗濯業	4,694	222	4.7%	103	46.4%	101	2,188	19,715	11.1%	0	0	15.1%
自動車整備業	2,417	159	6.6%	77	48.4%	75	1,929	13,315	14.5%	0	1	18.2%
と畜場	2	2	100.0%	1	50.0%	1	168	223	75.3%	1	1	75.3%
廃棄物処理業	419	419	100.0%	339	80.9%	329	-	-	-	-	-	-

(活動量指標の内容) 建設業：元請完成工事高(千万円)、製造業：製造品出荷額等(千万円)、病院(床)、その他：従業員数(人)

第 2 章 調査結果

第 1 節 結果の概要

平成 21 年度の 1 年間に神奈川県内で発生した産業廃棄物の発生量は 19,466 千トで、有償物量は 2,304 千ト(発生量の 11.8%)、排出量は 17,162 千ト(同 88.2%)となっている。

排出量 17,162 千トのうち、排出事業者自らの中間処理による減量化量(8,089 千ト)及び再生利用量(1,071 千ト)を除いた搬出量は 8,002 千ト(排出量の 46.6%)となっている。搬出量は、自己最終処分量(4 千ト)、委託処理量(7,959 千ト)、その他量(38 千ト)に区分される。委託処理量 7,959 千トのうち、委託中間処理による減量化量が 788 千ト、再生利用量が 6,038 千ト、最終処分量が 1,134 千トとなっている。

県内で発生した産業廃棄物の流れをまとめると、再生利用量が 7,109 千ト(排出量の 41.4%)、減量化量が 8,877 千ト(同 51.7%)、最終処分量が 1,138 千ト(同 6.6%)となっている。

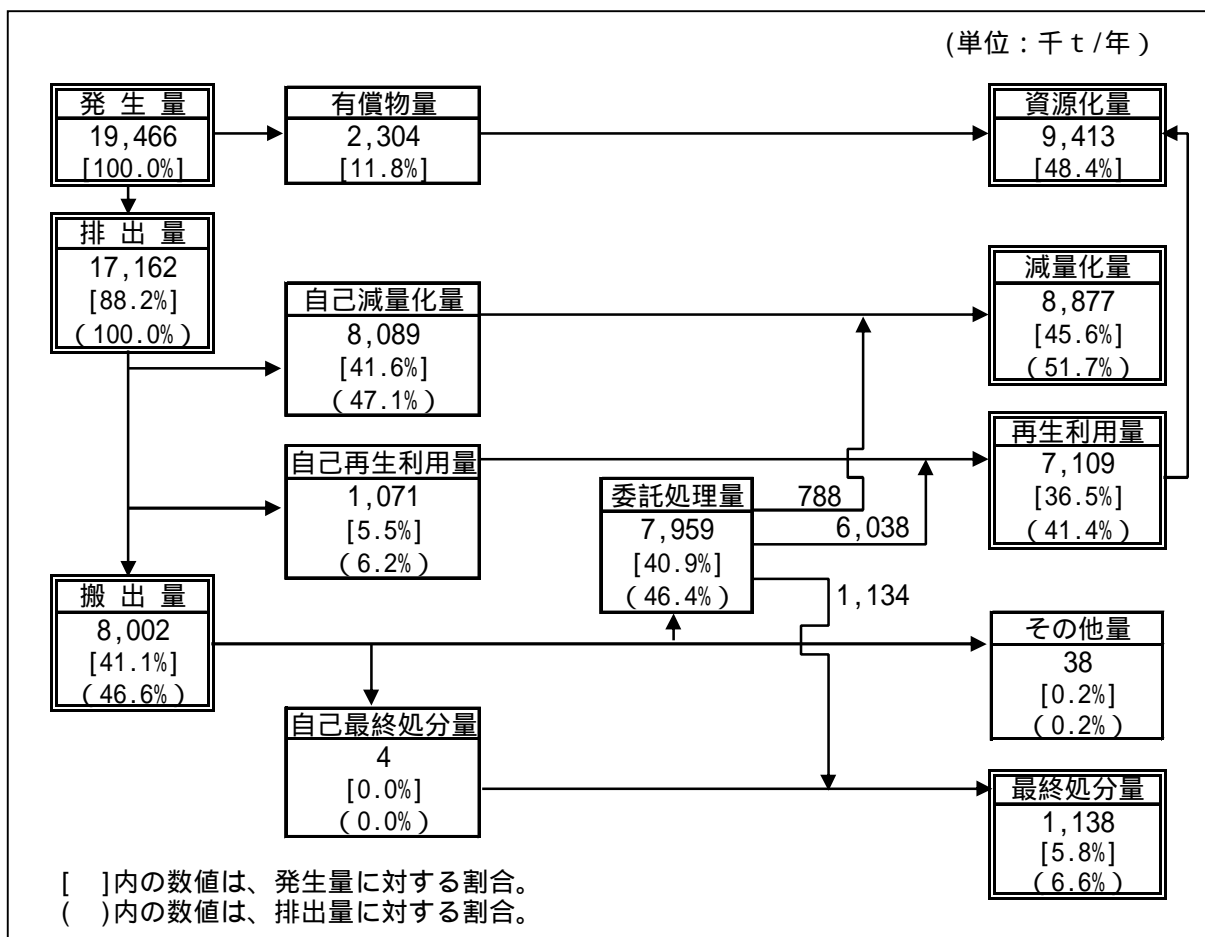


図 2-1-1 発生及び処理状況の概要

第2節 廃棄物の排出・処理状況

1. 発生から処理・処分までの流れ

(1) 発生量及び排出量

平成21年度の1年間に県内で発生した産業廃棄物の発生量は19,466千トであり、有償物量は2,304千ト、排出量は17,162千トとなっている。排出量を種類別にみると、有機性汚泥が5,950千トと最も多く、次いで、無機性汚泥が4,500千ト、がれき類が3,666千ト、ばいじんの441千ト、ガラス陶磁器くずの395千ト等となっている。

(2) 再生利用量

再生利用量は、7,109千トとなっており、再生利用率(排出量に対する割合)は41.4%である。種類別にみると、がれき類が3,555千トで最も多く、次いで、無機性汚泥が994千ト、ばいじんが440千ト、ガラス陶磁器くずが360千ト等となっている。

(3) 最終処分量

最終処分量は、1,138千トとなっており、最終処分率(排出量に対する割合)は6.6%である。種類別にみると、無機性汚泥が890千トで最も多く、次いで、がれき類が86千ト、廃プラスチック類が67千ト、ガラス陶磁器くずが19千ト等となっている。

なお、無機性汚泥は排出事業者自らが脱水や乾燥等の中間処理を行って大幅に減量化しており、がれき類は路盤材等への資源化が図られているが、排出量自体が多量なため、最終処分量の多い廃棄物となっている。

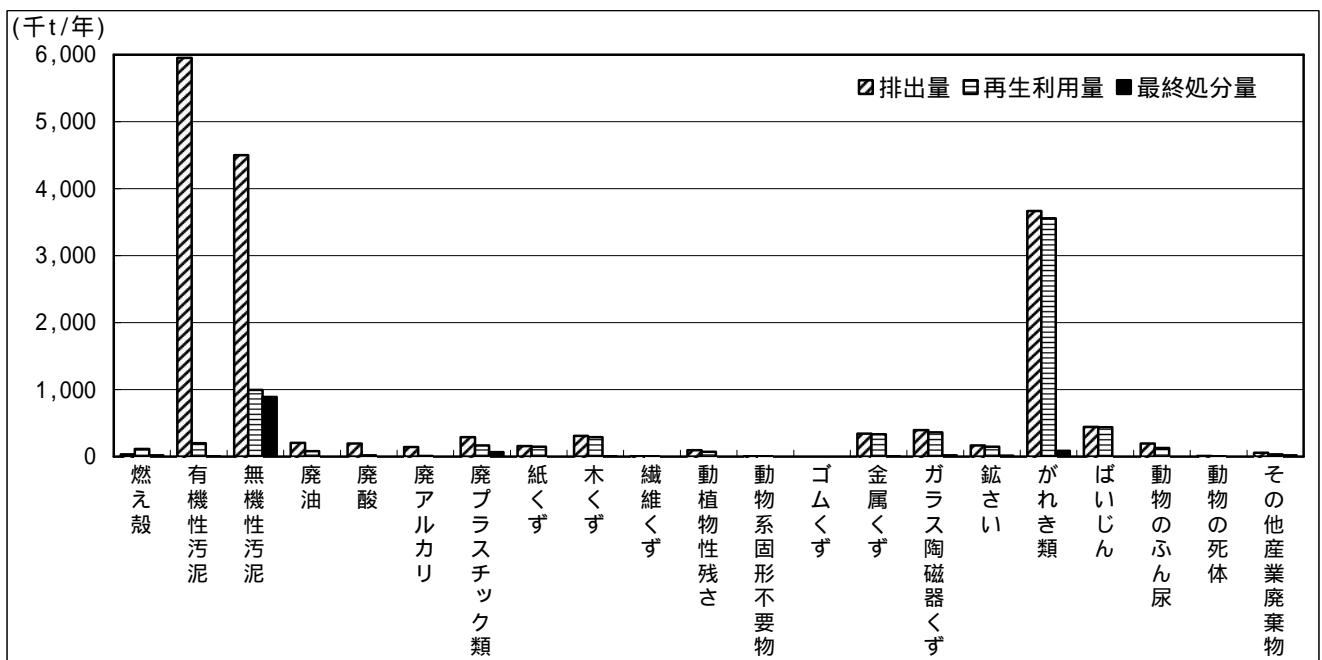
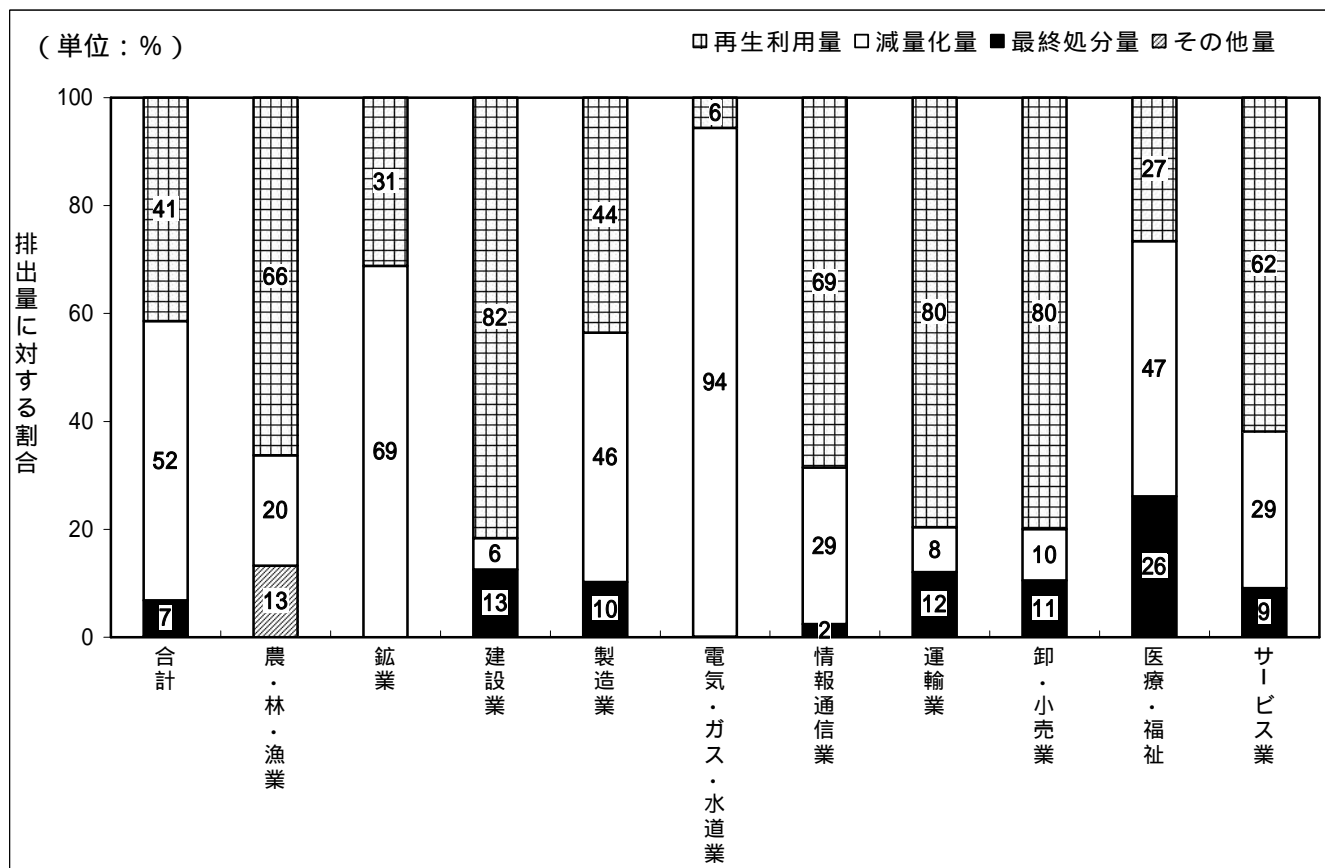


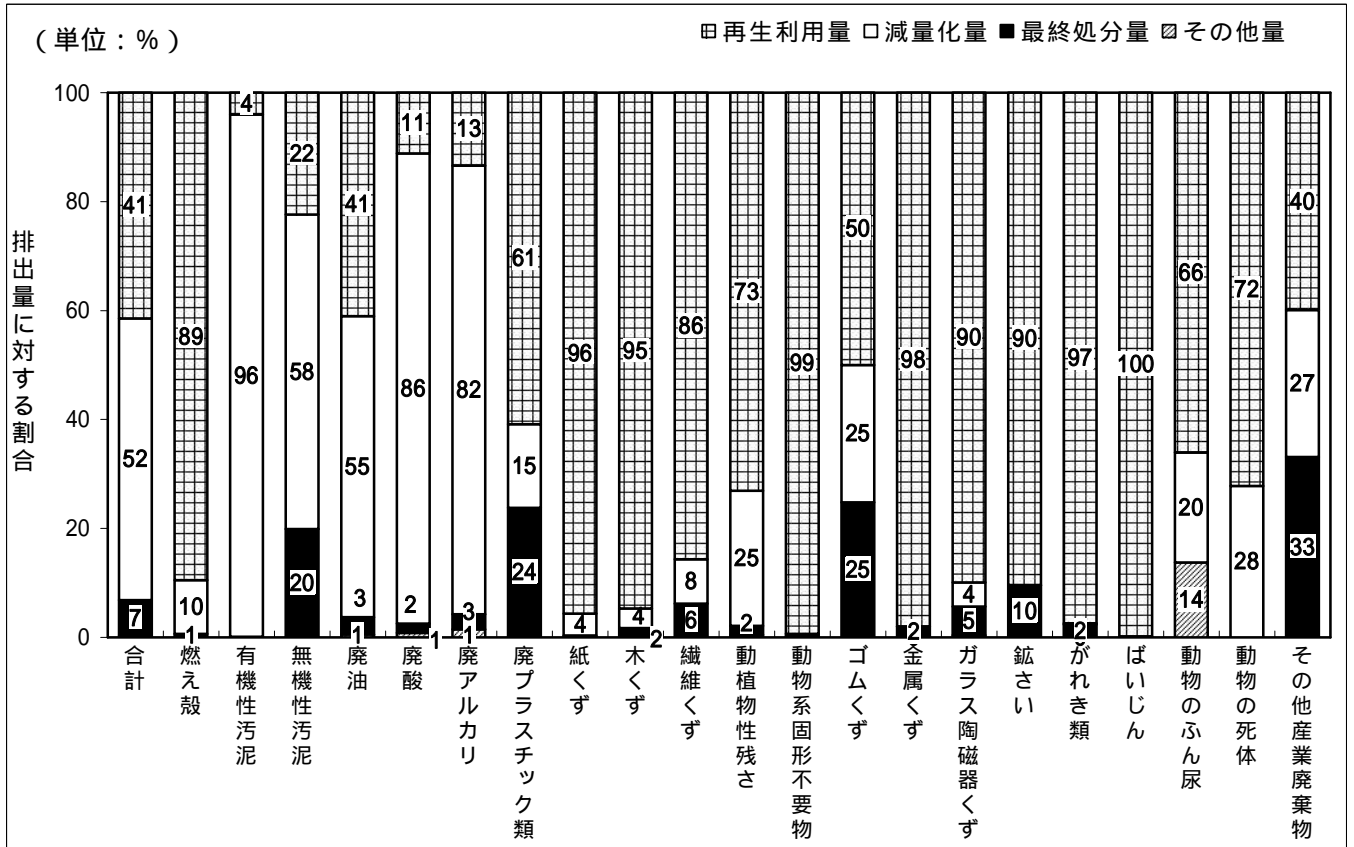
図 2-2-1 産業廃棄物の種類別の発生量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を業種別、種類別にみると、
 図 2-2-3 及び図 2-2-4 のとおりである。



業種 (千t/年)	合計	農・林・ 漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・ 水道業	情報通信 業	運輸業	卸・小売 業	医療・福 祉	サービス 業
排出量	17,162	205	1,109	5,080	4,732	5,889	0	18	56	39	34
再生利用量	7,109	136	346	4,147	2,061	329	0	15	44	10	21
減量化量	8,877	42	763	297	2,188	5,552	0	2	5	19	10
最終処分量	1,138	0		636	476	4	0	2	6	10	3
その他量	38	27		1	6	4		0	0	0	0

図 2-2-3 業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比



種類：無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性 汚泥	無機性 汚泥	廃油	廃酸	廃アル カリ	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	動物系 固形不 要物	ゴム くず	金属 くず	ガラス 陶磁器 くず	鋳さい	がれき 類	ばいじ ん	動物の ふん尿	動物の 死体	その他 産業廃 棄物
排出量	17,162	34	5,950	4,500	203	198	144	291	155	310	4	97	7	0	343	395	165	3,666	441	196	8	56
再生利用量	7,109	30	238	1,006	83	22	19	177	148	293	4	71	7	0	336	355	149	3,571	441	130	6	22
減量化量	8,877	3	5,705	2,599	112	170	118	45	6	11	0	24	0	0	0	18	0	7	0	40	2	15
最終処分量	1,138	0	6	891	6	3	4	69	0	5	0	2	0	0	7	21	16	88	1			18
その他量	38		1	3	1	2	2	0	0	0		0		0	0	2	0	0		27		0

注 1)例えば、廃酸、廃アルカリ、廃油等に最終処分量が表示されているが、実際には、焼却等により燃え殻となったものが最終処分されている。

しかし、この表における資源化量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 2-2-4 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

2. 排出の状況

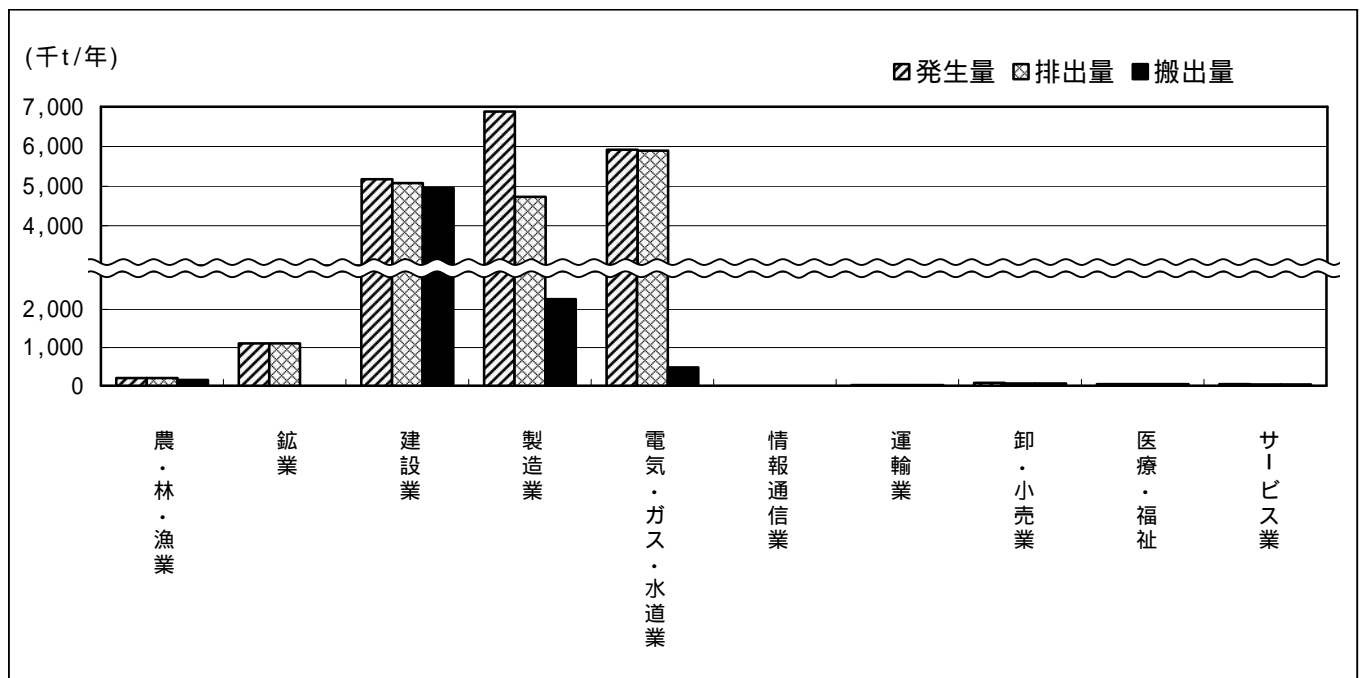
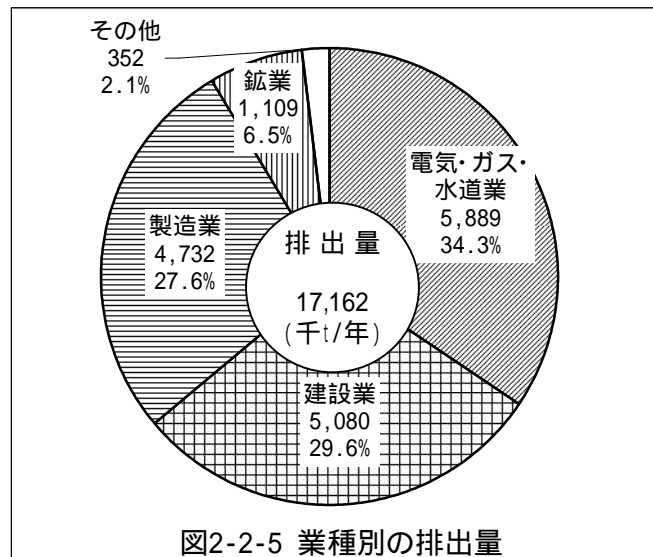
(1) 業種別の排出状況

排出量を業種別にみると、電気・ガス・水道業が 5,889 千ト(34.3%)で最も多く、次いで、建設業が 5,080 千ト(29.6%)、製造業が 4,732 千ト(27.6%)、鉱業が 1,109 千ト(6.5%)となっており、この 4 業種で全体の 97.9%を占めている。(図 2-2-5)

電気・ガス・水道業は排出量の大部分を汚泥が占めており、自己中間処理(脱水、焼却等)により大幅に減量されるため、搬出量でみると建設業や製造業より少なくなっている。

建設業は、排出量の大部分をがれき類が占めている。がれき類は基本的に中間処理による減量はしないため、搬出量でみると最も多い業種となっている。

また、製造業では発生量が最も多い業種(発生量の 35.4%)となっているが、金属くずや鉱さい等が有償物として売却されるため、排出量は全体の 27.6%となっている。

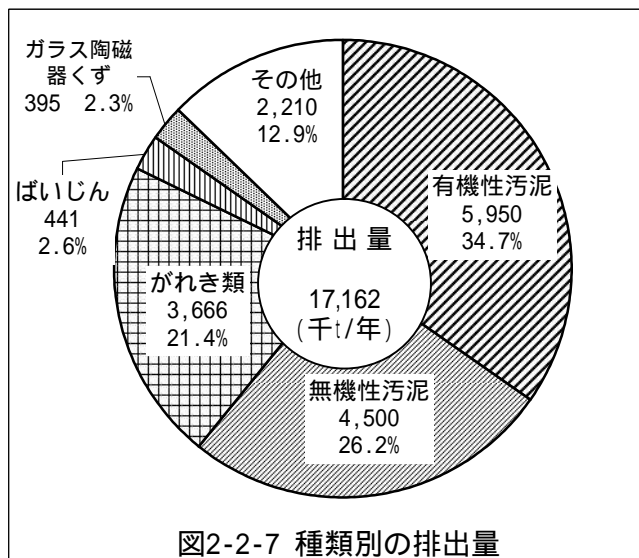


業種 (千t/年)	合計	農・林・漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業
発生量	19,466 (100.0%)	205 (1.1%)	1,109 (5.7%)	5,177 (26.6%)	6,881 (35.4%)	5,917 (30.4%)	0 (0.0%)	21 (0.1%)	75 (0.4%)	39 (0.2%)	43 (0.2%)
排出量	17,162 (100.0%)	205 (1.2%)	1,109 (6.5%)	5,080 (29.6%)	4,732 (27.6%)	5,889 (34.3%)	0 (0.0%)	18 (0.1%)	56 (0.3%)	39 (0.2%)	34 (0.2%)
搬出量	8,002 (100.0%)	154 (1.9%)	0 (0.0%)	4,952 (61.9%)	2,270 (28.4%)	483 (6.0%)	0 (0.0%)	18 (0.2%)	56 (0.7%)	39 (0.5%)	31 (0.4%)

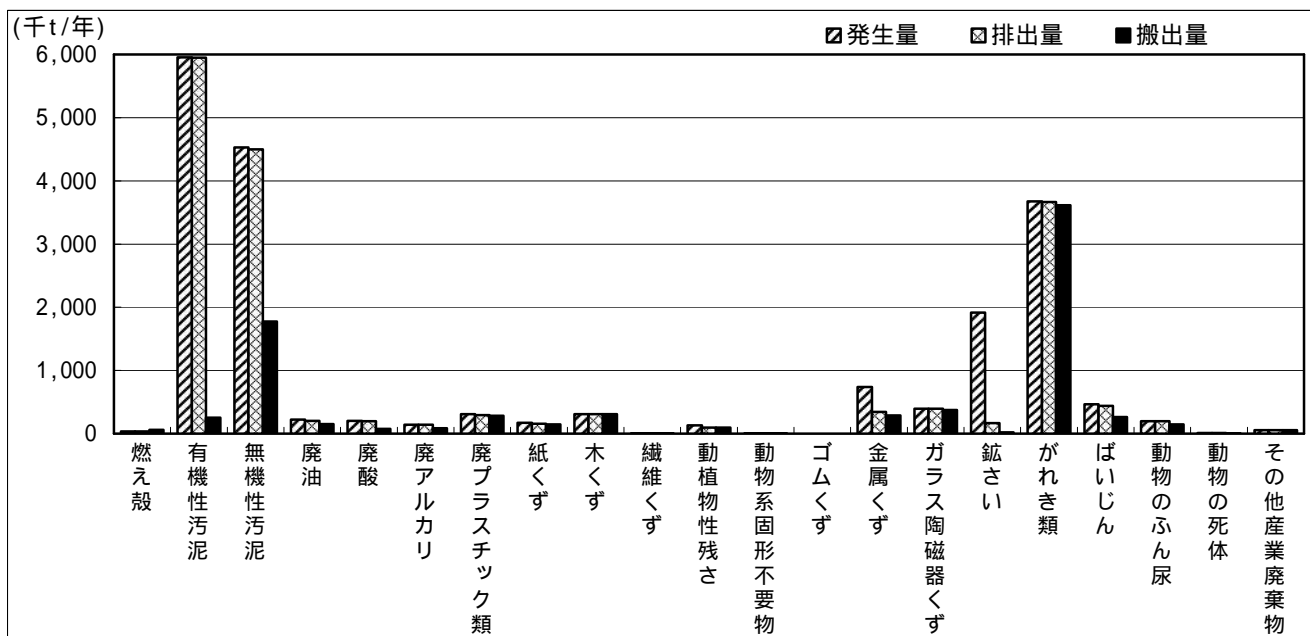
図 2-2-6 業種別の発生量、排出量、搬出量

(2) 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、有機性汚泥が 5,950 千ト (34.7%) で最も多く、次いで、無機性汚泥が 4,500 千ト (26.2%)、がれき類が 3,666 千ト (21.4%)、ばいじんが 441 千ト (2.6%)、ガラス陶磁器くずが 395 千ト (2.3%) 等となっている。(図 2-2-7)



汚泥は排出量に占める割合は 60.9% (有機性 34.7%、無機性 26.2%) と高いが、排出事業者自らによる脱水、乾燥、焼却等の処理により、大幅に減量されて事業所外に搬出される。このため、搬出量全体の割合で見ると 25.3% (有機性 3.2%、無機性 22.1%) となる。(図 2-2-8)



種類：変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性 汚泥	無機性 汚泥	廃油	廃酸	廃アル カリ	廃プラ スチック 類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	動物系 固形不 要物	ゴム くず	金属 くず	ガラス 陶磁器 くず	鉱さい	がれき 類	ばい じん	動物の ふん尿	動物の 死体	その他 産業廃 棄物
発生量	19,466 (100.0%)	36 (0.2%)	5,952 (30.6%)	4,530 (23.3%)	221 (1.1%)	201 (1.0%)	144 (0.7%)	307 (1.6%)	174 (0.9%)	311 (1.6%)	4 (0.0%)	130 (0.7%)	7 (0.0%)	0 (0.0%)	740 (3.8%)	395 (2.0%)	1,915 (9.8%)	3,673 (18.9%)	464 (2.4%)	196 (1.0%)	8 (0.0%)	58 (0.3%)
排出量	17,162 (100.0%)	34 (0.2%)	5,950 (34.7%)	4,500 (26.2%)	203 (1.2%)	198 (1.2%)	144 (0.8%)	291 (1.7%)	155 (0.9%)	310 (1.8%)	4 (0.0%)	97 (0.6%)	7 (0.0%)	0 (0.0%)	343 (2.0%)	395 (2.3%)	165 (1.0%)	3,666 (21.4%)	441 (2.6%)	196 (1.1%)	8 (0.0%)	56 (0.3%)
搬出量	8,002 (100.0%)	63 (0.8%)	254 (3.2%)	1,772 (22.1%)	151 (1.9%)	75 (0.9%)	84 (1.0%)	283 (3.5%)	145 (1.8%)	306 (3.8%)	4 (0.1%)	97 (1.2%)	7 (0.1%)	0 (0.0%)	286 (3.6%)	373 (4.7%)	22 (0.3%)	3,612 (45.1%)	261 (3.3%)	149 (1.9%)	5 (0.1%)	54 (0.7%)

図 2-2-8 種類別の発生量、排出量、搬出量

業種別・種類別の排出量は表 2-2-1 のとおりであり、特徴は次のとおりである。

- ・有機性汚泥の排出量は 5,950 千トで、そのうち電気・ガス・水道業から 5,126 千トが排出されており、これは主に下水道業からの汚泥である。
- ・無機性汚泥の排出量は 4,500 千トで、生産活動に伴い製造業から 2,004 千ト、砂利類の洗浄等により鉱業から 1,109 千ト、土木工事における地下掘削等により建設業から 865 千トがそれぞれ排出されている。
- ・がれき類の排出量は 3,666 千トで、建築物の新築や解体、道路工事の際に排出されるコンクリート片や廃アスファルトなどにより建設業から 3,604 千トが排出されている。

表 2-2-1 業種別・種類別の排出量

(単位:千t/年)

業種 種類	合計	農林 漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ ガス・ 水道業	情報通 信業	運輸業	卸・小 売業	医療・ 福祉	サービ ス業
合計	17,162	205	1,109	5,080	4,732	5,889	0	18	56	39	34
燃え殻	34	0		0	2	32		0			0
有機性汚泥	5,950			5	815	5,126		0	1	1	3
無機性汚泥	4,500	0	1,109	865	2,004	513		1	3	0	5
廃油	203	0	0	19	169	3		1	7	0	3
廃酸	198			0	196	0	0		0	0	1
廃アルカリ	144			0	140	2	0	0	1	0	1
廃プラスチック類	291	0		89	157	0	0	6	25	8	5
紙くず	155			13	142		0				
木くず	310			242	63	0		4	1	0	0
繊維くず	4			4	0						
動植物性残さ	97				97						
動物系固形不要物	7										7
ゴムくず	0		0	0	0			0	0		
金属くず	343	0	0	51	271	0		4	10	2	5
ガラス・陶磁器くず	395	0		188	203	1		0	1	1	2
鉱さい	165			0	165	0					0
がれき類	3,666			3,604	57	3		1	1	0	0
ばいじん	441				232	210				0	0
動物のふん尿	196	196									
動物の死体	8	8									
その他の産業廃棄物	56	0		1	21	0		1	5	27	2

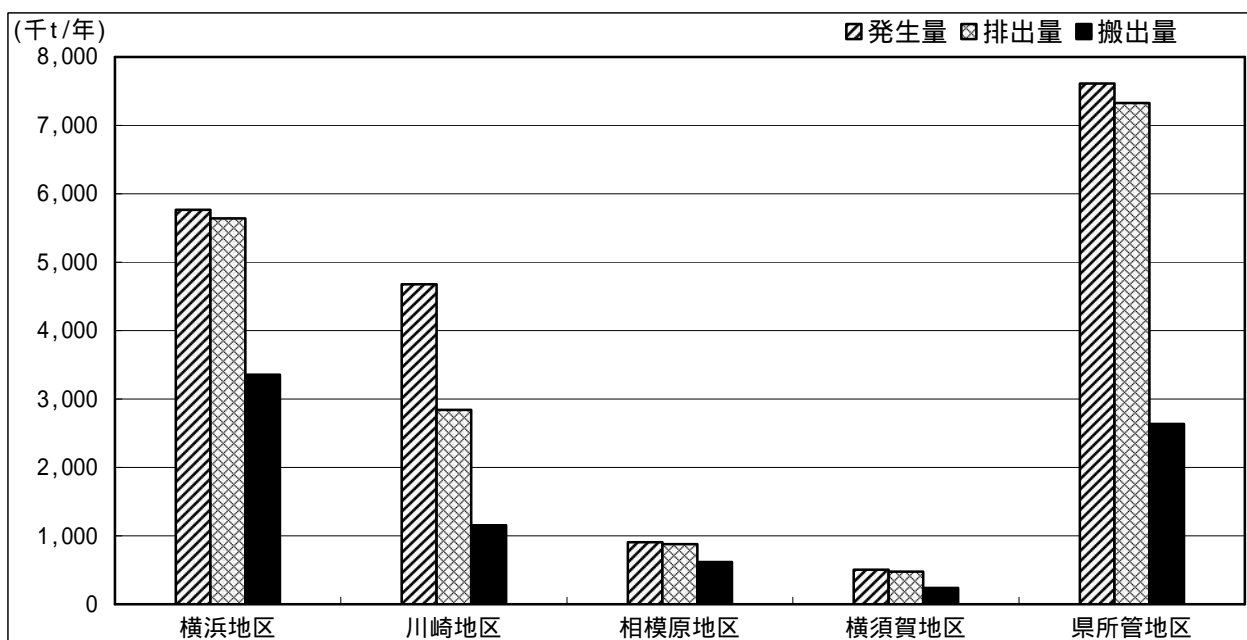
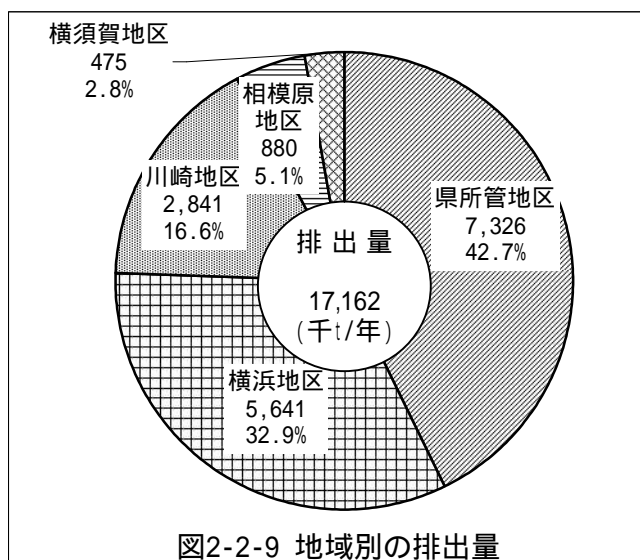
注 1) 表中の「0」は 1t 以上 500t 未満で、空欄は 1t 未満。

2) 千 t 未満を四捨五入したため、内訳の計が合計に一致しないものがある。

(3) 地区別の排出状況

排出量を地区別にみると、県所管地区が7,326千トン(42.7%)で最も多く、横浜地区が5,641千トン(32.9%)、川崎地区が2,841千トン(16.6%)、相模原地区が880千トン(5.1%)、横須賀地区が475千トン(2.8%)となっている。(図2-2-9、図2-2-10)

搬出量を地区別にみると、横浜地区が県所管地区より多くなっている。これは、横浜地区では中間処理しても減量しないがれき類の搬出割合が高いためである。



地区 (千t/年)	合計	横浜地区	川崎地区	相模原地区	横須賀地区	県所管地区
発生量	19,466 (100.0%)	5,768 (29.6%)	4,676 (24.0%)	905 (4.6%)	504 (2.6%)	7,613 (39.1%)
排出量	17,162 (100.0%)	5,641 (32.9%)	2,841 (16.6%)	880 (5.1%)	475 (2.8%)	7,326 (42.7%)
搬出量	8,002 (100.0%)	3,355 (41.9%)	1,155 (14.4%)	619 (7.7%)	238 (3.0%)	2,636 (32.9%)

図2-2-10 地域別の発生量、排出量、搬出量

3. 中間処理等の状況

(1) 自己中間処理状況

自己中間処理量は 9,451 千トになっており、排出量の 55.1% を占めている。

一方、自己未処理量をみると、大半はその後委託により何らかの中間処理を行っており、中間処理をせず直接最終処分されている量（未処理最終処分量）は無機性汚泥 52 千ト、がれき類 16 千ト、鉱さい 16 千ト、廃プラスチック類 6 千ト等、合わせて 105 千トである。（図 2-2-11、図 2-2-12）

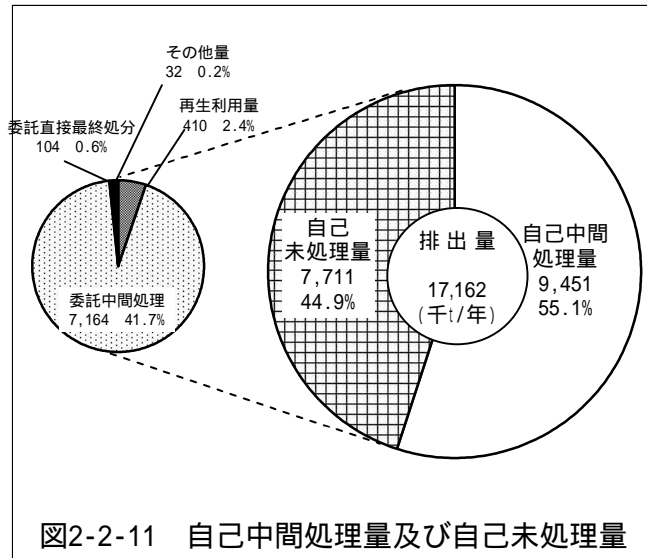
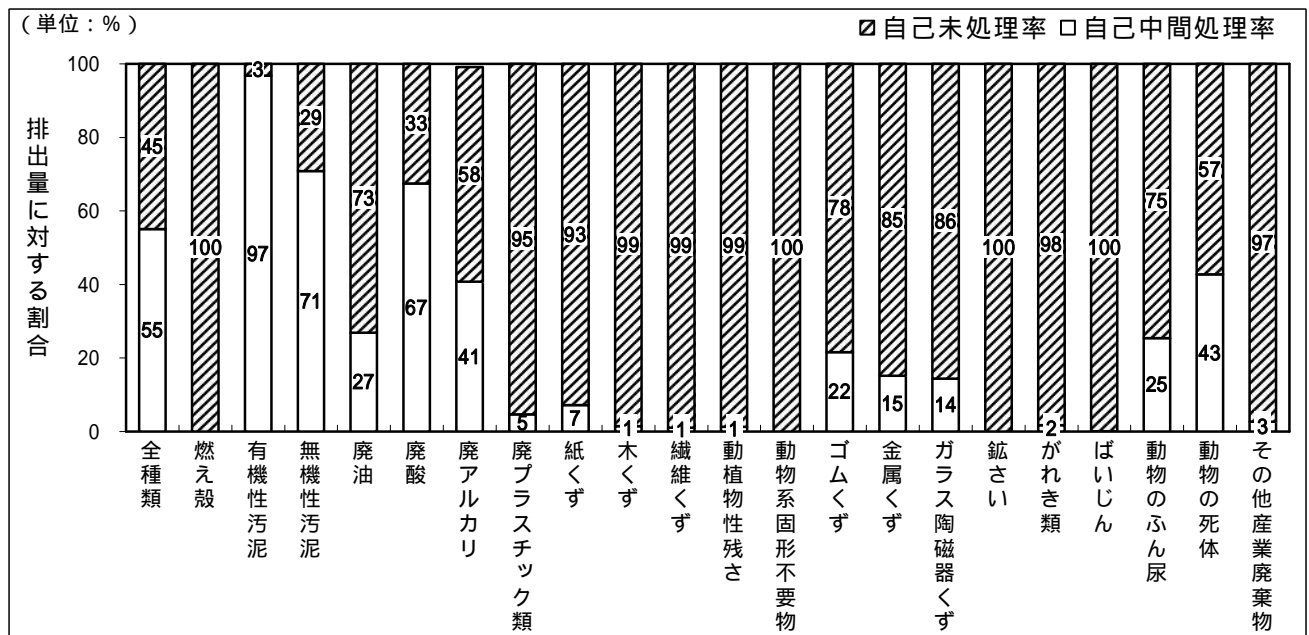


図2-2-11 自己中間処理量及び自己未処理量



種類：無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他産業廃棄物
排出量	17,162	34	5,950	4,500	203	198	144	291	155	310	4	97	7	0	343	395	165	3,666	441	196	8	56
自己中間処理量	9,451		5,760	3,187	54	133	58	14	11	5	0	1	0	0	52	57		63	0	50	3	2
(自己減量化量)	(8,089)		(5,644)	(2,164)	(47)	(122)	(57)	(4)	(5)	(3)	(0)	(0)			(0)	(17)		(7)	(0)	(15)	(2)	(0)
自己未処理量	7,711	34	190	1,314	148	64	84	278	144	306	4	95	7	0	291	338	165	3,603	441	146	5	54
再生利用量	410			81	0	0	1	0	0	0					6	0	143	0	180	1		
自己最終処分量	1	0		1																		
委託中間処理量	7,164	34	188	1,179	148	63	81	272	144	304	4	95	7	0	282	333	6	3,586	261	122	5	49
委託直接最終処分量	104		2	51	0		0	6		1	0	0		0	3	5	16	16				5
その他量	32		0	3	0	2	2	0	0	0		0		0	0	1	0	0		23		0
(未処理最終処分量)	(105)	(0)	(2)	(52)	(0)		(0)	(6)		(1)	(0)	(0)		(0)	(3)	(5)	(16)	(16)				(5)

注 1) 例えば、廃酸、廃アルカリ、廃油等に最終処分量が表示されているが、実際には、焼却等により燃え殻となったものが最終処分されている。しかし、この表における資源化量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。
 2) 未処理最終処分量とは、自己未処理量のうち、自己最終処分量と委託直接最終処分量を足したものである。

図 2-2-12 種類別の排出量に対する自己中間処理量と未処理量の構成比

(2) 委託処理状況 (自己中間処理後の廃棄物を含む)

委託処理量は 7,959 千トであり、委託直接最終処分量が 436 千ト、委託中間処理量が 7,524 千トであり、排出量に対する割合は 46.4% である。

種類別に見ると、がれき類が 3,612 千ト (45.4%) で最も多く、次いで、無機性汚泥が 1,767 千ト (22.2%) と、この 2 種類で約 68% を占めている。

ただし、がれき類はほとんどが中間処理委託であるのに対し、無機性汚泥は委託処理量の 21.4% が直接最終処分委託である。(図 2-2-13、図 2-2-14)

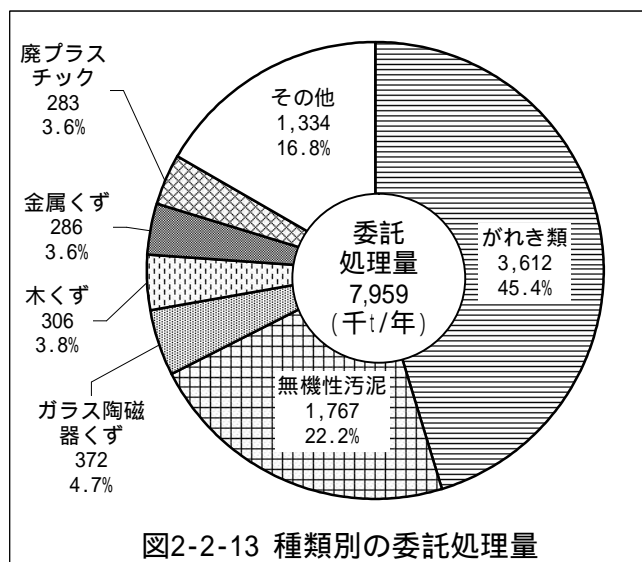
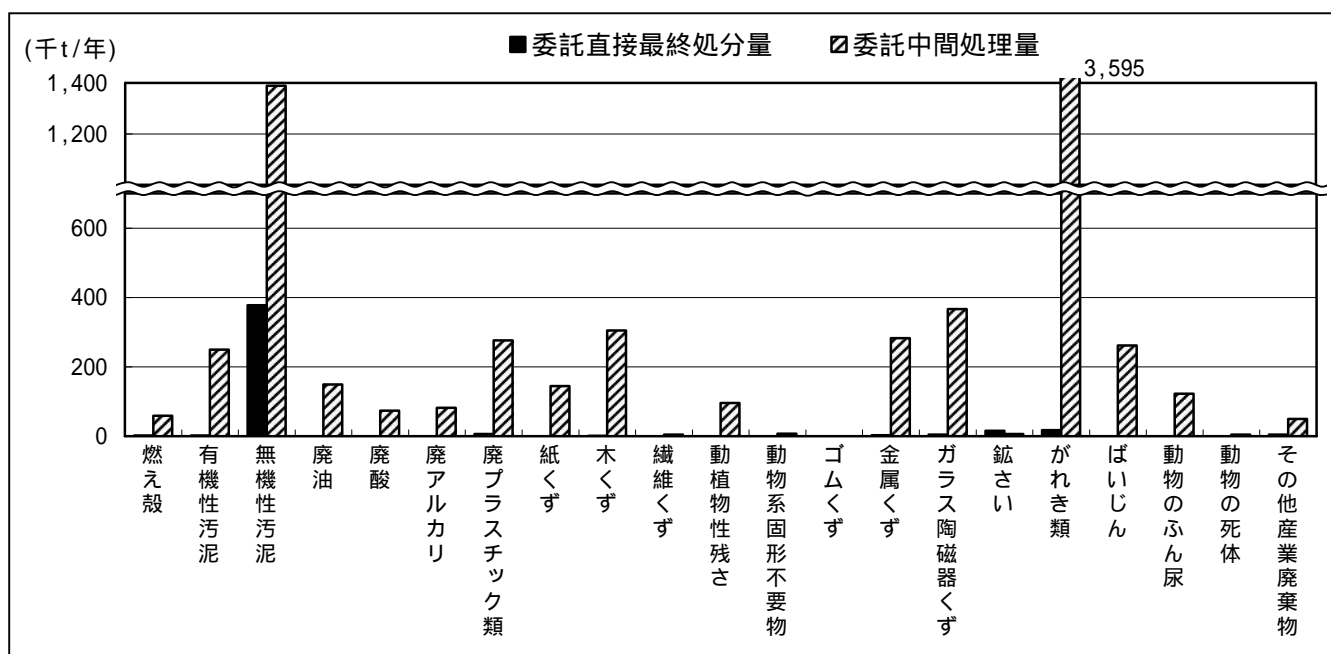


図2-2-13 種類別の委託処理量



種類：変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性 汚泥	無機性 汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	動物系 固形不 要物	ゴム くず	金属 くず	ガラス 陶磁器 くず	鉱さい	がれき 類	ばい じん	動物の ふん尿	動物の 死体	その他 産業廃 棄物
委託処理量 計	7,959 (100.0%)	61 (0.8%)	251 (3.2%)	1,767 (22.2%)	150 (1.9%)	73 (0.9%)	82 (1.0%)	283 (3.6%)	144 (1.8%)	306 (3.8%)	4 (0.1%)	96 (1.2%)	7 (0.1%)	0 (0.0%)	286 (3.6%)	372 (4.7%)	22 (0.3%)	3,612 (45.4%)	261 (3.3%)	122 (1.5%)	5 (0.1%)	54 (0.7%)
委託直接 最終処分量	436 (100.0%)	2 (0.5%)	2 (0.5%)	378 (86.8%)				7 (1.5%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)		0 (0.0%)	3 (0.6%)	5 (1.1%)	16 (3.6%)	17 (3.9%)	0 (0.0%)			5 (1.1%)
委託中間 処理量	7,524 (100.0%)	59 (0.8%)	249 (3.3%)	1,389 (18.5%)	150 (2.0%)	73 (1.0%)	82 (1.1%)	276 (3.7%)	144 (1.9%)	305 (4.1%)	4 (0.1%)	96 (1.3%)	7 (0.1%)	0 (0.0%)	283 (3.8%)	367 (4.9%)	6 (0.1%)	3,595 (47.8%)	261 (3.5%)	122 (1.6%)	5 (0.1%)	50 (0.7%)

図 2-2-14 種類別の委託処理状況

4. 再生利用の状況

(1) 種類別の再生利用状況

再生利用量は7,109千トであり、排出量に対する割合は41.4%である。

種類別にみると、がれき類が3,555千ト(50.0%)で最も多く、次いで、無機性汚泥が994千ト(14.0%)、ばいじんが440千ト(6.2%)、ガラス陶磁器くずが360千ト(5.1%)、金属くずが336千ト(4.7%)となっている。

有償物量は2,304千トであり、鉱さいと金属くずの量が多くなっている。(図2-2-15、図2-2-16)

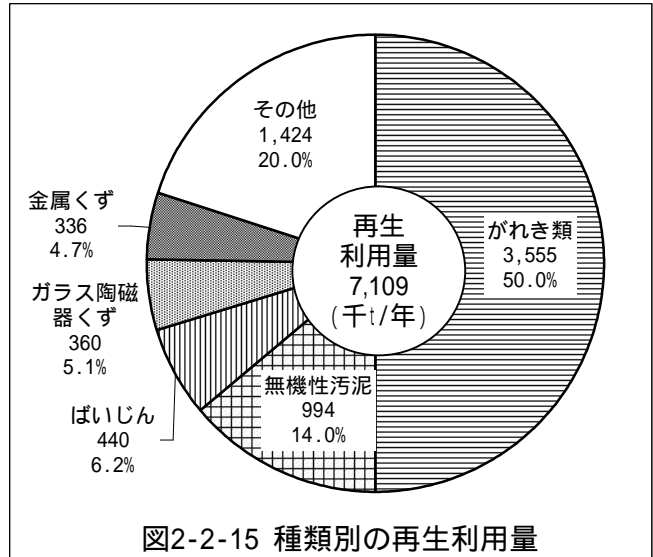


図2-2-15 種類別の再生利用量

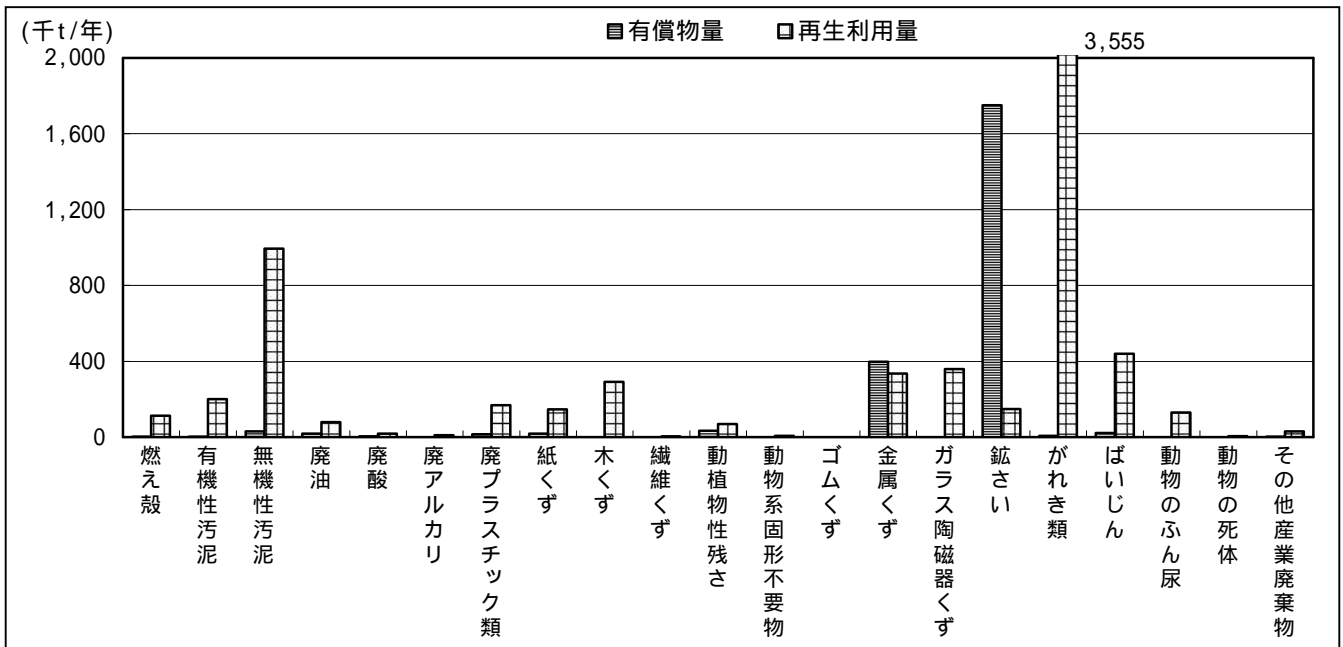


図2-2-16 再生利用の状況

5. 最終処分の状況

最終処分量は 1,138 千トンとなっており、排出量に対する割合は 6.6% である。

種類別にみると、無機性汚泥が 890 千トン（78.2%）と最も多く、次いで、がれき類が 86 千トン（7.5%）、廃プラスチック類が 67 千トン（5.9%）、燃え殻が 20 千トン（1.7%）等となっている。

最終処分先を主体別にみると、処理業者による最終処分が 1,088 千トン（最終処分量の 95.6%）と最も多く、市町村等での最終処分が 45 千トン（同 4.0%）、排出事業者が自らの設置する最終処分場での埋立処分（自己最終処分）は 4 千トン（同 0.4%）となっている。（図 2-2-17、図 2-2-18）

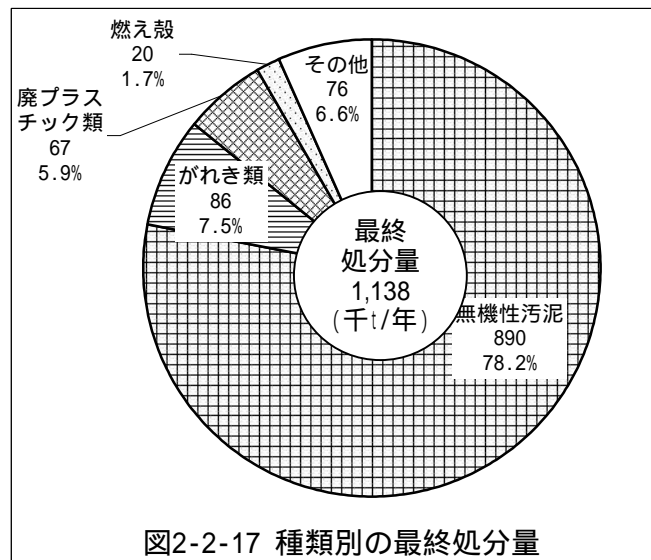
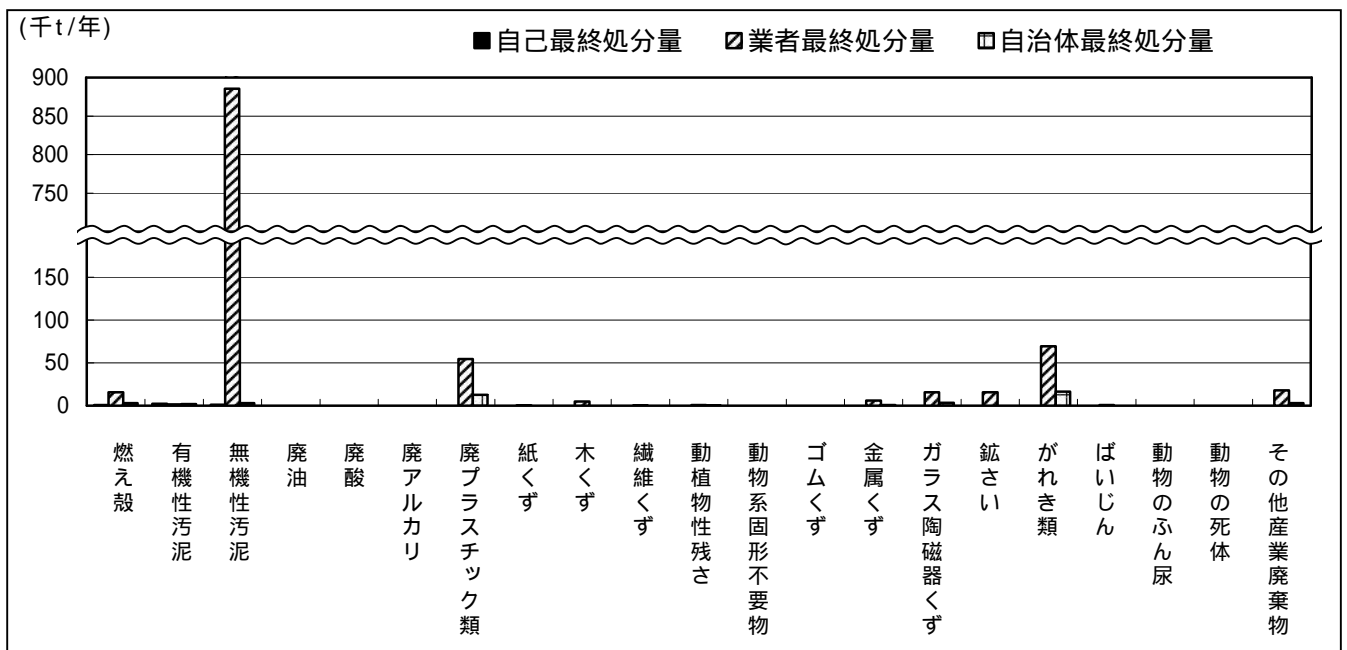


図2-2-17 種類別の最終処分量

最終処分先を主体別にみると、処理業者による最終処分が 1,088 千トン（最終処分量の 95.6%）と最も多く、市町村等での最終処分が 45 千トン（同 4.0%）、排出事業者が自らの設置する最終処分場での埋立処分（自己最終処分）は 4 千トン（同 0.4%）となっている。（図 2-2-17、図 2-2-18）



種類：変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他産業廃棄物	
最終処分量計	1,138 (100.0%)	20 (1.7%)	6 (0.5%)	890 (78.2%)				67 (5.9%)	0 (0.0%)	5 (0.4%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (0.6%)	19 (1.7%)	16 (1.4%)	86 (7.5%)	1 (0.1%)			21 (1.8%)	
自己最終処分量	4 (100.0%)	1 (20.1%)	2 (50.6%)	1 (29.4%)																			
業者最終処分量	1,088 (100.0%)	16 (1.4%)	2 (0.1%)	885 (81.4%)				54 (5.0%)	0 (0.0%)	5 (0.4%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.5%)	15 (1.4%)	16 (1.4%)	69 (6.4%)	1 (0.1%)			18 (1.6%)	
自治体最終処分量	45 (100.0%)	3 (6.9%)	2 (4.2%)	3 (6.6%)				13 (28.2%)		0 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		1 (1.7%)	4 (7.8%)	0 (0.0%)	16 (36.3%)	0 (0.0%)			3 (7.0%)	

図 2-2-18 最終処分状況

さらに、最終処分を埋立処分と海洋投入でみると、埋立処分量が 312 千ト (最終処分量の 27.4%)、海洋投入量が 826 千ト(同 72.6%)となっている。

未処理での直接最終処分が海洋投入では 19 千ト(同 1.6%)、埋立では 87 千ト(同 7.6%)含まれている。(図 2-2-19、表 2-2-2)

なお、海洋投入される廃棄物はアルミ精錬工程から排出される赤泥と建設汚泥等である。

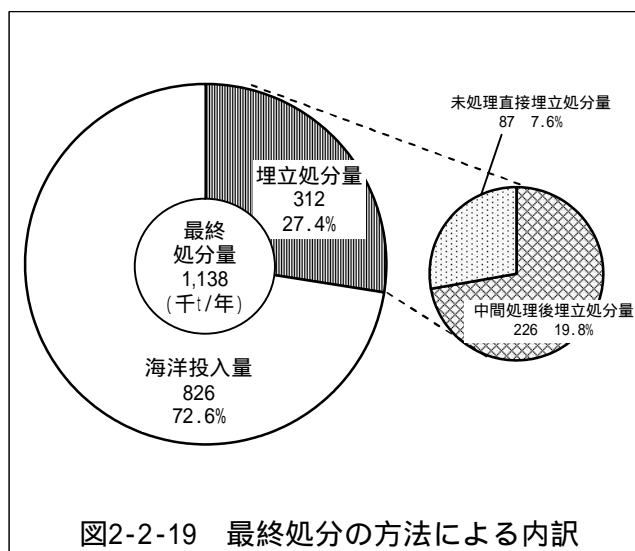


図2-2-19 最終処分の方法による内訳

表 2-2-2 最終処分量の内訳

種類：変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他産業廃棄物	
最終処分量	1,138	20	6	890				67	0	5	0	1	0	0	7	19	16	86	1			21	
埋立処分量	312 (100.0%)	20 (6.3%)	6 (1.8%)	64 (20.5%)				67 (21.5%)	0 (0.1%)	5 (1.6%)	0 (0.1%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (2.1%)	19 (6.1%)	16 (5.0%)	86 (27.5%)	1 (0.2%)			21 (6.7%)	
自己未処理埋立処分量	87 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (2.2%)	33 (38.3%)				6 (6.8%)		1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.3%)		0 (0.1%)	3 (3.2%)	5 (5.4%)	16 (18.1%)	16 (18.8%)				5 (5.7%)	
自己未処理自己埋立処分量	1 (100.0%)	0 (0.3%)		1 (99.7%)																			
自己未処理委託直接埋立処分量	85 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (2.3%)	32 (37.4%)				6 (6.9%)		1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.3%)		0 (0.1%)	3 (3.2%)	5 (5.5%)	16 (18.3%)	16 (19.0%)				5 (5.8%)	
自己中間・委託中間処理後埋立処分量	226 (100.0%)	20 (8.7%)	4 (1.6%)	31 (13.7%)				61 (27.2%)	0 (0.1%)	4 (1.7%)	0 (0.1%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.7%)	14 (6.4%)	0 (0.0%)	70 (30.8%)	1 (0.3%)			16 (7.1%)	
海洋投入量	826 (100.0%)			826 (100.0%)																			
自己未処理委託直接海洋投入量	19 (100.0%)			19 (100.0%)																			
自己中間・委託中間処理後海洋投入量	807 (100.0%)			807 (100.0%)																			

第3節 業種別の調査結果

1. 建設業

建設業からの排出量は 5,080 千トで、全排出量の 29.6%を占めている。

排出された産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-1 のとおりである。

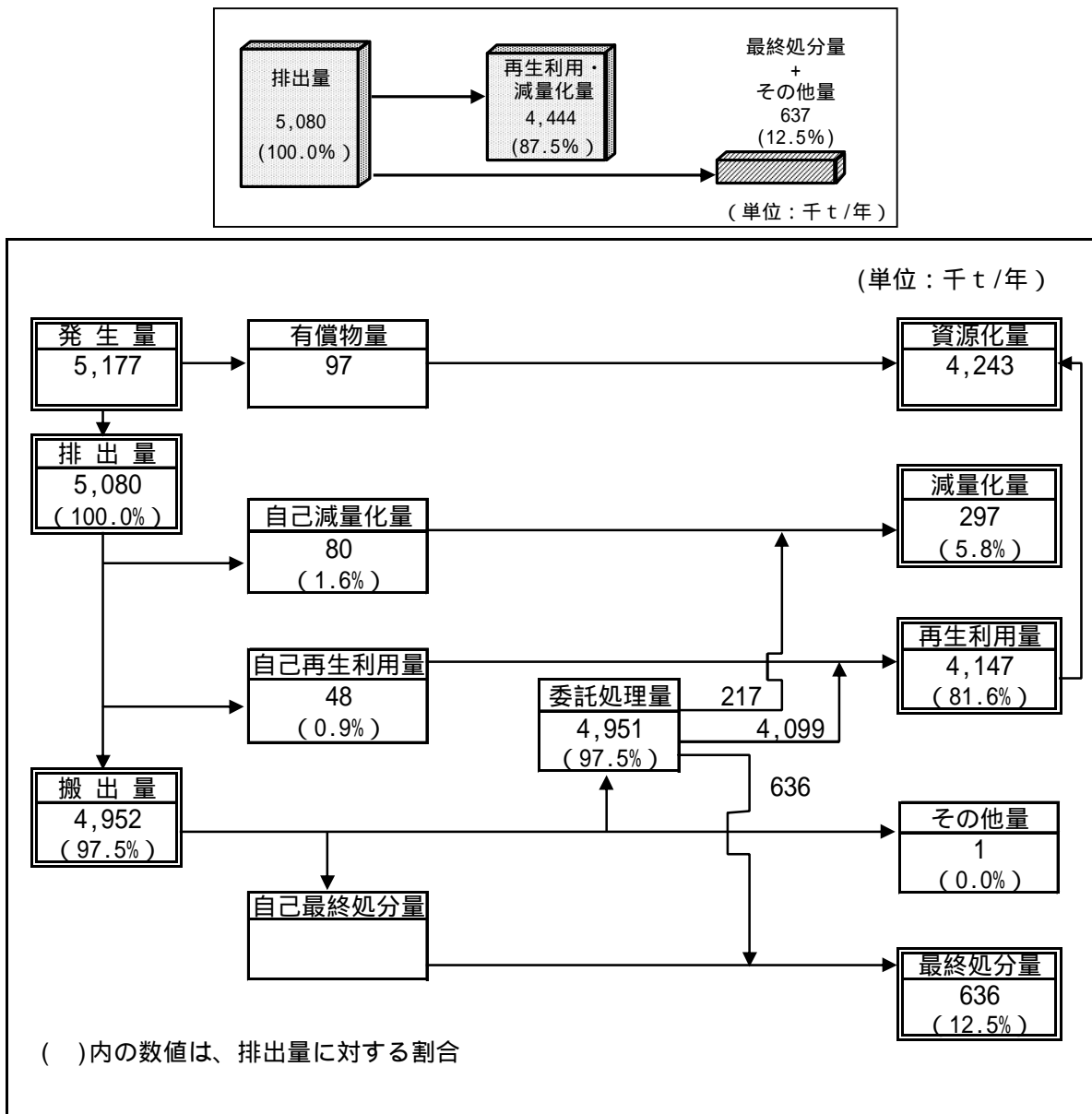


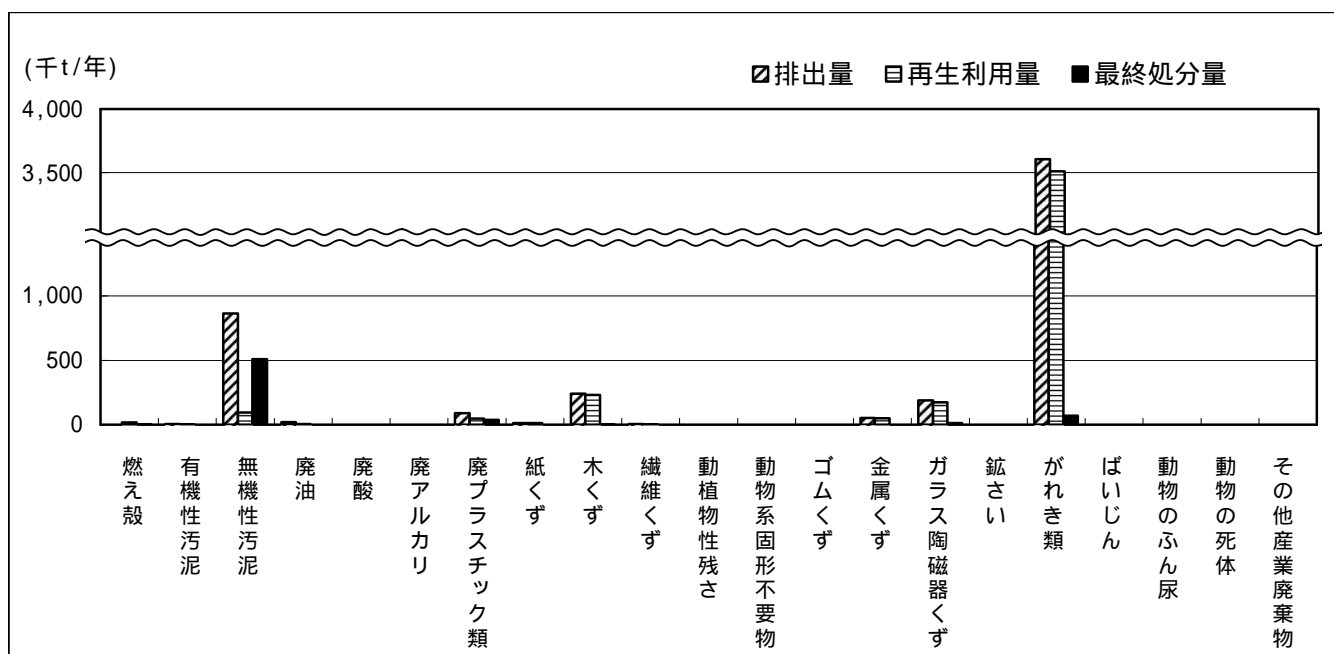
図 2-3-1 建設業の排出及び処理状況の概要

(1) 種類別

種類別にみると、がれき類の排出量は 3,604 千ト(建設業の排出量の 70.9%)であるが、このうち 3,509 千トは再生利用されているため、最終処分量は排出量の 1 割に満たない 70 千トとなっている。

また、無機性汚泥の排出量は 865 千ト(同 17.0%)であるが、がれき類のように再生利用が行われず、脱水等による減量化の後、510 千トが最終処分されている。(図 2-3-2)

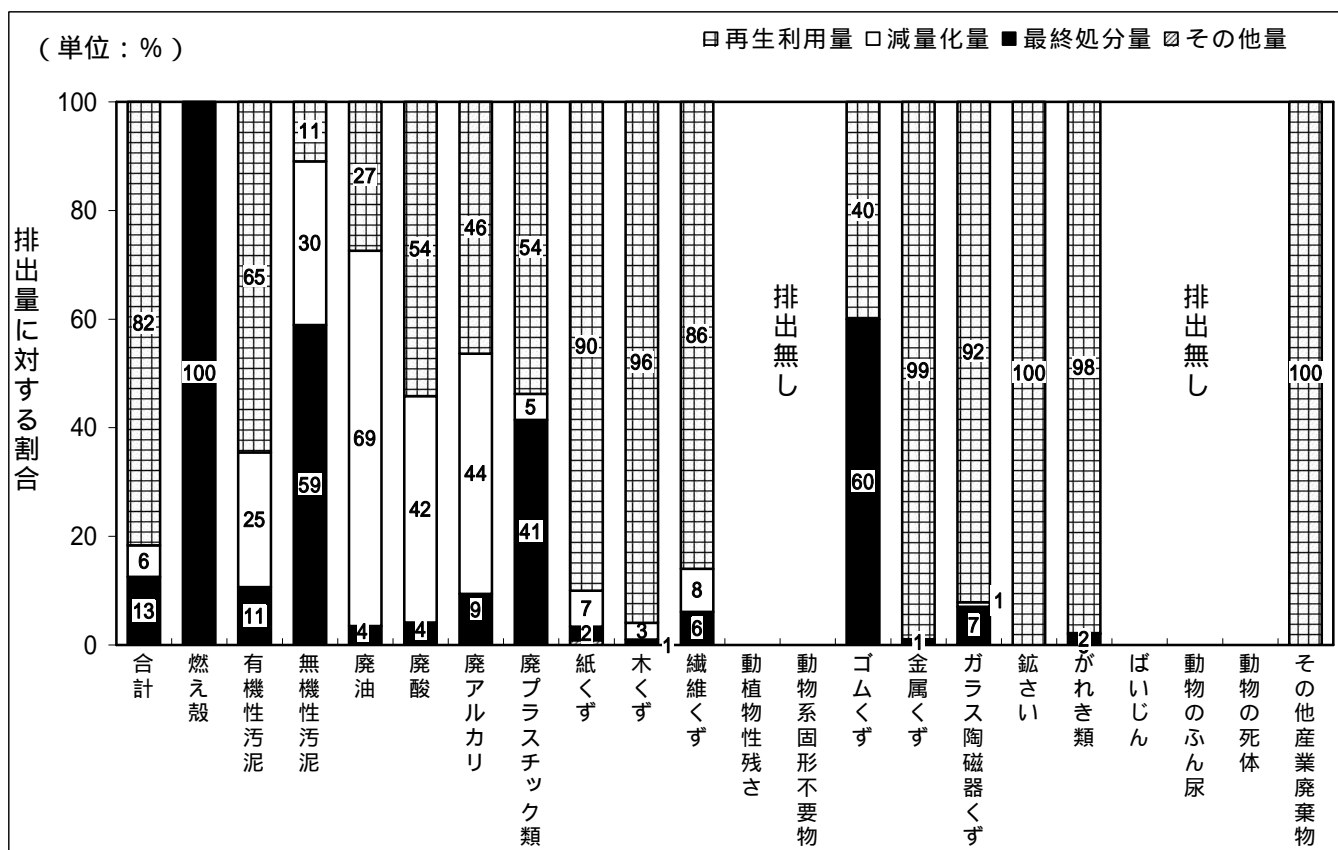
なお、無機性汚泥の最終処分量 510 千トのうち、500 千トが海洋投入処分されている。



種類: 変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他産業廃棄物
排出量	5,080 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (0.1%)	865 (17.0%)	19 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	89 (1.8%)	13 (0.3%)	242 (4.8%)	4 (0.1%)			0 (0.0%)	51 (1.0%)	188 (3.7%)	0 (0.0%)	3,604 (70.9%)				1 (0.0%)
再生利用量	4,147 (100.0%)	18 (0.4%)	3 (0.1%)	94 (2.3%)	5 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	47 (1.1%)	12 (0.3%)	231 (5.6%)	4 (0.1%)			0 (0.0%)	51 (1.2%)	173 (4.2%)	0 (0.0%)	3,509 (84.6%)				1 (0.0%)
最終処分量	636 (100.0%)	3 (0.4%)	1 (0.1%)	510 (80.2%)				37 (5.8%)	0 (0.1%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)			0 (0.0%)	0 (0.1%)	13 (2.0%)		70 (11.1%)				0 (0.0%)

図 2-3-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、次のとおりである。



種類：無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他産業廃棄物
排出量	5,080	0	5	865	19	0	0	89	13	242	4			0	51	188	0	3,604				1
再生利用量	4,147		3	95	5	0	0	48	12	232	4			0	51	173	0	3,525				1
減量化量	297		1	260	13	0	0	4	1	8	0			0	2			7				
最終処分量	636	0	1	510	1	0	0	37	0	2	0			0	0	13		72				
その他量	1							0	0	0				0	1			0				

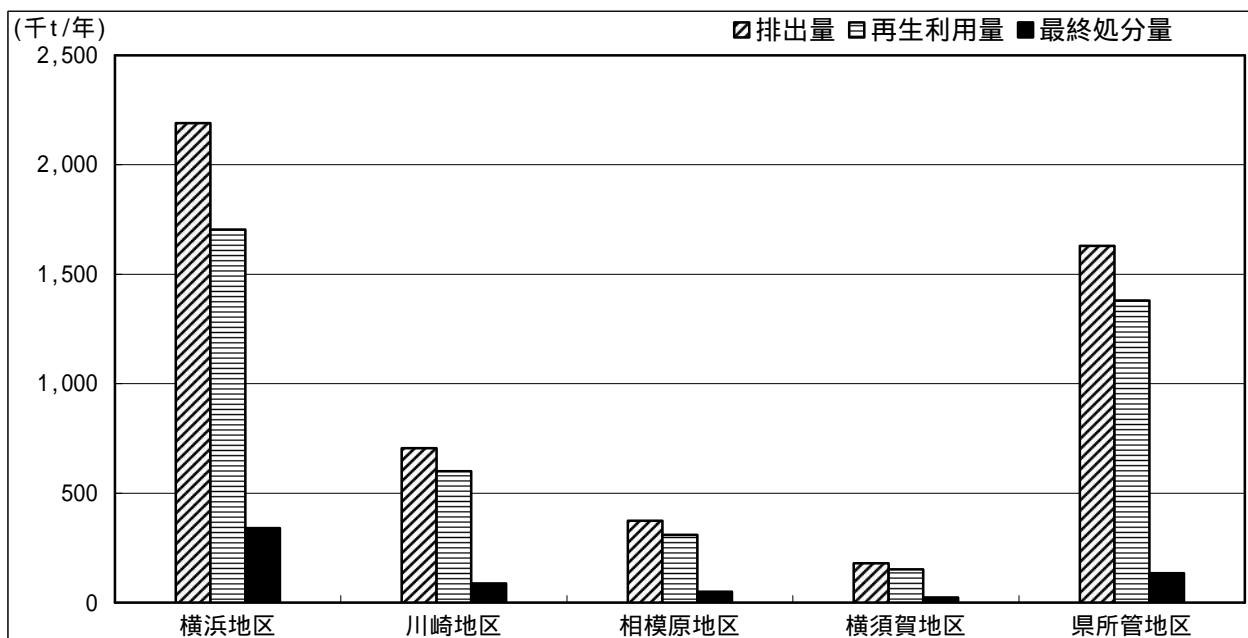
注 1) 例えば、廃酸、廃アルカリ、廃油等に最終処分量が表示されているが、実際には、焼却等により燃え殻となったものが最終処分されている。
しかし、この表における資源化量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 2-3-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

(2) 地区別

地区別でみると、横浜地区の排出量が 2,191 千トと最も多く、建設業の排出量の 43.1%を占めており、次いで県所管地区が 1,629 千トとなっている。

横浜地区では最終処分される無機性汚泥が多く、建設業における最終処分量の 53.6%を占めている。



地区 (千t/年)	合計	横浜地区	川崎地区	相模原地区	横須賀地区	県所管地区
排出量	5,080 (100.0%)	2,191 (43.1%)	706 (13.9%)	374 (7.4%)	180 (3.5%)	1,629 (32.1%)
再生利用量	4,147 (100.0%)	1,705 (41.1%)	601 (14.5%)	309 (7.5%)	153 (3.7%)	1,380 (33.3%)
最終処分量	636 (100.0%)	340 (53.6%)	88 (13.8%)	50 (7.8%)	23 (3.6%)	135 (21.2%)

図 2-3-4 地区別の排出量、再生利用量、最終処分量

2. 製造業

製造業からの排出量は 4,732 千トで、全排出量の 27.6%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-5 のとおりである。

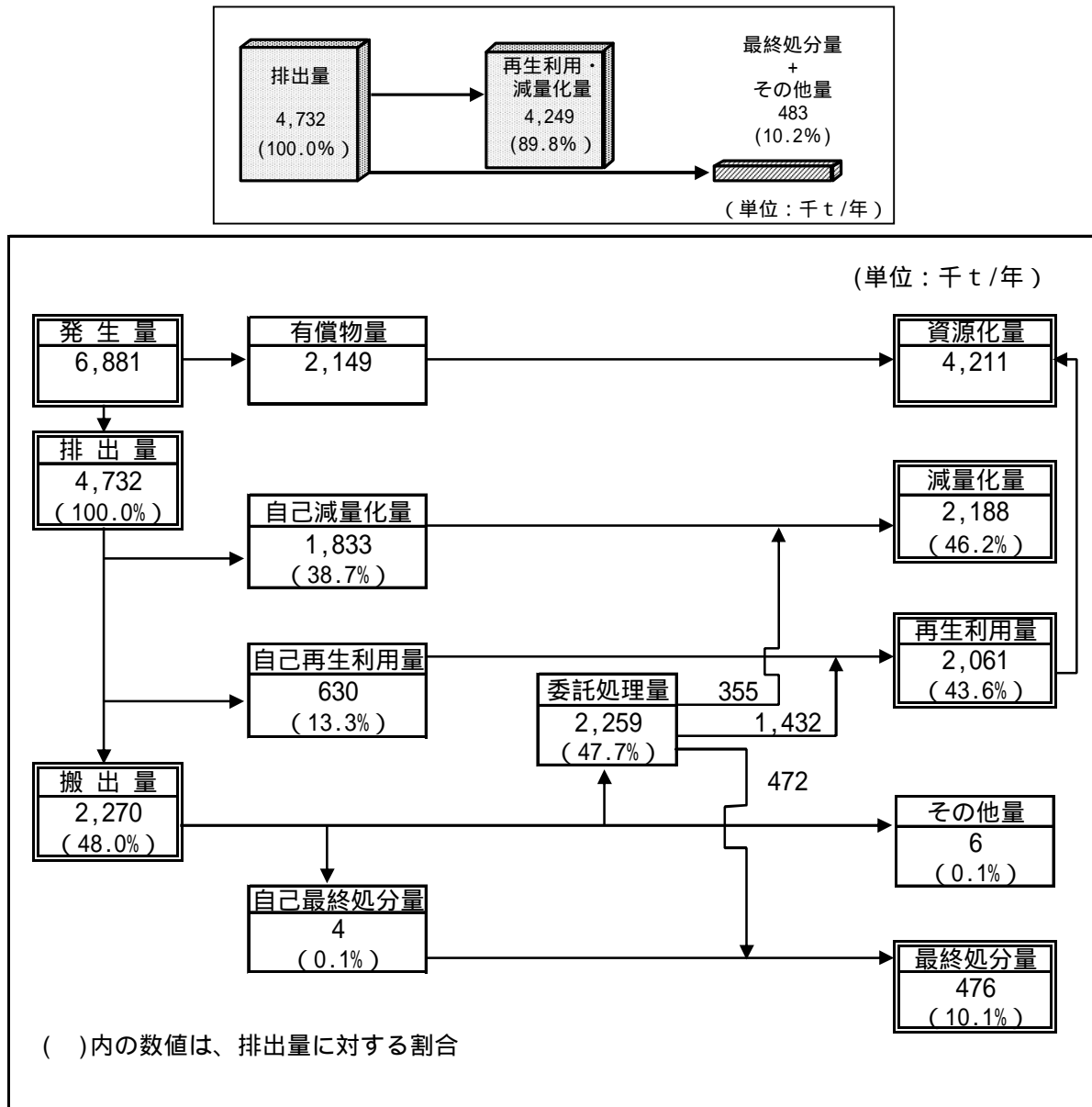


図 2-3-5 製造業の排出及び処理状況の概要

(1) 業種中分類別

業種中分類別にみると、排出量では窯業・土石の 1,367 千トが最も多く、次いで、鉄鋼が 796 千ト、食料品が 646 千ト、化学が 613 千ト等となっている。

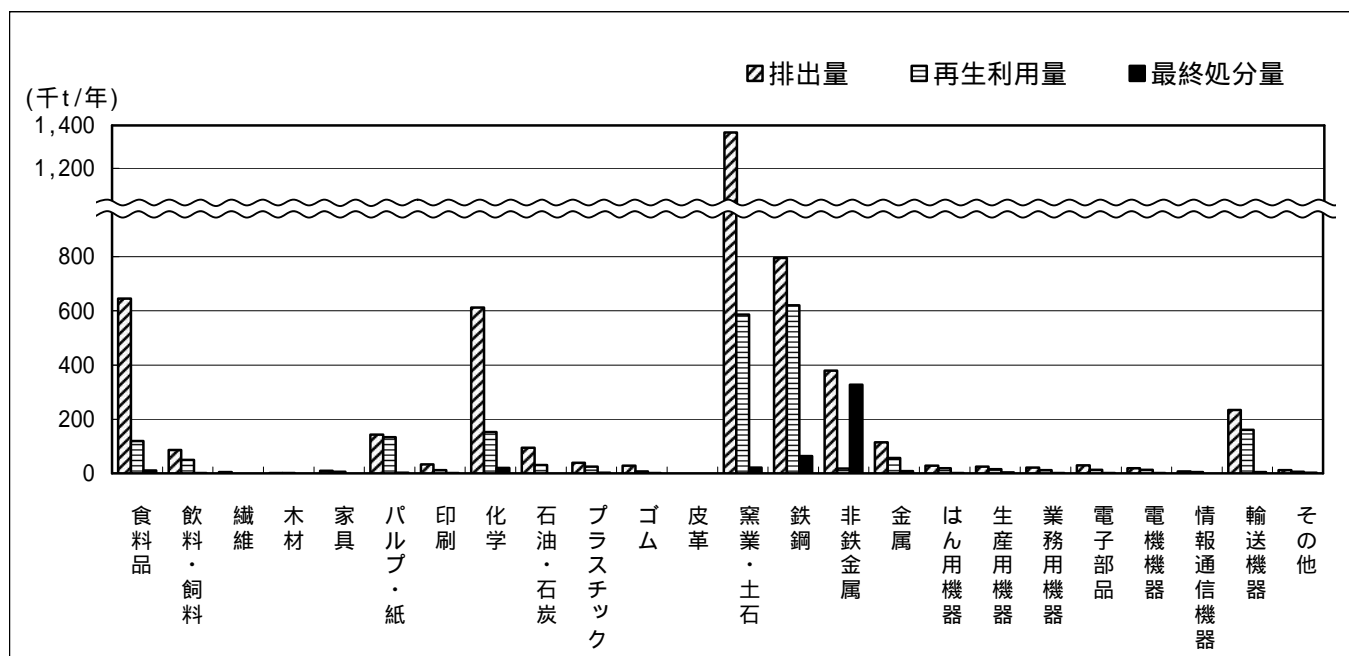
窯業・土石は、排出量では製造業全体の 28.9%を占めているが、脱水等により減量化されており、最終処分量は 21 千ト（製造業の最終処分量の 4.5%）である。

鉄鋼は、排出量では製造業全体の 16.8%を占めているが、再生利用量でみると 30.1%と多くなっている。また、脱水等の減量化により最終処分量は排出量に比べ大きく減り 63 千ト（同 13.3%）である。

食料品は、排出量では製造業全体の 13.6%を占めているが、脱水等により減量化されており、最終処分量は 11 千ト（同 2.3%）である。

化学は、排出量では製造業全体の 12.9%を占めているが、脱水等により減量化されており、最終処分量は 20 千ト（同 4.3%）である。

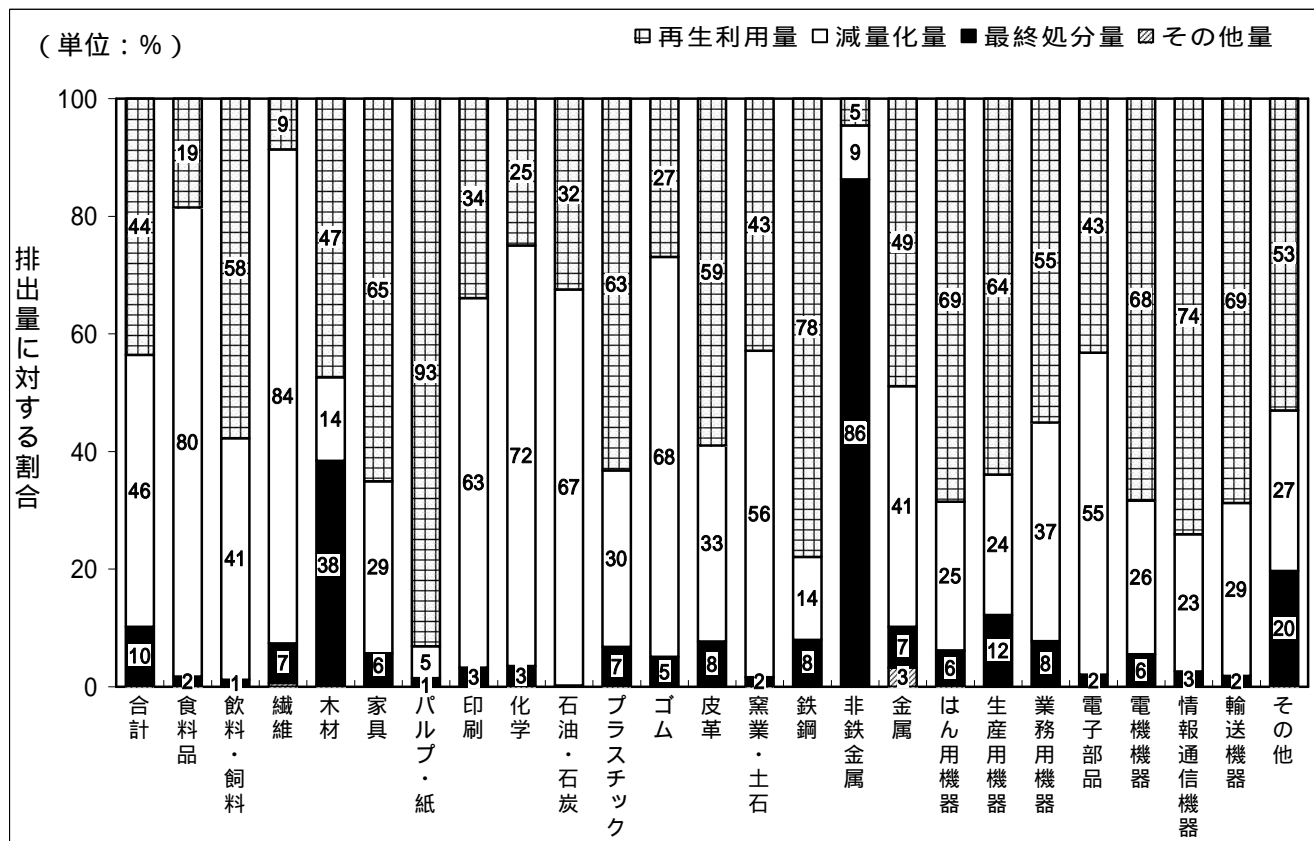
非鉄金属は、アルミ精錬工程から排出される無機性汚泥 325 千トが海洋投入処分されていることから、最終処分量が 327 千ト（同 68.7%）となっている。（図 2-3-6）



業種 (千t/年)	合計	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電機機器	情報通信機器	輸送機器	その他
排出量	4,732	646	86	5	2	9	144	33	613	94	39	28	0	1,367	796	380	115	28	24	21	30	19	7	234	12
再生利用量	2,061	120	50	0	1	6	134	11	153	30	25	8	0	586	620	17	56	19	16	12	13	13	5	161	6
最終処分量	476	11	1	0	1	1	2	1	20	0	3	1	0	21	63	327	8	2	3	2	1	1	0	4	2

図 2-3-6 業種中分類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を業種中分類別にみると、次のとおりである。



業種 (千t/年)	合計	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電機機器	情報通信機器	輸送機器	その他
排出量	4,732	646	86	5	2	9	144	33	613	94	39	28	0	1,367	796	380	115	28	24	21	30	19	7	234	12
再生利用量	2,061	120	50	0	1	6	134	11	153	30	25	8	0	586	620	17	56	19	16	12	13	13	5	161	6
減量化量	2,188	515	35	4	0	3	8	21	438	63	12	19	0	759	112	35	47	7	6	8	16	5	2	69	3
最終処分量	476	11	1	0	1	1	2	1	20	0	3	1	0	21	63	327	8	2	3	2	1	1	0	4	2
その他量	6	0		0	0				1		0			1		0	4	0	0						0

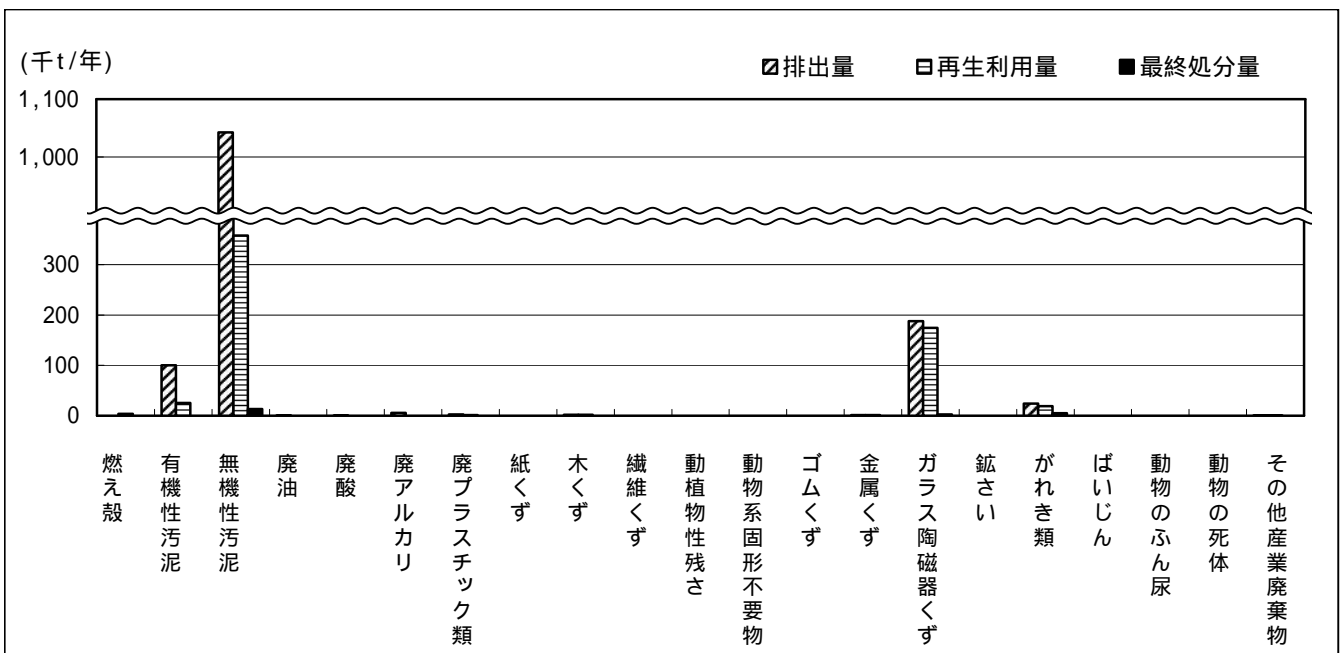
図 2-3-7 業種中分類別の排出量に対する再生利用、減量化量、最終処分量の構成比

1) 窯業・土石

種類別にみると、無機性汚泥の排出量が 1,043 千トと最も多く、次いで、ガラス陶磁器くずの 187 千ト等となっている。

無機性汚泥は再生利用量が 357 千トとなっており、脱水等により減量化され最終処分量は 13 千トとなっている。中間処理前の排出時における廃棄物の種類(以下、「無変換」という。)でみた場合、再生利用率は 34.5%、減量化率は 64.3%となっており、最終処分率は 1.2%である。

一方、ガラス陶磁器くずは再生利用量が 175 千トで、最終処分量は 3 千トとなっている。(図 2-3-8)



種類：変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他産業廃棄物
排出量	1,367 (100.0%)	0 (0.0%)	100 (7.3%)	1,043 (76.3%)	1 (0.0%)	1 (0.1%)	6 (0.4%)	3 (0.2%)		2 (0.1%)					1 (0.1%)	187 (13.7%)		24 (1.8%)	0 (0.0%)			0 (0.0%)
再生利用量	586 (100.0%)	4 (0.7%)	26 (4.4%)	357 (61.0%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)		2 (0.3%)					1 (0.2%)	175 (29.8%)		19 (3.2%)	0 (0.0%)			0 (0.1%)
最終処分量	21 (100.0%)	0 (0.1%)	0	13 (62.7%)				0 (0.4%)							0 (0.0%)	3 (12.4%)		5 (23.6%)	0 (0.0%)			0 (0.8%)

図 2-3-8 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

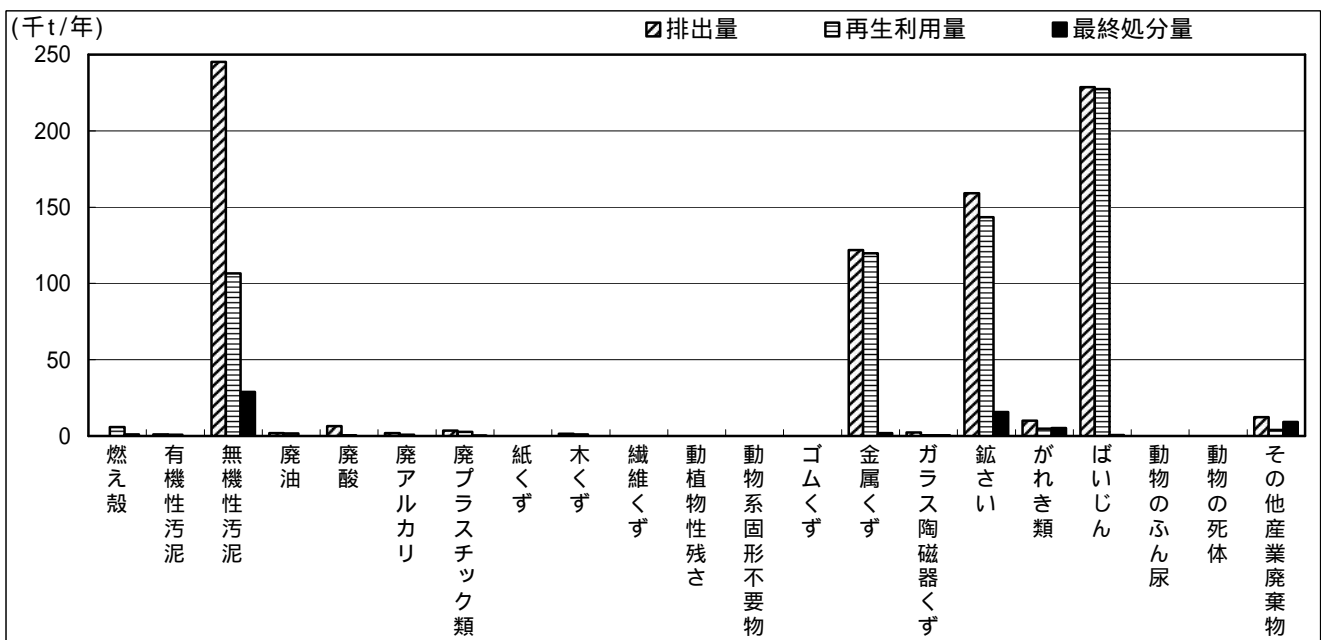
2) 鉄鋼

種類別にみると、無機性汚泥の排出量が 245 千トと最も多く、次いで、ばいじんが 229 千ト、鉍さいが 159 千ト等となっている。

排出量の最も多い無機性汚泥は再生利用量が 107 千トとなっており、脱水等による減量化により最終処分量は 29 千トとなっている。無変換でみた場合の再生利用率は 45.2%、減量化率は 42.9%、最終処分率は 11.9%である。

ばいじんはほぼ全量が再生利用として処理されており、鉄鋼業における再生利用量の 36.7%を占めている。

鉍さいは再生利用量が 143 千トとなっており、最終処分量は 16 千トとなっている。(図 2-3-9)



種類：変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性 汚泥	無機性 汚泥	廃油	廃酸	廃アル カリ	廃プラ スチック 類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	動物系 固形不 要物	ゴム くず	金属 くず	ガラ ス陶 磁器 くず	鉍さい	がれ き 類	ばい じ ん	動物 の ふん 尿	動物 の 死 体	その 他 産 業 廃 棄 物
排 出 量	796 (100.0%)	1 (0.1%)	245 (30.8%)	2 (0.2%)	6 (0.8%)	2 (0.2%)	4 (0.4%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	122 (15.3%)	2 (0.3%)	159 (20.0%)	10 (1.3%)	229 (28.7%)	0	0	143 (23.1%)	5 (0.8%)	227 (36.7%)	0	0	12 (1.5%)
再 生 利 用 量	620 (100.0%)	6 (0.9%)	1 (0.1%)	107 (17.2%)	2 (0.3%)	0 (0.1%)	1 (0.5%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	120 (19.3%)	0 (0.1%)	143 (23.1%)	5 (0.8%)	227 (36.7%)	0	0	4 (0.6%)	
最 終 処 分 量	63 (100.0%)	1 (1.7%)	0	29 (45.8%)	0	0	0 (0.2%)	0 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.1%)	0 (0.6%)	16 (24.7%)	5 (8.4%)	1 (1.0%)	0	0	9 (14.4%)	

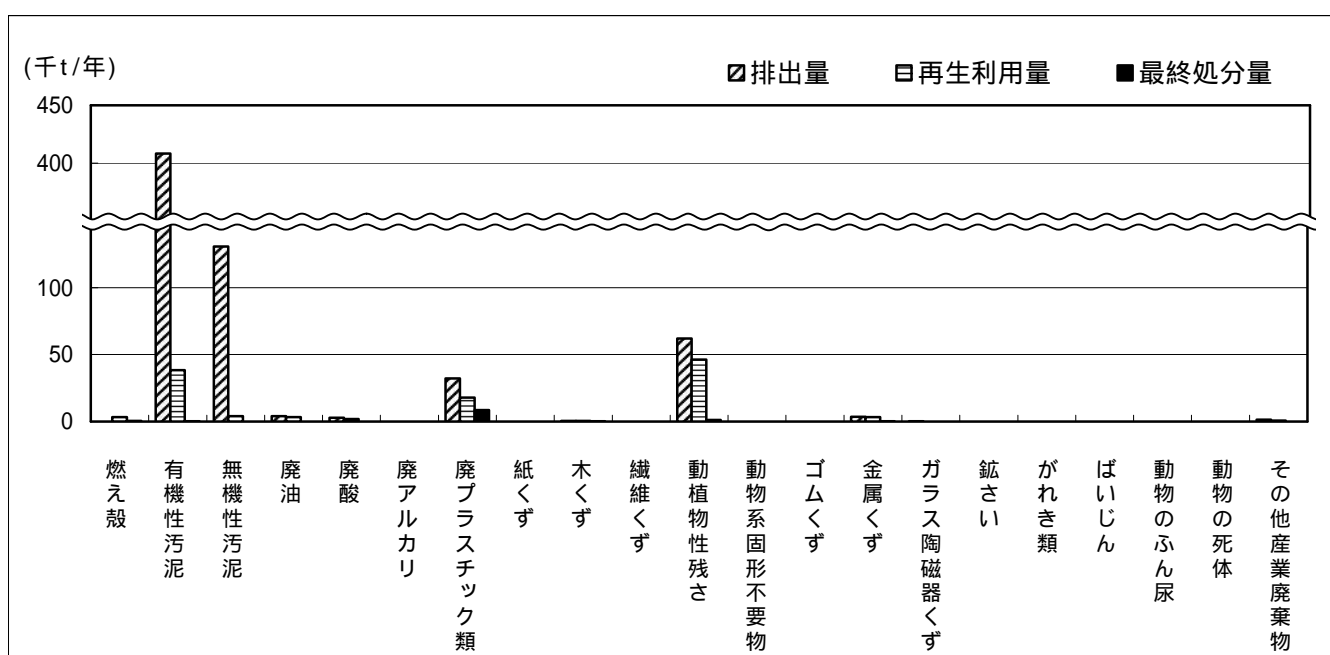
図 2-3-9 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

3) 食料品

種類別にみると、有機性汚泥の排出量が408千トと最も多く、次いで、無機性汚泥の131千ト、動植物性残さの62千ト等となっている。食料品では汚泥の排出量が全体の83.5%を占めている。

有機性汚泥は再生利用量が38千トとなっており、脱水等により減量化され最終処分量は500ト未満となっている。また、無機性汚泥は再生利用量が4千トとなっており、脱水等により減量化され最終処分量は500ト未満となっている。汚泥全体でみると、無変換でみた場合、再生利用率は8.0%、減量化率は91.9%となっており、最終処分量は1%未満となっている。

一方、動植物性残さは再生利用量が46千トとなっている。(図2-3-10)



種類：変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性 汚泥	無機性 汚泥	廃油	廃酸	廃アル カリ	廃プラ スチック 類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	動物系 固形不 要物	ゴム くず	金属 くず	ガラス 陶磁器 くず	鋳さい	がれき 類	ばいじ ん	動物の ふん尿	動物の 死体	その他 産業廃 棄物
排 出 量	646 (100.0%)	0 (0.0%)	408 (63.2%)	131 (20.2%)	4 (0.6%)	3 (0.4%)	0 (0.0%)	32 (5.0%)		1 (0.1%)		62 (9.6%)		0 (0.0%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)		0 (0.0%)				1 (0.2%)
再 生 利 用 量	120 (100.0%)	3 (2.7%)	38 (32.1%)	4 (3.5%)	3 (2.8%)	2 (1.7%)		18 (14.9%)		0 (0.3%)		46 (38.6%)		0 (0.0%)	3 (2.8%)	0 (0.1%)		0 (0.0%)				1 (0.5%)
最 終 処 分 量	11 (100.0%)	0 (3.5%)	0 (1.4%)	0 (0.4%)				9 (80.7%)		0 (1.2%)		1 (10.6%)			0 (1.3%)	0 (0.1%)						0 (0.8%)

図2-3-10 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

(2) 種類別

製造業全体の産業廃棄物を種類別にみると、無機性汚泥の排出量が2,004千ト(製造業の排出量の42.3%)と最も多く、次いで有機性汚泥の815千ト(同17.2%)、金属くずの271千ト(同5.7%)、ばいじんの232千ト(同4.9%)等となっている。

再生利用について、金属くず、鋳さい、ばいじんは大部分が再生利用されている。汚泥は脱水等による減量化が図られているが、最終処分量に占める割合も多く、製造業の80.5%を占める383千ト(無機性:379千ト、有機性5千ト)が最終処分されている。このうち、アルミ精錬工程から排出される無機性汚泥325千トが海洋投入処分されている。(図2-3-11)

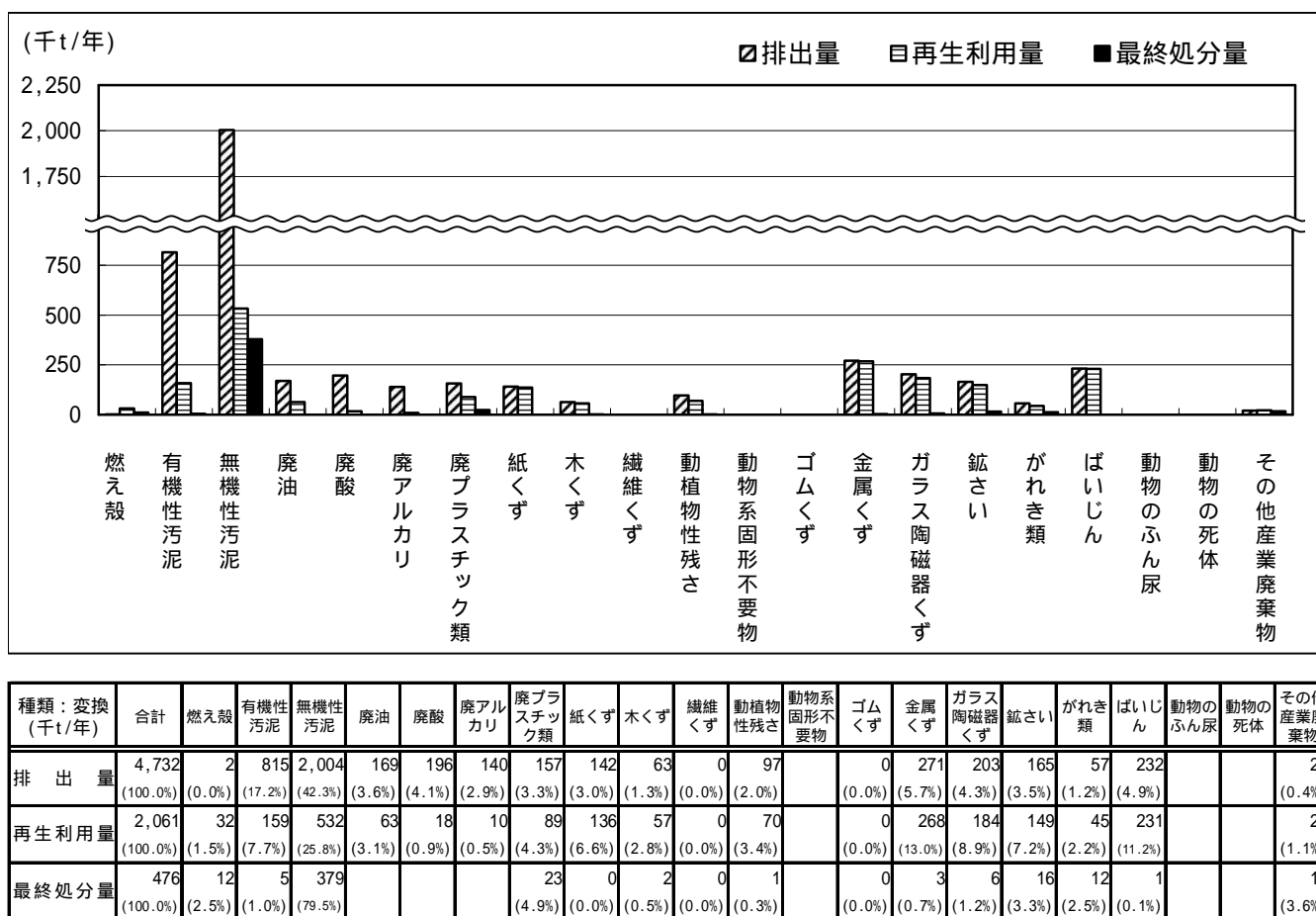
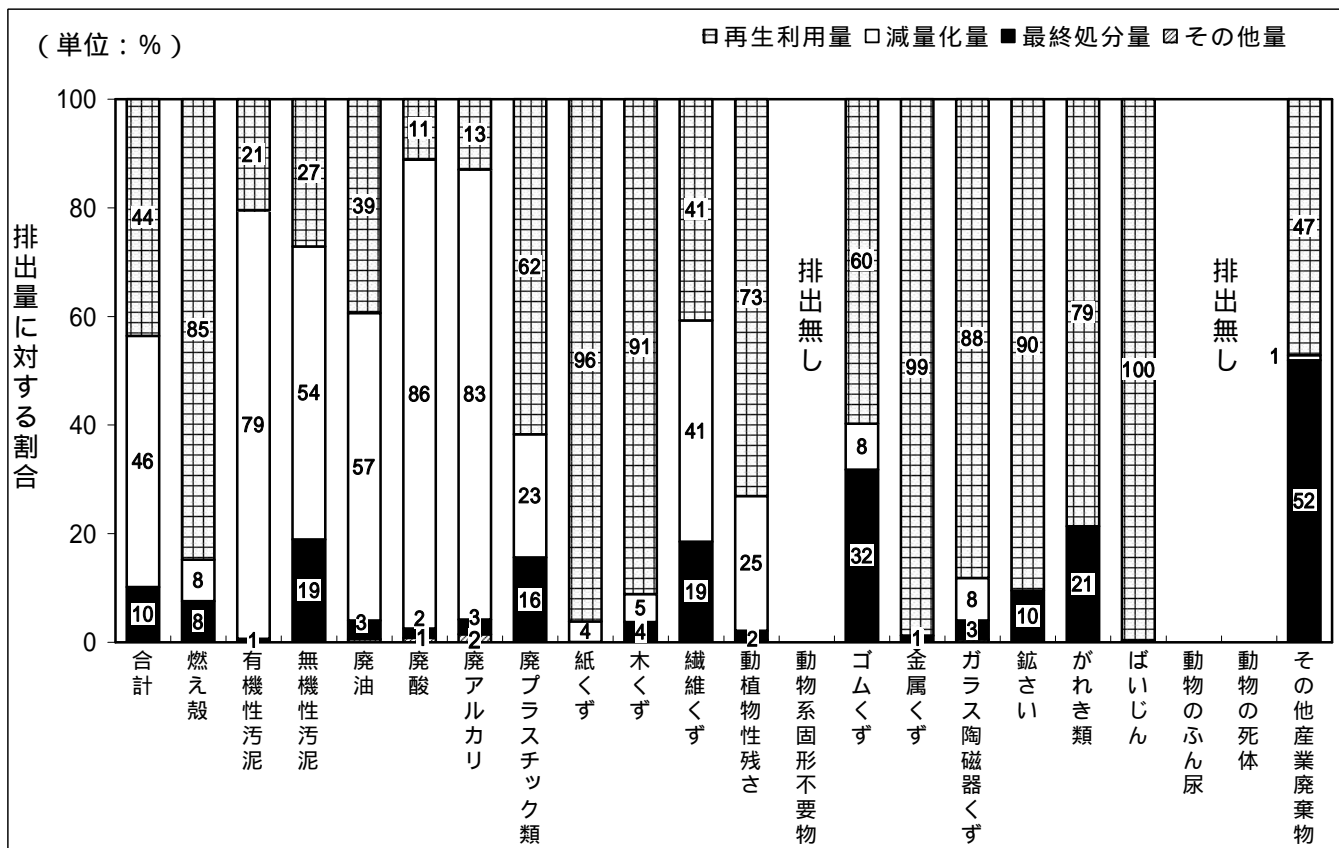


図 2-3-11 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、次のとおりである。



種類：無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他産業廃棄物
排出量	4,732	2	815	2,004	169	196	140	157	142	63	0	97	0	0	271	203	165	57	232	0	0	21
再生利用量	2,061	2	167	544	67	22	18	97	136	58	0	71	0	0	268	179	149	45	231	0	0	10
減量化量	2,188	0	643	1,080	96	169	116	36	5	3	0	24	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量	476	0	5	380	6	3	4	25	0	2	0	2	0	3	7	16	12	1	0	0	0	11
その他量	6		0		1	2	2	0		0		0		0	1	0						

注 1) 例えば、廃酸、廃アルカリ、廃油等に最終処分量が表示されているが、実際には、焼却等により燃え殻となったものが最終処分されている。

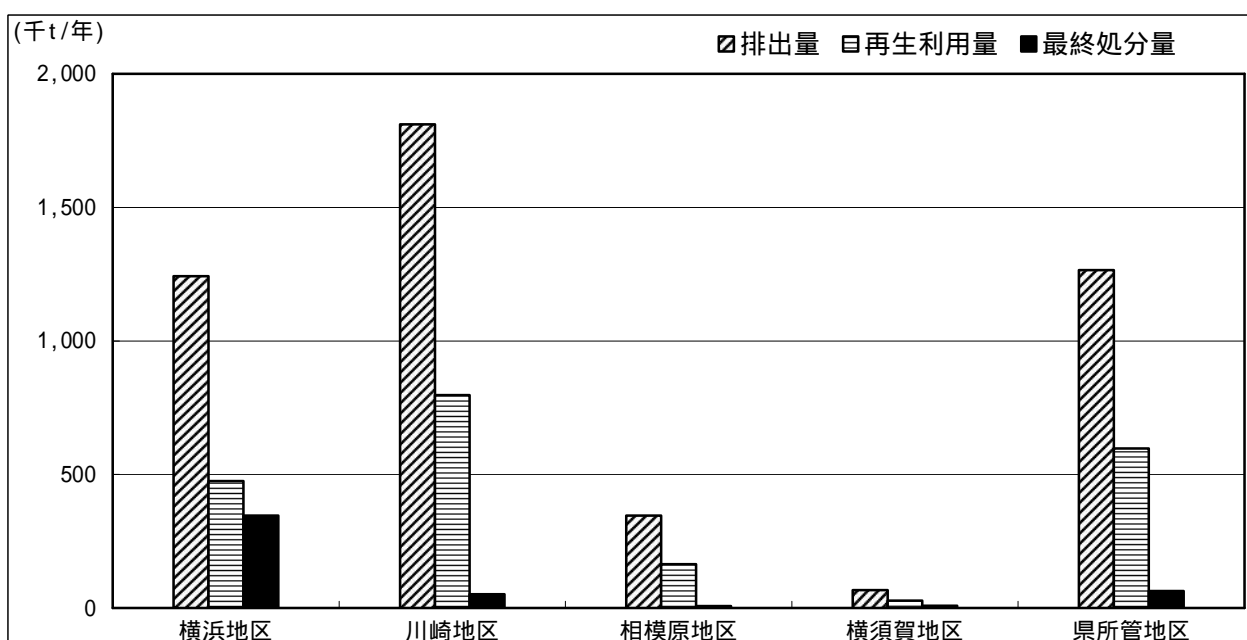
しかし、この表における資源化量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 2-3-12 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

(3) 地区別

地区別にみると、川崎地区の排出量が 1,811 千ト (製造業全体の排出量の 38.3%) と最も多く、次いで県所管地区の 1,265 千ト (同 26.7%)、横浜地区の 1,242 千ト (同 26.3%) 等となっている。

最終処分量では横浜地区の最終処分量が 346 千ト (製造業全体の最終処分量の 72.6%) を占めており、このうちアルミ精錬工程から排出される無機性汚泥の海洋投入処分が 325 千トである。(図 2-3-13)



地区 (千t/年)	合計	横浜地区	川崎地区	相模原地区	横須賀地区	県所管地区
排出量	4,732 (100.0%)	1,242 (26.3%)	1,811 (38.3%)	346 (7.3%)	67 (1.4%)	1,265 (26.7%)
再生利用量	2,061 (100.0%)	476 (23.1%)	797 (38.7%)	164 (7.9%)	28 (1.4%)	597 (29.0%)
最終処分量	476 (100.0%)	346 (72.6%)	52 (10.8%)	7 (1.4%)	9 (1.8%)	64 (13.4%)

図 2-3-13 地区別の排出量、再生利用量、最終処分量

(4) 規模別

製造業を従業者数規模により 300 人未満を中小規模事業所、300 人以上を大規模事業所と設定して、規模別に処理・処分状況をみると次のとおりである。

大規模事業所は、全体の排出量及び再生利用量のそれぞれ 37.6%、41.7%を占めており、全体の最終処分量の 7%を占めている。(海洋投入量を除く埋立量でみると全体の最終処分量に占める大規模事業所の割合は 22.3%となっている。)

排出量に対する処理処分の割合で見ると、大規模事業所では中小規模事業所よりも減量化率が高くなっている。(図 2-3-14)

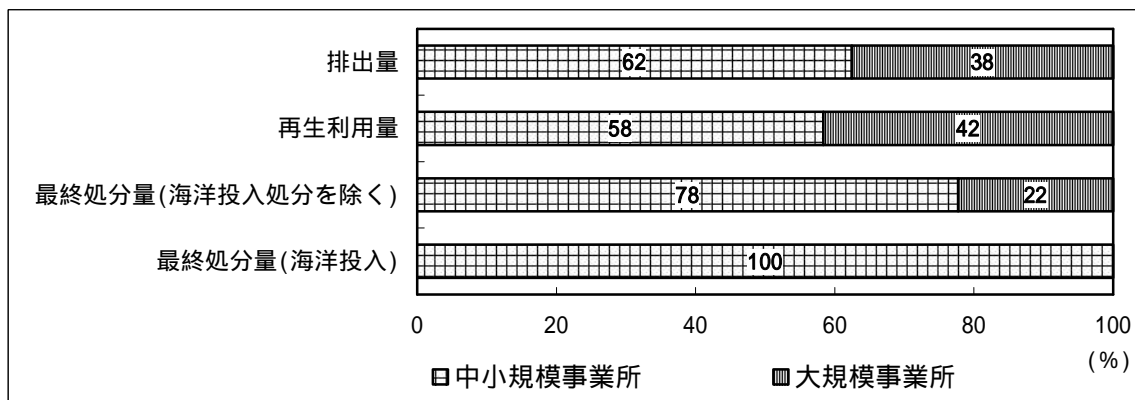
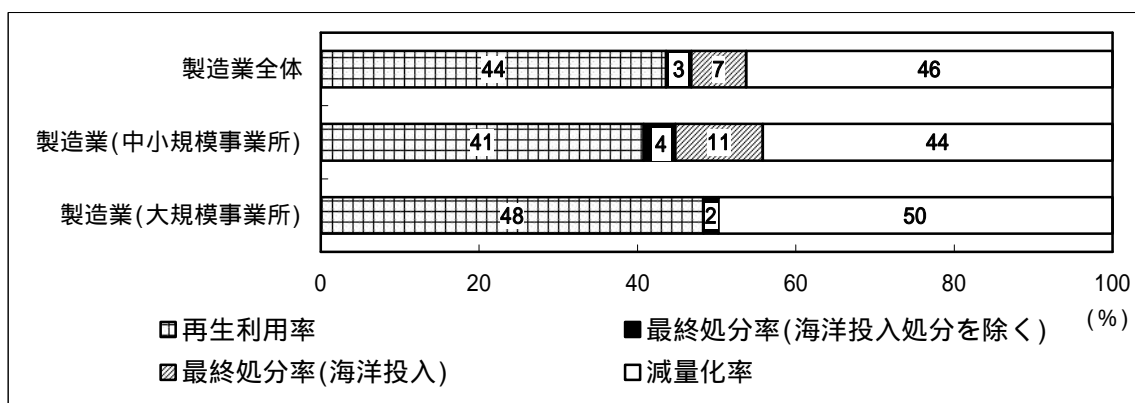
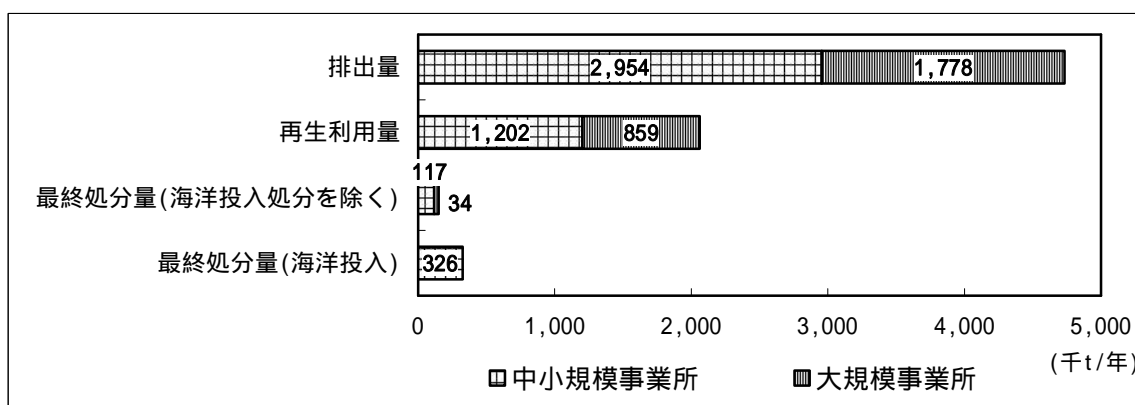


図 2-3-14 規模別発生及び処理状況

3. 電気・ガス・水道業

電気・ガス・水道業からの排出量は 5,889 千トで、全排出量の 34.3%を占めている。
 排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-15 のとおりである。

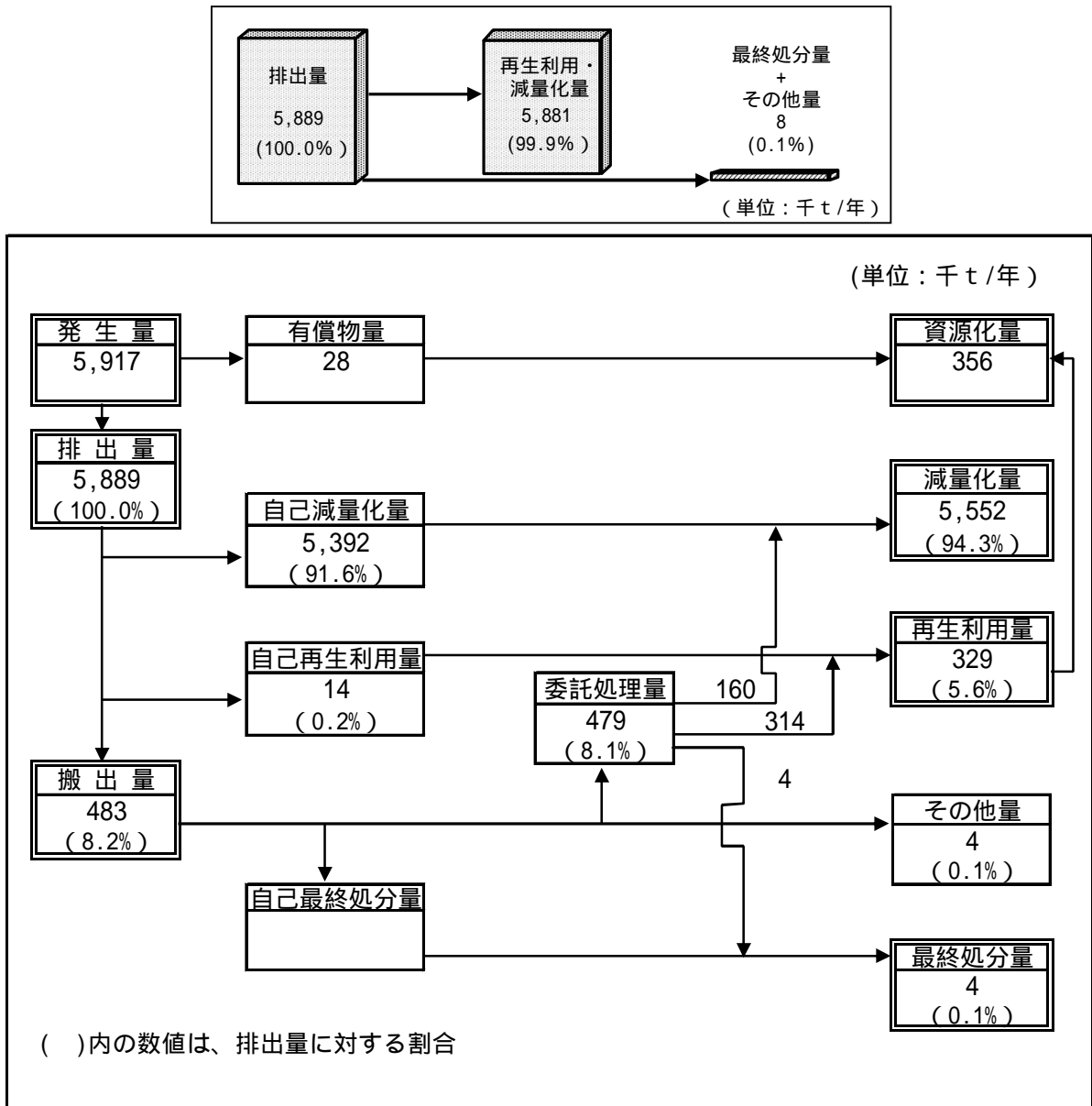
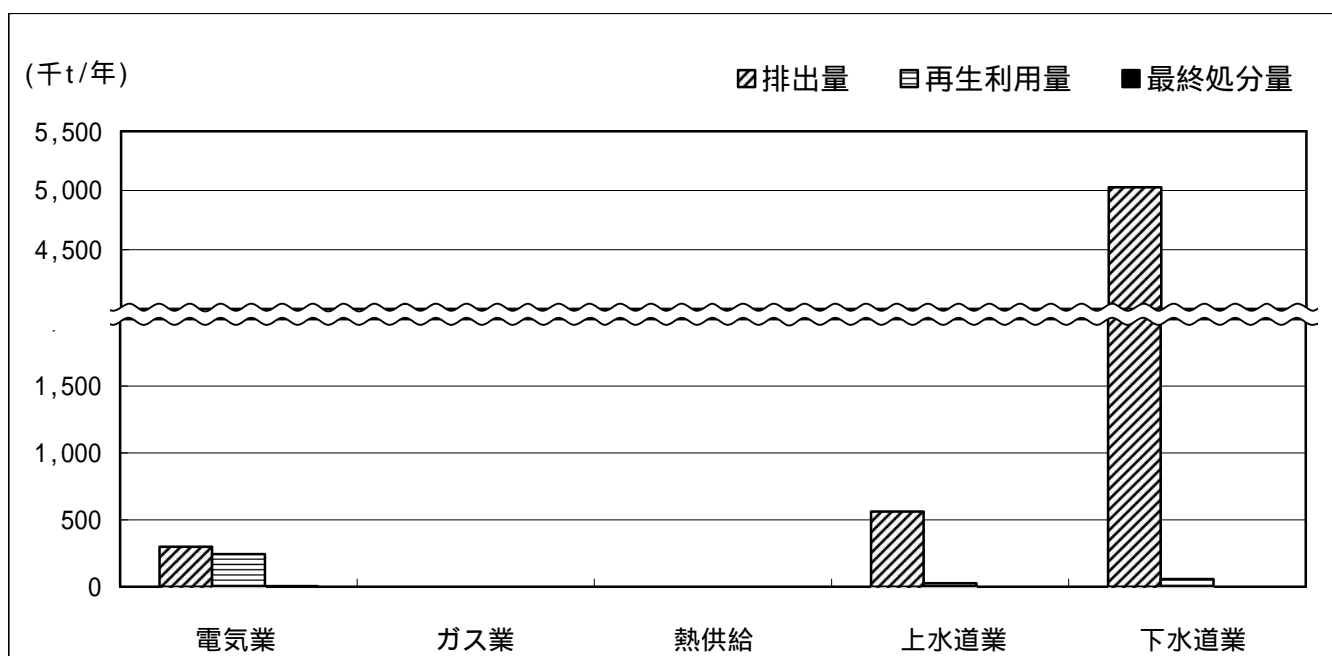


図 2-3-15 電気・ガス・水道業の排出及び処理状況の概要

(1) 業種別

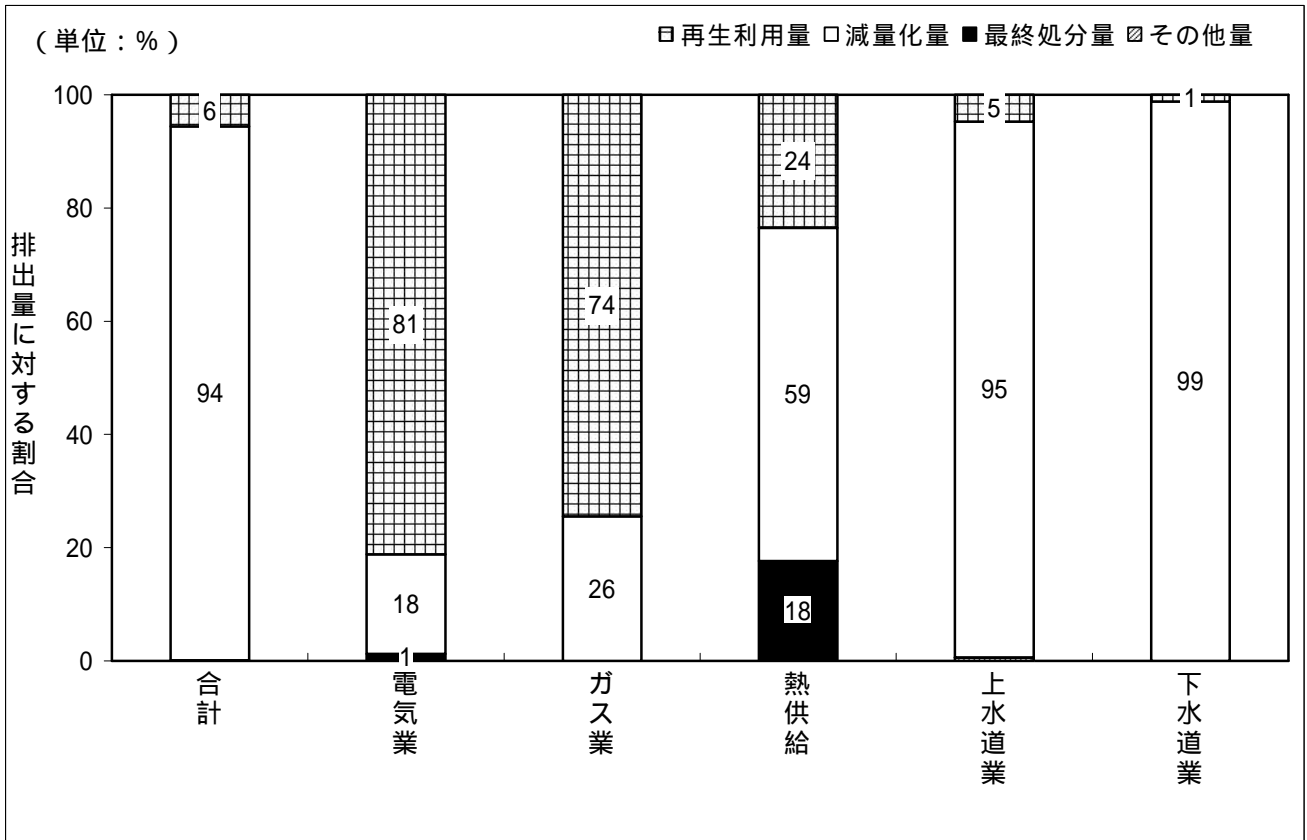
業種別にみると、排出量では下水道業が 5,027 千ト (電気・ガス・水道業の排出量の 85.4%) で最も多く、次いで、上水道業が 562 千ト (同 9.5%)、電気業が 300 千ト (同 5.1%) 等となっている。最終処分量では電気業が 4 千ト、下水道業が 1 千ト、熱供給・上水道業が 500 ト未満となっている。(図 2-3-16)



業種 (千t/年)	合計	電気業	ガス業	熱供給	上水道業	下水道業
排出量	5,889 (100.0%)	300 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	562 (9.5%)	5,027 (85.4%)
再生利用量	329 (100.0%)	243 (74.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	27 (8.1%)	59 (17.8%)
最終処分量	4 (100.0%)	4 (82.8%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)	0 (4.0%)	1 (13.1%)

図 2-3-16 業種別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を業種別にみると、次のとおりである。



業種 (千t/年)	合計	電気業	ガス業	熱供給	上水道業	下水道業
排出量	5,889	300	0	0	562	5,027
再生利用	329	243	0	0	27	59
減量化量	5,552	53	0	0	532	4,968
最終処分	4	4	0	0	0	1
その他量	4	0	0	0	3	1

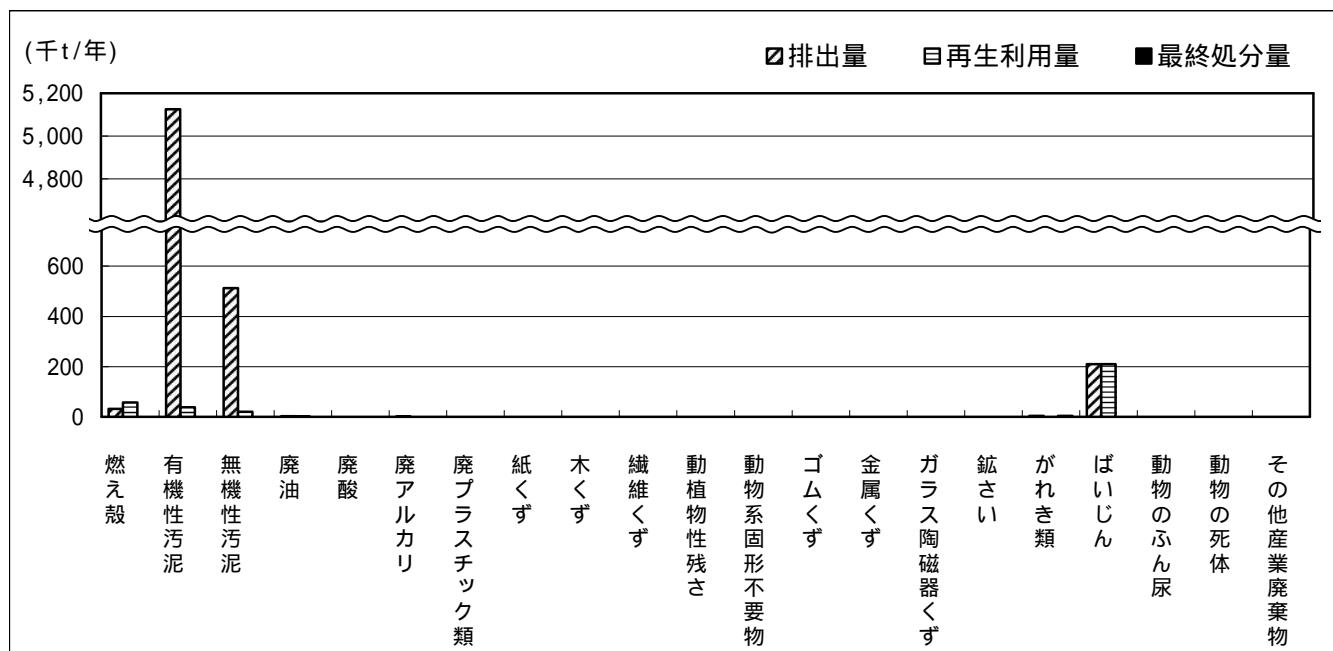
図 2-3-17 業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

(2) 種類別

種類別にみると、排出量では下水道業等の有機性汚泥が 5,126 千ト(電気・ガス・水道業の排出量の 87.0%)を占めて最も多く、次いで、上水道業等の無機性汚泥が 513 千ト(同 8.7%)、電気業からのばいじんが 210 千ト(同 3.6%)等となっている。

排出量の多い汚泥は、主に自己中間処理(脱水・焼却等)により減量化され、最終処分量は 500 ト未満に減少している。また、ばいじんは全量が再生利用されている。

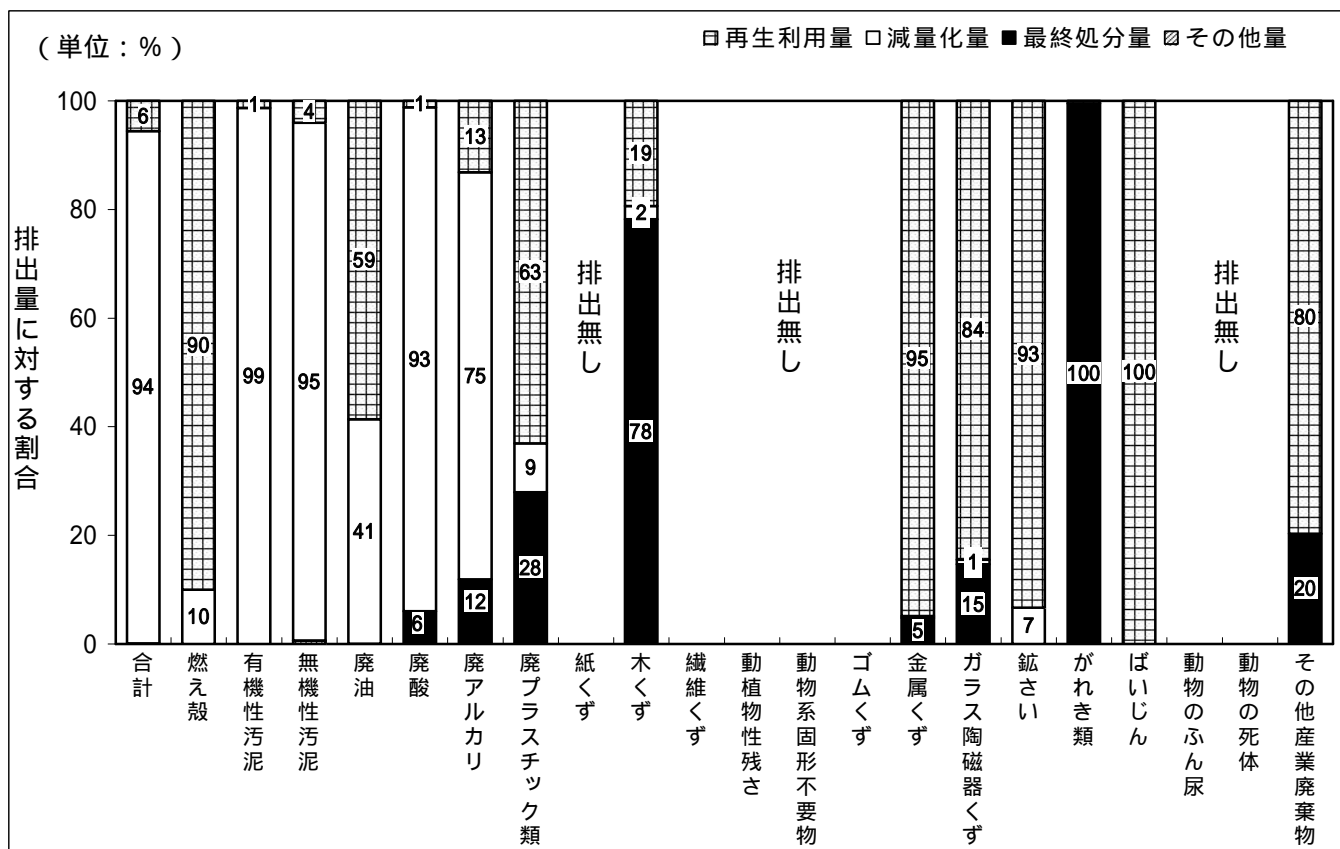
(図 2-3-18)



種類：変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性 汚泥	無機性 汚泥	廃油	廃酸	廃アル カリ	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物 性残さ	動物系 固形不 要物	ゴムくず	金属くず	ガラス 陶磁器 くず	鋳さい	がれき 類	ばいじ ん	動物の ふん尿	動物の 死体	その他 産業廃 棄物
排 出 量	5,889 (100.0%)	32 (0.5%)	5,126 (87.0%)	513 (8.7%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.1%)	210 (3.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
再生利用量	329 (100.0%)	58 (17.6%)	38 (11.5%)	21 (6.3%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	210 (63.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)
最終処分量	4 (100.0%)	1 (13.0%)	0 (3.5%)	0 (4.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (1.2%)	0 (1.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.3%)	0 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (73.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.4%)	

図 2-3-18 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、次のとおりである。



種類：無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他産業廃棄物
排出量	5,889	32	5,126	513	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	210	0	0	0
再生利用量	329	29	67	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	210	0	0	0
減量化量	5,552	3	5,058	489	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分量	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
その他量	4	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

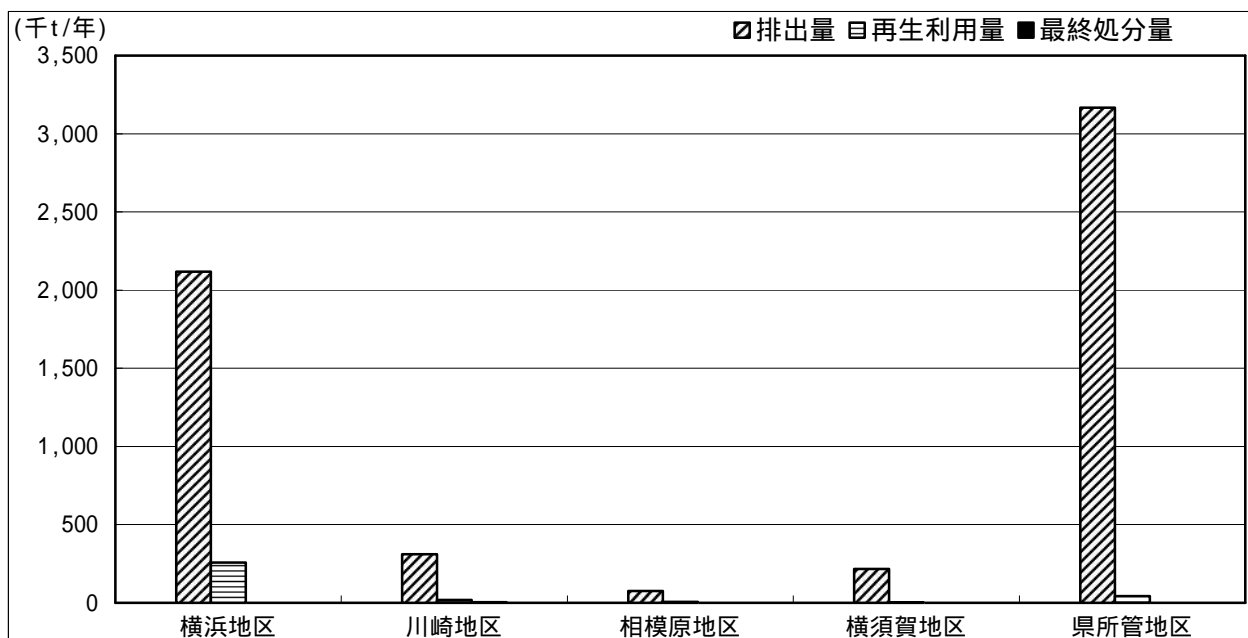
注 1) 例えば、廃酸、廃アルカリ、廃油等に最終処分量が表示されているが、実際には、焼却等により燃え殻となったものが最終処分されている。しかし、この表における資源化量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 2-3-19 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

(3) 地区別

地区別でみると、県所管地区の排出量が 3,167 千ト(電気・ガス・水道業の排出量の 53.8%)と最も多く、次いで、横浜地区が 2,118 千ト(同 36.0%)、川崎地区が 311 千ト(同 5.3%)等とこれら 3 地区で全体の 95.0%を占めている。

排出量が多いが各地区ともに減量化及び再生利用が実施されており、最終処分量は非常に少なくなっている。(図 2-3-20)



地区 (千t/年)	合計	横浜地区	川崎地区	相模原地区	横須賀地区	県所管地区
排出量	5,889 (100.0%)	2,118 (36.0%)	311 (5.3%)	76 (1.3%)	217 (3.7%)	3,167 (53.8%)
再生利用量	329 (100.0%)	258 (78.6%)	19 (5.8%)	6 (1.9%)	2 (0.6%)	43 (13.1%)
最終処分量	4 (100.0%)	0 (7.9%)	4 (85.9%)	0 (1.6%)	0 (0.1%)	0 (4.5%)

図 2-3-20 地区別の排出量、再生利用量、最終処分量

4. 鋳業

鋳業からの排出量は 1,109 千トで、全排出量の 6.5%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-21 のとおりである。

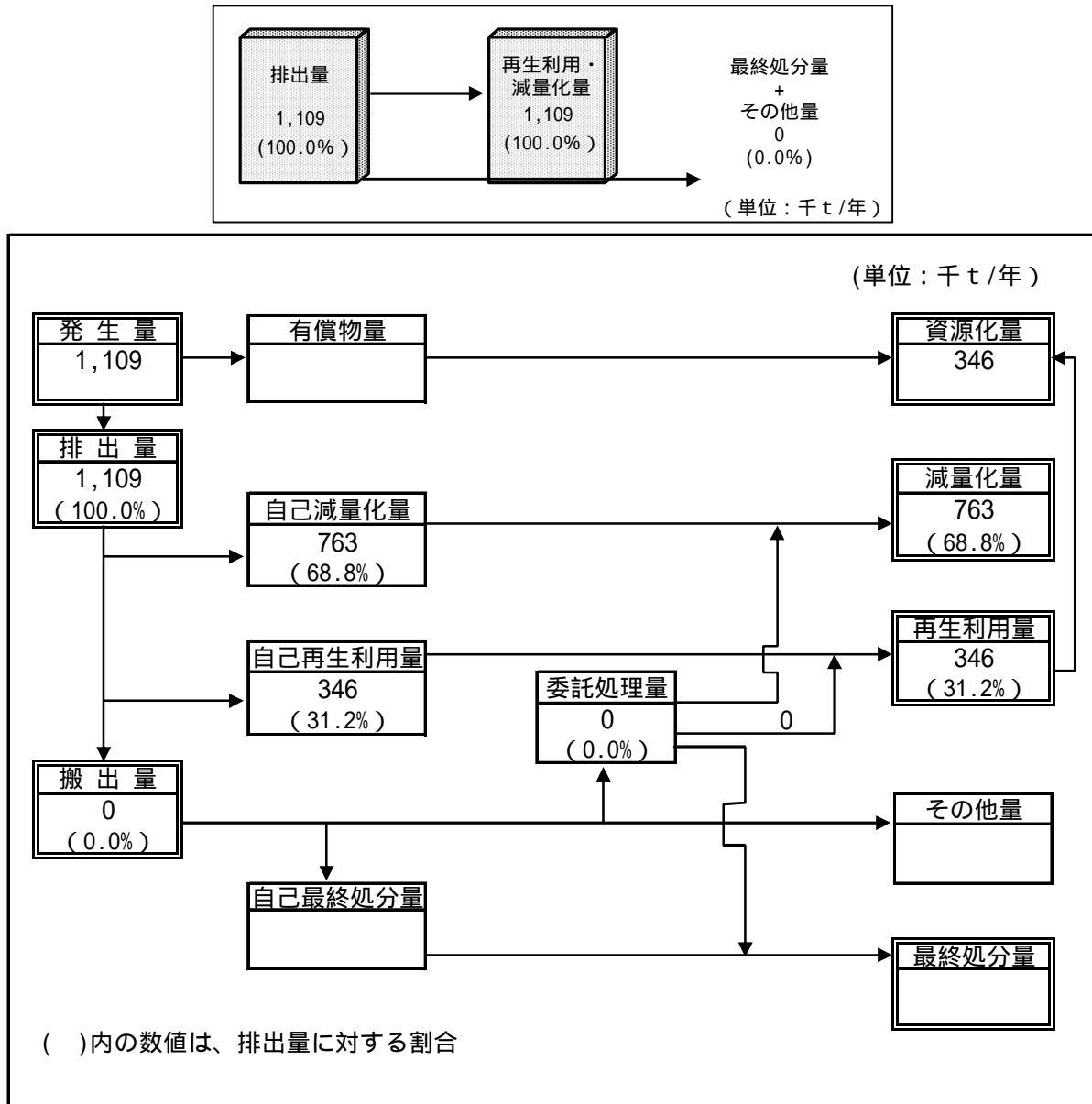
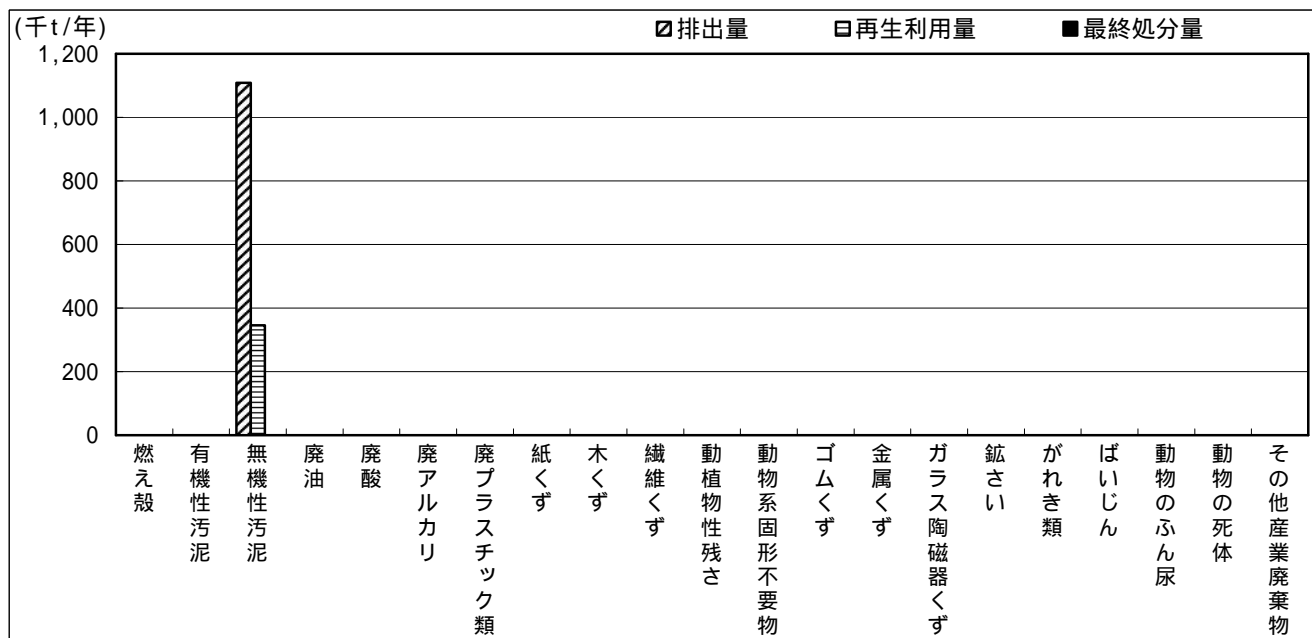


図 2-3-21 鋳業の排出及び処理状況の概要

(1) 種類別

種類別にみると、無機性汚泥と廃油、ゴムくず、金属くずが発生しており、無機性汚泥が 1,109 千ト (鉱業の排出量の 100.0%) とほぼ全量を占めている。

この無機性汚泥は砂利洗浄汚泥であり、脱水等による減量後、採取跡地に埋め戻し材として利用されている。(図 2-3-22)

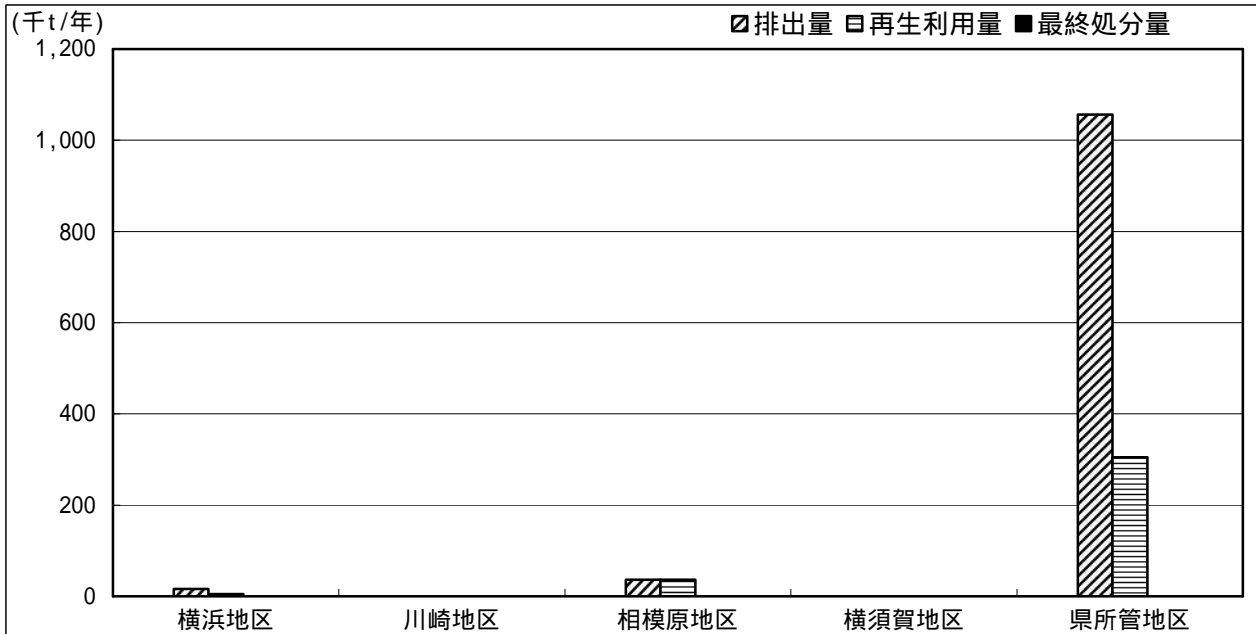


種類：変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性 汚泥	無機性 汚泥	廃油	廃酸	廃アル カリ	廃プラ スチック 類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	動物系 固形不 要物	ゴム くず	金属 くず	ガラス 陶磁器 くず	鉱さい	がれき 類	ばいじ ん	動物の ふん尿	動物の 死体	その他 産業廃 棄物
排 出 量	1,109 (100.0%)			1,109 (100.0%)	0 (0.0%)									0 (0.0%)	0 (0.0%)							
再 生 利 用 量	346 (100.0%)			346 (100.0%)	0 (0.0%)									0 (0.0%)	0 (0.0%)							
最 終 処 分 量																						

図 2-3-22 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

(2) 地区別

地区別でみると、県所管地区の排出量が 1,056 千ト (鉱業の排出量の 95.3%) とほぼ全量となっている。(図 2-3-23)



地区 (千t/年)	合計	横浜地区	川崎地区	相模原地区	横須賀地区	県所管地区
排出量	1,109 (100.0%)	16 (1.5%)		36 (3.3%)		1,056 (95.3%)
再生利用量	346 (100.0%)	5 (1.3%)		36 (10.5%)		305 (88.2%)
最終処分量						

図 2-3-23 地区別の排出量、再生利用量、最終処分量

5. その他の業種

その他の業種（農・林・漁業、情報通信業、運輸業、卸・小売業、医療・福祉、サービス業）からの排出量は 352 千トで、全排出量の 2.1%である。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-24 のとおりである。

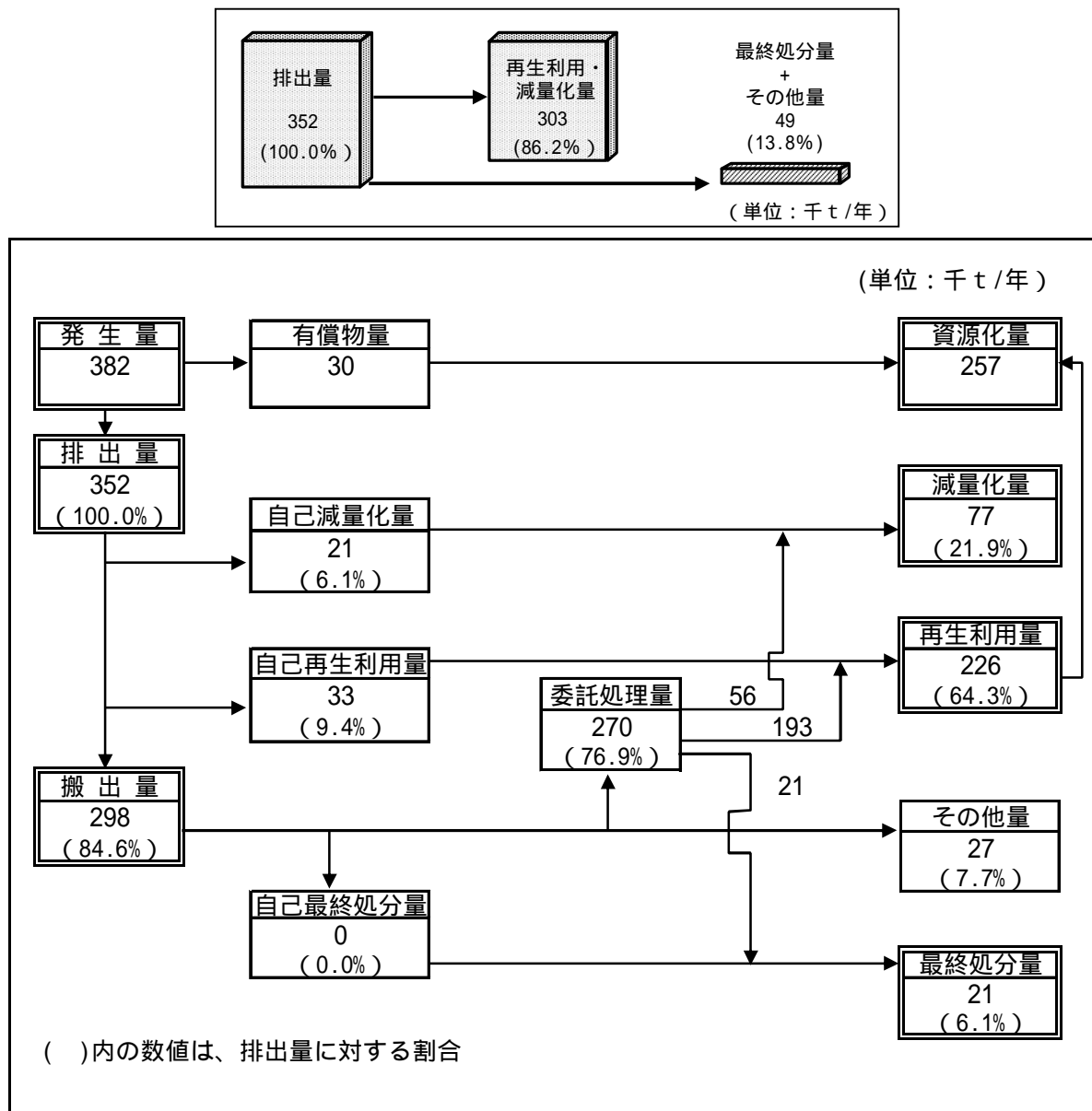


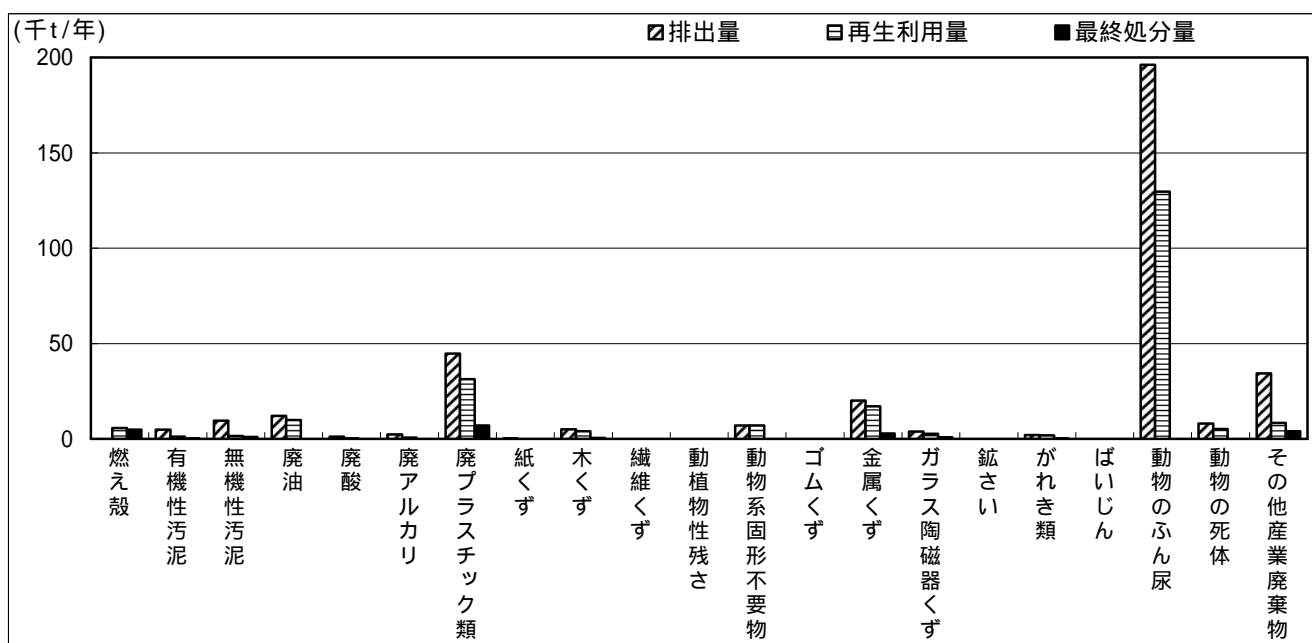
図 2-3-24 その他の業種の排出及び処理状況の概要

(1) 種類別

種類別にみると、排出量では農業からの動物のふん尿が 196 千ト(その他の業種の排出量の 55.7%) を占めて最も多く、次いで、運輸業、卸・小売業、医療・福祉、サービス業等からの廃プラスチック類が 45 千ト(同 12.7%)、卸・小売業、運輸業、サービス業等からの金属くずが 20 千ト(同 5.7%) となっている。

また、最終処分量では、廃プラスチック類が 7 千ト(その他の業種の最終処分量の 33.2%) で最も多く、次いで、金属くずが 3 千ト(同 13.6%) となっている。

排出量の最も多い動物のふん尿は、すべて再生利用・減量化されており、最終処分はされていない。(図 2-3-25)

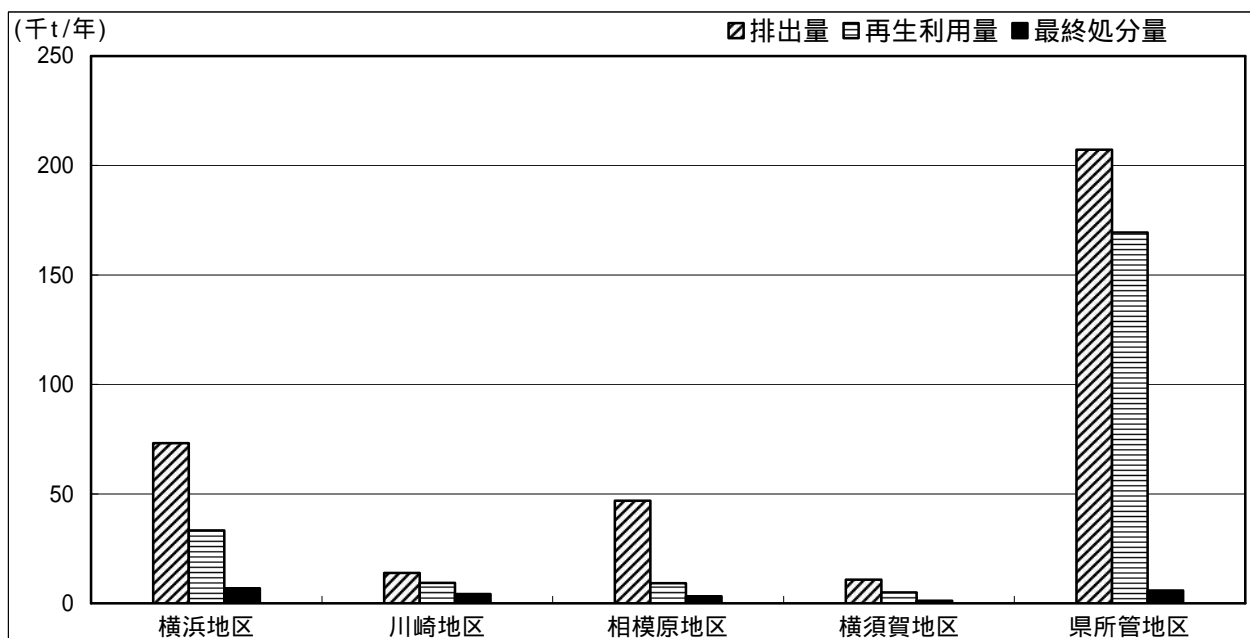


種類：変換 (千t/年)	合計	燃え殻	有機性 汚泥	無機性 汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	その他産業廃棄物
排出量	352 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (1.4%)	10 (2.7%)	12 (3.4%)	1 (0.3%)	2 (0.7%)	45 (12.7%)	0 (0.0%)	5 (1.4%)			7 (2.0%)	0 (0.0%)	20 (5.7%)	4 (1.1%)	0 (0.0%)	2 (0.6%)	0 (0.0%)	196 (55.7%)	8 (2.3%)	34 (9.8%)
再生利用量	226 (100.0%)	6 (2.5%)	1 (0.5%)	1 (0.6%)	10 (4.4%)	0 (0.1%)	1 (0.3%)	31 (13.9%)	0 (0.0%)	4 (1.8%)			7 (3.1%)	0 (0.0%)	17 (7.6%)	3 (1.2%)		2 (0.8%)	0 (0.0%)	130 (57.3%)	5 (2.3%)	8 (3.7%)
最終処分量	21 (100.0%)	5 (22.4%)	0 (0.4%)	1 (4.9%)				7 (33.2%)		0 (2.1%)			0 (0.1%)		3 (13.6%)	1 (3.6%)	0 (0.3%)	0 (0.7%)	0 (0.0%)			4 (18.7%)

図 2-3-25 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

(2) 地区別

地区別でみると、農業からの廃棄物の多い県所管地区の排出量が 207 千ト(その他の業種の排出量の 58.9%)を占めて最も多く、次いで、横浜地区が 73 千ト(同 20.8%)、相模原地区が 47 千ト(同 13.3%)等となっており、最終処分量では、農業からの廃棄物が減量化、再生利用されて県所管地区の最終処分量は減少しており、横浜地区が 7 千ト(その他の業種の最終処分量の 31.9%)で最も多くなっている。(図 2-3-26)



地区 (千t/年)	合計	横浜地区	川崎地区	相模原地区	横須賀地区	県所管地区
排出量	352 (100.0%)	73 (20.8%)	14 (3.9%)	47 (13.3%)	11 (3.1%)	207 (58.9%)
再生利用量	226 (100.0%)	33 (14.7%)	9 (4.1%)	9 (4.1%)	5 (2.2%)	169 (74.9%)
最終処分量	21 (100.0%)	7 (31.9%)	4 (20.0%)	3 (15.2%)	1 (5.8%)	6 (27.1%)

図 2-3-26 地区別の排出量、再生利用量、最終処分量

なお、各業種の産業廃棄物の処理の流れを示すと、図 2-3-27～図 2-3-32 のとおりである。

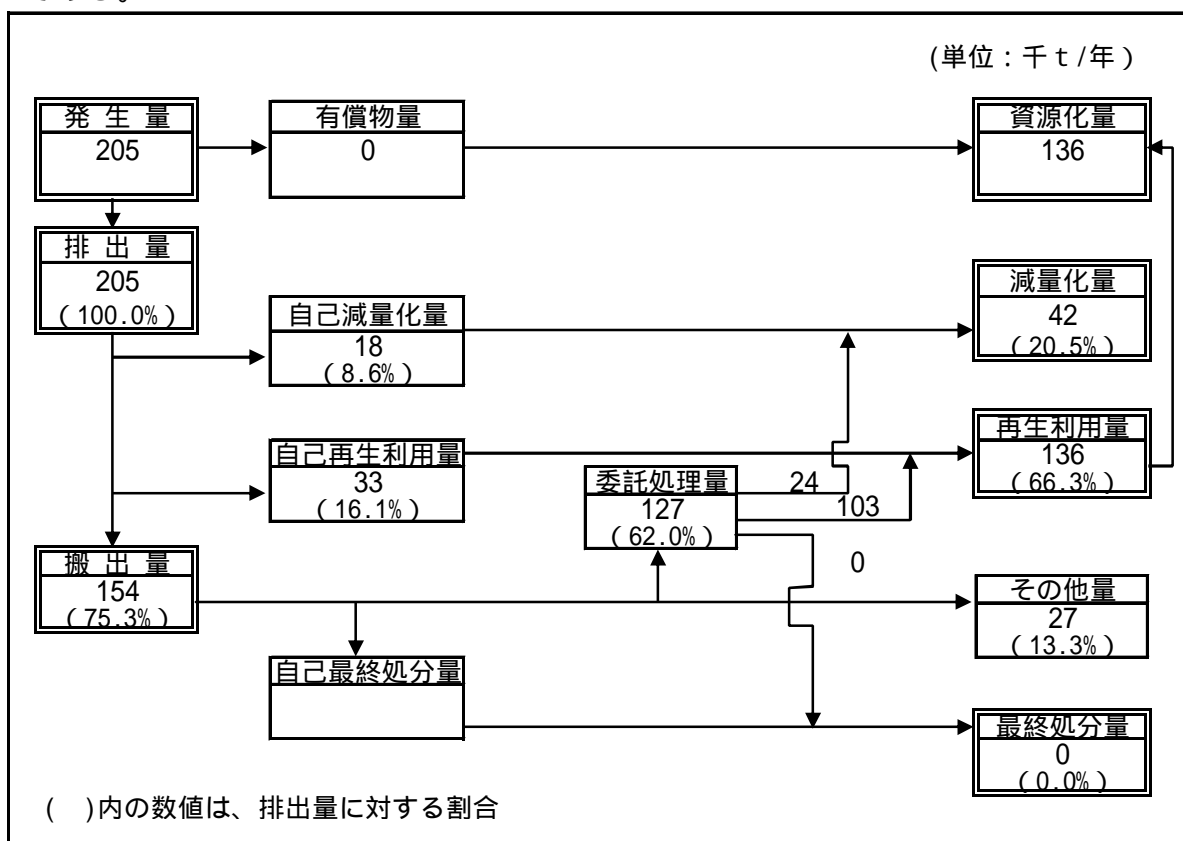


図 2-3-27 農・林・漁業の排出及び処理状況の概要

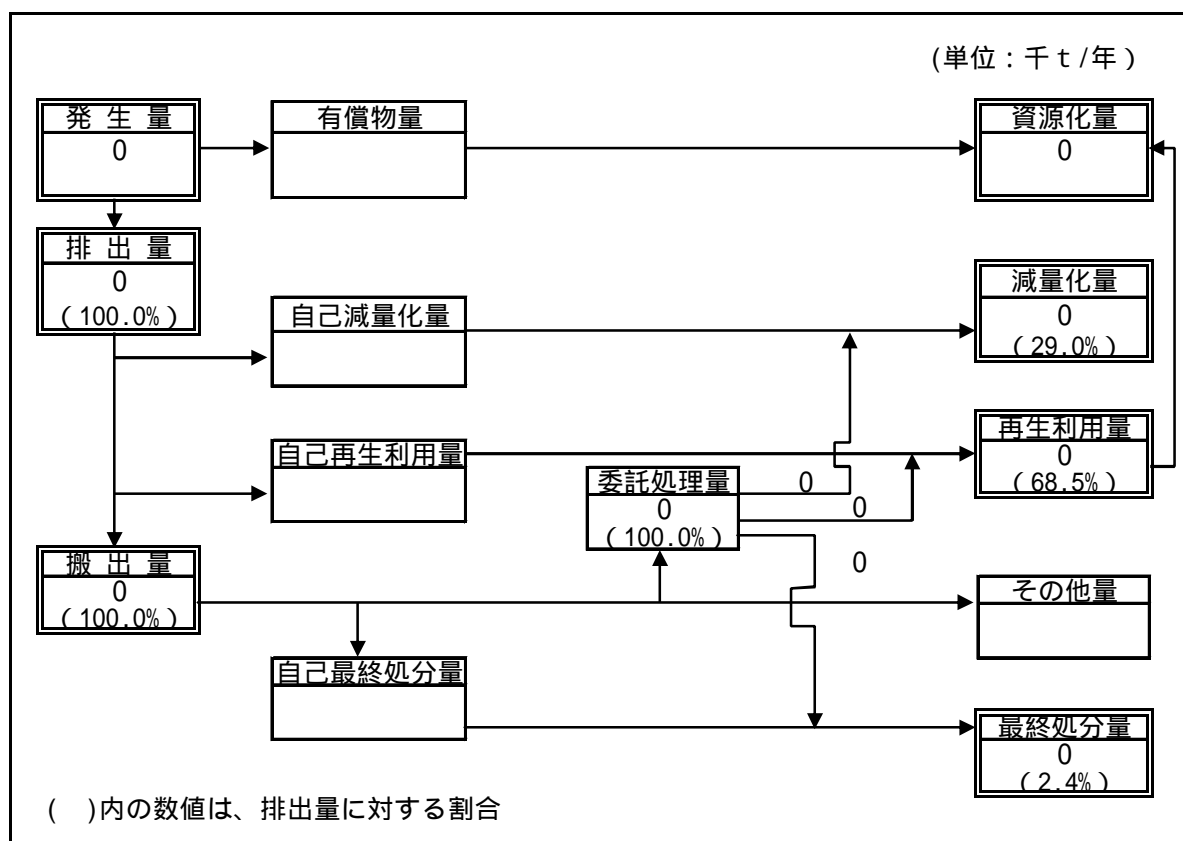


図 2-3-28 情報通信業の排出及び処理状況の概要

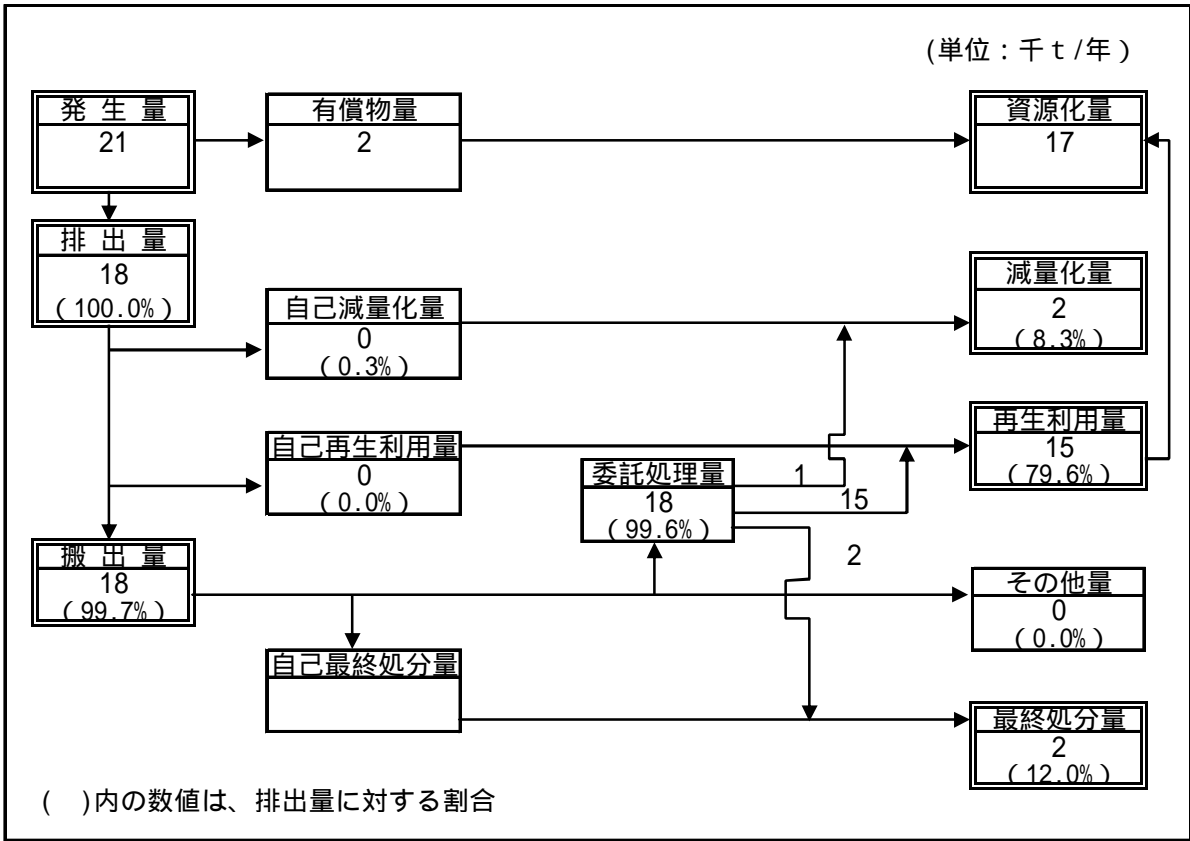


図 2-3-29 運輸業の排出及び処理状況の概要

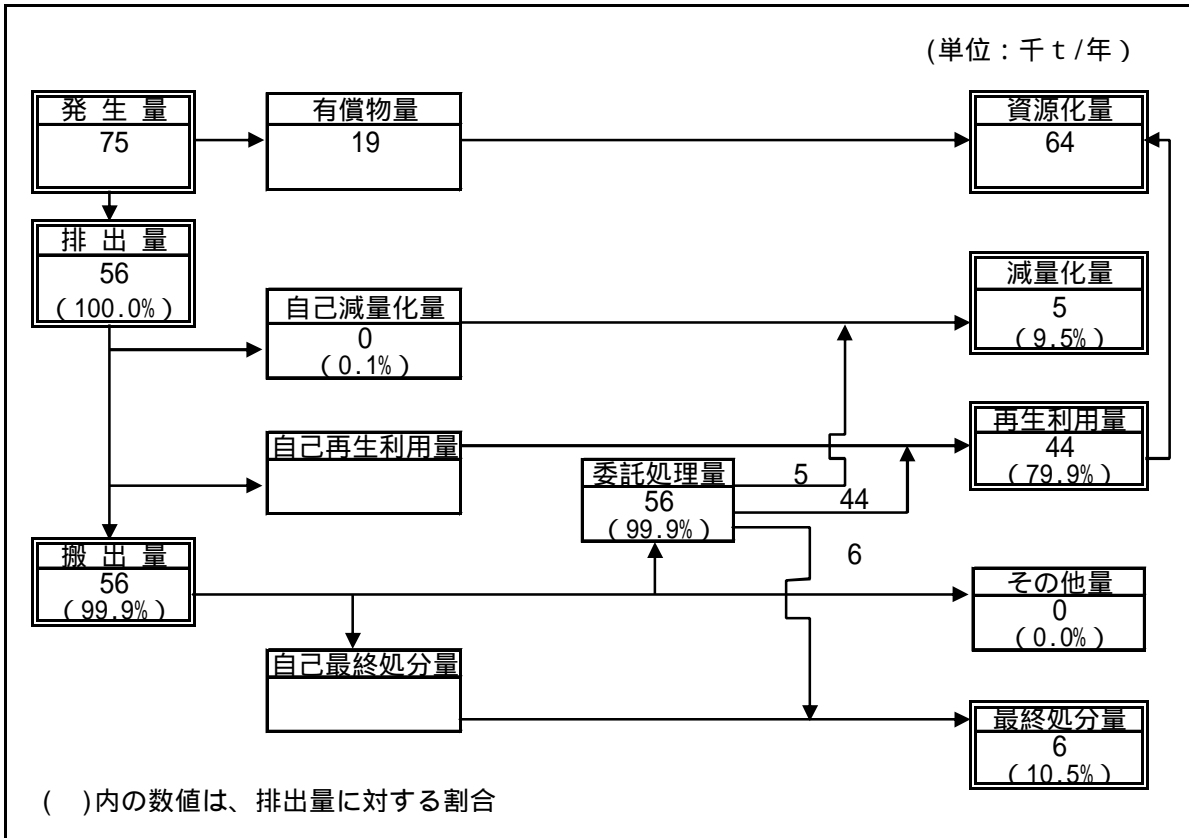


図 2-3-30 卸・小売業の排出及び処理状況の概要

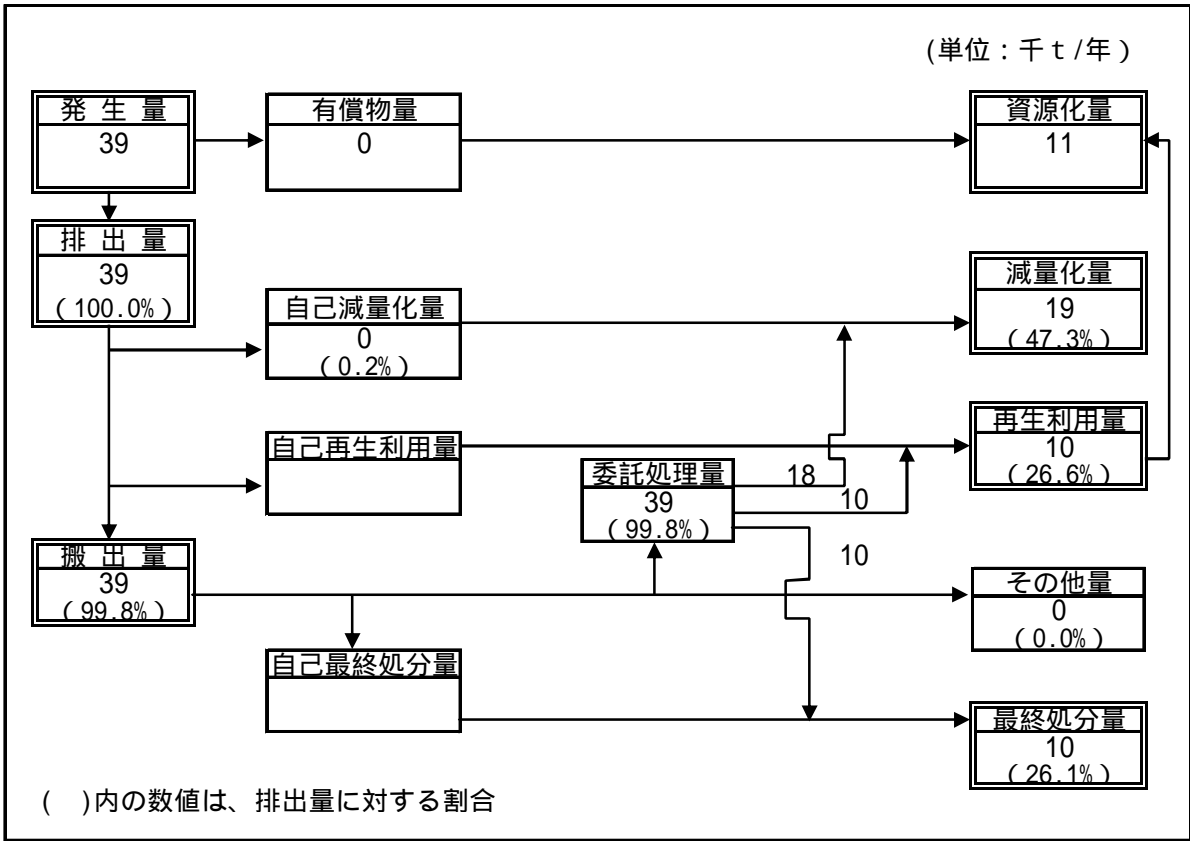


図 2-3-31 医療・福祉の排出及び処理状況の概要

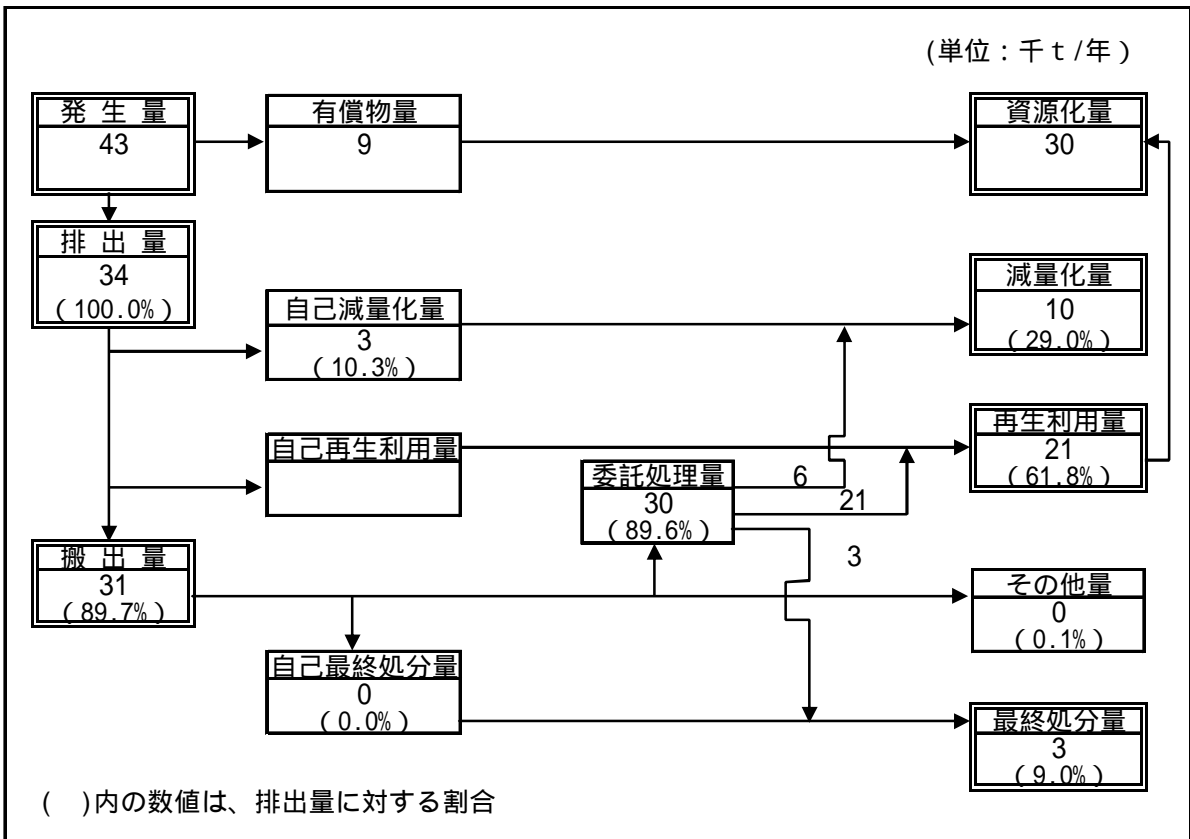


図 2-3-32 サービス業の排出及び処理状況の概要

第4節 特別管理産業廃棄物の排出・処理状況

特別管理産業廃棄物(引火性廃油、腐食性廃酸(pH2.0以下)、腐食性廃アルカリ(pH12.5以上)、感染性廃棄物、特定有害廃棄物)については、他の産業廃棄物と同様にアンケート調査の回答を基に推定した。

なお、本節以外については、特別管理産業廃棄物を含めた結果を「産業廃棄物」として記載している。

1. 排出及び処理状況の概要

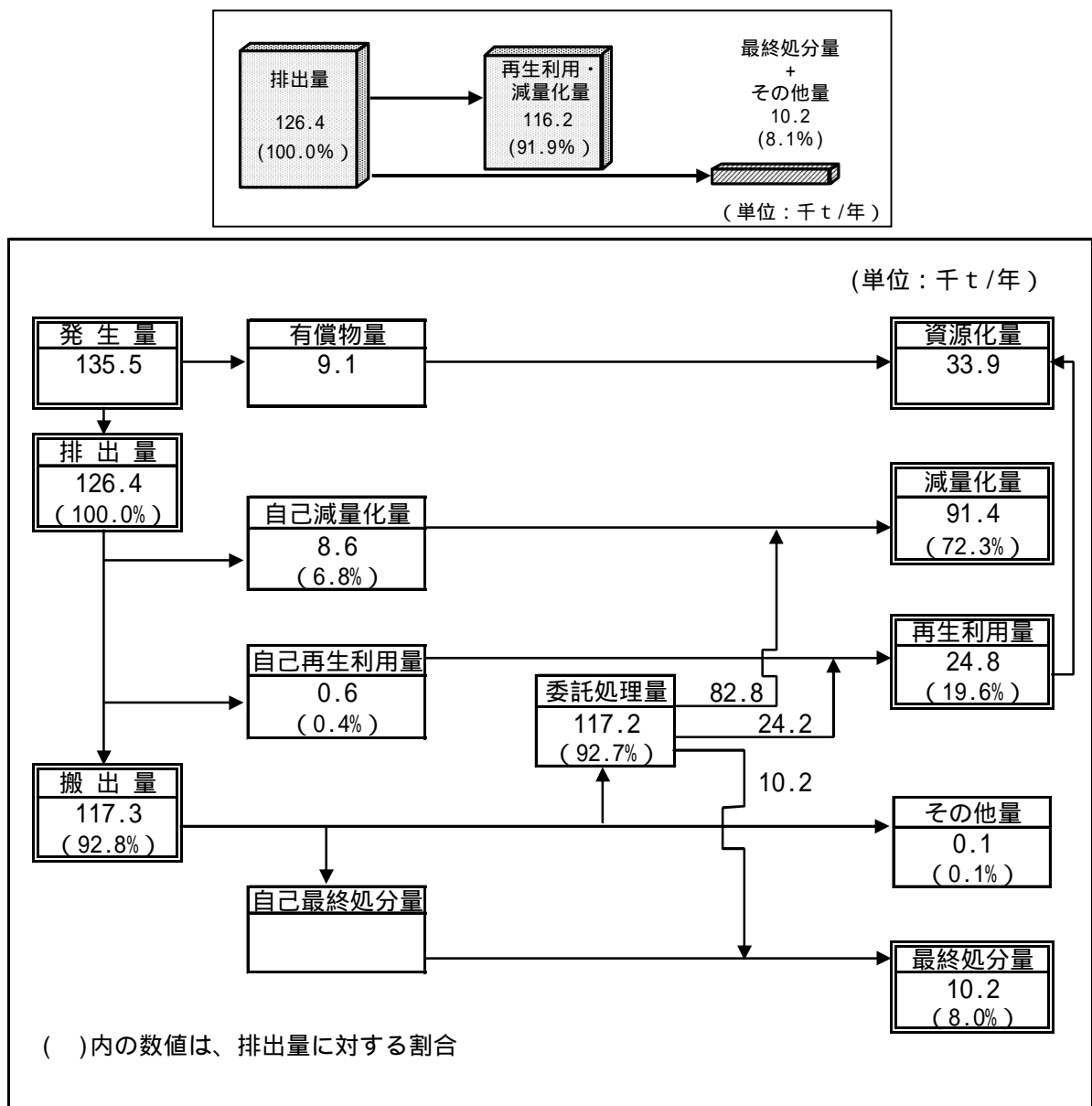
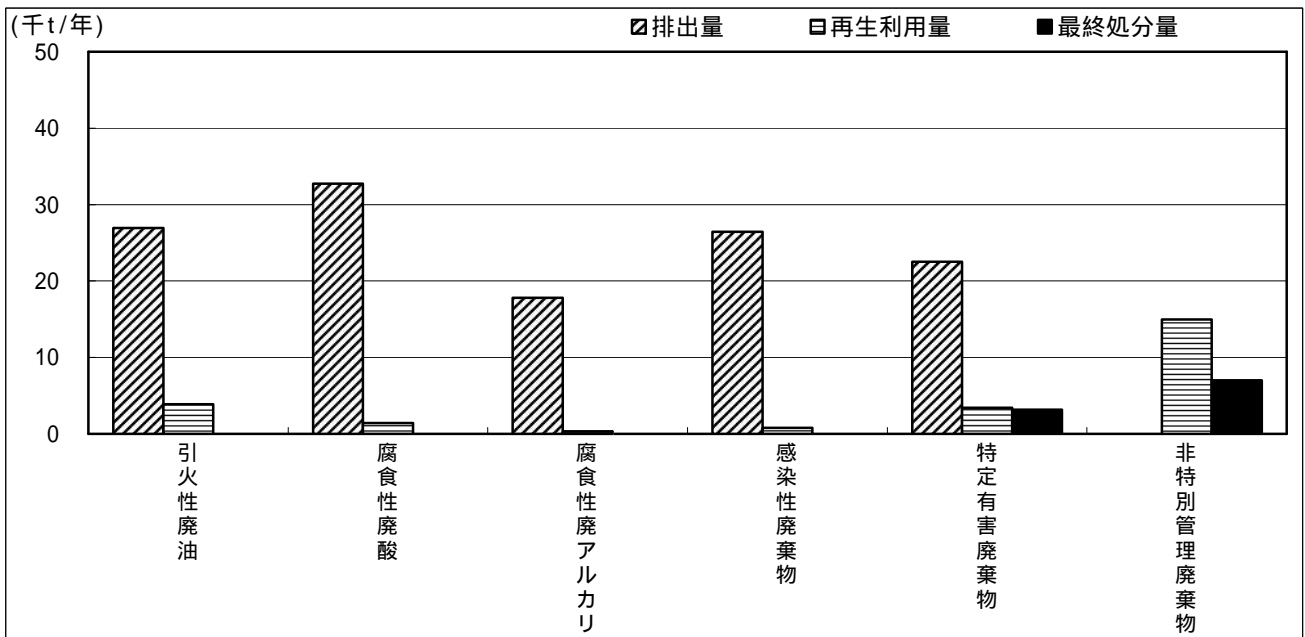


図 2-4-1 特別管理産業廃棄物の排出及び処理状況の概要

2. 種類別

特別管理産業廃棄物の種類別にみると、排出量では、腐食性廃酸が 32.7 千ト(排出量の 25.9%)と最も多く、次いで、引火性廃油が 26.9 千ト(同 21.3%)、感染性廃棄物が 26.4 千ト(同 20.9%)、特定有害廃棄物が 22.5 千ト(同 17.8%)、腐食性廃アルカリが 17.8 千ト(同 14.1%)となっている。

最終処分量では、焼却等の中間処理により特別管理産業廃棄物ではなくなった産業廃棄物が 7.0 千ト(最終処分量の 68.8%)となっており、特定有害産業廃棄物(主に廃石綿)が 3.2 千ト(同 31.2%)となっている。(図 2-4-2)



非特別管理廃棄物とは、焼却等の中間処理により特別管理産業廃棄物ではなくなった産業廃棄物

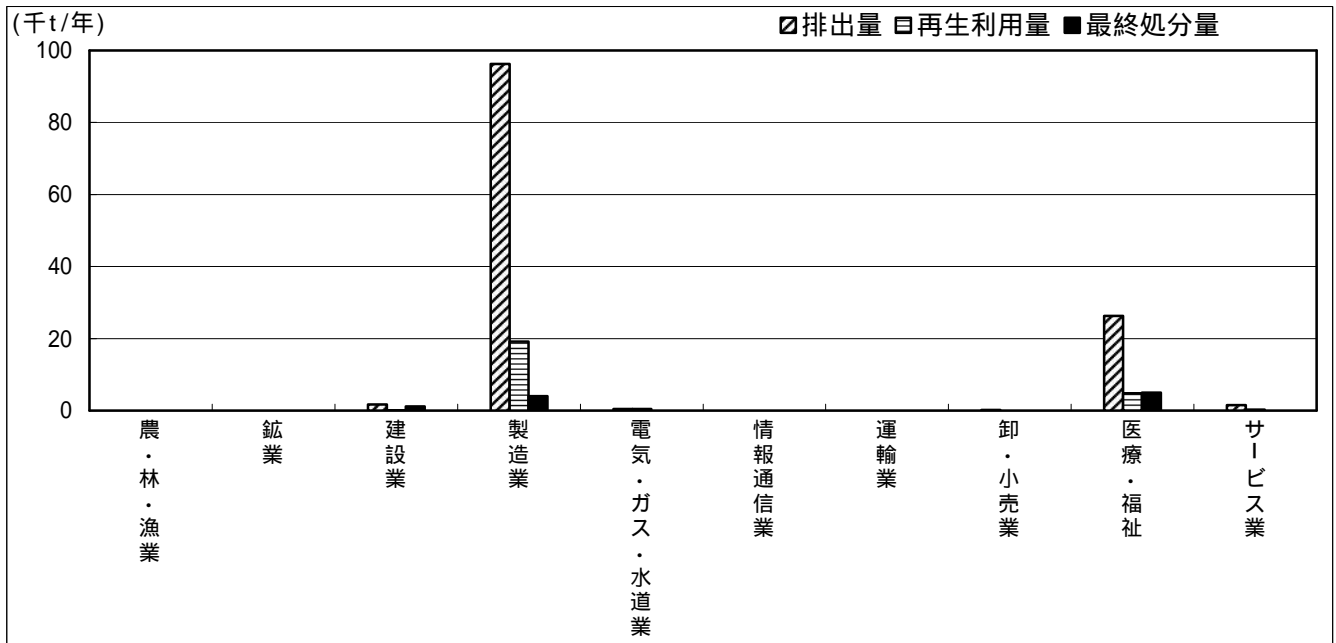
種類：変換 (千t/年)	合計	引火性 廃油	腐食性 廃酸	腐食性 廃アルカリ	感染性 廃棄物	特定有害 廃棄物	非特別管理 廃棄物
排出量	126.4 (100.0%)	26.9 (21.3%)	32.7 (25.9%)	17.8 (14.1%)	26.4 (20.9%)	22.5 (17.8%)	
再生利用量	24.8 (100.0%)	3.9 (15.7%)	1.4 (5.7%)	0.3 (1.3%)	0.8 (3.2%)	3.4 (13.8%)	15.0 (60.4%)
最終処分量	10.2 (100.0%)					3.2 (31.2%)	7.0 (68.8%)

図 2-4-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

3. 業種別

業種別にみると、排出量では、製造業が 96.3 千ト(排出量の 76.1%)と最も多く、次いで、医療・福祉が 26.3 千ト(同 20.8%)、建設業が 1.7 千ト(同 1.4%)、サービス業が 1.5 千ト(同 1.2%)等となっている。

最終処分量では、医療・福祉が 5.0 千ト(最終処分量の 48.8%)と最も多く、次いで、製造業が 4.0 千ト(同 39.3%)、建設業が 1.2 千ト(同 11.6%)等となっている。(図 2-4-3)



業種 (千t/年)	合計	農・林・ 漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・ 水道業	情報通信 業	運輸業	卸・小売 業	医療・福祉	サービス 業
排出量	126.4 (100.0%)			1.7 (1.4%)	96.3 (76.1%)	0.5 (0.4%)		0.0 (0.0%)	0.1 (0.1%)	26.3 (20.8%)	1.5 (1.2%)
再生利用量	24.8 (100.0%)			0.1 (0.4%)	19.1 (77.1%)	0.4 (1.7%)		0.0 (0.1%)	0.0 (0.1%)	4.8 (19.5%)	0.3 (1.2%)
最終処分量	10.2 (100.0%)			1.2 (11.6%)	4.0 (39.3%)	0.0 (0.0%)		0.0 (0.0%)		5.0 (48.8%)	0.0 (0.2%)

図 2-4-3 業種別の排出量、再生利用量、最終処分量

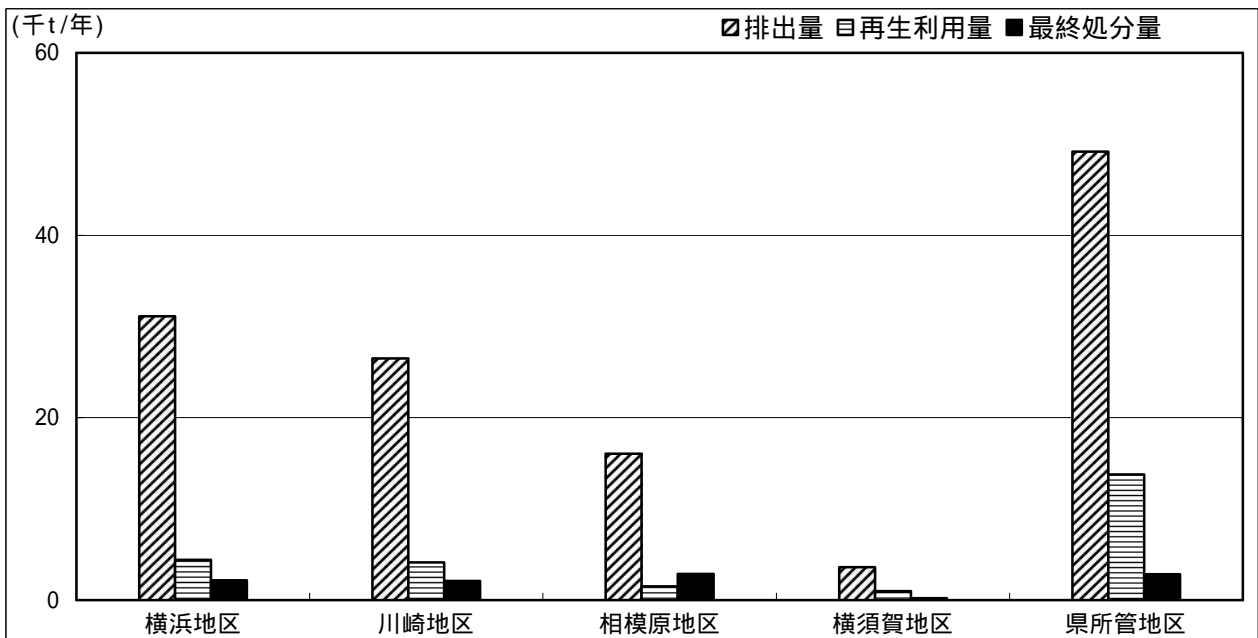
4. 地区別

地区別にみると、排出量では、県所管地区が 49.2 千ト(排出量の 38.9%)と最も多く、次いで、横浜地区が 31.1 千ト(同 24.6%)、川崎地区が 26.5 千ト(同 20.9%)等となっている。

再生利用量では、県所管地区が 13.8 千ト(再生利用量の 55.5%)と最も多く、次いで、横浜地区が 4.4 千ト(同 17.8%)、川崎地区が 4.1 千ト(同 16.7%)等となっている。

最終処分量では、相模原地区が 2.9 千ト(最終処分量の 28.1%)と最も多く、次いで、県所管地区が 2.8 千ト(同 27.8%)、横浜地区が 2.2 千ト(同 21.4%)等となっている。

(図 2-4-4)



地区 (千t/年)	合計	横浜地区	川崎地区	相模原地区	横須賀地区	県所管地区
排出量	126.4 (100.0%)	31.1 (24.6%)	26.5 (20.9%)	16.1 (12.7%)	3.6 (2.9%)	49.2 (38.9%)
再生利用量	24.8 (100.0%)	4.4 (17.8%)	4.1 (16.7%)	1.5 (6.0%)	1.0 (4.0%)	13.8 (55.5%)
最終処分量	10.2 (100.0%)	2.2 (21.4%)	2.1 (20.5%)	2.9 (28.1%)	0.2 (2.2%)	2.8 (27.8%)

図 2-4-4 地区別の排出量、再生利用量、最終処分量

第3章 前回調査結果との比較

第1節 排出量

1. 業種別

排出量を業種別にみると、電気・ガス・水道業が5,889千ト(34.3%)、建設業が5,080千ト(29.6%)、製造業が4,732千ト(27.6%)、鉱業が1,109千ト(6.5%)となっており、前回調査の比率と大きな変動はみられない。

量的にみると、前回調査の排出量(18,170千ト)に比べて1,008千ト減少しており、電気・ガス・水道業及び建設業からの廃棄物が減少している。

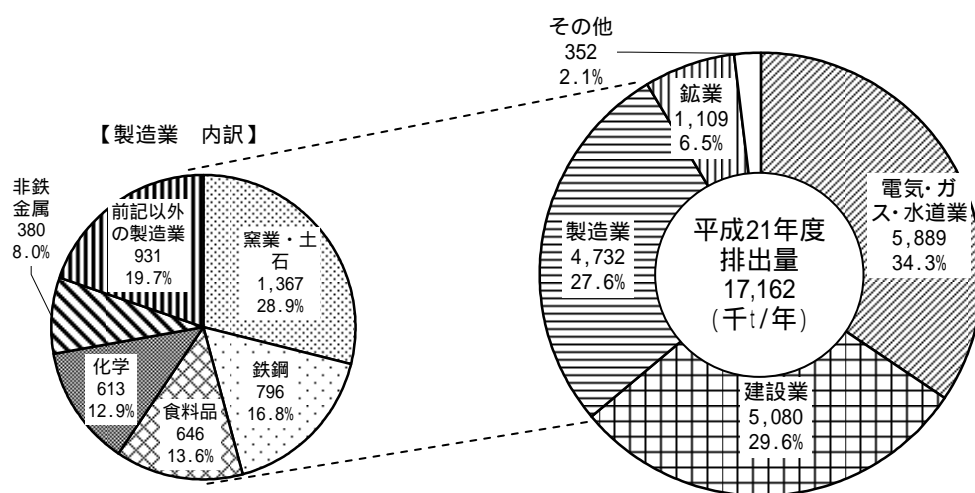


図 3-1-1 業種別の排出量 (平成21年度)

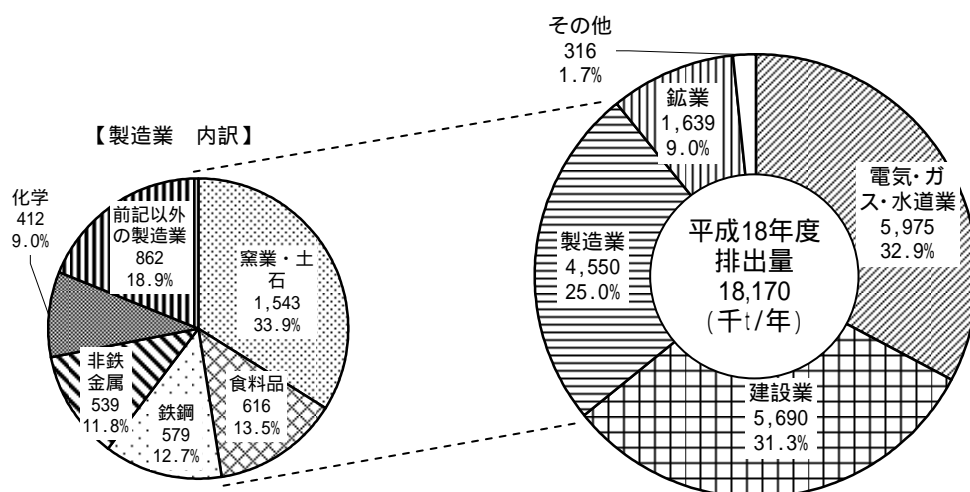


図 3-1-2 業種別の排出量 (平成18年度)

2. 種類別

排出量を種類別にみると、有機性汚泥が 5,950 千ト(34.7%)、無機性汚泥が 4,500 ト(26.2%)、がれき類が 3,666 千ト(21.4%)と、この 3 種類で全体の 82.3%を占めている。

前回調査と比較すると、上位 3 種類の比率は同様であるものの、量的にみると 3 種類全て減少している。特に無機性汚泥については、建設汚泥の減少などにより、減少傾向を示している。

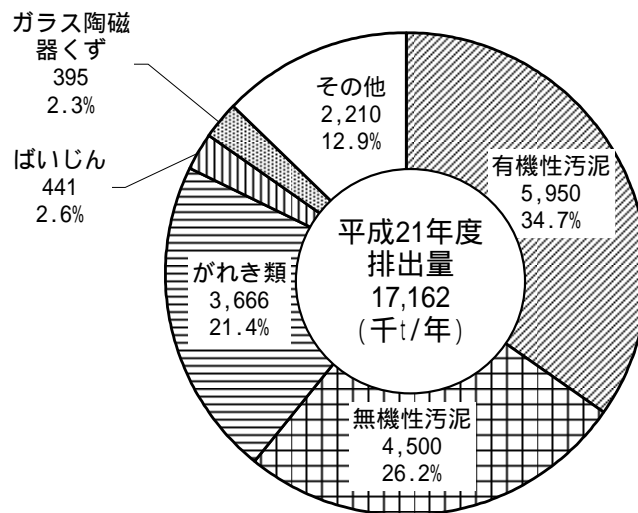


図 3-1-3 種類別の排出量 (平成 21 年度)

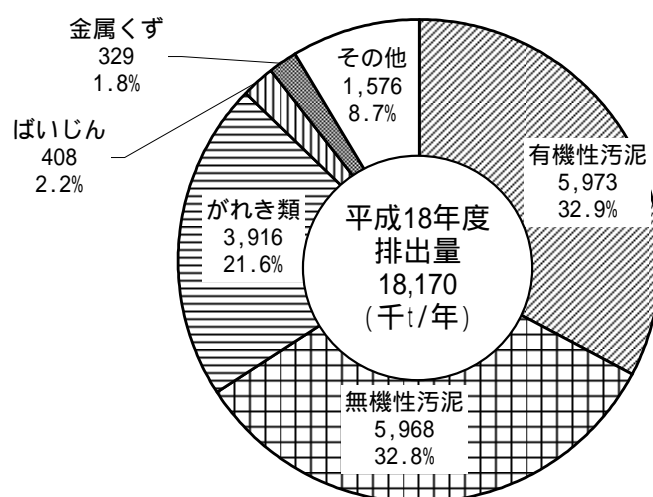


図 3-1-4 種類別の排出量 (平成 18 年度)

3. 地区別

排出量を地区別にみると、県所管地区が7,326千ト(42.7%)で最も多く、次いで、横浜地区が5,641千ト(32.9%)、川崎地区が2,841千ト(16.6%)、相模原地区が880千ト(5.1%)、横須賀地区が475千ト(2.8%)となっており、前回調査と比較して、相模原地区と横須賀地区の順位が逆転している。

量的にみると横浜地区と川崎地区、横須賀地区が前回調査よりも減少し、県所管地区と相模原地区が増加している。

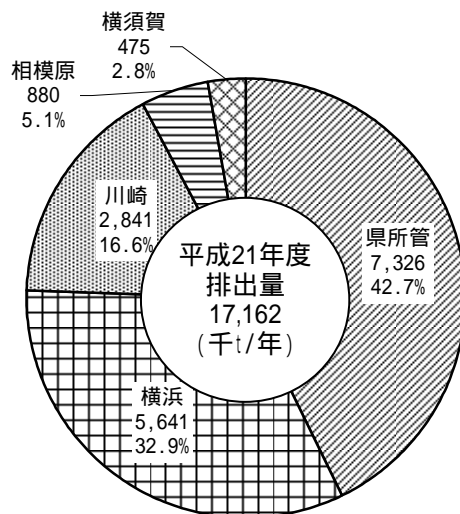


図 3-1-5 地区別の排出量 (平成 2 1 年度)

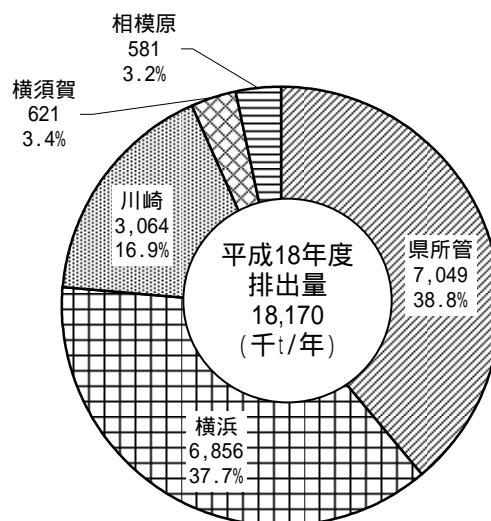


図 3-1-6 地区別の排出量 (平成 1 8 年度)

表 3-1-1 発生量及び排出量の比較：業種別

(単位：千 t /年)

産業分類	平成21年度		平成18年度		増減量 (H21-H18)		増減率 (H21-H18) /H18	
	発生量	排出量	発生量	排出量	発生量	排出量	発生量 %	排出量 %
合計	19,466	17,162	21,204	18,170	-1,738	-1,008	-8%	-6%
農林漁業	205	205	208	182	-3	23	-2%	13%
鉱業	1,109	1,109	1,639	1,639	-530	-530	-32%	-32%
建設業	5,177	5,080	5,697	5,690	-520	-610	-9%	-11%
製造業	6,881	4,732	7,535	4,550	-653	181	-9%	4%
電気・ガス・水道業	5,917	5,889	5,980	5,975	-64	-86	-1%	-1%
情報通信機器	0	0	6	0	-5	0	-98%	-43%
運輸業	21	18	19	17	2	1	10%	6%
卸・小売業	75	56	50	47	24	8	49%	18%
医療・福祉	39	39	21	21	19	19	91%	90%
サービス業	43	34	50	49	-7	-15	-14%	-31%

表 3-1-2 発生量及び排出量の比較：種類別

(単位：千 t /年)

	平成21年度		平成18年度		増減量 (H21-H18)		増減率 (H21-H18) /H18	
	発生量	排出量	発生量	排出量	発生量	排出量	発生量 %	排出量 %
合計	19,466	17,162	21,204	18,170	-1,738	-1,008	-8%	-6%
燃え殻	36	34	21	21	15	13	71%	62%
有機性汚泥	5,952	5,950	5,973	5,973	-21	-22	0%	0%
無機性汚泥	4,530	4,500	6,140	5,968	-1,610	-1,468	-26%	-25%
廃油	221	203	154	145	67	58	43%	40%
廃酸	201	198	103	101	97	96	94%	95%
廃アルカリ	144	144	110	110	33	33	30%	30%
廃プラスチック類	307	291	218	210	89	82	41%	39%
紙くず	174	155	110	80	64	75	58%	94%
木くず	311	310	235	234	76	76	32%	33%
繊維くず	4	4	2	2	2	2	89%	89%
動植物性残さ	130	97	115	81	15	16	13%	20%
動物系固形不要物	7	7	1	1	6	6	673%	673%
ゴムくず	0	0	2	2	-2	-2	-88%	-89%
金属くず	740	343	1,110	329	-370	14	-33%	4%
ガラス陶磁器くず	395	395	293	292	103	103	35%	35%
鉱さい	1,915	165	2,028	81	-114	84	-6%	104%
がれき類	3,673	3,666	3,917	3,916	-244	-250	-6%	-6%
ばいじん	464	441	428	408	36	34	8%	8%
動物のふん尿	196	196	207	181	-11	15	-5%	8%
動物の死体	8	8	0	0	8	8	1573%	1573%
その他の産業廃棄物	58	56	36	36	22	20	60%	55%

表 3-1-3 発生量及び排出量の比較：地区別

(単位：千t/年)

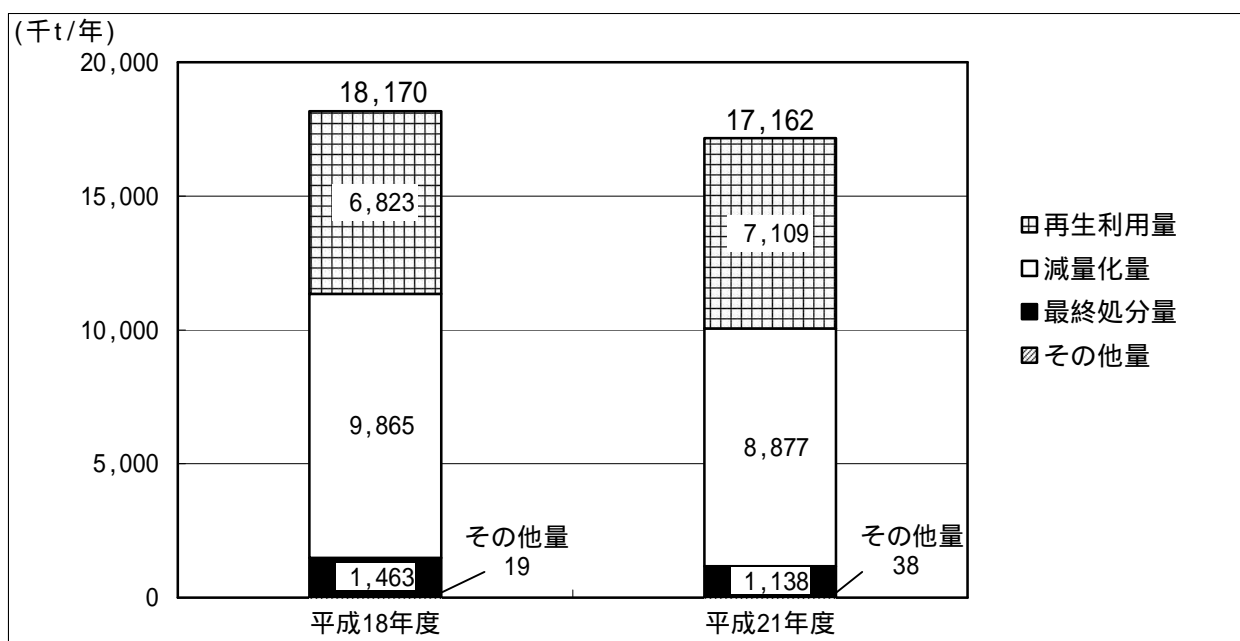
		平成21年度		平成18年度		増減量 (H21-H18)		増減率 (H21-H18)/H18	
		発生量	排出量	発生量	排出量	発生量	排出量	発生量	排出量
合 計		19,466	17,162	21,204	18,170	-1,738	-1,008	-8%	-6%
横 浜 地 区		5,768	5,641	6,974	6,856	-1,205	-1,215	-17%	-18%
業 種	建設業	2,236	2,191	2,768	2,765	-532	-574	-19%	-21%
	製造業	1,306	1,242	2,224	2,118	-918	-876	-41%	-41%
	電気・ガス・水道業	2,130	2,118	1,931	1,925	200	193	10%	10%
種 類	有機性汚泥	1,803	1,802	1,767	1,767	36	35	2%	2%
	無機性汚泥	1,306	1,304	2,830	2,817	-1,524	-1,513	-54%	-54%
	鉱さい	2	2	4	4	-2	-2	-48%	-48%
	がれき類	1,488	1,485	1,651	1,651	-163	-166	-10%	-10%
川 崎 地 区		4,676	2,841	5,666	3,064	-991	-223	-17%	-7%
業 種	建設業	706	706	751	751	-45	-45	-6%	-6%
	製造業	3,618	1,811	3,974	1,373	-356	438	-9%	32%
	電気・ガス・水道業	326	311	926	926	-600	-615	-65%	-66%
種 類	有機性汚泥	827	826	1,200	1,200	-373	-374	-31%	-31%
	無機性汚泥	665	641	945	788	-280	-147	-30%	-19%
	鉱さい	1,909	159	1,968	33	-59	126	-3%	376%
	がれき類	532	528	483	483	49	45	10%	9%
横 須 賀 地 区		504	475	671	621	-168	-145	-25%	-23%
業 種	建設業	180	180	250	250	-70	-70	-28%	-28%
	製造業	95	67	140	89	-45	-22	-32%	-25%
	電気・ガス・水道業	217	217	259	259	-42	-42	-16%	-16%
種 類	有機性汚泥	221	221	264	264	-43	-43	-16%	-16%
	無機性汚泥	51	51	74	74	-23	-23	-31%	-31%
	鉱さい	0	0	0	0	0	0	184%	184%
	がれき類	128	128	180	180	-52	-52	-29%	-29%
相 模 原 地 区		905	880	599	581	305	299	51%	52%
業 種	建設業	380	374	380	380	0	-5	0%	-1%
	製造業	365	346	150	133	214	213	143%	161%
	電気・ガス・水道業	76	76	59	59	17	17	28%	28%
種 類	有機性汚泥	28	28	15	15	14	14	95%	95%
	無機性汚泥	347	347	106	106	242	242	229%	229%
	鉱さい	0	0	0	0	0	0	1135%	1135%
	がれき類	280	280	337	337	-57	-57	-17%	-17%
県 所 管 地 区		7,613	7,326	7,293	7,049	320	277	4%	4%
業 種	建設業	1,675	1,629	1,548	1,545	127	85	8%	5%
	製造業	1,498	1,265	1,048	837	451	428	43%	51%
	電気・ガス・水道業	3,167	3,167	2,805	2,805	363	363	13%	13%
種 類	有機性汚泥	3,073	3,073	2,727	2,727	346	346	13%	13%
	無機性汚泥	2,161	2,157	2,186	2,184	-25	-27	-1%	-1%
	鉱さい	3	3	57	44	-54	-41	-95%	-93%
	がれき類	1,244	1,244	1,265	1,264	-21	-20	-2%	-2%

第2節 処理状況

1. 概要

前回調査と比較すると、排出量は1,008千ト、最終処分量は325千ト、減量化量は988千トそれぞれ減少しているが、再生利用量は285千ト、その他量は20千ト増加している。

排出量に対する割合をみると、再生利用率が37.6%から41.4%と3.8ポイント増加し、最終処分量率は8.1%から6.6%と1.5ポイント減少している。



	発生量	有償物量	排出量	減量化量	再生利用量	最終処分量	その他量
平成21年度	19,466 <100.0%>	2,304 <11.8%>	17,162 <88.2%> (100.0%)	8,877 (51.7%)	7,109 (41.4%)	1,138 (6.6%)	38 (0.2%)
平成18年度	21,204 <100.0%>	3,034 <14.3%>	18,170 <85.7%> (100.0%)	9,865 (54.3%)	6,823 (37.6%)	1,463 (8.1%)	19 (0.1%)
H21-H18	1,738	730	1,008	988	285	325	20

図 3-2-1 処理状況の比較

2. 再生利用量の比較

種類別にみると、上位3種類のがれき類、無機性汚泥、ばいじんは前回調査と同様な順位であり、ガラス陶磁器くずの再生利用量が増加している。業種別にみても、上位3業種の建設業、製造業、鉱業は前回調査と同様な順位である。

前回調査に比べ、排出量が減少し、再生利用量が増加しており、排出量に対する割合は前回 37.6% に対して 3.8 ポイント増加している。

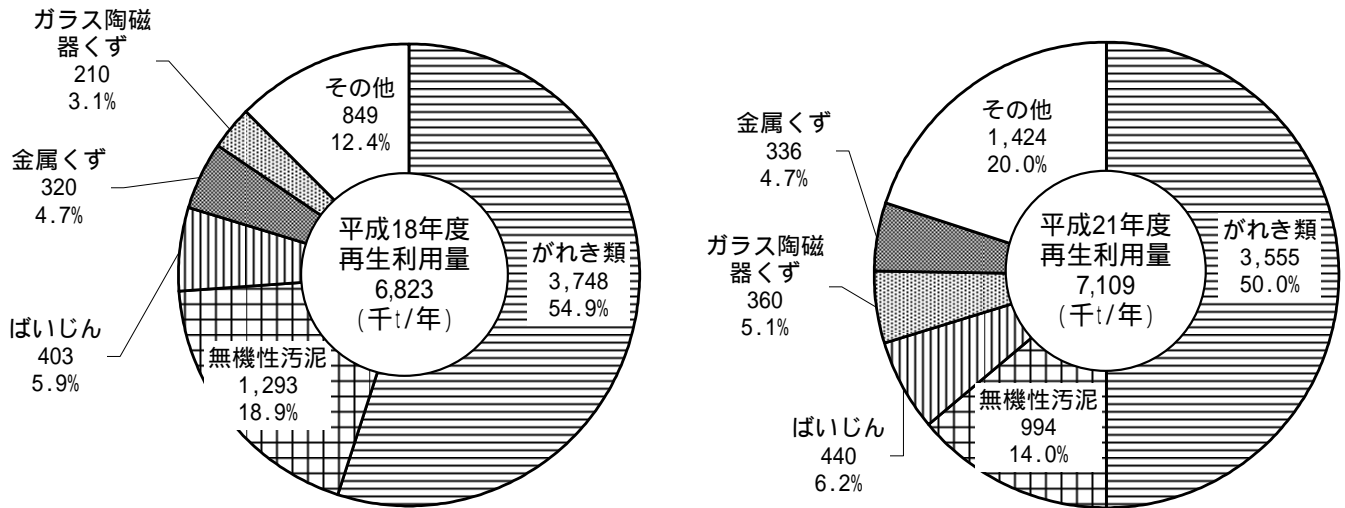


図 3-2-2 種類別の再生利用量

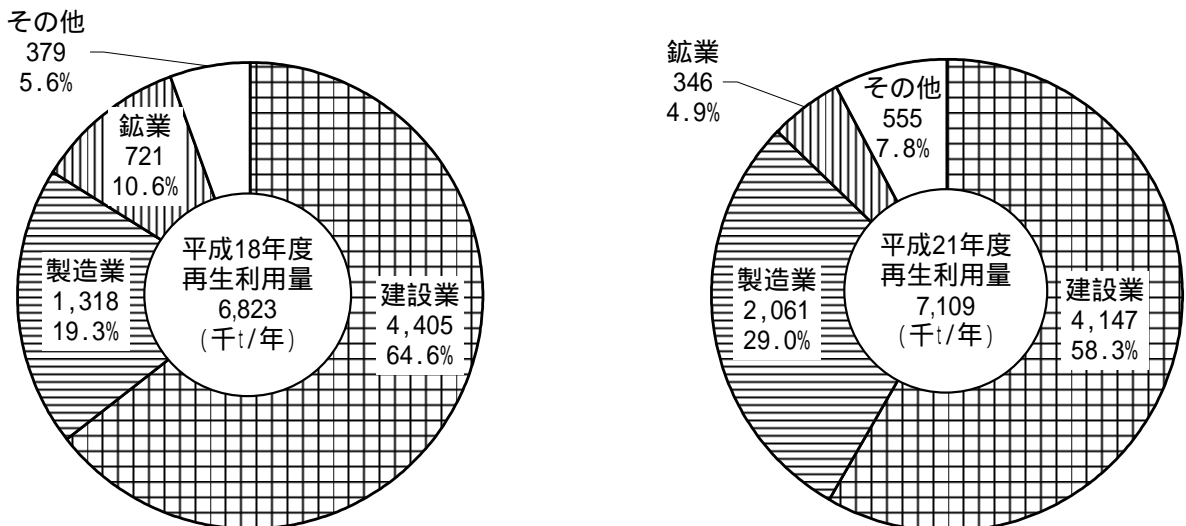


図 3-2-3 業種別の再生利用量

3. 最終処分量の比較

最終処分量は、排出量の6.6%にあたる1,138千トとなっている。

種類別にみると、上位2種類の無機性汚泥、がれき類は前回調査と同様な順位であり、量的には2種類とも減少している。業種別では前回調査と同様に建設業と製造業で全体の97.8%を占めており、量的には2業種とも減少している。

前回調査の最終処分量(1,463千ト)に比べ、325千ト減少し、排出量に対する割合は前回の8.1%から1.5ポイント減少している。

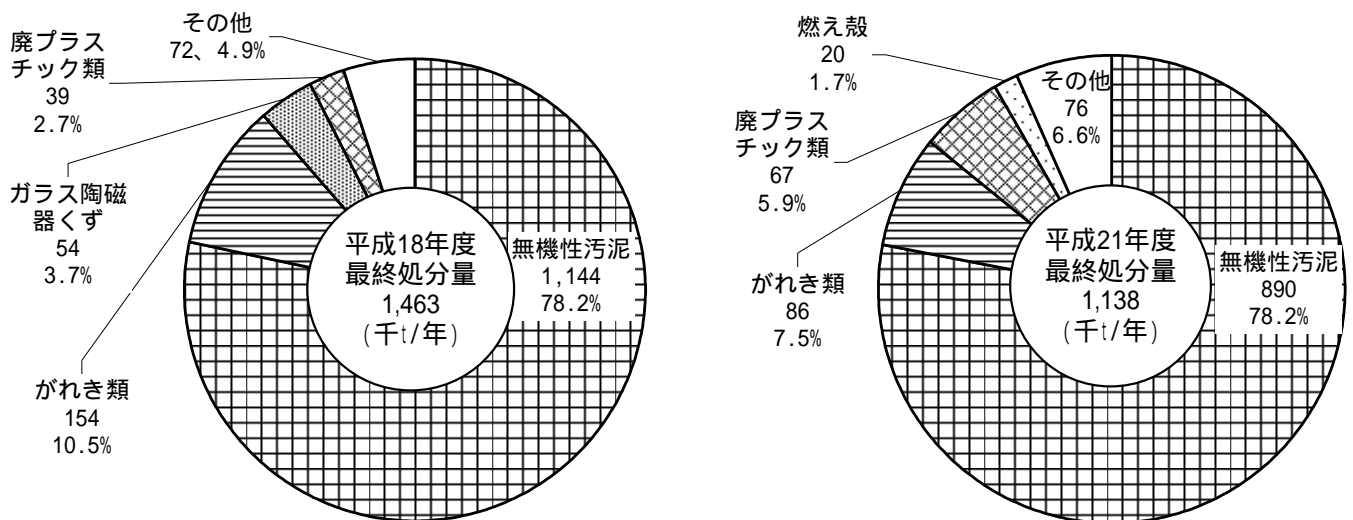


図 3-2-4 種類別の最終処分量

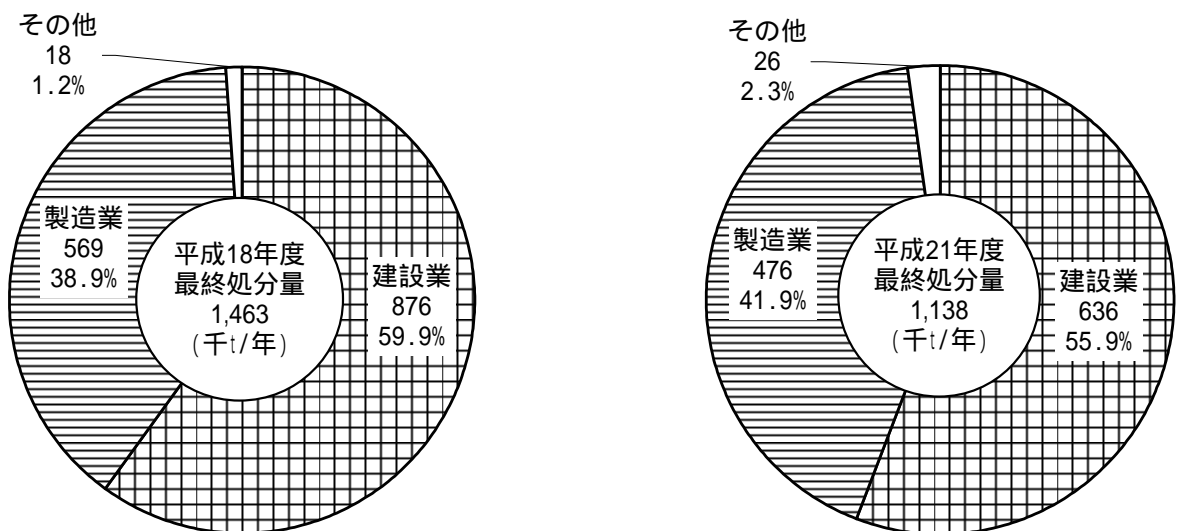


図 3-2-5 業種別の最終処分量

最終処分の形態別にみると、海洋投入量が 281 千ト、埋立処分量が 44 千ト減少している。海洋投入量が大幅に減少したため、海洋投入量が最終処分量に占める割合は、75.7%から 72.6%と 3.1 ポイント減少している。

埋立処分では、県内、県外処分の割合は大きな変動は見受けられなかった。

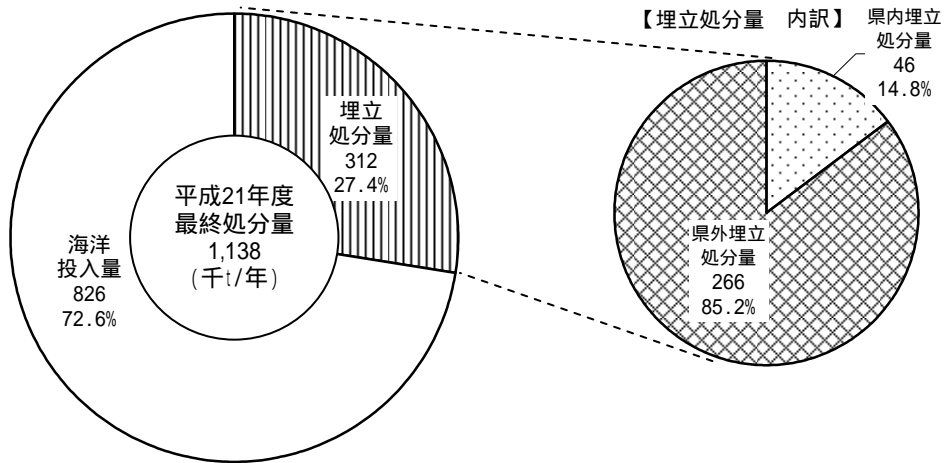


図 3-2-6 処理形態別の最終処分量 (平成 2 1 年度)

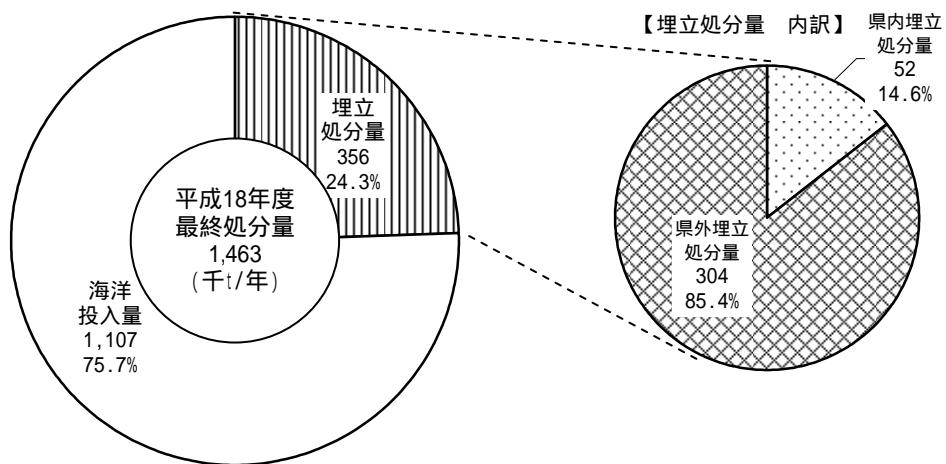


図 3-2-7 処理形態別の最終処分量 (平成 1 8 年度)

< 調查結果表 >

< 調査結果表 >

表 1 業種別・種類別の結果表 < 平成 21 年度 >

表1- 1	発生量	71
表1- 2	排出量	72
表1- 3	搬出量	73
表1- 4	再生利用量	74
表1- 5	資源化量	75
表1- 6	最終処分量	76
表1- 7	埋立処分量	77
表1- 8	海洋投入量	78
表1- 9	横浜地区における排出量	79
表1-10	川崎地区における排出量	80
表1-11	相模原地区における排出量	81
表1-12	横須賀地区における排出量	82
表1-13	県所管地区における排出量	83

表 2 発生及び処理状況の結果表 < 平成 21 年度 >

表2- 1	発生及び処理状況（業種別）	84
表2- 2	発生及び処理状況（種類別：変換）	87

表 3 各業種における発生及び処理状況の結果表（種類別：変換） < 平成 21 年度 >

表3- 1	発生及び処理状況（農業 種類別：変換）	90
表3- 2	発生及び処理状況（林業 種類別：変換）	93
表3- 3	発生及び処理状況（漁業 種類別：変換）	96
表3- 4	発生及び処理状況（鉱業 種類別：変換）	99
表3- 5	発生及び処理状況（建設業 種類別：変換）	102
表3- 6	発生及び処理状況（製造業 種類別：変換）	105
表3-6-1	発生及び処理状況（製造業大規模（300人以上）事業所 種類別：変換）	108
表3-6-2	発生及び処理状況（製造業中小規模（300人未満）事業所 種類別：変換）	111

表3- 7	発生及び処理状況（電気・ガス・水道業 種類別：変換）	114
表3- 8	発生及び処理状況（情報通信業 種類別：変換）	117
表3- 9	発生及び処理状況（運輸業 種類別：変換）	120
表3-10	発生及び処理状況（卸・小売業 種類別：変換）	123
表3-11	発生及び処理状況（医療・福祉 種類別：変換）	126
表3-12	発生及び処理状況（サービス業・種類別：変換）	129

表 4 発生及び処理状況の結果表（種類別：無変換）＜平成21年度＞

表4- 1	発生及び処理状況（全業種 種類別：無変換）	132
-------	-----------------------	-----

表 5 各地区における発生及び処理状況の結果表（業種別）＜平成21年度＞

表5- 1	発生及び処理状況（横浜地区 業種別）	135
表5- 2	発生及び処理状況（川崎地区 業種別）	138
表5- 3	発生及び処理状況（相模原地区 業種別）	141
表5- 4	発生及び処理状況（横須賀地区 業種別）	144
表5- 5	発生及び処理状況（県所管地区 業種別）	147

表 6 各地区における発生及び処理状況の結果表（種類別：変換）＜平成21年度＞

表6- 1	発生及び処理状況（横浜地区 種類別：変換）	150
表6- 2	発生及び処理状況（川崎地区 種類別：変換）	153
表6- 3	発生及び処理状況（相模原地区 種類別：変換）	156
表6- 4	発生及び処理状況（横須賀地区 種類別：変換）	159
表6- 5	発生及び処理状況（県所管地区 種類別：変換）	162

表1-11 相模原地区における排出量（業種別・種類別） <平成21年度>

業種 種類	製											電・											情報通信業	運輸業	卸売業	医療福祉	サービス												
	農	林	漁	鉱	建設	製造業	食品	飲料	繊維	木材	家具	紙	印刷	化学	石油	石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業	鉄	非鉄						金	はん	生産	業務	電子	電気	情報	通信	機器	輸送	用	機器
合計	890	27			36	374	346	16	1	0	0	5	2	5	2	5	1	0	231	27	2	10	9	6	4	7	1	0	12	1	76	1	0	1	7	11	2		
燃え殻	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥	376	0			36	52	210	9	0	0	0	0	2	0	0	0	0	185	8	1	1	1	0	1	1	1	0	2	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0	
有機性汚泥	28				0	28	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無機性汚泥	347	0			36	52	183	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	166	8	0	1	1	0	1	1	0	2	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃油	12				1	9	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
一般廃油	7				0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
廃溶剤	1				0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
固形油	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
油でい	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
油付着物類	4				1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	6				0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	8				0	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	29	0			8	15	2	0	0	0	0	1	1	0	4	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4	1	0	0	
廃プラスチック	26	0			8	15	2	0	0	0	0	1	1	0	4	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	
廃タイヤ	3				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
紙くず	4				1	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	24				20	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	5				5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	40	0			0	4	34	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	16	0	0	0	5	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	56	0			16	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙さい	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	280				272	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート片	145				138	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック	107				106	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	28				27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物のふん尿	25	25																																					
動物の死体	2	2																																					
その他の産業廃棄物	12				0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(単位：千t/年)

表2-1 発生及び処理状況（業種別） <平成21年度>（その1）

区分	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量	
	発生量			排出量			自己中間処理後量				再生利用量		（自己未処理の処理内訳）			（処理先地域の内訳）			
	(A) (B+C)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	
種別	19,466	2,304	17,162	9,451	1,362	660	3	360	332	7	7,711	410	1	7,164	104	32	8,002	4	
合 計	19,466	2,304	17,162	9,451	1,362	660	3	360	332	7	7,711	410	1	7,164	104	32	8,002	4	
農業	205	0	205	53	36	32				4	151	1		127	23	154			
林業	0	0	0								0			0		0			
漁業	0	0	0								0			0		0			
鉱業	1,109	1,109	1,109	1,109	346	346					0			0		0			
建設業	5,177	97	5,080	141	61	48		11	1	0	4,940	0		4,903	35	1	4,952		
製造業	6,881	2,149	4,732	2,666	833	221	3	278	329	2	2,066	409	1	1,586	66	4	2,270	4	
食料品	659	13	646	518	25	14		11	0	0	128			126	1	0	139		
飲料・飼料	116	30	86	25	2	2		2	0	0	62	0		61	0	0	64		
繊維	5	0	5	4	0	0		0	0	0	1	0		1	0	0	1	0	
木材	2	0	2	0	0	0		0	0	0	1	0		1	0	0	1	0	
家具	12	3	9	1	0	0		0	0	0	8	0		8	0	0	8		
ハルブ・紙	158	14	144	11	6	6		1	1	133	131	2		131	2	0	133		
印刷	38	5	33	13	1	3		1	0	20	20	0		20	0	0	21		
化学	631	19	613	404	38	3	3	29	2	1	209	0		208	1	0	244	3	
石油・石炭	100	6	94	63	14	6		14	0	31	31	0		31	0	0	45		
プラスチック	49	10	39	8	5	3		2	0	31	31	0		30	1	0	33		
ゴム	31	3	28	14	0	0		0	0	14	14	0		14	0	0	14		
皮革	0	0	0							0	0	0		0	0	0	0		
窯業・土石	1,397	29	1,367	1,011	321	143		176	1	1	356	5		349	1	530	349	1	
鉄鋼	2,618	1,822	796	136	62	50		12	12	660	404			200	56	269	269		
非鉄金属	382	2	380	362	333	1		7	325	17	17			17	0	0	349		
金属	147	32	115	38	14	0		14	0	77	77	0		73	0	4	91		
はん用機器	39	11	28	4	1	0		1	0	24	24	0		24	0	0	25		
生産用機器	37	12	24	0	0	0		0	0	24	24	0		24	0	0	24		
業務用機器	25	4	21	1	0	0		0	0	20	20	0		20	0	0	20		
電子部品	37	7	30	4	1	0		1	0	25	25	0		25	0	0	26		
電気機器	25	5	19	0	0	0		0	0	19	19	0		19	0	0	19		
情報通信機器	8	1	7	1	0	0		0	0	5	5	0		5	0	0	5		
輸送機器	350	116	234	46	7	1		6	0	188	188	0		188	0	0	194		
その他	14	2	12	1	0	0		0	0	11	11	0		9	1	0	11		
電気・ガス・水道業	5,917	28	5,889	5,476	84	14		69	0	1	413	0		409	0	3	483		
電気業	327	27	300	48	1	0		1	0	252	252	0		252	0	0	253		
ガス業	0	0	0							0	0	0		0	0	0	0		
熱供給業	0	0	0							0	0	0		0	0	0	0		
水道業	562	0	562	403	24	7		17	0	158	158	0		155	0	3	175		
下水道業	5,027	0	5,027	5,025	59	7		51	0	2	2	0		2	0	0	54		
情報通信業	0	0	0							0	0	0		0	0	0	0		
運輸業	21	2	18	0	0	0		0	0	18	18	0		18	0	0	18		
卸・小売業	75	19	56	1	1	1		0	1	55	54	1		54	1	0	56		
医療・福祉	39	0	39	1	1	1		1	0	38	38	0		38	0	0	39		
サービス業	43	9	34	4	0	0		0	0	30	29	1		29	1	0	31	0	

(単位：千t/年)

表2-1 発生及び処理状況（業種別） <平成21年度>（その2）

種 類	区分委託処理量												委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量	
	委託直接最終処分量			委託中間処理量			委託中間処理後量			再生利用量		最終処分量		その他量		再生利用量		最終処分量		その他量						
	(K) (O+L)	(O)	(L)	(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)	(処理先地域の内訳)	(委託処理後の処理内訳)		(M)	(M1)	(M2)	(R) (E+G+H+I)	(Q) (I+O+M2)	(O1) (O2)	(O3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)								
				処理業者	自治体			県内	県外										処理業者	自治体	県内	県外				
合 計	7,959	436	423	12	358	78	7,524	7,513	11	6,363	1,161	6,736	6,038	698	7,109	1,138	4	45	1,088	38	9,413					
農業	127						127	127		122	5	103	103								27	136				
林業	0						0	0		0	0	0	0								0	0				
漁業	0						0	0		0	0	0	0								0	0				
鉱業	0						0	0		0	0	0	0								346	346				
建設業	4,951	37	27	10	29	8	4,915	4,912	3	4,713	201	4,698	4,099	599	4,147	636	28	608	608	1	4,243					
製造業	2,259	395	393	2	328	67	1,864	1,858	5	1,219	645	1,509	1,432	77	2,061	476	4	13	459	6	4,211					
食料品	138	1	1	0	1	137	136	1	1	70	67	115	106	10	120	11	2	9	9	0	133					
飲料・飼料	64	0	0	0	0	63	63	0	0	49	14	51	50	1	50	0	0	0	1	0	60					
繊維	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1					
木材	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1					
家具	8	0	0	0	0	8	8	0	0	7	1	6	6	0	6	0	0	0	0	0	9					
ハルブ・紙	133	2	0	1	1	132	131	1	1	122	10	129	128	1	134	2	1	1	1	1	148					
印刷	21	0	0	0	0	21	21	0	0	13	8	12	11	1	11	1	0	0	1	1	16					
化学	240	4	3	1	1	3	236	236	0	84	152	164	150	14	153	20	3	3	15	1	172					
石油・石炭	45	0	0	0	0	45	45	0	0	5	41	30	30	0	30	0	0	0	0	0	37					
プラスチック	33	1	1	1	0	1	32	32	0	20	13	23	22	2	25	3	0	0	2	0	35					
ゴム	14	0	0	0	0	14	14	0	0	13	1	9	8	1	8	1	0	0	0	0	11					
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
窯業・土石	527	2	2	0	0	2	525	525	0	383	142	456	438	18	586	21	1	2	19	1	615					
鉄鋼	269	56	56	0	56	212	212	0	0	137	76	174	167	7	620	63	1	1	62	0	2,442					
非鉄金属	349	326	326	11	325	24	24	24	0	11	13	18	16	2	17	327	0	0	327	0	19					
金属	88	0	0	0	0	87	87	0	0	42	45	63	56	8	56	8	1	1	7	4	88					
はん用機器	25	0	0	0	0	25	25	0	0	19	6	20	19	1	19	1	0	0	1	0	30					
生産用機器	24	0	0	0	0	24	24	0	0	20	5	18	16	3	16	3	0	0	3	0	28					
業務用機器	20	0	0	0	0	20	20	0	0	13	7	12	12	1	12	1	0	0	1	0	16					
電子部品	26	0	0	0	0	26	26	0	0	18	8	13	13	0	13	1	0	0	1	1	20					
電気機器	19	0	0	0	0	19	19	0	0	15	4	14	13	1	13	1	0	0	1	1	18					
情報通信機器	5	0	0	0	0	5	5	0	0	5	0	5	5	0	5	0	0	0	0	0	6					
輸送機器	194	1	1	1	1	194	194	0	0	164	30	164	160	4	161	4	1	1	4	1	277					
その他	11	1	1	1	0	9	9	0	0	7	2	7	6	1	6	2	0	2	2	0	9					
電気・ガス・水道業	479	0	0	0	0	478	477	1	1	205	274	318	314	4	329	4	1	1	4	4	356					
電気業	253	0	0	0	0	253	253	0	0	26	227	247	243	4	243	4	0	0	4	0	271					
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
水道業	172	0	0	0	0	172	172	0	0	169	4	20	20	0	27	0	0	0	0	0	27					
下水道業	53	0	0	0	0	53	52	1	1	10	43	52	51	0	59	1	0	0	0	1	59					
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
運輸業	18	0	0	0	0	18	18	0	0	17	1	17	15	2	15	2	0	0	0	0	17					
卸・小売業	56	2	2	0	0	54	54	2	2	40	14	49	44	4	44	6	1	5	0	0	64					
医療・福祉	39	0	0	0	0	39	38	1	1	31	7	20	10	10	10	10	2	8	0	0	11					
サービス業	30	1	1	1	1	29	29	0	0	15	14	23	21	2	21	3	0	0	3	0	30					

表2-1 発生及び処理状況（業種別） <平成21年度>（その3）

（単位：千t/年）

区分	最終処分量	処理主体の内訳						業者最終処分量(県外)	業者最終処分量(県内)	業者最終処分量(県外)	業者最終処分量(県内)	海洋投入量	海洋投入量					
		自己埋立処分		自治体		処理主体の内訳								埋立処分量	埋立処分量	埋立処分量	埋立処分量	埋立処分量
		県内	県外	県内	県外	県内	県外											
(0)		(01_1)	(01_2)	(02_1)	(02_2)	(03_1)	(03_2)	(03_3)	(03_4)									
種類																		
合計	1,138	4	45	0	1	825	261	0										
農業	0																	
林業	0																	
漁業																		
鉱業																		
建設業	636																	
製造業	476	4	28	0	1	500	107											
食料品	11																	
飲料・飼料	1																	
繊維	0																	
木材	1																	
家具	1																	
パルプ・紙	2																	
印刷	1																	
化学	20	3	3	0	0	0	15	0										
石油・石炭	0																	
プラスチック	3																	
ゴム	1																	
皮革	0																	
窯業・土石	21	1	2	0	0	0	19	0										
鉄鋼	63																	
非鉄金属	327																	
金属	8																	
はん用機器	2																	
生産用機器	3																	
業務用機器	2																	
電子部品	1																	
電気機器	1																	
情報通信機器	0																	
輸送機器	4																	
その他	2																	
電気・ガス・水道業	4																	
電気業	4																	
ガス業	0																	
熱供給業	0																	
上水道業	0																	
下水道業	1																	
情報通信業	0																	
運輸業	2																	
卸・小売業	6																	
医療・福祉	10																	
サービス業	3																	

表2-2 発生及び処理状況（種類別：変換） < 平成21年度 > （その2）

種 類	区分委託処理量												委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量			最終処分量			その他量									
	(K) (O+L)		(O)		処理業者		自治体		県内		県外		(L)		処理業者		自治体		県内		県外		(M)		(M1)		(M2)		(R) (E+G+H+I)		(O) (I+O+M2)		(J) (E+G5)		(S) (B+R)	
	委託直接最終処分量		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳	
	(K)	(L)	(O)	処理業者	自治体	県内	県外	(L)	処理業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(O)	(J)	(S)																	
合 計	7,969	436	423	12	358	78	7,524	7,513	11	6,363	1,161	6,736	6,038	698	7,109	1,138	4	45	1,088	38	9,413															
燃え殻	61	2	2	0	0	2	59	59	0	18	41	122	105	17	113	20	1	3	16	0	114															
汚泥	2,018	380	377	3	347	33	1,638	1,638	1	1,335	303	1,126	615	512	1,195	895	3	5	887	3	1,227															
有機性汚泥	251	2	0	2	2	0	249	249	0	131	118	185	184	1	201	6	2	2	2	0	203															
無機性汚泥	1,767	378	377	1	345	33	1,389	1,388	1	1,204	185	942	431	510	994	890	1	3	885	3	1,024															
廃油	150						150	149	0	74	76	78	78		80						98															
一般廃油	94						94	94	0	47	47	56	56		56						71															
廃溶剤	16						16	16	0	6	11	5	5		5						7															
固形油	1						1	1	0	0	1	1	1		2						2															
油でい	6						6	5	0	2	4	3	3		4						4															
油付着物類	32						32	32	0	20	12	14	14		14						14															
廃酸	73						73	73		39	35	18	18		18						21															
廃アルカリ	82						82	82	0	36	46	10	10		11						2															
廃プラスチック類	283	7	6	1	1	5	276	274	3	220	56	224	164	61	168	67	13	54	0	184																
廃プラスチック	272	7	6	1	1	5	265	263	3	212	53	214	153	61	157	67	13	54	0	171																
廃タイヤ	11						11	11	0	8	3	11	11		11						13															
紙くず	144	0	0			0	144	143	1	134	11	142	142		147						166															
木くず	306	1	1			1	305	302	3	263	42	296	292	4	292	5	0	5	0	293																
繊維くず	4	0	0	0	0	0	4	4	0	4	1	4	4		4					4																
動植物性残さ	96	0	0	0	0	0	96	95	1	51	44	71	70	1	70	1	0	1	0	103																
動物系固形不要物	7						7	7		7	7	7	7		7					7																
ゴムくず	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0		0					0																
金属くず	286	3	3			3	283	283	0	250	33	283	279	4	336	7	1	6	0	733																
ガラス陶磁器くず	372	5	4	1	2	3	367	367	0	299	67	362	348	14	360	19	4	15	2	360																
鉱さい	22	16	16			16	6	6	3	3	3	6	6		149	16	0	16	0	1,899																
がれき類	3,612	17	10	7	8	9	3,595	3,594	1	3,465	130	3,577	3,509	69	3,555	86	16	69	0	3,563																
コンクリート片	1,689	2	1	0	1	1	1,687	1,687	0	1,626	61	1,686	1,666	20	1,668	22	2	21	0	1,674																
廃アスファルト	1,284	0	0	0	0	0	1,283	1,283	0	1,277	7	1,283	1,283	1	1,316	1	0	1	0	1,316																
その他	639	15	8	7	7	8	624	624	0	562	62	608	560	48	572	63	15	48	0	572																
ばいじん	261	0	0			0	261	261		13	248	261	260	1	440	1	0	1	0	463																
動物のふん尿	122						122	122		122		98	98		130					130																
動物の死体	5						5	5		5		4	4		5					5																
その他の産業廃棄物	54	5	5			5	50	49	1	36	13	47	31	16	31	21	3	18	0	34																

(単位：千t/年)

表3-1 発生及び処理状況（農業 種類別：変換） < 平成21年度 > （その1）

区 分	自己未処理量										搬出量		自己最終処分量					
	自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			自己未処理の処理内訳			再生 利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内	県外		
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1) 再生 利用量	(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量								(E5) その他量	(G)
	発生量	有償物量	排出量	自己中間処理後量	自己中間処理後の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳	自己未処理の処理内訳
種 類	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)
合 計	205	0	205	53	36	32	0	0	4	151	1	127	23	154				
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油																		
一般廃油																		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物類																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他																		
ばいじん																		
動物のふん尿	196	196	50	34	31	0	4	146	1	122	23	149						
動物の死体	8	8	3	1	1	5												
その他の産業廃棄物																		

(単位：千t/年)

表3-2 発生及び処理状況（林業 種類別：変換） < 平成21年度 > （その1）

区 分	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量		自己未処理量				搬出量		自己最終処分量			
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	自己中間処理後量		自己未処理の処理内訳		再生 利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)		
						再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己中間 処理後 処理量 (E3)	委託中間 委託直接 最終処分量 (E4)								その他量 (E5)	
種 類	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)
合 計	0		0								0		0				0	
燃え殻																		
汚泥																		
有機性汚泥																		
無機性汚泥																		
廃油																		
一般廃油																		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物類																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類																		
廃プラスチック																		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず																		
ガラス陶磁器くず																		
鉱さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃プラスチック																		
その他																		
ばいじん																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
その他の産業廃棄物	0		0								0						0	

(単位：千t/年)

表3-2 発生及び処理状況（林業 種類別：変換） < 平成21年度 > （その2）

区 分	委託処理量										委託中間処理量			委託直接最終処分量			委託中間処理後量			委託処理後の処理内訳			再生 利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (O) (I+O+M2)	最終処分量			その他量 資源化量 (J) (E5+G5) (S) (B+R)
	委託処理量		委託中間処理量		委託直接最終処分量		委託中間処理後量		委託処理後の処理内訳		処理業者 (L)	委託中間処理後量 (M)	再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		事業者 (O1)	自治体 (O2)	処理業者 (O3)							
	(K) (O+L)	(O)	処理業者 (L)	自治体 (L)	県内 (L)	県外 (L)	処理業者 (L)	自治体 (L)	県内 (L)	県外 (L)					処理業者 (O1)	自治体 (O2)	処理業者 (O3)											
	(K) (O+L)	(O)	(L)	県内 (L)	県外 (L)	県内 (L)	県外 (L)	処理業者 (L)	自治体 (L)	県内 (L)	県外 (L)	(M)	(M1)	(M2)	(O)	(O1)	(O2)	(O3)										
種 類	(K) (O+L)	(O)	(L)	県内 (L)	県外 (L)	県内 (L)	県外 (L)	処理業者 (L)	自治体 (L)	県内 (L)	県外 (L)	(M)	(M1)	(M2)	(O)	(O1)	(O2)	(O3)	(R) (E1+G1+M1)	(I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)						
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
燃え殻																												
汚泥																												
有機性汚泥																												
無機性汚泥																												
廃油																												
一般廃油																												
廃溶剤																												
固形油																												
油でい																												
油付着物類																												
廃酸																												
廃アルカリ																												
廃プラスチック類																												
廃プラスチック																												
廃タイヤ																												
紙くず																												
木くず																												
繊維くず																												
動植物性残さ																												
動物系固形不要物																												
ゴムくず																												
金属くず																												
ガラス陶磁器くず																												
鉱さい																												
がれき類																												
コンクリート片																												
廃アスファルト																												
その他																												
ばいじん																												
動物のふん尿																												
動物の死体																												
その他の産業廃棄物	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						

(単位：千t/年)

表3-3 発生及び処理状況（漁業 種類別：変換） < 平成21年度 > （その1）

区 分	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量		自己未処理量					搬出量		自己最終処分量			
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	自己中間処理後量		自己未処理の処理内訳		再生 利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
						再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)								その他量 (E5)	県内	県外
種 類	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(E2+G2)
合 計	0		0								0	0	0	0	0	0	0		
燃え殻																			
汚泥																			
有機性汚泥																			
無機性汚泥																			
廃油	0		0								0	0	0	0	0	0	0		
一般廃油	0		0								0	0	0	0	0	0	0		
廃溶剤																			
固形油																			
油でい																			
油付着物類																			
廃酸																			
廃アルカリ																			
廃プラスチック類	0		0								0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック	0		0								0	0	0	0	0	0	0		
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず																			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず																			
ガラス陶磁器くず																			
鉱さい																			
がれき類																			
コンクリート片																			
廃プラスチック																			
その他																			
ばいじん																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
その他の産業廃棄物																			

(単位：千t/年)

表3-3 発生及び処理状況（漁業 種類別：変換） <平成21年度> （その3）
 （単位：千t/年）

区 分	最終処分量	処理主体の内訳																	
		自己埋立処分		自治体		業者最終処分量(県外)													
		県内 (01_1)	県外 (01_2)	県内 (02_1)	県外 (02_2)	埋立 処分量 (03_1)	海洋 投入量 (03_2)	埋立 処分量 (03_3)	海洋 投入量 (03_4)										
種 類	(0)																		
合 計																			
燃え殻																			
汚泥																			
有機性汚泥																			
無機性汚泥																			
廃油																			
一般廃油																			
廃溶剤																			
固形油																			
油でい																			
油付着物類																			
廃酸																			
廃アルカリ																			
廃プラスチック類																			
廃プラスチック																			
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず																			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず																			
ガラス陶磁器くず																			
鉱さい																			
がれき類																			
コンクリート片																			
廃アスファルト																			
その他																			
ばいじん																			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
その他の産業廃棄物																			

表3-4 発生及び処理状況（鉱業 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区 分	自己中間処理量			自己未処理量					搬出量		自己最終処分量							
	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量		自己未処理後量			再生 利用量 (G1)	（自己未処理の処理内訳）		（処理先地域の内訳） 県内 県外						
				自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己最終 処分量 (G2)		委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)		その他量 (G5)					
														再生 利用量 (E1)	(E)	(D)	(E)	(G)
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	
合 計	1,109		1,109	1,109	346					0			0				0	
燃え殻																		
汚泥	1,109		1,109	1,109	346													
有機性汚泥																		
無機性汚泥	1,109		1,109	1,109	346													
廃油	0		0														0	
一般廃油	0		0														0	
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物類																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類																		
廃プラスチック																		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0		0														0	
金属くず	0		0														0	
ガラス陶磁器くず																		
鉱さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他																		
ばいじん																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
その他の産業廃棄物																		

(単位：千t/年)

表3-5 発生及び処理状況（建設業 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区 分 種 類	自己未処理量										自己最終処分量					
	自己中間処理後量					自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)				
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(自己未処理の処理内訳)							
						再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生 利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	
合計	5,177	97	5,080	141	61	48	11	1	0	4,940	0	4,903	35	1	4,952	
燃え殻	0	0	0							0		0			0	
汚泥	870		870	73	4		4			797		777	19		800	
有機性汚泥	5		5							5		4	1		5	
無機性汚泥	865		865	73	4		4			792		773	19		796	
廃油	19		19							19		19			19	
一般廃油	7		7							7		7			7	
廃溶剤	0		0							0		0			0	
固形油																
油でい																
油付着物類	12		12							12		12			12	
廃酸	0		0							0		0			0	
廃アルカリ	0		0							0		0			0	
廃プラスチック類	89		89	0	0	0	0	0	0	89		88	1	0	89	
廃プラスチック	89		89	0	0	0	0	0	0	89		88	1	0	89	
廃タイヤ	0		0							0		0			0	
紙くず	13		13	0	0	0	0	0	0	13		13		0	13	
木くず	242		242	2	1	0	0	0	0	239		239	0	0	240	
繊維くず	4		4	0	0	0	0	0	0	4		4		0	4	
動植物性残さ																
動物系固形不要物																
ゴムくず	0		0							0		0			0	
金属くず	144	93	51	1	1	1	0	0	0	50		50		0	50	
ガラス陶磁器くず	188	0	188	2	1		0	0	0	185		181	4	1	186	
鉱さい	0		0							0		0			0	
がれき類	3,607	3	3,604	62	54	47	7	1	3,542	0	0	3,531	11	0	3,550	
コンクリート片	1,665	3	1,662	4	4	2	2		1,659	0	0	1,658	1	0	1,661	
廃アスファルト	1,313	0	1,312	37	37	33	4		1,275	0	0	1,275	0	0	1,279	
その他	629		629	21	13	12	1	1	609			599	10		610	
ばいじん																
動物のふん尿																
動物の死体																
その他の産業廃棄物	1		1						1			1			1	

(単位：千t/年)

表3-5 発生及び処理状況（建設業 種類別：変換） < 平成21年度 > （その2）

種 類	区分委託処理量										委託中間処理量										最終処分量				再生 利用量		その他量	
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					再生 利用量		最終処分量		その他量								
	(K) (O+L)	(O)		(L)		(M)		(N2)		(R)		(S)		(B+R)		(J) (E5+G5)												
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	委託処理後の処理内訳	再生利用量	最終処分量	事業者	自治体	処理業者		(O) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)								
(O+L)	4,951	37	27	10	29	8	4,915	4,912	3	4,713	201	4,698	4,099	599	4,147	636	28	608	1	4,243								
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	18	3	18	3	1	2	0	18								
汚泥	800	19	19	1	19	1	781	781	0	765	17	589	97	491	97	510	1	509	0	97								
有機性汚泥	5	1	1	1	1	1	4	4	0	2	2	3	3	0	3	1	1	0	0	3								
無機性汚泥	796	19	19	0	19	0	777	777	0	763	14	585	94	491	94	510	0	509	0	94								
廃油	19	19	19	19	19	11	19	19	0	11	8	5	5	5	5	5	0	0	0	5								
一般廃油	7	7	7	7	7	3	7	7	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
油でい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
油付着物類	12	12	12	12	12	7	12	12	0	7	5	5	5	5	5	5	0	0	0	5								
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
廃プラスチック類	89	1	1	1	1	0	88	88	0	82	6	83	47	36	47	37	8	29	0	47								
廃プラスチック	89	1	1	1	1	0	88	88	0	82	6	83	47	36	47	37	8	29	0	47								
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
紙くず	13	0	0	0	0	0	13	13	0	10	3	12	12	0	12	0	0	0	0	12								
木くず	239	0	0	0	0	0	239	237	2	201	39	232	230	2	231	2	0	2	0	231								
繊維くず	4	0	0	0	0	0	4	4	0	4	1	4	4	0	4	0	0	0	0	4								
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
金属くず	50	0	0	0	0	0	50	50	0	47	3	50	50	0	51	0	0	0	0	144								
ガラス陶磁器くず	185	4	3	1	1	3	181	181	0	166	15	181	173	8	173	13	3	10	1	173								
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
がれき類	3,550	12	4	7	8	4	3,538	3,538	1	3,429	109	3,521	3,462	59	3,509	70	15	55	0	3,513								
コンクリート片	1,661	1	1	0	1	0	1,660	1,660	0	1,600	60	1,659	1,643	17	1,644	18	1	17	0	1,647								
廃アスファルト	1,279	0	0	0	0	0	1,279	1,279	0	1,273	7	1,279	1,279	0	1,312	0	0	0	0	1,313								
その他	610	11	4	7	7	4	599	599	0	557	42	582	540	42	553	53	14	38	0	553								
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
その他の産業廃棄物	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1								

(単位：千t/年)

表3-5 発生及び処理状況（建設業 種類別：変換） <平成21年度>（その3）
（単位：千t/年）

種 類	区 分	最終処分量	処理主体の内訳						
			自己埋立処分		自治体		業者最終処分量(県外)		
			県内 (01_1)	県外 (01_2)	県内 (02_1)	県外 (02_2)	業者最終処分量(県内) 埋立 処分量 (03_1)	業者最終処分量(県外) 埋立 処分量 (03_3)	海洋 投入量 (03_4)
(0)		636		28	0	1	500	107	
燃え殻		3		1		0		2	
汚泥		510		1		0	500	9	
有機性汚泥		1		1		0		0	
無機性汚泥		510		0		0	500	9	
廃油									
一般廃油									
廃溶剤									
固形油									
油でい									
油付着物類									
廃酸									
廃アルカリ									
廃プラスチック類		37		8		0		29	
廃プラスチック		37		8		0		29	
廃タイヤ									
紙くず		0						0	
木くず		2			0			2	
繊維くず		0						0	
動植物性残さ									
動物系固形不要物									
ゴムくず		0						0	
金属くず		0		0				0	
ガラス陶磁器くず		13		3		0		10	
鉱さい									
がれき類		70		15		0		55	
コンクリート片		18		1		0		16	
廃アスファルト		0		0				0	
その他		53		14		0		38	
ばいじん									
動物のふん尿									
動物の死体									
その他の産業廃棄物		0		0				0	

表3-6 発生及び処理状況（製造業 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区 分 種 類	自己未処理量										搬出量		自己最終処分量					
	自己中間処理後量					自己未処理量					再生 利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)		(自己未処理の処理内訳)										
						再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)				
合 計	6,881	2,149	4,732	2,666	833	221	3	278	329	2	2,066	409	1	1,586	66	4	2,270	4
燃え殻	3	1	2	7	1	1	1	3	2	0	2	0	0	2	0	0	8	1
汚泥	2,851	32	2,819	2,285	697	146	2	221	327	0	535	81	1	420	33	0	1,005	3
有機性汚泥	817	2	815	635	43	17	2	24	0	0	180	0	0	179	1	0	207	2
無機性汚泥	2,034	30	2,004	1,651	654	130	0	197	327	0	354	81	1	241	31	0	798	1
廃油	181	12	169	54	4	1	1	1	1	1	115	0	0	115	0	0	117	0
一般廃油	133	9	124	50	1	0	1	1	0	0	73	0	0	73	0	0	75	0
廃溶剤	18	2	16	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	16	0	0	16	0
固形油	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0
油でい	6	0	6	1	1	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0
油付着物類	21	0	21	2	1	0	0	0	0	0	19	0	0	19	0	0	19	0
廃酸	199	3	196	133	11	0	0	11	0	0	63	0	0	61	0	0	74	0
廃アルカリ	140	0	140	58	1	0	0	1	0	0	80	1	0	77	0	0	80	0
廃プラスチック類	170	13	157	13	8	4	4	4	0	0	144	0	0	141	3	0	148	0
廃プラスチック	169	13	156	13	8	4	4	4	0	0	144	0	0	140	3	0	147	0
廃タイヤ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
紙くず	160	19	142	11	6	5	1	1	0	0	131	0	0	131	0	0	131	0
木くず	64	1	63	2	0	0	0	0	0	0	61	0	0	60	1	0	62	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	130	34	97	1	1	0	0	1	0	0	95	0	0	95	0	0	97	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	541	270	271	51	51	50	0	0	0	0	220	6	0	213	2	0	215	0
ガラス陶磁器くず	203	0	203	55	46	12	33	0	0	1	148	0	0	148	0	0	183	0
鉱さい	1,915	1,750	165	0	0	0	0	0	0	0	165	143	0	6	16	0	22	0
がれき類	60	4	57	2	2	0	0	2	0	0	55	0	0	50	5	0	57	0
コンクリート片	31	4	28	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	27	1	0	28	0
廃アスファルト	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0
その他	25	2	23	2	2	0	0	2	0	0	23	180	0	19	4	0	25	0
ばいじん	243	12	232	0	1	0	0	0	0	0	231	0	0	52	0	0	52	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の産業廃棄物	21	0	21	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	16	5	0	20	0

(単位：千t/年)

表3-6 発生及び処理状況（製造業 種類別：変換） < 平成21年度 > （その2）

区 分	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量				最終処分量				その他量	
	委託直接最終処分量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)						
	(K) (O+L)	(O)	(処理主体の内訳)		(L)	(M)	(処理主体の内訳)		(N1)	(N2)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)					(Y)	(Z)				
			処理業者	自治体			県内	県外													処理業者	自治体	県内	県外						
種 類	(K) (O+L)	(O)	処理業者	自治体	県内	県外	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(O)	(P)	(Q)	(R) (E1+G1+M1)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)						
合 計	2,259	395	393	2	328	67	1,864	1,858	5	1,219	645	1,509	1,432	77	2,061	476	4	13	459	6	4,211									
燃え殻	7	2	2	0	0	2	5	5	0	2	3	40	31	9	32	12	1	1	10	0	32									
汚泥	1,001	360	358	2	328	33	641	641	0	389	252	483	464	20	691	383	3	4	376	0	723									
有機性汚泥	204	1	0	1	1	0	203	203	0	117	86	143	142	1	159	5	2	1	1	0	160									
無機性汚泥	797	359	358	1	326	33	438	438	0	272	166	340	322	19	532	379	1	2	375	0	562									
廃油	116						116	116	0	56	60	62	62		63					1	75									
一般廃油	75						75	75	0	38	37	45	45		45					0	54									
廃溶剤	16						16	16	0	5	10	4	4		4					0	7									
固形油	1						1	1	0	0	1	1	1		2					0	2									
油でい	5						5	5	0	1	4	3	3		3					0	3									
油付着物類	19						19	19	0	12	7	8	8		9					0	9									
廃酸	72						72	72	0	38	34	18	18		18					2	21									
廃アルカリ	78						78	78	0	34	44	9	9		10					2	10									
廃プラスチック類	148	3	3	0	0	3	144	142	2	102	42	105	85	20	89	23	4	20	0	0	103									
廃プラスチック	147	3	3	0	0	3	143	142	2	102	42	104	84	20	89	23	4	20	0	0	102									
廃タイヤ	1						1	1	0	1	0	1	1		1					0	1									
紙くず	131						131	130	1	124	8	130	130	0	136	0				0	154									
木くず	62	1	1			1	61	60	1	58	3	59	57	1	57	2				0	58									
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0					0	0									
動植物性残さ	96	0	0	0	0	0	96	95	1	51	44	71	70	1	70	1				0	103									
動物系固形不要物																														
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0					0	0									
金属くず	215	2	2	0	0	2	213	213	0	187	26	213	212	1	268	3	0	3	0	0	537									
ガラス陶磁器くず	182	0	0	0	0	0	181	181	0	130	51	177	172	5	184	6	1	5	1	0	184									
鉱さい	22	16	16			16	6	6		3	3	6	6		149	16	0	16	0	0	1,899									
がれき類	57	5	5	0	0	5	51	51	0	33	18	51	45	7	45	12	1	11	0	0	48									
コンクリート片	28	1	1	0	0	1	27	27	0	26	1	27	23	4	23	5	1	4	0	0	27									
廃アスファルト	4	0	0	0	0	0	4	4	0	4	0	4	4	1	4	1	0	1	0	0	4									
その他	25	4	4	0	0	4	20	20	0	3	17	20	18	2	18	7	0	7	0	0	18									
ばいじん	52	0	0	0	0	0	52	52	0	1	51	51	50	1	231	1	0	1	0	0	242									
動物のふん尿																														
動物の死体																														
その他の産業廃棄物	20	5	5			5	16	16	0	10	6	34	21	12	22	17	2	15	0	0	22									

(単位：千t/年)

表3-6 発生及び処理状況（製造業 種類別：変換） <平成21年度> （その3）
（単位：千t/年）

種 類	区分		最終処分量						処理主体の内訳			
	自己埋立処分		自治体		業者最終処分量(県内)		業者最終処分量(県外)		埋立 処分量 (03_1)	海外 投入量 (03_2)	埋立 処分量 (03_3)	海洋 投入量 (03_4)
	県内 (01_1)	県外 (01_2)	県内 (02_1)	県外 (02_2)	県内 (02_1)	県外 (02_2)	県内 (03_1)	県外 (03_2)				
合 計	476	4	13	1	325	133	0					
燃え殻	12	1	1	0		10						
汚泥	383	3	4	0	325	51	0					
有機性汚泥	5	2	1	0		1						
無機性汚泥	379	1	2	0	325	49	0					
廃油												
一般廃油												
廃溶剤												
固形油												
油でい												
油付着物類												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	23		4	0		19						
廃プラスチック	23		4	0		19						
廃タイヤ	0		0	0		0						
紙くず	0					0						
木くず	2					2						
繊維くず	0		0	0		0						
動植物性残さ	1		0	0		1						
動物系固形不要物												
ゴムくず	0					0						
金属くず	3		0	0		3						
ガラス陶磁器くず	6		1	0		5						
鉱さい	16		0	0		16						
がれき類	12		1	0		11						
コンクリート片	5		1	0		4						
廃スチール	1		0	0		1						
その他	7		0	0		7						
ばいじん	1		0	0		1						
動物のふん尿												
動物の死体												
その他の産業廃棄物	17		2	0		15						

表3-6-1 発生及び処理状況（製造業大規模（従業者300人以上）事業所 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区 分 種 類	自己未処理量										搬出量		自己最終処分量						
	自己中間処理後量			自己中間処理後量			自己未処理の処理内訳			自己未処理の処理内訳			(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)					
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)		(自己未処理の処理内訳)		(G1)	(G)	(G2)			(G3)	(G4)	(G5)		
						再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)				その他量 (E5)	再生 利用量 (G1)				自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)
合計	3,532	1,754	1,778	818	78	19	0	57	1	0	960	381	0	560	19	0	639	2	2
燃え殻	2	0	2		3	0	0	1	1	0	2			2	0		5		0
汚泥	930	4	926	666	61	17	0	43	0	0	261	81	0	180	0		225		1
有機性汚泥	499	1	498	440	25	14	0	10	0	0	57			57	0		69		1
無機性汚泥	431	3	429	225	37	3	0	33	0	0	203	81	0	122	0		156		0
廃油	63	7	56	21	1	0	0	1	1	0	35			35			36		0
一般廃油	51	4	46	21	1	0	0	1	1	0	26			26			27		0
廃溶剤	5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	3			3			3		0
固形油	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1			1			1		0
油でい	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4			4			4		0
油付着物類	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1			1			2		0
廃酸	137	1	136	115	9			9			22			22			31		0
廃アルカリ	22	0	22	4	0			0			18			18			18		0
廃プラスチック類	62	4	58	3	2	1	0	1	0	0	56			56	0		57		0
廃プラスチック	62	4	58	3	2	1	0	1	0	0	56			56	0		56		0
廃タイヤ	0		0								0			0			0		0
紙くず	10	0	10	7	0	0	0				2			2			2		0
木くず	14	0	13	1	0	0	0				13			13			13		0
繊維くず																			
動植物性残さ	24	0	24								24			24			24		0
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0		0								0			0			0		0
金属くず	249	109	140	0	0	0	0				140	6		135	0		135		0
ガラス陶磁器くず	19	0	19	1	0			0			18			18	0		19		0
鉱さい	1,767	1,619	148								148	131		3	14		17		0
がれき類	9		9								9			5	4		9		0
コンクリート片	2		2								2			2	0		2		0
廃アスファルト																			
その他	6		6								6			2	4		6		0
ばいじん	293	12	211	0	0	0	0				211	164		47			47		0
動物のふん尿																			
動物の死体																			
その他の産業廃棄物	3	0	3								3			3			3		0

(単位：千t/年)

表3-6-1 発生及び処理状況（製造業大規模（従業者300人以上）事業所 種類別：変換） <平成21年度> （その2）

区 分	委託処理量										委託中間処理量										再生 利用量			最終処分量			その他量	
	委託直接最終処分量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)	(O1) (02)	(O3) (03)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)		
	(K) (O+L)	(O)	処理業者		(L)	処理業者		(M)	再生利用量		(N1)	最終処分量		(N2)	(O1)	(O2)	(O3)	(J)	(S)									
			自治体	県内		県外	自治体		県内	県外		自治体	県内							県外	自治体	県内	県外					
種 類	637	21	20	0	1	20	616	616	1	334	283	471	459	11	859	34	2	2	30	0	2,613							
燃え殻	4	1	1	0	0	1	3	3	0	1	2	18	16	2	16	3	0	0	3		16							
汚泥	224	1	0	0	0	0	223	223		101	122	129	127	2	224	4	1	1	2		228							
有機性汚泥	68	0	0	0	0	0	67	67		27	41	55	55	0	69	1	1	0	0		70							
無機性汚泥	156	1	0	0	0	0	156	156		75	81	74	72	2	156	2	0	1	2		158							
廃油	36		36				36	36		16	20	22	22		22						29							
一般廃油	27		27				27	27		13	14	18	18		18						22							
廃溶剤	3		3				3	3		1	2	1	1		1						3							
固形油	1		1				1	1		0	1	0	0		0						0							
油でい	4		4				4	4		1	3	3	3		3						3							
油付着物類	1		1				1	1		1	0	0	0		0						0							
廃酸	31		31				31	31		11	20	12	12		12						13							
廃アルカリ	18		18				18	18		10	8	2	2		2						3							
廃プラスチック類	57	0	0	0	0	0	56	56	0	42	15	39	36	3	37	3	0	3			41							
廃プラスチック	56	0	0	0	0	0	56	56	0	41	15	39	36	3	37	3	0	3			41							
廃タイヤ	0		0				0	0		0	0	0	0		0						0							
紙くず	2		2				2	2		1	1	2	2		2						2							
木くず	13		13				13	13		12	1	13	13		13						13							
繊維くず																												
動植物性残さ	24	0	0	0	0	0	24	24	0	9	15	17	16	0	16	1	0	0			17							
動物系固形不要物																												
ゴムくず	0		0				0	0		0	0	0	0		0						0							
金属くず	135	0	0	0	0	0	135	135		113	22	135	134	0	140	0	0	0			248							
ガラス陶磁器くず	19	0	0	0	0	0	18	18	0	12	6	17	16	1	16	2	0	1			16							
鉱さい	17	14	14			14	3	3		2	1	3	3		134	14					1,752							
がれき類	9	4	4	0	0	4	5	5	1	3	5	4	4	1	4	5	0	5			4							
コンクリート片	2	0	0	0	0	0	2	2		1	1	2	2	0	2	0	0	0			2							
廃アスファルト																												
その他	6	4	4	0	0	4	2	2	2	0	2	2	2	0	2	4					2							
ばいじん	47	0	0	0	0	0	47	47		1	47	47	47	0	211	0					223							
動物のふん尿																												
動物の死体																												
その他の産業廃棄物	3						3	2	0	2	1	11	10	1	10	1	0	1			10							

(単位：千t/年)

表3-6-1 発生及び処理状況（製造業大規模（従業者300人以上）事業所 種類別：変換） <平成21年度> （その3）

区 分	最終処分量	処理主体の内訳									
		自己埋立処分		自治体		事業者最終処分量(県内)		事業者最終処分量(県外)		海洋埋立処分量 (03_3)	海洋投入量 (03_4)
		県内 (01_1)	県外 (01_2)	県内 (02_1)	県外 (02_2)	埋立処分量 (03_1)	埋立処分量 (03_2)	埋立処分量 (03_3)			
(Q)	34	2	2	0	0	30	0	0	0	0	
燃え殻	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
汚泥	4	1	1	0	0	2	0	0	0	0	
有機性汚泥	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
無機性汚泥	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	
廃油											
一般廃油											
廃溶剤											
固形油											
油でい											
油付着物類											
廃酸											
廃アルカリ											
廃プラスチック類	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
廃プラスチック	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
廃タイヤ	0					0					
紙くず	0					0					
木くず	0					0					
繊維くず											
動植物性残さ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物系固形不要物											
ゴムくず	0					0					
金属くず	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	2		0	0	0	1	0	0	0	0	
鉱さい	14					14					
がれき類	5		0	0	0	5					
コンクリート片	0		0	0	0	0					
廃アスファルト											
その他	4					4					
ばいじん	0					0					
動物のふん尿											
動物の死体											
その他の産業廃棄物	1		0	0	0	1					

表3-6-2 発生及び処理状況（製造業中小規模（従業者300人未満）事業所 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区 分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量		
				自己中間処理後量					自己中間処理後の処理内訳					再生 利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	（自己未処理の処理内訳）			再生 利用量 (H) (I+K+J)	自己最終 処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳）		
				発生量 (E)	再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己最終 処分量 (G3)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外						
																		(D)			(E)	(E1)	(E2)
種 類	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(I+K+J)	(I)	(E2+G2)	県内	県外
合 計	3,349	395	2,954	1,848	755	201	2	221	328	2	1,106	28	1	1,026	46	4	1,631	3	3	3	3		
燃え殻	1	1	4	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0		
汚泥	1,921	28	1,892	1,619	635	130	1	177	327	1	274	0	1	240	33	0	780	2	0	2			
有機性汚泥	318	1	317	194	19	3	1	14	0	0	123	0	1	121	1	0	138	1	0	1			
無機性汚泥	1,603	28	1,575	1,425	617	126	0	163	327	1	151	0	1	119	31	0	642	1	0	1			
廃油	118	5	113	33	2	1	0	0	0	1	80	0	0	80	0	0	81	0	0	0			
一般廃油	82	5	77	30	0	0	0	0	0	0	48	0	0	48	0	0	48	0	0	0			
廃溶剤	13	0	13	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	13	0	0	13	0	0	0			
固形油	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0			
油でい	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0			
油付着物類	19	0	19	2	1	0	0	0	0	0	18	0	0	18	0	0	18	0	0	0			
廃酸	62	2	60	18	1	1	0	1	1	0	41	0	0	40	0	2	43	0	0	0			
廃アルカリ	117	0	117	54	1	1	0	1	1	0	62	0	0	59	0	2	62	0	0	0			
廃プラスチック類	108	10	99	10	5	3	0	3	0	0	89	0	0	85	3	0	91	0	0	0			
廃プラスチック	108	10	98	10	5	3	0	3	0	0	88	0	0	84	3	0	90	0	0	0			
廃タイヤ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0			
紙くず	151	19	132	4	5	5	0	1	0	0	128	0	0	128	0	0	129	0	0	0			
木くず	50	0	50	1	0	0	0	0	0	0	49	0	0	48	1	0	49	0	0	0			
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
動植物性残さ	106	33	73	1	1	0	0	1	0	0	72	0	0	71	0	0	73	0	0	0			
動物系固形不要物																							
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
金属くず	292	161	131	51	51	50	0	0	0	0	80	0	0	78	2	0	81	0	0	0			
ガラス陶磁器くず	184	0	184	54	46	12	0	33	0	1	130	0	0	130	0	0	164	0	0	0			
鉱さい	148	132	16	0	0	0	0	0	0	0	16	12	0	3	1	0	5	0	0	0			
がれき類	52	4	48	2	2	0	0	2	0	0	46	0	0	45	1	0	48	0	0	0			
コンクリート片	29	4	25	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	25	0	0	25	0	0	0			
廃アスファルト	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	0			
その他	18	18	2	2	2	0	0	2	0	0	17	0	0	17	0	0	18	0	0	0			
ばいじん	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0	20	16	0	5	0	0	5	0	0	0			
動物のふん尿																							
動物の死体																							
その他の産業廃棄物	18	0	18	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	13	5	0	18	0	0	0			

(単位：千t/年)

表3-6-2 発生及び処理状況（製造業中小規模（従業者300人未満）事業所 種類別：変換） <平成21年度>（その3）

区 分	最終処分量	処理主体の内訳									
		自己埋立処分		自治体		業者最終処分量(県内)		業者最終処分量(県外)		埋立 処分量 (03_3)	海洋 投入量 (03_4)
		県内 (01_1)	県外 (01_2)	県内 (02_1)	県外 (02_2)	埋立 処分量 (03_1)	海洋 投入量 (03_2)	埋立 処分量 (03_3)	海洋 投入量 (03_4)		
(Q)	443	3	11	0	325	103	0				
種 類											
合計	8	0	1	0	7						
燃え殻	379	2	3	0	325	49	0				
汚泥	3	1	1	0	1						
有機性汚泥	376	1	2	0	325	48	0				
無機性汚泥											
廃油											
一般廃油											
廃溶剤											
固形油											
油でい											
油付着物類											
廃酸											
廃アルカリ											
廃プラスチック類	20		3	0		16					
廃プラスチック	20		3	0		16					
廃タイヤ	0		0			0					
紙くず	0					0					
木くず	2					2					
繊維くず	0		0			0					
動植物性残さ	1		0			1					
動物系固形不要物											
ゴムくず	0					0					
金属くず	3		0			3					
ガラス陶磁器くず	4		0			4					
鉱さい	1		0			1					
がれき類	7		1			6					
コンクリート片	4		1			4					
廃アスファルト	1		0			1					
その他	2		0			2					
ばいじん	0		0			0					
動物のふん尿											
動物の死体											
その他の産業廃棄物	16		2			14					

表3-7 発生及び処理状況（電気・ガス・水道業 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区 分	自己中間処理量										自己未処理量				搬出量		自己最終処分量		
	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量			自己未処理の処理内訳			再生 利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	（自己未処理の処理内訳）		他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外	
				(E)	再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	（自己中間処理後の処理内訳）		自己最終 処分量 (G3)			委託中間 処理量 (G4)	委託直接 最終処分量 (G4)						
							委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)											その他量 (E5)
(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)							
種 類	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)			
合 計	5,917	28	5,889	5,476	84	14	14	69	0	0	1	413	0	409	0	3	483		
燃え殻	33	1	32		30	7		22	0	0	0	32		32		3	55		
汚泥	5,639		5,639	5,476	55	8		47		0	0	163		159	0	3	209		
有機性汚泥	5,126		5,126	5,124	38	1		37		0	0	2		2		39			
無機性汚泥	513		513	353	17	7		10				160		157	0	3	170		
廃油	3	0	3	0	3	3		3			0	3		3		3			
一般廃油	3	0	2	0	2	2		2			0	2		2		2			
廃溶剤	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0		0			
固形油	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0		0			
油でい	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0		0			
油付着物類	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0		0			
廃酸	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0		0			
廃アルカリ	2		2		2			2			2	2		2		2			
廃プラスチック類	0		0		0			0			0	0		0		0			
廃プラスチック	0		0		0			0			0	0		0		0			
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず	0		0		0			0			0	0		0		0			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	15		15	0	0			0			0	0		0		0			
ガラス陶磁器くず	1		1	1	1			1			1	1		1		1			
鉱さい	0		0		0			0			0	0		0		0			
がれき類	3		3		3			3			3	3		3		3			
コンクリート片	0		0		0			0			0	0		0		0			
廃アスファルト	0		0		0			0			0	0		0		0			
その他	3		3		3			3			3	3		3		3			
ばいじん	221	11	210		210			210			210	210		210		210			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
その他の産業廃棄物	0		0		0			0			0	0		0		0			

(単位：千t/年)

表3-8 発生及び処理状況（情報通信業 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区 分	発生量		排出量		自己中間処理後量		自己未処理量				搬出量		自己最終処分量					
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(E)	（自己中間処理後の処理内訳）		（自己未処理の処理内訳）		(G)	(G1) 再生 利用量	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量	(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他量	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)		
					自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)										
種 類	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1) 再生 利用量	(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量	(E5) その他量	(G)	(G1) 再生 利用量	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量	(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他量	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)
合 計	0		0								0			0			0	
燃え殻																		
汚泥																		
有機性汚泥																		
無機性汚泥																		
廃油																		
一般廃油																		
廃溶剤																		
固形油																		
油でい																		
油付着物類																		
廃酸	0		0								0			0			0	
廃アルカリ	0		0								0			0			0	
廃プラスチック類	0		0								0			0			0	
廃プラスチック	0		0								0			0			0	
廃タイヤ																		
紙くず	0		0								0			0			0	
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず																		
ガラス陶磁器くず																		
鉱さい																		
がれき類																		
コンクリート片																		
廃アスファルト																		
その他																		
ばいじん																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
その他の産業廃棄物																		

(単位：千t/年)

表3-8 発生及び処理状況（情報通信業 種類別：変換） <平成21年度>（その2）

区 種 類	委託処理量										委託中間処理量			委託直接最終処分量			委託先地域の内訳			委託先地域の内訳			委託中間処理後量			再生利用量			最終処分量			その他量							
	(K) (O+L)	(O)		(L)		(M)		(N1)		(N2)		(R) (E1+G1+M1)	(O)		(I+O+M2)		(J) (E5+G5) (B+R)	(Q1)		(Q2)		(Q3)		(S) (B+R)	(E5+G5)		(B+R)		(S)										
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体		県内	県外	処理業者	自治体		県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外							
		(O+L)	(O)	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(O)	(I+O+M2)	(Q1)	(Q2)		(Q3)	(S)	(E5+G5)	(B+R)																							
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
燃え殻																																							
汚泥																																							
有機性汚泥																																							
無機性汚泥																																							
廃油																																							
一般廃油																																							
廃溶剤																																							
固形油																																							
油でい																																							
油付着物類																																							
廃酸	0																																						
廃アルカリ	0																																						
廃プラスチック類	0																																						
廃プラスチック	0																																						
廃タイヤ																																							
紙くず	0																																						
木くず																																							
繊維くず																																							
動植物性残さ																																							
動物系固形不要物																																							
ゴムくず																																							
金属くず																																							
ガラス陶磁器くず																																							
鉱さい																																							
がれき類																																							
コンクリート片																																							
廃アスファルト																																							
その他																																							
ばいじん																																							
動物のふん尿																																							
動物の死体																																							
その他の産業廃棄物																																							

(単位：千t/年)

表3-9 発生及び処理状況（運輸業 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区 分 種 類	自己未処理量										搬出量		自己最終処分量				
	自己中間処理後量					自己未処理の処理内訳					再生 利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	再生 利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(自己未処理の処理内訳)							
							自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			
合計	21	2	18	0	0	0	0	0	0	18	18	0	0	0	18	0	
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	2	0	
有機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無機性汚泥	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	
廃油	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	
一般廃油	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
油でい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
油付着物類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	7	1	6	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	6	0	
廃プラスチック	5	0	5	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	5	0	
廃タイヤ	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	
紙くず	4	0	4	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	4	0	
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴムくず	5	1	4	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	4	0	
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がれき類	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	
コンクリート片	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アスファルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の産業廃棄物	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	

(単位：千t/年)

表3-9 発生及び処理状況（運輸業 種類別：変換） < 平成21年度 > （その2）

区 分	委託処理量										委託中間処理量										最終処分量				その他量 資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					再生 利用量									
	(K) (O+L)	(O)		(L)		(M)	(N)		(O)		(P)		(Q)	(R)		(S)	(T)		(U)						
		処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体		県内	県外		再生利用量	最終処分量		事業者	自治体	処理業者			
種 類	(K)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)						
合 計	18	0	0	0	18	18	0	17	1	17	15	2	2	15	2	0	0	0	17						
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
汚泥	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
無機性汚泥	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃油	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
一般廃油	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
固形油																									
油でい																									
油付着物類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃酸																									
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃プラスチック類	6	0	0	0	6	6	0	6	0	6	5	1	6	5	1	0	0	1	0						
廃プラスチック	5	0	0	0	5	5	0	5	0	5	4	1	5	4	1	0	0	1	0						
廃タイヤ	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0						
紙くず																									
木くず	4	4	4	4	4	4	0	4	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4						
繊維くず																									
動植物性残さ																									
動物系固形不要物																									
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
金属くず	4	0	0	0	4	4	0	3	0	4	3	0	4	3	0	0	0	0	0						
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
鉱さい																									
がれき類	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1						
コンクリート片	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃アスファルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
その他	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1						
ばいじん																									
動物のふん尿																									
動物の死体																									
その他の産業廃棄物	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1						

(単位：千t/年)

表3-10 発生及び処理状況（卸・小売業 種類別：変換） < 平成21年度 > （その1）

区 分 種 類	自己未処理量										搬出量		自己最終処分量				
	自己中間処理後量					自己未処理の処理内訳					再生 利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	再生 利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(自己未処理の処理内訳)							
							自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			
合 計	75	19	56	1	1		0	0	1	55	54	1	0	56			
燃え殻																	
汚泥	4			0	0					4				4			
有機性汚泥	1									1				1			
無機性汚泥	3			0	0					3				3			
廃油	11	4		7	0		0	0		7				7			
一般廃油	11	4		7	0		0	0		7				7			
廃溶剤	0	0		0	0					0				0			
固形油	0	0		0	0					0				0			
油でい	0	0		0	0					0				0			
油付着物類	0	0		0	0					0				0			
廃酸	0									0				0			
廃アルカリ	1			1						1				1			
廃プラスチック類	26	1		25	1		1	1		25	24	0		25			
廃プラスチック	17			17	1		1	1		16	16	0		17			
廃タイヤ	10	1		8						8	8			8			
紙くず																	
木くず	1			1	0		0	0		1	1	0		1			
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず	0			0	0									0			
金属くず	23	13		10						10	9	1		10			
ガラス陶磁器くず	1	0		1						1	1	0		1			
鉱さい																	
がれき類	1			1						1	1			1			
コンクリート片	0			0						0	0			0			
廃アスファルト																	
その他	1			1						1	1			1			
ばいじん																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他の産業廃棄物	7	1		5						5	5	0		5	0		

(単位：千t/年)

表3-10 発生及び処理状況（卸・小売業 種類別：変換） <平成21年度>（その2）

区 分	委託処理量										委託中間処理量										最終処分量			再生 利用量 (R) (E1+G1+M1)	その他量 資源化量 (J) (E5+G5) (B+R)
	委託直接最終処分量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					(O) (I+O+M2)	(O1) (O2) (O3)	(S) (B+R)							
	(K) (O+L)	(O)		(L)		(M)		(N1)		(N2)		(O)	(O1)	(O2)	(O3)										
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体								県内	県外					
種 類	(K) (O+L)	(O)	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(O)	(O1)	(O2)	(O3)	(R)	(S)	(B+R)												
合 計	56	2	2	54	49	44	4	44	4	44	6	1	5	0	64										
燃え殻																									
汚泥	4	0		4	1	1	3	1	1	0	1	0	0	0	1										
有機性汚泥	1			1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1										
無機性汚泥	3	0		3	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0										
廃油	7			7	7	7	4	4	7	7	7	7	7	7	10										
一般廃油	7			7	7	7	3	4	6	6	6	6	6	6	10										
廃溶剤	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
固形油																									
油でい	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
油付着物類	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
廃酸	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
廃アルカリ	1			1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
廃プラスチック類	25	1		24	1	24	19	5	23	22	2	22	2	0	23										
廃プラスチック	17	1		16	1	16	13	3	15	13	2	13	2	0	13										
廃タイヤ	8			8	8	8	6	3	8	8	0	8	0	0	10										
紙くず																									
木くず	1	0		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
繊維くず																									
動植物性残さ																									
動物系固形不要物																									
ゴムくず	0			0																					
金属くず	10	1		9	1	9	7	2	9	8	1	8	2	0	21										
ガラス陶磁器くず	1	0		1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	1										
鉱さい																									
がれき類	1			1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	1										
コンクリート片	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
廃アスファルト																									
その他	1			1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1										
ばいじん																									
動物のふん尿																									
動物の死体																									
その他の産業廃棄物	5	0		5	0	4	4	1	4	4	0	4	0	0	5										

表3-11 発生及び処理状況（医療・福祉 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区 分 種 類	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量		自己最終処分量	
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	自己中間処理後量		(E)	自己未処理後量		(G)	自己未処理の処理内訳		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳）		
				再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)		委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外	
																自己中間 処理後の処理内訳
合計	39	0	39	1	1	1	0	0	38	38	0	0	39			
燃え殻																
汚泥	1								1				1			
有機性汚泥	1								1				1			
無機性汚泥	0								0				0			
廃油	0								0				0			
一般廃油	0								0				0			
廃溶剤	0								0				0			
固形油	0								0				0			
油でい	0								0				0			
油付着物類																
廃酸	0								0				0			
廃アルカリ	0								0				0			
廃プラスチック類	8	0	8	0	1		0		8		0		9			
廃プラスチック	8	0	8	0	1		0		8		0		9			
廃タイヤ																
紙くず																
木くず	0		0						0				0			
繊維くず																
動植物性残さ																
動物系固形不要物																
ゴムくず																
金属くず	2	0	2						2				2			
ガラス陶磁器くず	1	0	1	0	0				1		0		1			
鉱さい																
がれき類	0		0						0				0			
コンクリート片																
廃アスファルト																
その他	0		0						0				0			
ばいじん	0		0	0					0				0			
動物のふん尿																
動物の死体																
その他の産業廃棄物	27		27	1	0		0		26		0		26	0	0	

(単位：千t/年)

表3-11 発生及び処理状況（医療・福祉 種類別：変換） <平成21年度>（その2）

区 分	委託処理量										委託中間処理量										最終処分量			再生 利用量		その他量	
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					(O) (I+O+M2)	(R) (E1+G1+M1)	(J) (E5+G5)		(S) (B+R)							
	(K) (O+L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(M)	(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(N1)	(N2)	(O1)	(O2)			(O3)									
		処理業者	自治体	県内	県外			処理業者	自治体	県内	県外					再生利用量	最終処分量										
種 類	(K) (O+L)	(O)	(処理主体の内訳)	(処理先地域の内訳)	(L)	(M)	(処理先地域の内訳)	(委託処理後の処理内訳)	(O)	(O1)	(O2)	(O3)	(R)	(I+O+M2)	(J)	(S)											
合 計	39	0	0	0	0	39	38	1	31	7	20	10	10	10	2	8	0	11									
燃え殻																											
汚泥	1						1	1	0	0	7	3	4	1	3	0	3										
有機性汚泥	1						1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1									
無機性汚泥	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
廃溶剤	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
固形油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
油でい	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
油付着物類																											
廃酸	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
廃プラスチック類	9	0	0	0	0	9	8	1	7	2	4	2	2	2	1	2	2	2									
廃プラスチック	9	0	0	0	0	9	8	1	7	2	4	2	2	2	1	2	2	2									
廃タイヤ																											
紙くず																											
木くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
繊維くず																											
動植物性残さ																											
動物系固形不要物																											
ゴムくず																											
金属くず	2						2	2	2	0	2	1	1	1	0	0	1	1									
ガラス陶磁器くず	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
鉱さい																											
がれき類	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
コンクリート片																											
廃アスファルト																											
その他	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
ばいじん	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
動物のふん尿																											
動物の死体																											
その他の産業廃棄物	26	0	0	0	0	26	25	0	21	5	6	3	3	3	1	2	0	3									

(単位：千t/年)

表3-12 発生及び処理状況（サービス業 種類別：変換） < 平成21年度 > （その2）

区 分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量						再生 利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量			その他量 資源化量 (J) (E5+G5) (B+R)	(S) (B+R)	
		(O)		(L)		(M)		(N1)		(N2)		(O) (I+O+M2)	(Q1) (Q2)		(Q3)					
		処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	委託処理後の処理内訳	再生利用量					最終処分量				
		(O+L)	(O)	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(O)	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(O)		(Q1)	(Q2)	(Q3)			
種 類	(K) (O+L)	(O)	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(O)	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(O)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)			
合 計	30	1	1	1	29	0	0	0	15	14	23	21	2	2	21	3	0	0	30	
燃え殻	0																			1
汚泥	4	0	0	0	4	0	0	0	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
有機性汚泥	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無機性汚泥	3	0	0	0	3	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
廃油	3				3				2	1	2	2								4
一般廃油	3				3				1	1	2	2								4
廃溶剤	0				0				0	0	0	0								0
固形油	0				0				0	0	0	0								0
油でい	0				0				0	0	0	0								0
油付着物類	0				0				0	0	0	0								0
廃酸	1				1				0	1	0	0								0
廃アルカリ	1				1				1	1	0	0								0
廃プラスチック類	5	1	1	1	4	0	0	3	1	3	1	3	1	3	2	0	1			3
廃プラスチック	5	1	1	1	4	0	0	3	1	3	1	2	1	2	2	0	1			3
廃タイヤ	0				0			0	0	0	0	0								1
紙くず																				
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								0
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物	7				7				7	7	7	7								7
ゴムくず																				
金属くず	5	0	0	0	5	0	0	4	1	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	10
ガラス陶磁器くず	2	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
鉱さい	0				0				0	0	0	0								
がれき類	0				0				0	0	0	0								0
コンクリート片	0				0				0	0	0	0								0
廃アスファルト	0				0				0	0	0	0								0
その他	0				0				0	0	0	0								0
ばいじん	0				0				0	0	0	0								0
動物のふん尿																				
動物の死体																				
その他の産業廃棄物	2	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2

(単位：千t/年)

表3-12 発生及び処理状況（サービス業 種類別：変換） <平成21年度>（その3）
（単位：千t/年）

区 分	最終処分量	処理主体の内訳											
		自己埋立処分		自治体		業者最終処分量(県外)							
		県内 (01_1)	県外 (01_2)	県内 (02_1)	県外 (02_2)	埋立 処分量 (03_1)	埋立 処分量 (03_2)	海洋 投入量 (03_3)	海洋 投入量 (03_4)				
種 類	(0)												
合 計	3	0	0	0	0	3							
燃え殻	0	0	0	0	0	0							
汚泥	0	0	0	0	0	0							
有機性汚泥	0	0	0	0	0	0							
無機性汚泥	0	0	0	0	0	0							
廃油													
一般廃油													
廃溶剤													
固形油													
油でい													
油付着物類													
廃酸													
廃アルカリ													
廃プラスチック類	2			0								1	
廃プラスチック	2			0								1	
廃タイヤ													
紙くず													
木くず	0											0	
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物	0			0								0	
ゴムくず													
金属くず	0			0								0	
ガラス陶磁器くず	0			0								0	
鉱さい	0			0								0	
がれき類	0											0	
コンクリート片	0											0	
廃アスファルト													
その他	0											0	
ばいじん	0			0								0	
動物のふん尿													
動物の死体													
その他の産業廃棄物	0			0								0	

表4-1 発生及び処理状況（種類別：無変換） < 平成21年度 > （その1）

区分	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量							
	発生量			有償物量			排出量			自己中間処理後量			自己中間処理後量			自己未処理量			再生 利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)
	(A) (B+C)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)							
	19,466	2,304	17,162	9,451	1,362	660	3	360	332	7	7,711	410	1	7,164	104	32	8,002	4							
合計	36	2	34	34	1,362	660	3	360	332	7	7,711	410	1	7,164	104	32	8,002	4							
燃え殻	10,482	32	10,450	8,947	1,139	507	2	302	327	1	1,503	81		1,367	52	3	2,055	2							
汚泥	5,952	2	5,950	5,760	116	24	2	88	0	1	190			188	2	0	282	2							
有機性汚泥	4,530	30	4,500	3,187	1,023	482	2	214	327		1,313	81		1,179	51	3	1,773								
無機性汚泥	221	18	203	54	7	2	1	2	2	1	148	0	0	148	0	0	154	1							
廃油	159	16	144	51	4	0	1	2	2		93	0		93	0	0	97	1							
一般廃油	19	2	17	0	0			0			16			16			16	0							
廃溶剤	2	0	2	1	1	0		0	0	0	1			1			2								
固形油	7	0	6	1	1	0		0	0	0	6			6			6								
油でい	34	0	34	2	1	0		0	0	0	32			32			33								
油付着物類	201	3	198	133	11			11	0		64			63			76								
廃酸	144	0	144	58	2			1	0		85			81			86								
廃アルカリ	307	16	291	14	9	4	0	4	1	0	278	0		272	6	0	283	0							
廃プラスチック類	294	13	281	14	9	4	0	4	1	0	267	0		261	6	0	272	0							
廃プラスチック	13	2	11								11			11			11								
廃タイヤ	174	19	155	11	7	6		1	0		144	0		144			145								
紙くず	311	1	310	5	1	0		1	0	0	306	0		304	1	0	307								
木くず	4		4	0	0			0	0		4			4			4								
繊維くず	130	34	97	1	1			1		0	95			95	0	0	97								
動植物性残さ	7		7								7			7			7								
動物系固形不要物	0	0	0	0	0			0			0			0			0								
二ムくず	740	398	343	52	52	51		1	0		291	6		282	3	0	286								
金属くず	395	0	395	57	40	12		27	0	1	338	0		333	5	1	366								
ガラス陶磁器くず	1,915	1,750	165								165	143		6	16	0	22								
鉱さい	3,673	7	3,666	63	56	47		8	1		3,603	0		3,586	16	0	3,612								
がれき類	1,697	7	1,690	4	4	2		2			1,687	0		1,685	2	0	1,689								
コンクリート片	1,317	0	1,317	37	37	33		4	0		1,279	0		1,279	0		1,284								
廃アスファルト	659		659	22	15	12		2	1		637			622	14		639								
その他	464	23	441	0	0	0		0			441	180		261			261								
ばいじん	196		196	50	34	31		0			146	1		122			149								
動物のふん尿	8		8	3	1	1					5			5			5								
動物の死体	58	2	56	2	1	0		1	0		54			49	5	0	55								
その他の産業廃棄物																									

(単位：千t/年)

表4-1 発生及び処理状況（種類別：無変換） < 平成21年度 > （その2）

種 類	区分委託処理量												委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量				最終処分量				その他量	
	(K)		(O)		(L)		(M)		(N)		(R)		(O)		(Q1)		(Q2)		(Q3)		(S)		(B+R)							
	(O+L)		(O)		(L)		(M)		(N)		(R)		(O)		(Q1)		(Q2)		(Q3)		(S)		(B+R)							
	7,969	436	423	12	358	78	7,524	7,513	11	6,363	1,161	6,736	6,038	698	7,109	1,138	4	45	1,088	38	9,413									
燃え殻	34	34	34	11	23	30	30	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32						
汚泥	2,049	380	377	2	347	33	1,669	1,668	1	1,344	325	1,173	658	516	1,245	898	2	6	890	4	1,277									
有機性汚泥	279	2	0	2	2	0	276	276	0	140	137	216	214	2	238	6	2	2	2	1	240									
無機性汚泥	1,770	377	377	0	344	33	1,392	1,391	1	1,204	188	957	443	514	1,006	891	3	888	3	1,036										
廃油	152	2	2	2	76	2	150	150	0	74	76	86	81	4	83	6	1	0	6	1	101									
一般廃油	96	2	2	2	47	2	95	95	0	47	48	56	56	3	57	5	1	0	5	0	72									
廃溶剤	16				6		16	16	0	6	11	5	5	0	5	0	0	0	0	0	7									
固形油	1				0		1	1	0	0	1	1	1	1	2						0	2								
油でい	6				2		6	5	0	2	4	4	4	0	5	0	0	0	0	0	0	5								
油付着物類	32				20		32	32	0	20	13	16	15	1	15	1	0	0	1	0	0	15								
廃酸	74	0	0	0	0	0	74	74	39	35	25	22	22	3	22	3	1	3	2	2	25									
廃アルカリ	83	0	0	0	0	0	83	83	37	46	21	19	19	3	19	4	1	1	2	2	20									
廃プラスチック類	282	7	6	1	1	5	276	273	3	219	56	235	173	62	177	69	0	13	56	0	193									
廃プラスチック	272	7	6	1	1	5	265	263	3	212	54	225	162	62	167	69	0	13	56	0	180									
廃タイヤ	11				8		11	11	0	3	3	11	11	0	11	0	0	0	0	0	13									
紙くず	145	0	0	0	0	0	145	143	1	134	11	143	142	0	148	0	0	0	0	0	167									
木くず	306	1	1	1	0	0	305	302	3	263	42	297	293	4	293	5	0	0	5	0	294									
繊維くず	4	0	0	0	0	0	4	4	0	4	1	4	4	0	4	0	0	0	0	0	4									
動植物性残さ	96	0	0	0	0	0	96	95	1	51	44	72	71	1	71	2	1	1	1	0	104									
動物系固形不要物	7				7		7	7	7	7	7	7	7	0	7	0	0	0	0	0	7									
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
金属くず	286	3	3	3	0	3	283	283	0	250	33	283	279	4	336	7	1	6	0	0	734									
ガラス陶磁器くず	365	5	4	1	2	3	360	360	0	296	63	359	343	16	355	21	4	17	2	0	356									
鉱さい	22	16	16	16	6	6	6	6	3	3	6	6	6	0	149	16	0	16	0	0	1,899									
がれき類	3,612	17	10	7	8	9	3,595	3,594	1	3,465	130	3,595	3,524	71	3,571	88	17	71	0	0	3,578									
コンクリート片	1,689	2	1	0	1	1	1,687	1,687	0	1,626	61	1,687	1,666	20	1,668	22	2	21	0	0	1,675									
廃アスファルト	1,284	0	0	0	0	0	1,283	1,283	0	1,277	7	1,283	1,283	1	1,316	1	0	1	0	1	1,316									
その他	639	15	8	7	7	8	624	624	0	562	62	624	575	49	587	65	15	49	0	0	587									
ばいじん	261						261	261	13	248	261	261	261	1	441	1	0	1	0	0	463									
動物のふん尿	122						122	122	122	98	98	98	98	130	130						27									
動物の死体	5						5	5	5	5	5	5	5	6	6						6									
その他の産業廃棄物	55	5	5	5	5	5	50	50	1	37	14	35	22	13	22	18	3	16	0	0	25									

(単位：千t/年)

表4-1 発生及び処理状況（種類別：無変換） <平成21年度> （その3）
（単位：千t/年）

種 類	最 終 処 分 量	処 理 主 体 の 内 訳									
		自 己 埋 立 処 分		自 治 体		業 者 最 終 処 分 量 (県 内)		業 者 最 終 処 分 量 (県 外)		海 洋	
		県 内 (01_1)	県 外 (01_2)	県 内 (02_1)	県 外 (02_2)	埋 立 処 分 量 (03_1)	海 洋 投 入 量 (03_2)	埋 立 処 分 量 (03_3)	海 洋 投 入 量 (03_4)		
合 計	1,138	4	45	0	1	825	261	0			
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0			
汚泥	898	2	6	0	0	825	64	0			
有機性汚泥	6	2	2	0	0	0	2	0			
無機性汚泥	891	0	3	0	0	825	62	0			
廃油	6	1	0	0	0	0	5	0			
一般廃油	5	1	0	0	0	0	4	0			
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0			
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0			
油でい	0	0	0	0	0	0	0	0			
油付着物類	1	0	0	0	0	0	1	0			
廃酸	3	0	1	0	0	0	3	0			
廃アルカリ	4	1	1	0	0	0	2	0			
廃プラスチック類	69	0	13	0	0	0	55	0			
廃プラスチック	69	0	13	0	0	0	55	0			
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0			
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0			
木くず	5	0	0	0	0	0	5	0			
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0			
動植物性残さ	2	1	1	0	0	0	1	0			
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0			
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0			
金属くず	7	1	1	0	0	0	6	0			
ガラス陶磁器くず	21	4	4	0	0	0	17	0			
鉱さい	16	0	0	0	0	0	16	0			
がれき類	88	17	17	0	0	0	70	0			
コンクリート片	22	2	2	0	0	0	20	0			
廃アスファルト	1	0	0	0	0	0	1	0			
その他	65	15	15	0	0	0	49	0			
ばいじん	1	0	0	0	0	0	1	0			
動物のふん尿											
動物の死体											
その他の産業廃棄物	18	3	3	0	0	0	16	0			

表5-1 発生及び処理状況（横浜地区 業種別） < 平成21年度 > （その1）

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		
				(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	自己中間処理後の処理内訳		(G)	自己未処理の処理内訳			(I)	(E2+G2)	
										再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)		委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)				その他量 (E5)
種別	5,768	128	5,641	2,691	500	91	84	326	0	2,950	4	2,887	29	30	3,355	(I)	(E2+G2)	
合 計	5,768	128	5,641	2,691	500	91	84	326	0	2,950	4	2,887	29	30	3,355			
農業	25		25	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	23	24			
林業																		
漁業																		
建設業	16		16	16	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
製造業	2,236	45	2,191	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,175	0	0	
食料品	1,306	63	1,242	787	460	60	74	326	0	455	4	442	6	4	851			
飲料・飼料	196	4	192	137	5	5	5	0	0	54	0	54	0	0	59			
繊維	30	20	9	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
家具	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ハルブ・紙	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
印刷	128	1	127	8	4	4	1	0	0	119	1	117	1	1	119			
化学	13	2	11	11	11	11	0	0	0	11	0	11	0	0	11			
石油・石炭	10	1	9	4	2	0	2	0	0	5	5	0	0	0	6			
石油・石炭	33	5	27	5	0	0	0	0	0	22	22	0	0	0	23			
プラスチック	13	0	13	0	0	0	0	0	0	13	13	0	0	0	13			
ゴム	6	3	4	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	4			
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
窯業・土石	282	0	281	210	69	7	62	0	0	72	4	68	0	0	130			
鉄鋼	85	1	84	71	52	50	2	0	0	13	13	10	3	0	15			
非鉄金属	318	0	318	314	325	0	0	325	0	5	5	5	0	0	330			
金属	58	3	56	20	0	0	0	0	0	36	36	32	0	3	36			
はん用機器	12	7	5	0	0	0	0	0	0	5	5	5	0	0	5			
生産用機器	6	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	3	0	0	3			
業務用機器	3	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	2			
電子部品	5	0	5	1	0	0	0	0	0	3	3	3	0	0	3			
電気機器	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	3	3	0	0	3			
情報通信機器	3	1	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	2			
輸送機器	95	10	85	11	1	1	0	0	0	74	74	74	0	0	75			
その他	3	0	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1			
電気・ガス・水道業	2,130	12	2,118	1,870	19	9	9	0	0	248	1	245	0	0	258			
電気業	259	12	247	2	0	0	0	0	0	245	0	245	0	0	245			
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
上水道業	99	3	96	96	3	3	0	0	0	3	3	0	0	3	3			
下水道業	1,772	0	1,772	1,771	15	7	9	0	0	0	0	0	0	0	9			
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
運輸業	10	2	8	8	0	0	0	0	0	8	8	8	0	0	8			
卸・小売業	25	4	22	0	0	0	0	0	0	22	22	21	1	0	22			
医療・福祉	7	0	7	0	0	0	0	0	0	7	7	7	0	0	7			
サービス業	13	2	11	0	0	0	0	0	0	10	10	9	1	0	10			

(単位：千t/年)

表5-1 発生及び処理状況（横浜地区 業種別） < 平成21年度 > （その2）

種 類	区分委託処理量										委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量	
	(K)		(O)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(R)		(Q)		(S)		(B+R)			
	(O+L)	(K)	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(R)	(Q)	(S)	(B+R)	(O+M)	(P)	(R)	(Q)	(S)	(B+R)	(O+M)	(R)	(Q)	(S)	(B+R)	
	3,325	355	345	9	346	9	2,970	2,968	2	2,486	484	2,721	2,382	339	2,477	693	19	674	30	2,604	23	1	1	
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
建設業	2,175	21	14	3	2,154	2,153	0	0	2,084	70	2,008	1,689	319	1,705	340	14	327	0	1,750	5	0	0	0	
製造業	847	332	330	4	516	515	0	341	175	426	412	44	14	476	346	4	341	4	539	4	0	0	0	
食料品	59	0	0	0	59	59	0	28	31	52	44	8	8	44	8	2	6	0	48	0	0	0	0	
飲料・飼料	6	0	0	0	6	6	0	5	1	4	3	1	1	3	0	0	1	0	23	0	0	0	0	
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木材	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
家具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
ハルブ・紙	119	1	0	1	118	118	0	116	2	117	0	0	0	121	0	1	0	0	122	0	0	0	0	
印刷	11	0	0	0	11	11	0	5	6	5	0	0	0	5	0	0	0	0	6	0	0	0	0	
化学	6	0	0	0	6	6	0	2	5	5	4	1	1	4	1	0	1	0	5	0	0	0	0	
石油・石炭	23	0	0	0	23	23	0	2	21	9	0	0	0	9	0	0	0	0	14	0	0	0	0	
プラスチック	13	0	0	0	13	13	0	8	5	7	6	1	1	6	1	0	0	0	6	0	0	0	0	
ゴム	4	0	0	0	4	4	0	3	1	3	0	0	0	3	0	0	0	0	6	0	0	0	0	
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
窯業・土石	130	0	0	0	130	130	0	65	65	100	100	0	0	111	0	0	0	0	111	0	0	0	0	
鉄鋼	15	3	3	3	12	12	0	5	7	4	4	0	0	53	4	0	3	0	55	0	0	0	0	
非鉄金属	330	325	325	0	325	325	0	3	2	4	4	0	0	4	325	0	325	0	4	0	0	0	0	
金属	33	0	0	0	32	32	0	8	24	27	25	1	1	25	2	1	1	1	28	0	0	0	0	
はん用機器	5	0	0	0	5	5	0	4	1	4	4	0	0	4	0	0	0	0	11	0	0	0	0	
生産用機器	3	0	0	0	3	3	0	2	0	2	2	0	0	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	
業務用機器	2	0	0	0	2	2	0	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
電子部品	4	0	0	0	3	3	0	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
電気機器	3	0	0	0	3	3	0	3	0	3	3	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
情報通信機器	2	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
輸送機器	75	0	0	0	75	75	0	71	4	72	72	0	0	72	0	0	0	0	82	0	0	0	0	
その他	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
電機・ガス・水道業	255	0	0	0	254	254	0	26	228	249	249	0	0	258	0	0	0	0	271	0	0	0	0	
電機業	245	0	0	0	245	245	0	25	220	240	240	0	0	240	0	0	0	0	252	0	0	0	0	
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
下水道業	9	0	0	0	9	9	0	1	8	9	9	0	0	16	0	0	0	0	16	0	0	0	0	
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
運輸業	8	0	0	0	8	8	0	7	1	7	7	0	0	7	1	0	0	0	8	0	0	0	0	
卸・小売業	22	1	1	1	21	21	0	17	4	19	18	1	1	18	2	0	0	0	21	0	0	0	0	
医療・福祉	7	0	0	0	7	7	0	6	1	5	2	3	3	2	2	1	2	2	2	0	0	0	0	
サービス業	10	1	1	1	10	10	0	6	4	7	6	1	1	6	2	0	0	0	8	0	0	0	0	

(単位：千t/年)

表5-1 発生及び処理状況（横浜地区 業種別） < 平成21年度 > （その3）
 （単位：千t/年）

区 分	最終処分量	処理主体の内訳						業者最終処分量(県外)	業者最終処分量(県内)	業者最終処分量(県外)	業者最終処分量(県内)	海洋投入量	海洋投入量				
		自己埋立処分		自治体		処理主体の内訳								埋立処分量	埋立処分量	埋立処分量	埋立処分量
		県内	県外	県内	県外	県内	県外										
(0)	(0)	(01_1)	(01_2)	(02_1)	(02_2)	(03_1)	(03_2)	(03_3)	(03_4)								
種 類	693			19	0	626	48	0									
合 計																	
農業																	
林業																	
漁業																	
鉱業																	
建設業	340			14	0	300	26										
製造業	346			4	0	325	16										
食料品	8			2	0	6											
飲料・飼料	1			0	0	1											
繊維	0			0	0	0											
木材	0			0	0	0											
家具	0			0	0	0											
パルプ・紙	1			1	0	0											
印刷	0			0	0	0											
化学	1			0	0	1											
石油・石炭	0			0	0	0											
プラスチック	1			0	0	1											
ゴム	0			0	0	0											
皮革	0			0	0	0											
窯業・土石	0			0	0	0											
鉄鋼	4			0	0	3											
非鉄金属	325			0	0	325											
金属	2			1	0	1											
はん用機器	0			0	0	0											
生産用機器	0			0	0	0											
業務用機器	0			0	0	0											
電子部品	0			0	0	0											
電気機器	0			0	0	0											
情報通信機器	0			0	0	0											
輸送機器	0			0	0	0											
その他	0			0	0	0											
電機・ガス・水道業	0			0	0	0											
電機業	0			0	0	0											
ガス業	0			0	0	0											
熱供給業	0			0	0	0											
上水道業	0			0	0	0											
下水道業	0			0	0	0											
情報通信業	0			0	0	0											
情報通信業	1			0	0	0			0								
運輸業	2			0	0	0											
卸・小売業	3			1	0	0											
医療・福祉	2			0	0	0											
サービス業	2			0	0	0											

表5-2 発生及び処理状況（川崎地区 業種別） < 平成21年度 > （その1）

区分	自己中間処理後量										自己未処理量										搬出量		自己最終処分量						
	発生量					排出量					有償物量					自己中間処理後量					自己未処理量					搬出量		自己最終処分量	
	(A) (B+C) 4,676	(B) 1,835	(C) 2,841	(D) 1,422	(E) 168	(E1) 28	(E2) 3	(E3) 132	(E4) 4	(E5) 1	(E6) 1	(E7) 1,419	(G) 404	(G1) 404	(G2) 1	(G3) 991	(G4) 22	(G5) 0	(H) 1,155	(I) (E2+G2)	(J) 4	(K) 1,155	(L) 4	(M) 4	(N) 4				
種別	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(E6)	(E7)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)				
合計	4,676	1,835	2,841	1,422	168	28	3	132	4	1	1,419	404	404	1	991	22	0	1,155	(I)	(J)	1,155	4	4	4					
農業																													
林業																													
漁業																													
鉱業																													
建設業	706	1	706	26	15	12	1	1	1																				
製造業	3,618	1,807	1,811	1,093	136	16	3	114	2	1	680	0	0	0	678	2	0	683											
食料品	382	6	376	356	16	14	2				718	404	404	1	293	20	0	435	4	4									
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
繊維	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
ハルブ・紙	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2				
印刷	452	2	450	356	32	1	3	24	2	1	93	0	0	0	93	0	0	124	3	3									
化学	66	66	66	58	14	14	14	14	14	14	8	0	0	0	7	0	0	21	3	3									
石油・石炭	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7					
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
ゴム	297	28	269	233	50	50	50	50	50	50	37	0	0	0	35	1	1	87	1	1									
皮革	2,310	1,750	560	56	9	9	9	9	9	9	504	404	404	1	82	18	0	109	1	1									
窯業・土石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
鉄鋼	27	2	25	18	14	14	14	14	14	14	7	0	0	0	7	0	0	21	0	0									
非鉄金属	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	0	0									
金属	7	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0	0	0	6	0	0									
はん用機器	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1									
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
業務用機器	7	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0	0	0	6	0	0									
電子部品	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1									
電気機器	7	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
情報通信機器	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1									
輸送機器	50	13	37	12	0	0	0	0	0	0	26	0	0	26	0	0	0	26	0	0									
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
電気・ガス・水道業	326	15	311	304	17	17	17	17	17	17	7	0	0	7	0	0	0	24	0	0									
電気業	62	15	47	40	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	0	0	0	7	0	0									
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
熱供給業	154	0	154	154	12	12	12	12	12	12	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0									
上水道業	109	109	109	109	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0									
下水道業	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0									
情報通信業	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4									
運輸業	15	12	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3									
卸・小売業	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5									
医療・福祉	2	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2									
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									

(単位：千t/年)

表5-3 発生及び処理状況（相模原地区 業種別） < 平成21年度 > （その1）

区分	発生量 (A) (B+C) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量			
				(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	自己中間処理後の処理内訳		自己未処理の処理内訳		(H)	(I)	(E2+G2)	県内	県外
									自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)					
種別	905	25	880	303	84	42	41	0	1	577	0	574	2	1	619		
合 計	27	27	27	3	2	1	1	1	1	24		24			25		
農業																	
林業																	
漁業																	
鉱業	36	36	36	36	36	36				0				0			
建設業	380	374	374	1	1	1				373		371	1	1	373		
製造業	365	18	346	187	38	1	37	0		159	0	158	1	0	196		
食料品	16	0	16	8	0		0			8	0	8	0	0	9		
飲料・飼料	1	0	1	0	0		0			0	0	0	0	0	0		
繊維	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0		
木材	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0		
家具	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0		
ハルブ・紙	5	1	5	0	0		0			5	0	5	0	0	5		
印刷	5	3	2	0	0		0			2	0	2	0	0	2		
化学	6	1	5	1	0		0			4	0	4	0	0	4		
石油・石炭	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0		
プラスチック	6	0	5	3	3	1	2	0		2	2	0	0	5	0		
ゴム	1	0	1	0	0		0			1	1	0	0	1	0		
皮革	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0		
窯業・土石	292	1	291	164	33	0	33			67	0	67	0	0	100		
鉄鋼	27	0	27	8	1		1			18	0	18	0	0	19		
非鉄金属	2	0	2	0	0		0			2	0	2	0	0	2		
金属	18	8	10	0	0		0			10	0	10	0	0	10		
はん用機器	10	0	9	0	0		0			9	0	9	0	0	9		
生産用機器	7	0	6	0	0		0			6	0	6	0	0	6		
業務用機器	4	0	4	0	0		0			3	0	3	0	0	3		
電子部品	7	0	7	1	0		0			6	0	6	0	0	6		
電気機器	2	1	1	1	0		0			1	1	0	0	1	1		
情報通信機器	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0		
輸送機器	14	2	12	1	1		1			11	1	11	0	1	11		
その他	1	0	1	0	0		0			1	1	0	0	1	1		
電気・ガス・水道業	76	0	76	76	6	2	4			0	0	0	0	0	4		
電気業																	
ガス業																	
熱供給業																	
上下水道業	76	0	76	76	6	2	4			0	0	0	0	4			
下水道業																	
情報通信業	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0		
運輸業	1	0	1	0	1		1			1	0	1	0	0	1		
卸・小売業	8	1	7	0	7		7			7	0	7	0	0	7		
医療・福祉	11	0	11	0	11		11			11	0	11	0	0	11		
サービス業	2	0	2	0	2		2			2	0	2	0	0	2		

(単位：千t/年)

表5-3 発生及び処理状況（相模原地区 業種別） < 平成21年度 > （その2）

区 種 類	委託処理量										委託中間処理量										最終処分量				その他量 資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量		委託中間最終処分量		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		再生 利用量 (R) (E+G1+H1)	(Q) (I+O+H2)	事業者 自治体 (O1) (O2)		処理 業者 (O3)						
	(K) (O+L)	(O)	(L)	(M)	処理 業者	自治体	県内	県外	処理 業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量			(O1)	(O2)							
	(O+L)	(O)	(L)	(M)	(N)	(M1)	(M2)	(M)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)								
合 計	617	2	2	0	0	2	615	614	1	574	41	540	483	57	524	60	5	55	1	549					
農業	24						24	24		24					1					1					
林業																									
漁業																									
建設業	0						0	0		0		0	0		36					36					
製造業	372	1	1	0	0	1	371	371	0	361	10	356	307	49	309	50	3	47	1	314					
食料品	196	1	1	0	0	1	195	194	1	168	27	168	163	5	164	7	1	5	0	182					
飲料・飼料	9	0	0	0	0	0	9	8	1	3	5	6	6	1	6	1	0	1	0	6					
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
ハルブ・紙	5	0	0	0	0	0	5	5	1	4	1	4	4	0	4	0	0	0	0	0					
印刷	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	5					
化学	4	0	0	0	0	0	4	4	3	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	4					
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
プラスチック	5	0	0	0	0	0	4	4	1	3	3	3	3	0	4	0	0	0	0	4					
ゴム	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1					
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
窯業・土石	100	0	0	0	0	0	100	100	96	4	98	98	98	0	98	0	0	0	0	99					
鉄鋼	19	0	0	0	0	0	19	19	18	0	1	17	17	0	17	0	0	0	0	18					
非鉄金属	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1					
金属	10	0	0	0	0	0	10	10	8	2	4	4	4	0	4	0	0	0	0	12					
はん用機器	9	0	0	0	0	0	9	9	9	0	8	7	7	1	7	0	0	0	0	7					
生産用機器	6	0	0	0	0	0	6	6	6	0	5	5	5	0	5	0	0	0	0	5					
業務用機器	3	0	0	0	0	0	3	3	2	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1					
電子部品	6	0	0	0	0	0	6	6	4	2	5	5	5	0	5	0	0	0	0	5					
電気機器	3	0	0	0	0	0	3	3	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1					
電気機器	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1					
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
情報通信機器	11	0	0	0	0	0	11	11	11	1	8	8	8	0	8	0	0	0	0	10					
輸送機器	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1					
その他	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1					
電機・ガス・水道業	4						4	4	4	0	4	4	4	0	6	0	0	0	0	6					
電機業																									
ガス業																									
熱供給業																									
上水道業	4						4	4	4	0	4	4	4	0	6	0	0	0	0	6					
下水道業																									
情報通信業	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
運輸業	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1					
卸・小売業	7						7	7	5	2	6	6	6	1	6	1	0	0	0	7					
医療・福祉	11	0	0	0	0	0	10	10	10	1	3	1	1	3	1	3	1	2	0	1					
サービス業	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1					

表5-4 発生及び処理状況（横須賀地区 業種別） < 平成21年度 > （その1）

区分	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量						
	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理後量		自己中間処理後の処理内訳		再生利用量		自己最終処分量		自己未処理の処理内訳		再生利用量		自己最終処分量					
	(A) (B+C) 504	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)
種別	504	29	475	243	15	9	5	0	1	1	232	0	224	7	1	238	0	0	0	0	0	0	238	0
農業	2	2	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	180	0	180	9	9	9	0	0	0	0	172	0	170	2	0	172	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	95	27	67	17	3	0	3	0	0	0	51	0	45	6	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0
食料品	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家具	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ハルブ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学	16	0	15	5	0	0	0	0	0	0	11	0	11	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラスチック	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石	9	0	9	8	2	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石	17	10	7	7	0	0	0	0	0	0	7	0	7	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生産用機器	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器	39	14	25	4	1	0	1	0	0	0	21	0	21	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気・ガス・水道業	217	0	217	216	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
電気業	6	0	6	5	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道業	211	0	211	211	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸・小売業	5	1	4	1	1	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位：千t/年)

表5-4 発生及び処理状況（横須賀地区 業種別） < 平成21年度 > （その2）

種 類	区分委託処理量										委託中間処理量					最終処分量				再生利用量		その他量		
	委託直接最終処分量		委託中間処理量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量	
	(K) (O+L)	(O)	(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)		(U)		(V)	
			処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体	県内	県外	処理業者	自治体
合 計	236	8	7	0	0	7	0	0	228	228	207	21	204	179	25	187	33	2	31	2	2	216	2	2
農業	0																							
林業																								
漁業																								
鉱業																								
建設業	171	2	1	0	1	170	169	0	163	6	165	144	21	153	23	1	22	0	153					
製造業	53	6	6	0	6	48	48	0	36	11	31	28	3	28	9	1	8	0	55					
食料品	4					4	4	0	2	1	4	4	0	4	0	0	0	0	4					
飲料・飼料																								
繊維	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
木材																								
家具	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	2					
パルプ・紙	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
印刷	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
化学	11					11	11	0	10	1	2	0	2	0	2	0	1	0	1					
石油・石炭																								
プラスチック	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
ゴム	1					1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1					
皮革																								
窯業・土石	4					4	4	0	4	0	4	4	0	4	0	4	0	0	4					
鉄鋼	7	6	6		6	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	6					
非鉄金属	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
金属	1					1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0					
はん用機器	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
生産用機器	1					1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0					
業務用機器	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
電子部品	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
電気機器	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
情報通信機器	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
輸送機器	22	0	0			22	22	0	15	7	16	15	1	15	1	15	1	0	1					
その他	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
電機・ガス・水道業	3					3	3	0	2	0	2	2	0	2	0	2	0	0	0					
電機業	1					1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
ガス業																								
熱供給業																								
上水道業	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
下水道業	2					2	2	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0					
情報通信業	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
運輸業	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
卸・小売業	4	0	0			4	4	0	3	1	3	3	0	3	0	3	0	0	0					
医療・福祉	3					3	3	0	2	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0					
サービス業	2					2	2	0	2	0	2	1	1	1	1	1	1	1	0					

(単位：千t/年)

表5-5 発生及び処理状況（県所管地区 業種別） < 平成21年度 > （その1）

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量		
				(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	自己中間処理後量		自己中間処理後の処理内訳		(G)	再生 利用量 (G1)	（自己未処理の処理内訳）		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)
							(E)	(E1)	(E2)	(E3)			(E4)	(E5)		
種別	7,613	288	7,326	4,792	595	492	98	1	4	2,534	2	2,488	44	0	2,636	
農業	151	0	151	48	32	31	0	0	2	103	1	102	0	0	104	
林業	0	0	0							0				0	0	
漁業	0	0	0							0				0	0	
建設業	1,056	0	1,056	1,056	305	305				0				0	0	
製造業	1,675	46	1,629	89	20	10	10	0	1,540	0	1,531	9	0	1,550		
食品	1,498	233	1,265	583	196	144	50	1	683	1	648	33	0	734		
飲料・飼料	62	3	58	17	3	0	3	0	42	0	41	1	0	45		
繊維	86	10	76	21	2	0	2	0	55	0	55	0	0	57		
木材	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1		
家具	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1		
家具	8	2	6	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	5		
ハルブ・紙	24	13	12	2	2	2	2	0	9	0	9	0	0	9		
印刷	18	0	18	13	1	0	1	0	5	0	5	0	0	7		
化学	148	14	134	38	4	1	3	0	96	0	95	1	0	98		
石油・石炭	2	1	1						1	0	1	0	0	1		
プラスチック	22	9	13	5	2	2	0	0	8	0	8	0	0	8		
ゴム	22	0	22	14	0	0	0	0	8	0	8	0	0	8		
皮革	0	0	0						0	0	0	0	0	0		
窯業・土石	577	1	576	398	168	136	29	1	179	1	178	0	0	209		
鉄鋼	178	60	118	0	0	0	0	0	118	0	90	28	0	118		
非鉄金属	60	2	59	48	8	1	7	0	10	0	17	0	0	17		
金属	41	18	23	0	0	0	0	0	23	0	23	0	0	23		
はん用機器	15	3	12	4	1	0	1	0	8	0	8	0	0	8		
生産用機器	16	8	8	0	0	0	0	0	8	0	8	0	0	8		
業務用機器	14	0	14	0	0	0	0	0	13	0	13	0	0	13		
電子部品	24	7	17	2	0	0	0	0	15	0	15	0	0	16		
電気機器	11	2	10	0	0	0	0	0	10	0	10	0	0	10		
情報通信機器	4	0	3	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2		
輸送機器	152	77	75	18	4	1	3	0	57	0	57	0	0	60		
その他	10	2	8		0	0	0	0	7	0	7	1	0	8		
電気・ガス・水道業	3,167	0	3,167	3,012	41	3	38	1	156		156			194		
電気業																
ガス業	0	0	0						0		0			0		
熱供給業																
上下水道業	232	0	232	77	3	2	1		155		155			156		
下水道業	2,935	0	2,935	2,934	38	1	37	1	1		1			38		
情報通信業	0	0	0						0		0			0		
運輸業	6	0	5	0	0	0	0		5		5			5		
卸・小売業	21	2	19	0	0	0	0		19		19			19		
医療・福祉	14	0	14	1	1		1		13		13			14		
サービス業	25	7	18	4	0	0	0		14		14			15		

(単位：千t/年)

表5-5 発生及び処理状況（県所管地区 業種別） < 平成21年度 > （その2）

種 類	区分委託処理量										委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量			
	委託直接最終処分量		委託先地域の内訳		処理業者		(L)		(M)		再生利用量		(N2)		(R)		(Q)		(J)		(S)					
	(K)	(O+L)	自治体	県内	県外	自治体	県内	県外	自治体	県内	県外	自治体	県内	県外	(M1)	(M2)	(E+G+H+I)	(I+O+H+J)	(O1)	(O2)	(G3)	(E5+G5)	(B+R)			
	(O)	(O+L)	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者	業者			
合 計	2,632	45	44	1	8	37	2,587	2,581	5	2,300	286	2,160	2,001	159	2,494	205	17	188	4	2,782						
農業	102						102	102		98	4	102	102			134						2	134			
林業	0						0	0		0		0	0			0							0	0		
漁業	0						0	0		0		0	0			0								0	0	
鉱業	0						0	0		0		0	0			305								305	0	
建設業	1,550	9	8	1	8	2	1,541	1,539	1	1,493	48	1,496	1,370	125	1,380	135	10	125						0	1,426	
製造業	722	35	35	0	0	34	698	694	3	515	183	481	452	29	597	64	6	58						2	830	
食料品	45	1	1	0	0	1	44	44	0	24	20	32	31	1	31	1	0	1						0	34	
飲料・飼料	57	0	0	0	0	0	57	57	0	44	13	46	46	0	46	0	0	0						0	55	
繊維	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0						0	0	
木材	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0						0	0	
家具	5	0	0	0	0	0	5	5	1	5	0	4	3		3	0	0	0						0	5	
パルプ・紙	9	0	0	0	0	0	9	9	1	5	4	7	7		9	0	0	1						0	22	
印刷	7	0	0	0	0	0	6	6	0	6	0	4	4		4	0	0	0						0	4	
化学	98	1	1	0	0	1	97	97	0	41	57	40	34	6	35	7	1	6						0	49	
石油・石炭	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1		1	0	0	0						0	2	
石油・石炭	8	0	0	0	0	0	8	8	0	6	2	6	5	1	7	1	0	0						0	17	
プラスチック	8	0	0	0	0	0	8	8	0	8	0	4	4		4	0	0	0						0	4	
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0						0	0	
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0						0	0	
窯業・土石	208	1	1	0	0	1	207	207	181	26	169	162	7	299	8	1	32							1	300	
窯業・土石	118	28	28	0	0	28	90	90	84	6	61	56	5	56	33	1	32							1	117	
鉄鋼	17	0	0	0	0	0	17	17	7	10	7	12	1	13	2	0	0							0	14	
非鉄金属	23	0	0	0	0	0	23	23	0	15	8	11	10	1	10	1	0	0						0	28	
金属	9	0	0	0	0	0	9	9	0	5	4	7	6		6	0	0	0						0	10	
はん用機器	8	0	0	0	0	0	8	8	7	1	5	4	4	1	4	1	0	0						0	13	
生産用機器	13	0	0	0	0	0	13	12	1	8	5	9	8	1	8	1	0	0						0	9	
業務用機器	16	0	0	0	0	0	16	16	10	6	6	6	6	0	6	0	0	0						0	13	
電子部品	10	0	0	0	0	0	10	10	7	3	6	5	1	5	2	0	0	0						0	7	
電気機器	2	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	2	2		2	0	0	0						0	2	
情報通信機器	60	0	0	0	0	0	60	60	43	17	42	40	2	41	2	0	0	0						0	118	
輸送機器	8	1	1	0	0	1	7	7	0	6	0	4	4	1	4	2	0	0						0	6	
その他	194						194	194	160	33	41	40	0	43	0	0	0	0						1	43	
電機・電気・水道業	0						0	0	0	0	0	0	0		0										0	0
電機業	0						0	0	0	0	0	0	0		0										0	0
電気業	156						156	156	156	3	3	3	3		3	0	0	0							0	6
熱供給業	38						38	38	5	33	37	37	37		37	0	0	0						1	37	
上下水道業	0						0	0	0	0	0	0	0		0										0	0
下水道業	0						0	0	0	0	0	0	0		0										0	0
情報通信業	5	0	0	0	0	0	5	5	5	1	5	4	4		4	0	0	0						0	5	
運輸業	19	1	1	0	0	1	19	19	13	6	17	15	2	15	3	0	0	0						0	17	
卸・小売業	14	0	0	0	0	0	13	13	10	3	7	5	2	5	2	0	0	0						0	5	
医療・福祉	15	0	0	0	0	0	15	15	6	8	12	11	0	11	0	0	0	0						0	18	
サービス業																										

(単位：千t/年)

その他量 資源化量

表6-1 発生及び処理状況（横浜地区 種類別：変換） < 平成21年度 > （その1）

(単位：千t/年)

区分	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量		自己最終処分量		
	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理後量		自己中間処理後の処理内訳		自己最終処分量		自己未処理の処理内訳		自己最終処分量		
	(A) (B+C)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H) (I+K+J)
合計	5,768	128	5,641	2,691	500	91	84	326	0	2,950	4	2,887	29	30	3,355		
燃え殻	34	1	33	7	16	7	8	33	0	33	4	33	41				
汚泥	3,109	3	3,106	2,594	395	14	55	326	0	511	4	491	13	3	888		
有機性汚泥	1,803	1	1,802	1,766	1		1			35		34	2		37		
無機性汚泥	1,306	2	1,304	828	394	14	54	326		476	4	458	11	3	852		
廃油	37	5	32	0	0	0	0	0		32		32	0	0	32		
一般廃油	23	5	18	0	0	0	0	0		18		18	0	0	18		
廃溶剤	2	0	2							2		2	2	2	2		
固形油	0	0	0							0		0	0	0	0		
油でい	2	0	2							2		2	2	2	2		
油付着物類	11	0	11							11		11	11	11	11		
廃酸	23	0	23	1	0		0			21		20	1	1	22		
廃アルカリ	18	0	18							18		16	2	2	18		
廃プラスチック類	107	3	104	0	1	0	1	0	0	103		101	3	0	104		
廃プラスチック	103	2	101	0	1	0	1	0	0	100		97	3	0	101		
廃タイヤ	4	1	3							3		3	3	3	3		
紙くず	134	2	131	8	4	3	1			123		123	0	0	123		
木くず	124	0	123	0	0		0			123		123	0	0	123		
繊維くず	2		2							2		2	2	2	2		
動植物性残さ	53	23	30	0						30		30	0	0	30		
動物系固形不要物	2		2							2		2	2	2	2		
ゴムくず	0		0							0		0	0	0	0		
金属くず	235	73	162	50	50	50	0	0		112		112	1	0	112		
ガラス陶磁器くず	139	0	139	18	18	0	18			121		120	1	1	139		
鉱さい	2	0	2							2		2	2	2	2		
がれき類	1,488	3	1,485	16	16	16				1,469	0	1,461	8	0	1,469		
コンクリート片	735	3	732	1	1	1				731	0	730	1	0	731		
廃アスファルト	597		597	16	16	16				581		581	0	0	581		
その他	157		157							157		149	7	7	157		
ばいじん	222	12	210	0	0	0	0			210		210			210		
動物のふん尿	23		23							23			23	23	23		
動物の死体	2		2	1	0	0				0		0	0	0	0		
その他の産業廃棄物	14	1	13	0	0	0	0	0		12		9	3	3	12		

表6-1 発生及び処理状況（横浜地区 種類別：変換） <平成21年度>（その2）

種 類	区分委託処理量												委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量			最終処分量			その他量											
	(K) (O+L)		(O)		処理業者		自治体		県内		県外		(L)		処理業者		自治体		県内		県外		(M)		(M1)		(M2)		(R)		(O)		(J)		(S)			
	委託直接最終処分量		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳	
	(K)	(L)	(O)	処理業者	自治体	県内	県外	(L)	処理業者	自治体	県内	県外	(M)	再生利用量	最終処分量	(M1)	(M2)	(R)	(O)	(O1)	(O2)	(O3)	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(O)	(O1)	(O2)	(O3)	(J)	(S)						
合 計	3,325	355	345	9	346	9	2,970	2,968	2	2,486	484	2,721	2,382	339	2,477	693	19	674	30	2,604																		
燃え殻	41						41	41		11	30	55	52	4	59	4																						
汚泥	885	339	337	2	338	0	546	546	1	479	67	368	76	292	95	630	3	628	3																			
有機性汚泥	37	2	0	2	2	0	35	35		19	16	10	10	0	10	0																						
無機性汚泥	848	337	337	0	337	0	511	511	1	460	51	358	67	292	85	629	1	628	3																			
廃油	32						32	32	0	18	14	18	18		18																							
一般廃油	18						18	18	0	8	9	13	13		13																							
廃溶剤	2						2	2		1	1	1	1		1																							
固形油	0						0	0	0	0	0	0	0		0																							
油でい	2						2	2	0	2	2	1	1		1																							
油付着物類	11						11	11	0	9	1	2	2		2																							
廃酸	20						20	20	0	7	13	0	0		0																							
廃アルカリ	16						16	16	0	6	10	0	0		0																							
廃プラスチック類	104	3	2	1	1	2	101	101	0	75	26	86	70	16	70	19	4	15	0																			
廃プラスチック	101	3	2	1	1	2	98	98	0	73	25	83	66	16	66	19	4	15	0																			
廃タイヤ	3						3	3	0	2	1	3	3	0	3	0	0	0	0																			
紙くず	123						123	123	0	121	2	123	123	0	126	0																						
木くず	123	0	0				123	123	1	113	11	121	120	1	120	1																						
繊維くず	2						2	2	0	2	0	2	2	0	2	0																						
動植物性残さ	30	0	0				30	30	0	18	12	23	23	0	23	0																						
動物系固形不要物	2						2	2			2	2	2	0	2	0																						
ゴムくず	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																						
金属くず	112	1	1				112	112		89	23	112	110	1	160	2																						
ガラス陶磁器くず	139	1	0	1	1	0	138	138		104	34	138	136	2	136	3	1	2	0																			
鉱さい	2						2	2		1	1	2	2	0	2	0																						
がれき類	1,469	8	2	6	6	2	1,461	1,461		1,422	39	1,454	1,433	21	1,449	29	10	19	0																			
コンクリート片	731	1	0	0	0	0	730	730		714	16	730	729	1	730	2	1	1	0																			
廃アスファルト	581	0	0	0	0	0	581	581		577	4	581	581	0	596	0	0	0	0																			
その他	157	7	2	6	6	2	149	149		131	18	143	123	20	123	27	10	17	0																			
ばいじん	210						210	210		12	197	210	210	0	210	0																						
動物のふん尿																																						
動物の死体	0						0	0			0	0	0	0	1																							
その他の産業廃棄物	12	3	3	3	3	3	9	9	0	7	2	6	5	1	5	5	0	4	0																			

(単位：千t/年)

表6-1 発生及び処理状況（横浜地区 種類別：変換） <平成21年度>（その3）
（単位：千t/年）

区	分	最終処分量	処理主体の内訳							
			自己埋立処分		自治体		業者最終処分量(県内)		業者最終処分量(県外)	
			県内 (01_1)	県外 (01_2)	県内 (02_1)	県外 (02_2)	埋立 処分量 (03_1)	海洋 投入量 (03_2)	埋立 処分量 (03_3)	海洋 投入量 (03_4)
(0)		693		19		0	626	48	0	
燃え殻		4		1		0		3		
汚泥		630		3		0	626	2	0	
有機性汚泥		2		2		0		0		
無機性汚泥		629		1		0	626	2	0	
廃油										
一般廃油										
廃溶剤										
固形油										
油でい										
油付着物類										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類		19		4		0		15		
廃プラスチック		19		4		0		15		
廃タイヤ		0		0		0		0		
紙くず		0						0		
木くず		1						1		
繊維くず		0						0		
動植物性残さ		0		0		0		0		
動物系固形不要物		0		0				0		
ゴムくず		0						0		
金属くず		2		0		0		2		
ガラス陶磁器くず		3		1		0		2		
鉱さい		0		0				0		
がれき類		29		10		0		19		
コンクリート片		2		1		0		1		
廃アスファルト		0		0				0		
その他		27		10		0		17		
ばいじん		0		0				0		
動物のふん尿										
動物の死体										
その他の産業廃棄物		5		0		0		4		

表6-2 発生及び処理状況（川崎地区 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区分	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量	
	発生量 (A) (B+C) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			(G)	自己未処理の処理内訳		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外			
				(E)	再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		(G2)	委託中間 処理量 (G3)					委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	
																			(D)
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)			
合計	4,676	1,835	2,841	168	28	3	132	4	1	1,419	404	1	991	22	0	1,155	4		
燃え殻	0	0	0	8	0	1	5	2		0	0	0	0	0	0	9	1		
汚泥	1,492	25	1,467	114	14	2	97	1		334	76	1	254	3	0	357	3		
有機性汚泥	827	1	826	42	14	2	25	0		73	0	0	73	0	0	101	2		
無機性汚泥	665	24	641	72	0	0	71	1		261	76	1	181	3	0	257	1		
廃油	76	1	75	3	1	1	0	0	1	25	0	0	25			26			
一般廃油	69	1	68	1	0	0	0	0		21	0	0	21			21			
廃溶剤	0	0	0							0	0	0	0			0			
固形油	2	2	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1			1			
油でい	2	2	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	2			2			
油付着物類	2	2	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1			1			
廃酸	140	1	140	11			11			9	0	0	9			20			
廃アルカリ	68		68	1			1			11	0	0	10			11			
廃プラスチック類	28	1	28	0	0	0	0	0	0	27	0	0	27	0	0	27			
廃プラスチック	28	1	27	0	0	0	0	0	0	27	0	0	27	0	0	27			
廃タイヤ	0	0	0							0	0	0	0			0			
紙くず	4	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4			4			
木くず	43	0	43	2	1	0	0	0	0	40	0	0	40	0	0	41			
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
動植物性残さ	7	0	6							6			6			6			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0	0	0							0			0			0			
金属くず	87	54	33	0	0	0	0	0	0	33	6		27	0	0	27			
ガラス陶磁器くず	57	0	57	15	0	0	15	0	0	31	0	0	31	0	0	47			
鉱さい	1,909	1,750	159							159	143		1	16		16			
がれき類	532	4	528	15	12	2	2	1		506	3		503	3		509			
コンクリート片	164	4	160	0	0	0	0	0		160			160			160			
廃スチロール	83	83	0							83			83			83			
その他	286		286	15	12	2	2	1		263	180		260	3		266			
ばいじん	229		229	0	0	0	0	0		229			50			50			
動物のふん尿																			
動物の死体																			
その他の産業廃棄物	4	0	4							4			4	0		4			

(単位：千t/年)

表6-2 発生及び処理状況（川崎地区 種類別：変換） <平成21年度>（その2）

種 類	区分委託処理量										委託中間処理量										再生利用量				最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)									
	(K) (O+L)		(O)		処理業者		自治体		県内		県外		(L)		処理業者		自治体		県内		県外		(M)		(M1)		(M2)		(R) (E+G+H+I)		(O) (I+O+M2)		(J) (E5+G5)						
	委託直接最終処分量		委託中間処理量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量						
	(K)	(O+L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)	(L)	(O)		(L)	(O)	(L)	(O)	(L)				
合 計	1,149	26	25	1	3	23	1,123	1,121	2	795	328	1,111	994	117	1,426	147	4	2	140	1	3,261																		
燃え殻	8	2	2	0	0	2	6	6	0	5	1	22	17	4	17	7	1	1	6																				
汚泥	354	3	3	1	2	1	351	350	0	214	136	346	271	76	361	83	3	1	79																				
有機性汚泥	99	0	0	0	0	0	98	98	0	36	63	96	95	1	110	3	2	0	1																				
無機性汚泥	255	3	3	1	2	1	252	252	0	179	74	250	175	75	251	80	1	1	78																				
廃油	25						25	25	0	12	13	16	16		17																								
一般廃油	21						21	21	0	11	11	13	13		13																								
廃溶剤	0						0	0	0	0	0	0	0		0																								
固形油	1						1	1	0	0	1	1	1		2																								
油でい	2						2	2	0	0	1	0	0		1																								
油付着物類	1						1	1	0	1	0	1	1		2																								
廃酸	20						20	20	0	10	9	15	15		15																								
廃アルカリ	11						11	11	0	4	7	7	7		7																								
廃プラスチック類	27	0	0	0	0	0	27	26	1	19	8	26	21	5	21	5	21	5	0	4																			
廃プラスチック	27	0	0	0	0	0	27	26	1	19	8	26	21	5	21	5	21	5	0	4																			
廃タイヤ	0						0	0	0	0	0	0	0		0																								
紙くず	4	0	0	0	0	0	4	4	0	2	2	4	4		4																								
木くず	41	0	0	0	0	0	41	40	0	37	3	40	40	1	40	1	40	1	0	1																			
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0																								
動物性残さ	6						6	6	1	6	1	6	6		6																								
動物系固形不要物																																							
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0		0																								
金属くず	27	0	0	0	0	0	27	27	0	25	2	27	27	0	33	0	33	0	0	0																			
ガラス陶磁器くず	47	0	0	0	0	0	46	46	0	30	17	44	41	3	41	4	41	4	0	4																			
鉱さい	16	16	16	16	16	16	1	1	1	1	0	1	1	1	143	16	143	16	16	16																			
がれき類	509	4	4	0	0	3	505	505	0	433	72	502	477	25	489	29	489	29	0	29																			
コンクリート片	160						160	160	0	128	32	160	146	14	146	14	146	14	14	14																			
廃アスファルト	83						83	83	0	81	2	83	83		83																								
その他	266	4	4	0	0	3	262	262	0	224	39	259	248	11	260	15	260	15	0	15																			
ばいじん	50						50	50	0	1	49	49	48	1	228	1	228	1	1	1																			
動物のふん尿																																							
動物の死体																																							
その他の産業廃棄物	4	0	0	0	0	0	4	3	0	2	1	6	4	2	4	2	4	2	0	1																			

(単位：千t/年)

表6-3 発生及び処理状況（相模原地区 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量							
				自己中間処理後量		自己中間処理後の処理内訳		(G)	（自己未処理の処理内訳）		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)							
				(E)	(E1)	(E2)	(E3)		(E4)	(E5)			(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)		
種別	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	
合計	905	25	880	303	84	42	41	0	0	1	577	0	0	574	2	1	619		
燃え殻	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
汚泥	376	0	376	294	77	38	38	0	0	0	82	0	0	81	0	0	120		
有機性汚泥	28	0	28	8	0	0	0	0	0	0	20	0	0	20	0	0	21		
無機性汚泥	347	0	347	286	76	38	38	0	0	0	61	0	0	61	0	0	99		
廃油	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	12	0	0	12		
一般廃油	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0	0	6		
廃溶剤	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1		
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
油でい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
油付着物類	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4		
廃酸	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0	0	6		
廃アルカリ	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8	0	0	8		
廃プラスチック類	29	0	29	4	2	1	2	0	0	0	25	0	0	25	0	0	27		
廃プラスチック	26	0	26	4	2	1	2	0	0	0	23	0	0	22	0	0	24		
廃タイヤ	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3		
紙くず	8	4	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4		
木くず	24	0	24	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	24	0	0	24		
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	5		
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属くず	58	18	40								40	0	0	40	0	0	40		
ガラス陶磁器くず	56	0	56								56	1	0	55	1	0	56		
鉱さい	0	0	0								0	0	0	0	0	0	0		
がれき類	280	0	280	1	1	1	1	0	0	0	279	0	0	278	1	0	279		
コンクリート片	145	0	145								145	0	0	145	0	0	145		
廃アスファルト	107	0	107	1	1	1	1	0	0	0	106	0	0	106	0	0	106		
その他	28	0	28								28	0	0	27	1	0	28		
ばいじん	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動物のふん尿	25	0	25	1	1	0	1	0	0	1	24	0	0	24	0	0	25		
動物の死体	2	0	2	2	1	1	1	0	0	0		0	0		0	0			
その他の産業廃棄物	13	1	12								12	0	0	12	0	0	12		

(単位：千t/年)

表6-3 発生及び処理状況（相模原地区 種類別：変換） < 平成21年度 > （その2）

区 分	委託処理量										委託中間処理量										再生 利用量				最終処分量				その他量			
	(K) (O-L)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)		(U)		(V)		(W)		(X)					
	委託直接最終処分量		委託中間処理量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量		委託中間処理後量			
	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	(AC)	(AD)	(AE)	(AF)	(AG)	(AH)	(AI)	(AJ)	(AK)	(AL)	(AM)	(AN)		
種 類	617	2	2	0	0	2	615	614	1	574	41	540	483	57	524	60	55	55	1	549												
燃え殻	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	8	4	4	4	4	1	3														
汚泥	120	0	0	0	0	120	120	114	5	98	63	35	101	35	0	35	0	35														
有機性汚泥	21	0	0	0	0	21	21	19	1	19	19	0	0	19	0	0	0	0														
無機性汚泥	99	0	0	0	0	99	99	95	4	79	44	35	82	35	0	35	0	35														
廃油	12					12	12	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7														
一般廃油	6					6	6	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4														
廃溶剤	1					1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0														
固形油	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
油でい	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
油付着物類	4					4	4	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3														
廃酸	6					6	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
廃アルカリ	8					8	8	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
廃プラスチック類	27	0	0	0	0	27	27	20	6	22	16	6	17	6	1	5	0	17														
廃プラスチック	24	0	0	0	0	24	24	18	6	20	14	6	14	6	1	5	0	14														
廃タイヤ	3					3	3	3	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3														
紙くず	4					4	4	1	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4														
木くず	24	0	0	0	0	24	23	21	3	23	23	23	23	23	23	23	23	23														
繊維くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
動植物性残さ	5	0	0	0	0	5	4	1	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3														
動物系固形不要物																																
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
金属くず	40	0	0	0	0	40	40	37	2	40	39	1	39	1	0	0	0	39														
ガラス陶磁器くず	56	1	1	0	0	55	55	51	4	54	52	2	52	3	0	3	0	52														
鉱さい	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
がれき類	279	1	0	0	0	278	278	273	6	277	268	9	269	9	2	7	0	269														
コンクリート片	145	0	0	0	0	145	145	142	3	145	145	0	145	0	0	0	0	145														
廃プラスチック	106					106	106	106	0	106	106	106	106	106	106	106	106	106														
その他	28	1	0	0	0	27	27	25	2	26	17	8	17	8	2	7	0	17														
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
動物のふん尿	24					24	24	24		24	24	24	24	24	24	24	24	24														
動物の死体																																
その他の産業廃棄物	12	0	0	0	0	12	12	11	1	3	2	0	2	0	0	0	0	2														

(単位：千t/年)

表6-3 発生及び処理状況（相模原地区 種類別：変換） <平成21年度>（その3）
（単位：千t/年）

区 分	最終処分量	処理主体の内訳						
		自己埋立処分		自治体		業者最終処分量(県外)		
		県内 (01_1)	県外 (01_2)	県内 (02_1)	県外 (02_2)	埋立 処分量 (03_1)	業者最終処分量(県外) 埋立 処分量 (03_3)	海洋 投入量 (03_4)
(0)	60			5		0	34	20
燃え殻	4			1		0		3
汚泥	35			0		0	34	0
有機性汚泥	0			0		0		0
無機性汚泥	35			0		0	34	0
廃油								
一般廃油								
廃溶剤								
固形油								
油でい								
油付着物類								
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラスチック類	6			1		0		5
廃プラスチック	6			1		0		5
廃タイヤ								
紙くず	0							0
木くず	0							0
繊維くず	0							0
動植物性残さ	0			0				0
動物系固形不要物								
ゴムくず	0							0
金属くず	1			0		0		0
ガラス陶磁器くず	3			0		0		3
鉱さい	0			0				0
がれき類	9			2		0		7
コンクリート片	0			0				0
廃アスファルト								
その他	9			2		0		7
ばいじん	0			0				0
動物のふん尿								
動物の死体								
その他の産業廃棄物	0			0				0

表6-4 発生及び処理状況（横須賀地区 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区分	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量			
	(A) (B+C) 発生量	(B)	(C) (D+G) 排出量	自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			(E)	(G)	(G1) 再生 利用量	自己最終処分量		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳）				
				(D)	(E)	(E1) 再生 利用量	(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量				(E5) その他量	(G2) 自己最終 処分量			(G3) 委託中間 処理量	(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他量	県内	県外
(A) (B+C) 発生量	(B)	(C) (D+G) 排出量	(D)	(E)	(E1) 再生 利用量	(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量	(E5) その他量	(E)	(G)	(G1) 再生 利用量	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量	(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他量	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外	
合計	504	29	475	243	15	9	5	0	1	232	0	224	7	1	238						
燃え殻	0	0	0	0	1	0	1			0		0		0				1			
汚泥	272		272	232	3	0	3			39		34	5	0	42						
有機性汚泥	221		221	218	0	0	0			3		3	0	0	4						
無機性汚泥	51		51	15	3	0	3			36		31	5	0	39						
廃油	15	1	14	0	0	0	0			14		14	0	0	14						
一般廃油	12	1	11	0	0	0	0			11		11	0	0	11						
廃溶剤	0	0	0							0		0	0	0	0						
固形油	0	0	0							0		0	0	0	0						
油でい	0	0	0							0		0	0	0	0						
油付着物類	2	0	2							2		2	0	0	2						
廃酸	2	0	2							2		2	0	0	2						
廃アルカリ	2	0	2	0	0	0	0			2		2	0	0	2						
廃プラスチック類	13	0	12	0	0	0	0			12		11	0	11	0						
廃プラスチック	12	0	12	0	0	0	0			11		11	0	11	0						
廃タイヤ	1	0	0							0		0	0	0	0						
紙くず	1	0	1							1		1	0	1	0						
木くず	14	0	14	0	0	0	0			13		13	0	13	0						
繊維くず	0	0	0							0		0	0	0	0						
動植物性残さ	2	0	2							2		2	0	2	0						
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0			0		0	0	0	0						
金属くず	41	27	14							14		14	0	14	0						
ガラス陶磁器くず	10	0	10							10		9	1	0	10						
鉱さい	0	0	0							0		0	0	0	0						
がれき類	128		128	9	9	9	9			120		119	1	119	1						
コンクリート片	63		63	1	1	1	1			62		62	0	62	0						
廃スチール	51		51	8	8	8	8			43		43	0	43	0						
その他	14		14							14		14	1	14	1						
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0			0		0	0	0	0						
動物のふん尿	2		2	2	1	0	0		1	0		0	0	0	0						
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0			0		0	0	0	0						
その他の産業廃棄物	3	0	3	0	0	0	0			3		3	0	3	0						

(単位：千t/年)

表6-4 発生及び処理状況（横須賀地区 種類別：変換） <平成21年度>（その2）

種 類	区分委託処理量													委託中間処理量				委託先地域の内訳				委託中間処理後量				再生利用量			最終処分量			その他量				
	(K) (O+L)		(O)		処理業者		自治体		県内		県外		(L)		処理業者		自治体		県内		県外		(M)		(M1)		(M2)		(R) (E+G+H+I)		(O) (I+O+M2)		(J) (E+G5)		(S) (B+R)	
	8	7	0	0	7	228	228	0	207	21	204	179	25	187	33	2	31	2	216																	
	(O+L)	(O)	処理業者	自治体	県内	県外	(L)	処理業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(O)	(O1)	(O2)	(O3)	(S)	(B+R)															
合計	236	8	7	0	0	7	228	228	0	207	21	204	179	25	187	33	2	31	2	216																
燃え殻	1						1	1	0	0	1	4	4	1	4	1	0	0	0	4																
汚泥	42	5	5			5	37	37	33	4	30	12	18	12	24	0	23	0	12																	
有機性汚泥	4	0	0			0	4	4	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1																	
無機性汚泥	39	5	5			5	34	34	31	2	29	11	18	11	24	0	23	0	11																	
廃油	14						14	14	10	4	4	4	4	4	4				5																	
一般廃油	11						11	11	9	2	2	2	2	2	2				3																	
廃溶剤	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0																	
固形油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0																	
油でい	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0																	
油付着物類	2						2	2	2	2	2	2	2	2	2				2																	
廃酸	1						1	1	1	0	0	0	0	0	0				0																	
廃アルカリ	2						2	2	0	1	1	0	0	0	0				0																	
廃プラスチック類	12	0	0	0	0	0	11	11	11	0	5	4	1	5	1	0	1	0	5																	
廃プラスチック	11	0	0	0	0	0	11	11	11	0	4	4	1	4	1	0	1	0	4																	
廃タイヤ	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				1																	
紙くず	1						1	1	1	0	0	0	0	0	0				0																	
木くず	14	0	0	0	0	0	13	13	8	5	13	13	13	13	0	0	0	0	13																	
繊維くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0																	
動植物性残さ	2						2	2	1	1	2	2	2	2	2				2																	
動物系固形不要物																																				
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0																	
金属くず	14	0	0	0	0	0	14	14	13	1	14	14	14	14	0	0	0	0	14																	
ガラス陶磁器くず	10	1	1	0	0	1	9	9	8	0	8	8	8	8	1	0	1	0	8																	
鉱さい	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0																	
がれき類	120	1	0	0	0	0	119	119	119	0	118	115	3	124	4	1	3	0	124																	
コンクリート片	62	0	0	0	0	0	62	62	62	0	62	62	0	63	0	0	0	0	63																	
廃アスファルト	43						43	43	43	0	43	43	43	51	0				51																	
その他	14	1	0	0	0	0	14	14	14	0	13	10	3	10	3	1	2	0	10																	
ばいじん	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				0																	
動物のふん尿																			0																	
動物の死体	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0				1																	
その他の産業廃棄物	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	1	4	2	2	2	0	2	0	2																	

(単位：千t/年)

表6-5 発生及び処理状況（県所管地区 種類別：変換） <平成21年度>（その1）

区分	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量	
	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			(E)	(G)	（自己未処理の処理内訳）			(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外	
				再生 利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生 利用量 (G1)			自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)					その他量 (G5)
(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)					
合計	7,613	288	7,326	4,792	595	492	98	1	4	2,534	2	2,488	44	0	2,636				
燃え殻	1	0	0	0	10	0	9	0	0	0	0	0	0	10					
汚泥	5,234	4	5,230	4,692	513	433	78	1	0	538	1	506	31	617					
有機性汚泥	3,073	0	3,073	3,015	37	3	33	0	0	58	0	58	0	92					
無機性汚泥	2,161	4	2,157	1,677	476	430	45	1	0	480	1	448	31	526					
廃油	81	11	70	4	1	1	1	0	0	66	0	66	0	67					
一般廃油	49	9	40	3	1	1	1	0	0	37	0	37	0	38					
廃溶剤	15	2	13	0	0	0	0	0	0	13	0	13	0	13					
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
油でい	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1					
油付着物類	16	0	16	1	0	0	0	0	0	14	0	14	0	14					
廃酸	29	2	27	1	0	0	0	0	0	26	0	26	0	26					
廃アルカリ	47	0	47	2	0	0	0	0	0	45	0	45	0	45					
廃プラスチック類	130	11	119	9	6	3	2	0	0	110	0	108	3	112					
廃プラスチック	125	10	115	9	6	3	2	0	0	106	0	103	3	108					
廃タイヤ	5	1	4	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	4					
紙くず	28	13	15	2	2	2	0	0	0	12	0	12	0	12					
木くず	106	0	106	2	0	0	0	0	0	105	0	104	1	105					
繊維くず	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1					
動植物性残さ	64	10	54	1	1	0	1	0	0	52	0	52	0	54					
動物系固形不要物	5	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	5					
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
金属くず	319	225	94	2	2	2	0	0	0	92	0	90	2	93					
ガラス陶磁器くず	133	0	133	13	13	12	0	0	1	120	0	119	2	121					
鉱さい	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	3					
がれき類	1,244	0	1,244	15	15	8	6	0	0	1,229	0	1,226	4	1,236					
コンクリート片	590	0	590	2	2	0	2	0	0	588	0	587	1	590					
廃アスファルト	479	0	479	12	12	8	4	0	0	466	0	466	0	471					
その他	175	0	175	0	0	0	0	0	0	175	0	172	3	175					
ばいじん	12	10	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2					
動物のふん尿	146	0	146	47	32	30	0	0	2	99	1	98	0	100					
動物の死体	5	0	5	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	4					
その他の産業廃棄物	25	1	24	1	1	0	0	0	0	23	0	22	1	23					

(単位：千t/年)

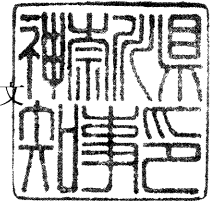
表6-5 発生及び処理状況（県所管地区 種類別：変換） <平成21年度>（その3）
（単位：千t/年）

区 分	最終処分量	処理主体の内訳					
		自己埋立処分		自治体		業者最終処分量(県外)	
		県内 (01_1)	県外 (01_2)	県内 (02_1)	県外 (02_2)	業者最終処分量(県内) 埋立 処分量 (03_1)	業者最終処分量(県外) 埋立 処分量 (03_3)
(0)	205		17	1	91	97	0
合計	205		17	1	91	97	0
燃え殻	4		1			3	
汚泥	124		1		91	31	0
有機性汚泥	0		0			0	
無機性汚泥	123		1		91	31	0
廃油							
一般廃油							
廃溶剤							
固形油							
油でい							
油付着物類							
廃酸							
廃アルカリ							
廃プラスチック類	36		7		0	29	
廃プラスチック	36		7		0	29	
廃タイヤ	0		0			0	
紙くず	0					0	
木くず	2					2	
繊維くず	0		0			0	
動植物性残さ	0		0			0	
動物系固形不要物	0		0			0	
ゴムくず	0					0	
金属くず	4		0		0	3	
ガラス陶磁器くず	8		2		0	6	
鉱さい	0		0			0	
がれき類	15		3		0	12	
コンクリート片	6		1		0	5	
廃アスファルト	0		0		0	0	
その他	8		2		0	7	
ばいじん							
動物のふん尿							
動物の死体							
その他の産業廃棄物	12		2		0	10	

< 參考資料 >

調査対象事業者様

神奈川県知事 松沢 成文



神奈川県産業廃棄物総合実態調査の実施について（依頼）

新緑の候、皆様方にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本県では、平成 19 年度に事業者の皆様のご協力をいただき、神奈川県産業廃棄物総合実態調査を実施しましたが、その後の産業廃棄物を取り巻く社会情勢等の変化により産業廃棄物の発生量や処理・処分方法等に変動が生じているものと思われまます。

このため、今年度、産業廃棄物の現状を的確に把握し、廃棄物の発生抑制、資源化、適正処理の推進に関する行政施策の検討に活用するため、日本環境株式会社に委託して神奈川県産業廃棄物総合実態調査を実施することといたしました。

つきましては、貴事業所を調査対象事業所とさせていただきますので、御多用の折、誠に恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、御回答いただきました内容につきましては、統計調査の目的以外に利用することはありません。

- ・ 回答期間 平成 22 年 6 月 30 日まで
- ・ 調査内容 同封の調査票による（調査票は県のホームページからダウンロードできます。
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/05/0516/sanpaichosa/index.html>
- ・ 記入方法 同封の記入要領による
- ・ 回答方法 同封の返信用封筒による（電子メールでの御回答も受け付けています。）
- ・ 送付先 郵送の場合：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 3-12-31
日本環境株式会社アセス部アセス課
電子メールの場合：3r@n-kankyo.com

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（法第 12 条第 7 項、第 12 条の 2 第 8 項）で定める「多量排出事業者」の皆様へ

多量排出事業者にご該当する事業所におかれましては、お手数をかけますが、法第 12 条第 8 項、第 12 条の 2 第 9 項に基づく実施状況報告書とは別に、本調査につきましてもご協力をお願いします。

問い合わせ先

- （1）実態調査の目的、趣旨につきましては、
神奈川県環境農政局環境部資源循環課廃棄物企画グループ
電話 代表(045)210-1111（内線 4150） 担当 小野崎
電子メール:haikitaishaku.0504@pref.kanagawa.jp へ
- （2）調査票の記入方法につきましては、
日本環境株式会社アセス部アセス課
電話：(045)501-8661 FAX：(045)502-7477
電子メール：3r@n-kankyo.com

産業廃棄物分類表(その1)

爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は、本用紙右下の特別管理産業廃棄物の分類表をご参照ください。

1. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

種類	分類番号	具 体 例
汚泥 (泥状のもの)	有機性汚泥	0210 製紙汚泥、活性汚泥(余剰汚泥)、ヒルビット汚泥(し尿を含むものは除く)、染色廃水処理汚泥、クリニング廃水処理汚泥(水洗を主とする場合)、イースト菌培養液等、その他泥状を呈する有機性廃棄物
	下水汚泥	0211 下水汚泥
無機性汚泥	0220 めっき汚泥、金属表面処理汚泥、研磨汚泥、砂利洗浄汚泥、セメント工場廃水処理汚泥、産業廃水処理汚泥、水酸化アルミ汚泥、イオン交換樹脂再生廃液処理汚泥、廃シヨットプラスチック、廃サントララスト(塗料かす等を含むもの)、脱硝石こう、赤泥、ガラス研磨汚泥、その他泥状を呈する無機性廃棄物	
	建設汚泥	0221 建設高含水率汚泥、ベントナイト汚泥
廃油	上水汚泥	0222 上水汚泥
	鉱物油	0311 エンジンオイル、機油、切削油、グリシ、切削油、絶縁油、圧延油、作動油、重油、原油油、潤滑油、燃料油
廃固形物	動物性油脂	0312 魚油、鯨油、ラード、天ぷら油、サラダ油、アマニ油、桐油、ゴマ油、なたね油、やし油、大豆油、とうもろこし油
	溶剤	0320 アルコール類、ケトン、洗浄油
油	形状	0330 アスファルト、タールピッチ類、パラフィンろう、固形石けん、固形脂肪酸、クレヨン、バステル
	付着物	0350 タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム 油のしみたウエス、油紙(くず)、廃油材、廃シール材、クレオソート廃油、アンダーコートかす、廃塗料、液状、インクかす、廃りニス
無機性の酸性廃液	0400 塩酸、硫酸、フッ酸、クロム酸、リン酸、硝酸、酸化水素酸、過塩素酸、スルファミン酸、ケイフッ酸、酸性洗浄液、エッチング液、茶色酸性廃液(漂白液せき工程、染色工程)、クロム酸廃液	
	写真定着廃液	0401 写真定着廃液
有機性の酸性廃液	0402 干酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸、アルコール発酵廃液、アミノ酸発酵廃液	
	アルカリ性廃液	0500 アルカリ性洗浄液、洗びのみ用アルカリ、石灰液、廃灰汁、アルカリ性メッシュ廃液、ドロマイン廃液、染色排水精製工程、シルクゲ加工、黒液(チップ蒸解液)、脱脂液(金属表面処理、硫化ソーラ廃液)
写真現像廃液	0501 写真現像液	
	合成繊維	0610 ナロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、混紡繊維、化繊ロープ、化学繊維
プラスチック	FRP	0611 繊維強化プラスチック、ガラス繊維強化プラスチック、FRP廃品
	熱硬化性樹脂	0612 ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂
プラスチック製品(くず)	0613 フェノール樹脂(ベークライト)、ウリア樹脂、エポキシ樹脂、メラニ樹脂、ウレタン樹脂	
	0614 塗料かす(固形)、エナメルかす、ラッカーかす、廃ポリマー、廃ワニス(樹脂系のもの)、染料かす(樹脂系のもの)、接着剤かす、電熱体材料、フィルム、プラスチックフィルム、発泡スチロール、シート、ビニールシート、ビニール袋、塩ビ管	
紙類	0620 廃タペイ	
	0615 ハウキン(くず)、ライニング(くず)、固形ラテックス	
農業用プラスチック	0616 農業用ビニール	
	0638 石綿(アスベスト)を含むもの	
紙	0700 印刷用紙、親紙(くず)、段ボール	
	0800 木くず、おがくず、かんくず、バーナクル、竹、ベニヤ、ベニヤボード類	
繊維	0801 防塵、防虫木材、薬液処理合板、CCA処理木材	
	0900 羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセチルトレー紡織維(天然繊維が主体のもの) <<注意>>合成繊維は、廃プラスチック類に分類されます。	
動物性残渣	1001 魚、獣の骨、肉、臓などあら、皮革(くず)、皮、皮革(くず)、ボイルかす、缶詰め、瓶詰め不良品、乳製品	
	1002 リーズかす、醬油かす、こうじかす、酒かす、ビールかす、酒かす、ビールかす等の発酵、醸造かす、あめかす、餅かす、でんぷんかす、豆腐かす、あんかす、米、麦粉、大豆かす、不良品、菓物の皮、種子、野菜(くず)、菓草かす、油かす、パン(くず)、原料(くず)	
ゴム	1100 ゴム(くず)、エポキシ(くず)、ゴム手袋、ゴムチューブ、ゴム板(くず) (注)合成ゴム(すは)は廃プラスチックに分類されます	
	1201 鉄くず	
金属	1202 銅線、銅(くず)、アルミ(くず)、アルミ缶	
	1203 混合金属(くず)	

産業廃棄物分類表(その2)

種類	分類番号	具 体 例					
ガラス(くず)	1301	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラススワール、ガラス食器、光学レンズ、クリスタルガラス、理化学用ガラス器具、薬品ビン					
	1302	セラミック(くず)、レンガ、かわら、陶器					
コンクリート(くず)及び陶磁器	1303	石膏ボード(くず)					
	1304	コンクリート製品(くず)					
廃砂	1338	石綿(アスベスト)を含むもの					
	1401	鑄物砂、サントララスト廃砂(塗料かす等を含むものを除く)					
鉱さい	1402	高炉水さい、高炉の焼き、平炉の焼き、転炉の焼き、電気炉の焼き、キューボウのノロ、ドロ					
	1403	不良鉱石、ボタ、粉炭かす、鉱じん、破石(くず)					
がれき類	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片					
	1520	アスファルトコンクリートの破片					
建築物の除去に伴うもの	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、レンガ、スレート、タイル、断熱材					
	1538	石綿(アスベスト)を含むもの					
建設混合廃棄物	1532	工事現場内及び自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの					
	1003	ど畜場から生ずる獣畜に係る固形状の不燃物、食鳥処理場から生ずる食鳥に係る固形状の不燃物					
動物のふん尿	1800	畜舎のふん尿、牛のふん尿、豚のふん尿、にわとりのふん尿、馬のふん尿					
	1900	畜舎の死体、牛の死体、豚の死体、にわとりの死体、馬の死体					
ばいじん	1600	集じん器捕集ダスト、煙道、煙突、冷却器に付着堆積したす					
	0100	集じん器、コータス灰、重油灰、木灰、炉排出物、クリンカなど (注)燃焼ごみなどを自己焼却処理した場合、「燃焼灰」ではなく、「焼却する前の」紙(くず)、木くず等を発生時の種類として記入してください。					
燃焼灰	0101	廃活性炭、廃カーボン					
	2000	有害汚染のコンクリート固型化物					
産業廃棄物を処分するために処理したものの(産業廃棄物処理令第13号)	9010	廃自動車破砕物、廃電気機器器具破砕物					
	9020	その他、次の産業廃棄物上記具具体例での分類をせず、以下の分類としてください。					
種類	廃プリンター	9029	鉛製の管	9031	9040		
	廃家電製品	9021	廃蛍光灯	9030			
分類番号	9020	9021	9022	9029	9030	9031	9040

2. 特別管理産業廃棄物

爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

揮発性液体	0318	燃えやすい廃油、ガソリン、灯油、軽油、トルエン、キシレン、エーテル
強酸性液体	0408	水素イオン濃度指数(pH)2.0以下の廃液
強アルカリ性液体	0508	水素イオン濃度指数(pH)12.5以上の廃アルカリ
感染性廃棄物	8098	血液、血清、血清、体液(精液を含む)、血液等が付着した針筒、注射針、メス、試験管、シャーレ、ガラス(くず)等、血液等が付着した実験用器具、手術用手袋等、病原微生物に感染した試験管、検査器具等(注)検査器具等(試験管、シャーレ等)、汚染物が付着した廃プラスチック類等
	0109	特定有害物質を含む焼却灰
特別管理産業廃棄物	0219	特定有害物質を含む有機性汚泥
	0229	特定有害物質を含む無機性汚泥
特定有害無機性汚泥	0319	特定有害物質を含む廃油
	0409	特定有害物質を含む酸性廃液
特定有害有機性汚泥	0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
	1308	吹き付け石綿(アスベスト)、石綿含有保温材、断熱材、耐火被覆材、大気汚染防止法の特定期間内発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
特定有害鉱さい	1409	特定有害物質を含む鉱さい
	1609	特定有害物質を含むばいじん
PCB汚染物	9050	PCBを含む産業廃棄物

形式-2

神奈川県産業廃棄物総合実態調査票(その1)

神奈川県統計調査条例
平成22年5月25日
神奈川県告示第398号

神奈川県環境部環境部資源循環課

この欄は記入しないでください。

調査票番号	
区分	備考
地域	
業種	
業種	
業種	
業種	
業種	
業種	

1. 本調査の対象期間は平成21年度(平成21年4月1日~平成22年3月31日)の1年間です。
2. 本調査は当調査票が送付された事業所のみを対象としています。よって、貴事業所以外に関連事業所等があっても、それは本調査の対象となりません。
3. 産業廃棄物が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、下記の「事業所の概要」、「主な診療科目」、「事業の概要」、「産業廃棄物発生の有無」を記入して返送してください。

事業所の概要		事業所名		主な診療科目(医療機関のみ)	
所在地		所在地		所在地	
代表者氏名		記入者 <small>ふりがな</small> (部課、氏名)		記入者	
記入年月日平成 年 月 日		電話番号		電話番号	
従業員数		従業員数(医療機関のみ)		従業員数	
事業所の現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入してください。 (平成21年4月1日現在)		事業所の病床数を記入してください。 (平成21年4月1日現在)		事業所の病床数を記入してください。 (平成21年4月1日現在)	
人		人		床	

産業廃棄物発生の有無
平成21年度の1年間に産業廃棄物は発生しましたか。
該当する番号に を付けてください。

1. 発生した。
2. 発生しなかった。

次に調査票(その2)を記入してください。

上記の事業所の概要、主な診療科目(医療機関のみ)、事業の概要をご確認のうえ、ご返送ください。

神奈川県産業廃棄物総合実態調査票(その2)

この調査票の対象期間は平成21年4月1日～平成22年2月31日の1年間です。
この期間中の産業廃棄物の発生と処理・処分状況を質問事項の「」までの流れに従って記入してください。

形式-2

別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入してください。

廃棄物の名称
貴事業所で日常使用している名称で記入してください。(別紙「廃棄物分類表」に示した具休例を参照)

廃棄物の分類番号
別紙「記入要領・記入例の範囲」に「廃棄物分類表」を参考に記入してください。

発生した廃棄物の量
発生した廃棄物の量を、発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

発生した廃棄物の量
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

発生した廃棄物の量
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

区分 行番	廃棄物の名称 分類番号	発生した年月	発生した量	発生した年月			発生した量	単位
				10月	11月	12月		
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

発生した廃棄物の処理・処分方法

別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

発生した廃棄物の処理・処分方法

別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

発生した廃棄物の処理・処分方法

別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

発生した廃棄物の処理・処分方法

別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

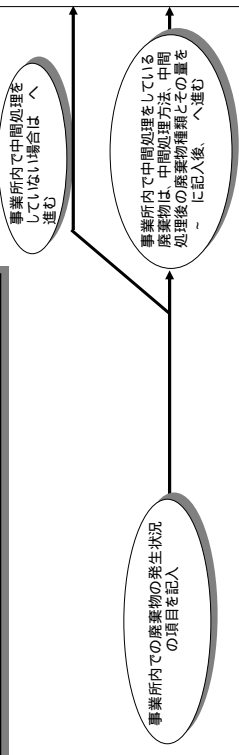
処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

処理・処分方法
発生した年月(中間処理する前の量)を記入してください。

この用紙は再生紙を使用しています。

< 調査票の記入要領・記入例 > 形式-2

調査票（その2）の質問の流れ



該当する処理・処分記号を選択する

以降、各該当事項

- Q 1: 自社の処分場で埋立処分した。 > 「自社」と記入
- Q 2: 売却できるものを自社で再利用した。 > 「自社」と記入
- Q 3: 売却できないものを自社で再利用した。 > 「自社」と記入
- Q 4: 売却（利益があった）した。 > 売却先を記入
- Q 5: 自社で保管している。 > 「自社」と記入
- R 1: 市町村の処分場で埋立処分した。 > 処分場を記入
- R 2: 市町村の清掃工場で処理した(ごみ収集に出すことを含む)。 > 市町村名を記入
- R 3: 市町村の清掃工場でリサイクルした。 > 市町村名を記入
- S 1: 処理業者の処分場で直接埋立処分した(中間処理を経由しない)。 > 処分業者名を記入
- S 2: 処理業者で直接海洋投入した(中間処理を経由しない)。 > 処分業者名を記入
- S 3: 処理業者に中間処理・資源化・リサイクルを委託した。 > 中間処理業者名を記入
- S 4: 廃品回収（資源）業者で処理した。 > 業者名を記入
- Z 1: 農地等の嵩上げ材として処分した。 > 所有者を記入
- Z 2: 知人の所有地で処分した。 > 所有者を記入
- Z 3: 農地・河川敷・山林で処分した。 > 所有者を記入
- Z 4: 納入業者等に下取りしてもらった。 > 業者名を記入
- Z 5: その他。 > 該当者を記入

調査票（その2）の記入例

下欄の事例(A-D)に対応したそれぞれの記入例を参考に、調査票(その2)を記入してください。

本紙の裏面の廃棄物分類表を参照してください。

該当する単位に、必ず、をつけてください。

微量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0(ゼロ)」を記入し、単位はkgに付けてください。

廃棄物の処理等を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先に確認して記入してください。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入してください。

廃棄物の処理等を委託している業者は、委託先以外の業者へ委託している場合、その理由を記入してください。

マニフェスト伝票を参照して記入してください。不明な場合は、委託業者に確認して記入してください。

中間処理を処理業者に委託している場合は、最終処分先をマニフェスト伝票を参照して記入してください。

区分	行番	廃棄物の名称	廃棄物の分類番号	年間発生量				中間処理数量				方法記号	廃棄物の分類番号(処理後)	廃棄物の種類	単位
				百万	千	百	十	万	千	百	十				
事例：A	1	感染性廃棄物	80198	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	kg
事例：B	2	ガラス	80198	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	kg	
事例：C	3	写真定着液	0401	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	kg	
事例：D	4	廃プラスチック	0614	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	kg	
	5													kg	
	6													kg	

処理・処分方法	処理・処分先又は発生利用先の所在地	処理・処分先又は発生利用先の名称	所在地番号	所在地	異外委託	方法記号			処理後の処分方法	資源化用途	最終処分場所
						1次処理	2次処理	3次処理			
S 3	産業	相模原	04	相模原		A		2			01
S 3	(株)	足柄上	08	足柄上		P	G	1		R70	
Q 4	(株) x	埼玉	31	埼玉						R20	
S 3	(株)	埼玉	31	埼玉		A		2			31

事例：A

- ・廃血液を含む感染性廃棄物が年間100t発生した。
- ・院内では処理せず相模原市に処理施設を保有する産業に委託し、焼却処理してもらった。
- ・焼却後の燃え殻は横浜市内の最終処分場で埋立処分している。

事例：B

- ・ガラス等の感染性廃棄物が年間1,200kg発生した。
- ・院内では処理せず足柄上郡の産業に委託している。
- ・乾熱滅菌処理後のガラスくずは、破碎後ガラス原料としてリサイクルされている。

事例：C

- ・レントゲン写真定着廃液が年間400L発生し、定期的に取りに来る(株) x (埼玉県) に売却している。
- ・(株) x では、廃液から銀を回収している。

事例：D

- ・廃プラスチック(非感染性廃棄物)が年間2,500kg発生した。
- ・院内では処理せず、県内の業者より処理コストが低いことから埼玉県内の(株)に処理を委託したことから埼玉県内の最終処分場で埋立処分している。

産業廃棄物分類表

爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している産業廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

表1：特別管理産業廃棄物の分類表

種別	分類番号	具 体 例
感染性産業廃棄物	8 0 9 8	血液、血清、血漿、体液（精液を含む）、血液等が付着した鋭利なもの（注射針、メス、試験管、シヤレ、ガラスくず等）、血液等が付着した実験・手術用手袋等、病原微生物に関連した試験・検査等に用いられたもの（試験管、シヤレ等）、汚染物が付着した廃プラスチック類等
揮発性廃油	0 3 1 8	揮発油類（ガソリン、灯油、軽油、トルエン、キシレン、エーテル）
強酸性廃液	0 4 0 8	水素イオン濃度指数（pH）が2.0以下の廃液
強アルカリ性廃液	0 5 0 8	水素イオン濃度指数（pH）が12.5以上の廃液
特定有害汚泥	0 2 1 9	特定有害物質を含む汚泥
特定有害廃油	0 3 1 9	特定有害物質を含む廃油
特定有害廃酸	0 4 0 9	特定有害物質を含む酸性廃液
特定有害廃アルカリ	0 5 0 9	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
特定有害廃棄物ばいじん	1 6 0 9	特定有害物質を含むばいじん
廃石綿等	1 3 0 8	吹き付け石綿（アスベスト）、石綿含有保温材、断熱材、耐火被覆材
廃PCB・PCB汚染物・PCB処理物	9 0 5 0	高圧コンデンサ、蓄電器、高圧トランス、変圧器、低圧コンデンサ、蛍光灯の安定器、ノーカーボン紙など

表2：産業廃棄物の分類表

種別	分類番号	具 体 例
有機性汚泥	0 2 1 0	検査や実験室などの排水処理施設から発生する汚泥（し尿を含む浄化槽汚泥は除く）
廃油	一般鉱物油	冷凍機やポンプなどの潤滑油
	廃油	入院患者の給食に使った食用油（天ぷら油等）
	溶解剤	アルコール類、ケトン、洗浄油
	油で洗い	タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スガム
	油付着物等	油の滲みたウエス、油紙くず、廃吸油材
廃酸	無機性の酸性廃液	ホルマリン、その他の酸性の廃液
	レントゲン写真定着廃液	レントゲン写真定着廃液
カリウムアル	0 5 0 0	検査廃液、その他のアルカリ性の廃液
レントゲン写真現像液	0 5 0 1	レントゲン写真現像液
プラスチック製品くず	0 6 1 4	合成樹脂製の器具、レントゲンフィルム、ビニールチューブ、その他の合成樹脂製のもの
ゴム	くず	天然ゴムの器具類、ディスプレイの手袋など
	くず	金属製機器器具、金属製ベット、鉄くず、その他金属製のもの
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラスくず	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウール、ガラス食器、光学レンズ、理化学用ガラス器具、薬品ビン
	陶磁器くず	ギブス用石膏、陶磁器の器具、その他の陶磁器製のもの
ばいじん	ん	電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダスト
	スプリング入りのマットレス	スプリング入りのマットレス
蛍光灯	9 0 2 9	蛍光灯

形式-3 神奈川県産業廃棄物総合実態調査票(その1)

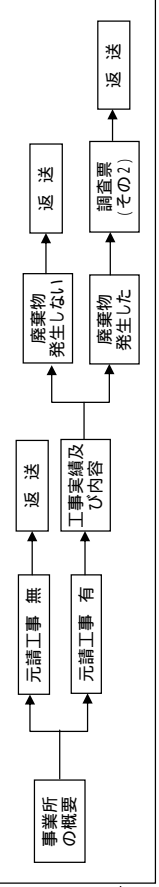
この欄は記入しないで下さい。
 調査票番号 区分 地域 業種 階層 備考

--	--	--	--	--	--

1. 本調査の対象工事は、平成21年度(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の1年間に神奈川県内で施工した全ての元請工事(元方事業者となった工事、出来高工事含む)を対象とします。
2. 共同企業体(J.V)による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請工事高と発生した産業廃棄物を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生した産業廃棄物を一括記入してください。
3. 神奈川県内の元請工事がなかった場合は、下記の「事業所の概要」、「元請工事の有無」を記入して返送してください。神奈川県内の元請工事が発生した場合は、裏面の調査票(その2)も記入し、返送してください。(右図、調査票の提出フロー参照)

神奈川県統計調査条例
 平成22年5月25日
 神奈川県告示第398号
 神奈川県環境部環境部資源循環課

<調査票の提出フロー>



産業廃棄物発生の有無

1. 発生した。 _____

2. 発生しなかった。 _____

事業所の概要、元請工事の有無、神奈川県内の元請工事について、産業廃棄物発生の有無をご記入の上、返送してください。

<廃棄物量の推移> 平成21年度を基準「100%」にして、貴事業所が受注した元請工事から発生した産業廃棄物量の重的变化を過去3年間及び平成22年度の見込み量をパーセント(%)で記入してください。産業廃棄物の発生がない場合は「0」、発生量が不明のときは「不明」と記入してください。

記入欄	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度(見込み量)	平成22年度(増減傾向)
	%	%	%	%	1. 増加 2. 微増 3. 微減 4. 減少
記入例	90	120	110	105	

平成19年度をピークとして産業廃棄物量が減少傾向にあり、平成22年度の見込み量は、平成21年度に比べ増加する場合は、平成21年度に記入して下さい。

平成21年度の一年間に建設汚泥が発生する元請工事が有りましたか。

有り 無し

具体的な数値が記入できない場合は、増減傾向で該当する番号を記入して下さい。

次に裏面の調査票(その2)を記入して下さい。

建設汚泥の発生量のうち、公共工事により発生した建設汚泥の発生量の割合(%)を記入してください。建設汚泥が発生する公共工事がなかった場合は0%と記入して下さい。

割合(%)	%
-------	---

事業所の概要

元請工事の有無

1. 有 2. 無

県内の元請工事の有無について、該当する番号に を付けてください。

記入者(部署、氏名) _____

記入年月日 平成 年 月 日 電話番号 _____

質問は以上で終わります。回答用紙の返送をお願いします。

<神奈川県内の元請工事について>

神奈川県内の元請工事のうち、その内訳の工事件数、元請完成工事高を、「1. 横浜市内」、「2. 川崎市」、「3. 相模原市内」、「4. 相模原市内」、「5. 横浜、川崎市、横須賀市、相模原市の4市を除く神奈川県内」に分けて記入してください。

工事実績及び内容	区分	工事件数	元請完成工事高					
			千円	十億円	千円	十億円	万円/年	
年間元請工事件数(出来高工事含む)を記入してください。								
1. 横浜市内の工事		件						万円/年
2. 川崎市内の工事		件						万円/年
3. 横須賀市内の工事		件						万円/年
4. 相模原市内の工事		件						万円/年
5. 上記以外の神奈川県内の工事		件						万円/年

この用紙は再生紙を使用しています。

1. 廃棄物分類表

産業廃棄物

種類	分類番号	具 体 例
汚泥 (泥状のもの)	0210	排水処理汚泥、ビルビット汚泥(し尿を含むものは除く)
	0221	建設高含水率汚泥、ベントナイト汚泥、道路側溝汚泥<建設残土は除く>
廃油	0311	重機等の潤滑油、エンジンオイル、機油、グリソ、切削油、絶縁油
	0320	アルコール類、ケトン、洗浄油
	0330	アスファルト、タールピッチ類
	0340	タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルラップ汚泥、油性スカム
	0350	油の染みたウエス、油紙くず、廃油垢、廃シール材、クレオソート廃油、アンダーコートかす、廃塗料(液状)、インクかす、廃ワニス
廃酸	0400	廃液で酸性を呈するもの
	0500	廃液でアルカリ性を呈するもの
プラスチック類	0610	ナイロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、化繊ロープ、化学繊維
	0611	繊維強化プラスチック、ガラス繊維強化プラスチック、FRP廃品
	0612	発泡スチロール(梱包材用を除く)、ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂
	0613	フェノール樹脂(ベークライト)、コリア樹脂、エポキシ樹脂、メラニン樹脂、ウレタン樹脂
	0614	合成樹脂建材、発泡スチロールの梱包材、塗料かす(固形)、エナメルかす、ラッカーかす、廃ワニス(樹脂系のもの)、接着剤かす、電線被覆材、プラスチックフィルム、ビニールシート、ビニール袋、塩ビ管
	0620	廃タイヤ
	0615	パッキンくず、ライニングくず、成形ラックス
	0638	石綿含有ビニール床タイル
	0700	印刷用紙、新聞紙くず、段ボール、新聞紙
	0800	木くず、おがくず、かんなくず、パーク類、竹、ベニヤ、ベニヤボード類
繊維	0900	伐採木、伐採材、伐根材
	0900	羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセテート混紡繊維(天然繊維が主体のもの)
ゴム	1100	天然ゴムくず
	1201	鉄くず、スクラップ(主体が鉄製の場合)、プリキくず、トタンくず、空き缶(鉄製)
金属くず	1202	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶
	1203	自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
ガラスくず、コンクリートくず及陶磁器くず	1301	白熱電球、窓ガラス、びん類、ガラスウール
	1302	かわら、土管、陶管、タイル
	1303	石膏ボードくず
	1338	石綿スレート、石綿セメントサイディングボード
	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
がれき類 (工作物の新築、改装又は除去に伴うもの)	1520	アスファルトコンクリートの破片
	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、れんが、スレート、タイル、断熱材
建設混合廃棄物	1538	石綿スレート、石綿セメントサイディングボード
	1532	工事現場内及び自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
特別管理産業廃棄物		
揮発性廃油	0318	揮発油類(軽油、灯油、軽油、トルエン、キシレン、エーテルなど)
強酸性廃液	0408	水素イオン濃度指数(pH)が2.0以下の廃液
強アルカリ性廃液	0508	水素イオン濃度指数(pH)が12.5以上の廃液
特別有害汚泥	0229	特定有害物質を含む汚泥
特定有害廃油	0319	特定有害物質を含む廃油
特定有害廃酸	0409	特定有害物質を含む酸性廃液
特定有害廃アルカリ	0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
廃石棉等	1308	吹き付け石棉(アスベスト)、石綿含有保温材
廃CB・PCB汚物、PCB汚物(特定有害産業廃棄物)	9050	高圧コンデンサー、蓄電池、高圧トランス、変圧器、低圧コンデンサー、蛍光灯の安定器、ノーカーボン紙

2. 建設工事から発生すると思われる主な廃棄物の種類

下表に廃棄物の例を示しました。該当する物は、もれなく調査票に記入してください。この例示以外の物も発生している場合は、「1. 廃棄物分類表」を参照のうえ記入してください。

工事の種類	主な発生廃棄物の例	名称	分類番号
木造家屋新築工事、改装(増築を含む)	空カン、トタン・プリキ等加工くず	鉄くず	1201
	プラスチック内装材切くず、梱包材くず	廃プラスチック	0614
	ガラスくず	ガラスくず	1301
	屋根瓦	陶磁器くず	1302
	木くず	木くず	0800
	壁紙、障子、紙、板紙などの古紙、包装材、段ボール	紙くず	0700
	墨、じゅうたん、木綿くず、ロープ、縄(天然繊維のもの)	繊維くず	0900
	石綿を含むビニール床タイル、スレート、サイディングボード	石綿(7ハ、7ト)を含むもの	1532
	上記以外の解体残材	建設混合廃棄物	1532
	コンクリート建屋新築、改装(増築を含む)工事	場所打杭工法等からの汚泥	無機性汚泥
	コンクリートハツリ、モルタルハツリくず	コンクリート片	1510
	断熱材くず	断熱材	1530
	ガラスくず	ガラスくず	1301
	プラスチック内装材くず	廃プラスチック	0614
	鉄筋、形鋼、トタン、空きカン等(鉄製)のスクラップ	鉄くず	1201
	既存建屋解体残材	コンクリート片	1510
	セメント空袋、紙くず	紙くず	0700
	墨、じゅうたん、木綿くず、ロープ、縄、繊維くず(天然繊維のもの)	繊維くず	0900
	石綿を含むビニール床タイル、スレート、サイディングボード	石綿(7ハ、7ト)を含むもの	1532
コンクリート建屋解体工事	木材破片	木くず	0800
	鉄等の金属破片、スクラップ	鉄くず	1201
	コンクリート構築物破片	コンクリート片	1510
	その他解体残材	建設混合廃棄物	1532
	石綿を含むビニール床タイル、スレート、サイディングボード	石綿(7ハ、7ト)を含むもの	1532
	廃石膏等	石膏くず	1308
橋梁、高架橋工事	場所打杭工法からの汚泥	無機性汚泥	0221
鉄骨工事	支保工等の鋼残材	鉄くず	1201
地下鉄、下水道福祉工事	泥水シールド工法からの汚泥	無機性汚泥	0221
塗装工事	鋼製支保材	鉄くず	1201
	空カン(鉄製のもの)	鉄くず	1201
	ビニールシート、塗料かす(固形)	廃プラスチック	0614
	塗料かす(液状)	一脱廃油	0311
土地・宅地造成、掘削、林道、治山、砂防、災害復旧等の土木工事	コンクリートハツリくず	コンクリート片	1510
	既存建屋解体残材	コンクリート片	1510
	伐採木、伐採材、伐根材	木くず	0800
道路舗装工事	道路修復アスファルトくず	廃アスファルト	1520
	道路修復コンクリートくず	コンクリート片	1510
電気工事	電柱(コンクリート製)	コンクリート片	1510
	電柱(木製)	木くず	0800
	電線くず	非鉄くず	1202
	ガイシくず	陶磁器くず	1302
	被覆くず	廃プラスチック	0614
	塩ビ管	廃アスファルト	1520
設備給排水工事	鉄等の金属片、スクラップ	鉄くず	1201

産業廃棄物処分業者 様

神奈川県産業廃棄物総合実態調査の提出書類について

この度の神奈川県産業廃棄物総合実態調査で、ご提出をお願いする調査票につきましては、下記のフロー図で該当する形式をご確認のうえ、ご提出して下さいますようお願い申し上げます。

提出書類の記入内容

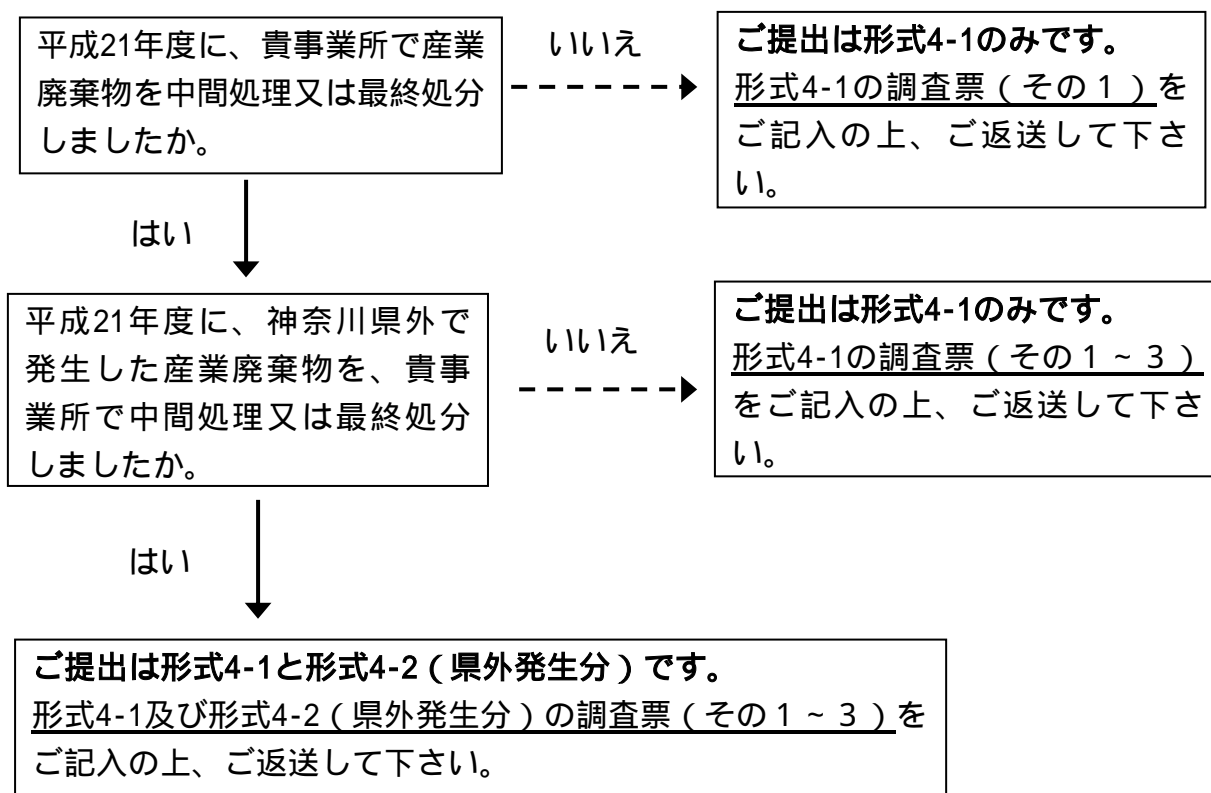
- 形式4-1：（１）事業所の概要について
（２）県内及び県外から発生した産業廃棄物の受託量について
（３）県内及び県外から発生した産業廃棄物の処理・処分状況について

形式4-1は全ての事業所が対象です。

- 形式4-2：（１）県外から発生した産業廃棄物の受託量について
（２）県外から発生した産業廃棄物の処理・処分状況について

形式4-2は県外から発生した産業廃棄物を受託、処理・処分をした事業所が対象です。

提出書類のフロー図



神奈川県産業廃棄物総合実態調査票(その1)

神奈川県統計調査条例
平成22年5月25日
神奈川県告示第398号
神奈川県環境保健政局環境部資源環境課

この欄は記入しないでください。

調査票番号	
区分	業種
S1	
	備考

- 本調査の対象期間は平成21年度(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の1年間です。なお、質問によって別の期間を指定する場合があります。
- 本調査の対象廃棄物は、次の処理施設の受託廃棄物です。
 - ・精舎・保管・分別・選別施設
 - ・中間処理施設
 - ・埋立処分場
- 処理実績が調査の対象期間中に何もなかった場合は、調査票(その1)の「事業所の概要」欄、「事業の内容」、「産業廃棄物処理の有無」欄を記入して返送してください。
- 提出された調査票の記入内容について、問い合わせをさせていただきます(場合もあります)ので、控えを取っておいてください。

事業所の概要	
事業所名	
所在地	
代表者氏名	記入者 の氏名 (部署、氏名)
記入年月日	平成 年 月 日
電話番号	

- 事業の内容
- 神奈川県又は横浜市、川崎市、相模原市、相模原市から許可を受けている事業内容を記入してください。
- 収集・運搬
 - 精舎・保管
 - 分別・選別
 - 中間処理
 - 埋立処分

産業廃棄物処理の有無

平成21年度の1年間に産業廃棄物を処理しましたか。該当する番号に付けてください。

1. 処理した。 2. 処理しなかった。

左記の「事業所の概要」、「事業の内容」、「産業廃棄物処理の有無」欄を記入の上、ご返送ください。

平成21年度を基準「100%」にして、貴事業所で中間・最終処分した産業廃棄物の量的変化を過去3年間及び平成22年度の見込み量をパーセント(%)で記入してください。処理実績がない場合は「0」と記入してください。

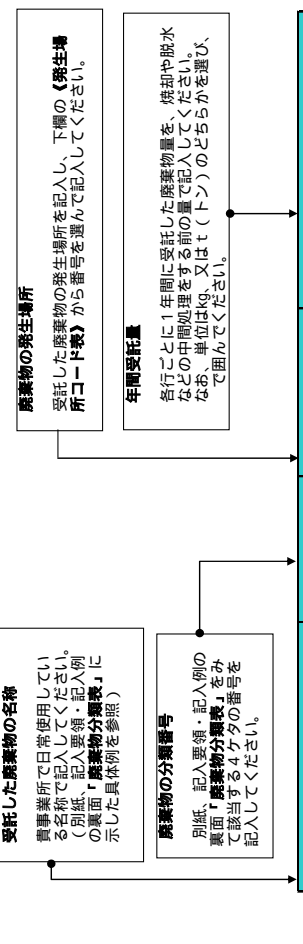
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度(見込み量)	平成22年度(増減傾向)
記入欄	%	%	%	%	1. 増加 2. 微増 3. 微減 4. 減少 欄
記入例	90	120	110	110	

平成19年度をピークとして廃棄物量が減少傾向にあり、平成22年度の見込み量は、平成21年度に比べ増加する場合は記入例です。

次に調査票(その2、その3)を記入してください。

神奈川県産業廃棄物総合実態調査票(その2)

この調査票の対象期間は平成22年4月1日～平成22年3月31日の1年間です。
この期間中の産業廃棄物の発生と処理・処分状況を質問事項の～までの流れに従って記入してください。
別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入してください。



受託した廃棄物の量																	
区分	行番	廃棄物の名称	廃棄物の分類番号(受託荷)	発生場所(現場)	発生場所					年間受託量							
					発生場所コード	百万	十万	万	千	百	十	一	単位				
	1																kg
	2																kg
	3																kg
	4																kg
	5																kg
	6																kg
	7																kg
	8																kg
	9																kg
	10																kg

《発生場所コード表》(で使用)

<県内の場合>

01	横浜
02	川崎
03	相模原
04	相模原
11	上記4市以外の県内市町村

<県外の場合>

21	北海道
22	青森
23	岩手
24	宮城
25	秋田
26	山形
27	福島
28	茨城
29	栃木
30	群馬
31	埼玉
32	千葉
33	東京
34	東京
35	新潟
36	富山
37	石川
38	福井
39	山梨
40	長野
41	岐阜
42	静岡
43	愛知
44	三重
45	滋賀
46	京都府
47	大阪府
48	兵庫県
49	奈良
50	和歌山
51	鳥取
52	徳島
53	岡山
54	広島
55	山口
56	徳島
57	香川
58	愛媛
59	高知
60	福岡
61	佐賀
62	長門
63	熊本
64	大分
65	福岡
66	福岡
67	福岡

調査票（その2）の記入例

この調査の対象廃棄物は、自社の中間処理施設又は、最終処分施設で処分した廃棄物です。

下欄の事例(A～D)に対応したそれぞれの記入例を参考にして、調査票(その2)を記入してください。

区分 行番	廃棄物の名称	廃棄物の分類 番号(登録時)	廃棄物の発生場所 (現場) 発生場 所コード	年間委託量				単位
				百 万 ト	十 万 ト	千 ト	十 ト	
事例：A 1	建設汚泥	0 2 2 1	横浜市 0 1		1	0	0	kg
2	建設汚泥	0 2 2 1	東京都 3 3		7	0	0	kg
3	木くず	0 8 0 0	神奈川県 1 1		8	0	0	kg
4	廃プラスチック	0 6 1 0	神奈川県 1 1		4	0	0	kg
5	廃プラスチック	0 6 1 0	相模原市 0 4		6	0	0	kg
6	廃油	0 3 1 1	神奈川県 1 1				2	kg
7	廃油	0 3 1 1	横浜市 0 3				8	kg
8	廃プラスチック	0 6 1 4	東京都 3 3		3	0	0	kg
9	廃プラスチック	0 6 1 4	横浜市 0 1		1	2	0	kg
10								kg t

委託した廃棄物の発生場所を記入してください。

委託した廃棄物の発生場所を記入してください。

委託した廃棄物の発生場所を記入してください。

委託した廃棄物の発生場所を記入してください。

事例：A
・当社では横浜市内の工事現場で排出された建設汚泥を1,000t、東京都内の工事現場で排出された建設汚泥を700tそれぞれ受託した。

事例：B
・当社では、厚木市内の事業所より木くずを800t、伊勢原市内の事業所と相模原市の事業所より廃プラスチック(合成繊維)をそれぞれ400t、600tを受託した。

事例：C
・当社では、藤沢市内の事業所から20t、横浜市内の事業所から80tの廃油を受託した。

事例：D
・当社では、東京都内の事業所から300t、横浜市内の事業所から120tの廃プラスチックを受託した。

この用紙は再生紙を使用しています。

< 調査票の記入要領・記入例 > 形式-4-1

調査票（その3）の記入例

この調査の対象廃棄物は、自社の中間処理施設又は、最終処分施設で処理・処分した廃棄物です。

下欄の事例(A~D)に対応したそれぞれの記入例を参考にして、調査票(その3)を記入してください。

廃棄物の処理等を他の業者に委託している場合は、委託後に確認して記入してください。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入してください。

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先に確認して記入してください。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入してください。

該当する単位に、必ずをつけてください。

重量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、(0.0(ゼロ))を記入し、単位はkgにをつけてください。

該当する単位に、必ずをつけてください。

廃棄物分類表を参照してください。

区分 行番	廃棄物の名称	廃棄物の分類 番号(委託時)		年間回収量		廃棄物の分類 番号(処理後)		中間処理数量		処理・処分 方法	処理・処分先又は 再生利用先の 名称	処理・処分先又は 再生利用先の所在地	所在地 番号	異外 委託	資源化用途	最終処分場所 (委託中間処理型)	
		百 万	十 万	千	百	十	千	百	十								単位
事例:A	1 建設汚泥	0	2	2	1	1	7	0	0	B		静岡 県	4	2	2		
事例:B	2 木くず	0	8	0	0	8	0	0	0	H		埼玉 県	3	1		R 30	
	3 廃プラスチック	0	6	1	0	1	0	0	0	A		横須賀 市	0	3	1	R 90	
事例:C	4 廃油	0	3	1	1	1	0	0	0	E	(株)	神奈川 県	1	1			43
	5 廃プラスチック	0	6	1	4	4	2	0	0	G		横須賀 市	0	3		R 100	
事例:D	6 廃プラスチック	0	6	1	4	4	2	0	0	G		横浜 市	0	1			32
	7 廃プラスチック	0	6	1	4	4	2	0	0	I	x 商店	東京 都	3	3		R 30	
	8																
	9																
	10																

事例：A
当社は横浜市内の工事現場で排出された建設汚泥を1,000t、東京都内の工事現場で排出された建設汚泥を700tそれぞれ委託した。(調査票その2に記載済)
委託した総量1,700tの汚泥は股水後に340tとなり、県内では中間処理することが可能な業者がないことから静岡県にあるx産業に埋立処分を委託した。

事例：B
当社では、厚木市内の事業所より木くずを800t、伊勢原市内の事業所と相模原市の事業所より廃プラスチックをそれぞれ400t、600tを受託した。(調査票その2に記載済)
受託した木くずは選別後、20tを埼玉県の株に燃料として売却し、残りは焼却処理した。
受託した1,000tの廃プラスチックは木くずとともに焼却処理した。
木くずと廃プラスチックの焼却後に生じた燃え殻180tのうち、80tについては県内の業者より処理コストが低いことから、千葉県内の株に処理を委託し、セメント原材料としてリサイクルされた。残りの100tについては横須賀市内のxに埋立処分を委託した。
焼却に伴い生じた、ばいじん40tは神奈川県内の(株)で中間処理後、愛知県で最終処分された。

事例：C
当社では、藤沢市内の事業所から20t、横須賀市内の事業所から80tの廃油を受託した。(調査票その2に記載済)
受託した廃油は自社(横浜市内)で油水分離し、90tの油を回収して再生油として、神奈川県内の株に売却した。
分離後の残さ10tは、自社で焼却後500kgになり、横須賀市内の株に埋立処分を委託した。

事例：D
当社では、東京都内の事業所から300t、横浜市内の事業所から1,200tの廃プラスチックを受託した。(調査票その2に記載済)
受託した廃プラスチックは自社で破砕し、20tは横浜市内の株に中間処理を委託し、その後千葉県内のxで埋立処分されている。
破砕した廃プラスチックのうち400tは圧縮後、東京都のx商店に燃料として有償売却した。

この用紙は再生紙を使用しています。

産業廃棄物分類表(その1)

爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は、本用紙右下の特別管理産業廃棄物の分類表をご参照ください。

1. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

種類	分類番号	具 体 例
汚泥 (泥状のもの)	有機性汚泥	0210 製紙汚泥、活性汚泥(余剰汚泥)、ヒルビット汚泥(し尿を含むものは除く)、染色廃水処理汚泥、クリニニン汚泥(廃水処理汚泥(水洗を主とする場合)、イースト菌培養液等)、その他泥状を呈する有機性廃棄物
	下水汚泥	0211 下水汚泥
無機性汚泥	0220	めっき汚泥、金属表面処理汚泥、研削汚泥、砂利洗浄汚泥、セメント工場廃水処理汚泥、産業廃水処理汚泥、水酸化アルミ汚泥、イオン交換樹脂再生廃液処理汚泥、廃シヨットプラスチック、廃サントララスト(塗料かす等を含むもの)、脱硝石こう、赤泥、ガラス研磨汚泥、その他泥状を呈する無機性廃棄物
	建設汚泥	0221 建設高含水率汚泥、ベントナイト汚泥
廃油	上水汚泥	0222 上水汚泥
	鉱物油	0311 エンジンオイル、機油、グリシ、切削油、絶縁油、圧延油、作動油、重油、原油油、潤滑油、燃料油
廃油	動物性油脂	0312 魚油、鯨油、ラード、天ぷら油、サラダ油、アマニ油、桐油、ゴマ油、なたね油、やし油、大豆油、とうもろこし油
	溶剤	0320 アルコール類、ケトン、洗浄油
廃油	形状油	0330 アスファルト、タールピッチ類、パラフィンろう、固形石けん、固形脂肪酸、クレヨン、バステル
	付着物	0350 タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム 油のしみたウエス、油紙(くず)、廃油材、廃シヨル材、クレオソート廃油、アンダーコートかす、廃塗料、液状、インクかす、廃りニス
無機性の酸性廃液	0400 塩酸、硫酸、フッ酸、クロム酸、リン酸、硝酸、酸化水素酸、過塩素酸、スルファミン酸、ケイフッ酸、酸性洗浄液、エッチング液、茶色酸性廃液(漂白液せき工程、染色工程)、クロム酸廃液	
	写真定着廃液	0401 写真定着廃液
有機性の酸性廃液	0402 干酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸、アルコール発酵廃液、アミノ酸発酵廃液	
	アルカリ性廃液	0500 アルカリ性洗浄液、洗びのみ用アルカリ、石灰液、廃灰汁、アルカリ性メッシュ廃液、ドロマイト廃液、染色排水精製工程、シルクゲ加工、黒液(チップ蒸解液)、脱脂液(金属表面処理、硫化ソーダ廃液)
写真現像廃液	0501 写真現像廃液	
	合成繊維	0610 ナロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、混紡繊維、化繊ロープ、化学繊維
プラスチック	FRP	0611 繊維強化プラスチック、ガラス繊維強化プラスチック、FRP廃品
	熱硬化性樹脂	0612 ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂
プラスチック	0613 フェノール樹脂(ベークライト)、ウリア樹脂、エポキシ樹脂、メラニ樹脂、ウレタン樹脂	
	0614 塗料かす(固形)、エナメルかす、ラッカーかす、廃ポリマー、廃ワニス(樹脂系のもの)、染料かす(樹脂系のもの)、接着剤かす、電熱皮膜材、フィルム、プラスチックフィルム、発泡スチロール、シート、ビニールシート、ビニール袋、塩ビ管	
紙類	0620 廃タペ	
	0615 ハウキン(くず)、ライニング(くず)、固形ラテックス	
紙類	0616 農業用廃プラスチック	
	0638 石膏(アスベスト)を含むもの	
紙類	0700 印刷用紙、親紙(くず)、段ボール	
	0800 木くず、おがくず、かんばくず、バーコ類、竹、ベニヤ、ベニヤボード類	
繊維	0801 防塵、防虫木材、薬液処理合板、CCA処理木材	
	0900 羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセチルトレー紡織維(天然繊維が主体のもの) <<注意>>合成繊維は、廃プラスチック類に分類されます。	
動物性残さ	1001 魚、獣の骨、肉、内臓など、皮、皮革など、皮、皮革(くず)、ボイルかす、缶詰め、瓶詰め不良品、乳製品	
	1002 リースかす、醬油かす、こうじかす、酒かす、ビールかす、酒かす、ビールかす等の発酵、醸造かす、あめかす、餅かす、でんぷんかす、豆腐かす、あんかす、茶かす、米、麦粉、大豆かす、不良品、菓物の皮、種子、野菜(くず)、菓草かす、油かす、パン(くず)、原料(くず)	
ゴム	1100 ゴム(くず)、エポキシ(くず)、ゴム手袋、ゴムシュー、ゴム板(くず) (注)合成ゴム(す)は廃プラスチックに分類されます	
	1201 鉄くず	
金属	1202 銅線、銅(くず)、アルミ(くず)、アルミ缶	
	1203 混合金属(くず)	

産業廃棄物分類表(その2)

種類	分類番号	具 体 例					
ガラス(くず)	1301	白熱電球、窓ガラス、びん類、ガラススワール、ガラス食器、光学レンズ、クリスタルガラス、理化学用ガラス器具、薬品ビン					
	1302	セラミック(くず)、レンガ、かわら、陶器					
コンクリート(くず)及び陶磁器	1303	石膏ボード(くず)					
	1304	コンクリート製品(くず)					
コンクリート(くず)	1338	石綿スレート、石綿セメントサイディングボード					
	1401	鑄物砂、サントララスト(塗料かす等を含むものを除く)					
鉱さい	1402	高炉水さい、高炉の焼き、平炉の焼き、転炉の焼き、電気炉の焼き、キューボウのノロ、ドロ					
	1403	不良鉱石、ボタ、粉砕かす、鉱じん、破石(くず)					
コンクリート破片	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片					
	1520	アスファルトコンクリートの破片					
レンガ破片	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、レンガ、スレート、タイル、断熱材					
	1538	石綿(アスベスト)を含むもの					
建設混合廃棄物	1532	工事現場内及び自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの					
	1003	ど畜場から生ずる獣畜に係る固形状の不燃物、食鳥処理場から生ずる食鳥に係る固形状の不燃物					
動物のふん尿	1800	畜舎のふん尿、牛のふん尿、豚のふん尿、にわとりのふん尿、馬のふん尿					
	1900	畜舎の死体、牛の死体、豚の死体、にわとりの死体、馬の死体					
ばいじん	1600	集じん器捕集ダスト、煙道、煙突、冷却器に付着堆積したす					
	0100	焦し炭、コーラス灰、重油灰、木灰、炉排出物、クリンカなど (注)燃ごみなどを自己焼却処理した場合「燃ごみ」ではなく、焼却する前の「紙くず」、木くず等を発生時の種類として記入してください。					
燃え殻	0101	廃活性炭、廃カーボン					
	2000	有害汚泥のコンクリート固型化物					
産業廃棄物を処分するために処理したものの(産業廃棄物処理法施行令第13号)	9010	廃自動車破砕物、廃電気機器器具破砕物					
	9020	その他「次の産業廃棄物」上記具具体例での分類をせず、以下の分類にて(くす)を付す。					
種類	廃プリンター	9029	鉛製の管	9031	9040		
	廃家電製品	9021	廃蛍光灯	9030	9031		
分類番号	9020	9021	9022	9029	9030	9031	9040

2. 特別管理産業廃棄物

爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

揮発性	0318	燃えやすい廃油、ガソリン、灯油、軽油、トルエン、キシレン、エーテル
強酸性	0408	水素イオン濃度指数(pH)2.0以下の廃液
強アルカリ性	0508	水素イオン濃度指数(pH)12.5以上の廃アルカリ
感染性	8098	血液、血清、血清、体液(精液を含む)、血液等が付着した針筒、注射針、メス、試験管、シャーレ、ガラス(すず等)、血液等が付着した実験用器具等、病原微生物に感染した試験、検査等に用いたもの(試験管、シャーレ等)、汚染物が付着した廃プラスチック類等
	0109	特定有害物質を含む焼却灰
特別管理産業廃棄物	0219	特定有害物質を含む有機性汚泥
	0229	特定有害物質を含む無機性汚泥
特定有害無機性汚泥	0319	特定有害物質を含む廃油
	0409	特定有害物質を含む酸性廃液
特定有害有機性汚泥	0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
	1308	吹き付け石膏(アスベスト)、石膏含有保温材、断熱材、耐火被覆材、大気汚染防止法の特定期間内発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石膏など
特定有害鉱さい	1409	特定有害物質を含む鉱さい
	1609	特定有害物質を含むばいじん
PCB汚染物	9050	PCBを含む産業廃棄物

形式-4-2

神奈川県産業廃棄物総合実態調査票(その1)

神奈川県統計調査条例
平成22年5月25日
神奈川県告示第398号
神奈川県環境政策推進部資源循環課

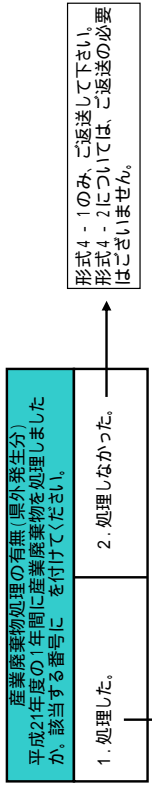
1. 本調査の対象期間は平成21年度(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の1年間です。なお、質問によって別の期間を指定する場合があります。
2. 本調査の対象廃棄物は、次の処理施設の受託廃棄物です。
 - ・ 糞管・保管、分別、選別施設
 - ・ 中間処理施設
 - ・ 埋立処分場
3. 処理実績が調査の対象期間中に何もなかった場合は、調査票形式4-1のみ、ご返送してください。
4. 提出された調査票の記入内容について、問い合わせをさせていただきます。控えを取っておいてください。

この欄は記入しないでください。	
調査票番号	
区分	地域
S 1	
業種	備考

事業所名

形式4-2は、県外で発生した産業廃棄物を受託した事業所のみが対象です。

形式4-1の記入内容のうち、県外で発生した産業廃棄物の受託量、処分状況について記入してください。



平成21年度を基準「100%」にして、貴事業所で中間・最終処分した産業廃棄物の量的変化を過去3年間及び平成22年度の見込み量をパーセント(%)で記入してください。処理実績がない場合は「0」と記入してください。

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度(増減傾向)
記入欄	%	%	%	%	記入欄 1. 増加 2. 微増 3. 微減 4. 減少
記入例	90	120	110	110	

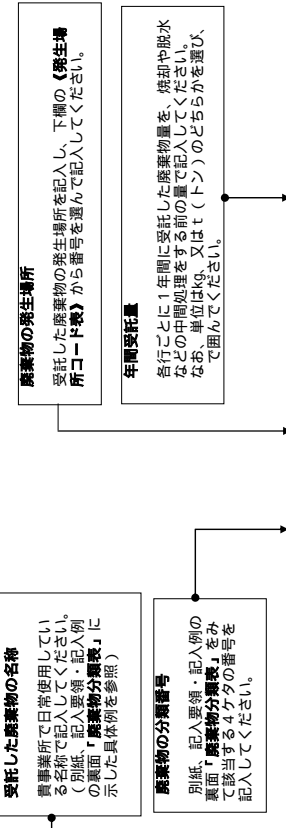
平成19年度をピークとして廃棄物量が減少傾向にあり、平成22年度の見込み量は、平成21年度に比べ増加する場合は、増減傾向で該当する番号を記入して下さい。

次に調査票(その2、その3)を記入してください。

神奈川県産業廃棄物総合実態調査票(その2)

形式-4-2
(県外発生分)

この調査票の対象期間は平成21年4月1日～平成22年3月31日の1年間です。
この期間中の産業廃棄物の発生と処理・処分状況を質問事項の～までの流れに従って記入してください。
調査票の形式4-1のうち、県外から受託した産業廃棄物の分に該当する発生と処理・処分状況について記入してください。
別紙、「調査票の記入要領・記入例」、「産業廃棄物分類表」を参考に記入してください。



区分	行番	産業廃棄物の名称	産業廃棄物の分類番号(受託時)	産業廃棄物の発生場所(現場)		年間受託数量				単位	
				発生場所コード	発生場所	千	百	十	一		
記入欄	1										kg
	2										t
	3										kg
	4										t
	5										kg
	6										t
	7										kg
	8										t
	9										kg
	10										t

《発生場所コード表》(で使用)

21:北海道	38:福井県
22:青森県	39:山梨県
23:岩手県	40:長野県
24:宮城県	41:岐阜県
25:秋田県	42:静岡県
26:山形県	43:愛知県
27:福島県	44:三重県
28:茨城県	45:滋賀県
29:栃木県	46:京都府
30:群馬県	47:大阪府
31:埼玉県(さいたま市を除く)	48:兵庫県
32:千葉県	49:奈良県
33:東京都	50:和歌山県
34:新潟県	51:鳥取県
35:富山県	52:徳島県
36:石川県	53:高知県
37:徳島県	54:福岡県
	55:佐賀県
	56:鹿児島県
	57:沖縄県
	58:愛媛県
	59:高知県
	60:福岡県
	61:佐賀県
	62:長崎県
	63:熊本県
	64:大分県
	65:宮崎県
	66:鹿児島県
	67:沖縄県

< 調査票の記入要領・記入例 >

形式-4-2
(県外発生分)

調査票（その2）の記入例

この調査の対象廃棄物は、自社の中間処理施設又は、最終処分施設で処分した廃棄物です。

下欄の事例(A～D)に対応したそれぞれの記入例を参考にし、調査票(その2)を記入してください。

廃棄物分類表を参照してください。

受託した廃棄物の発生場所を記入してください。

該当する単位に、必ずをつけてください。

区分	行番	廃棄物の名称	廃棄物の分類番号(受託時)	廃棄物の発生場所(現場)	年間受託量								
					千ト	百ト	十ト	千	百	十	一	単位	
記	1	建設汚泥	021	東京都	3					7	0	0	kg
	2	廃プラスチック	061	東京都	3					3	0	0	kg
入欄	3												kg
	4												kg
	5												kg
	6												kg
	7												kg
	8												kg
	9												kg
	10												kg

記入例：A

記入例：B

事例：A

・当社では東京都内の工事現場で排出された建設汚泥を700tそれぞれ受託した。

事例：B

・当社では、東京都内の事業所から300tの廃プラスチックを受託した。

< 調査票の記入要領・記入例 >

形式-4-2
(県外発生分)

調査票(その3)の記入例

この調査の対象廃棄物は、自社の中間処理施設又は、最終処分施設で処理・処分した廃棄物です。

下欄の事例(A~D)に対応したそれぞれの記入例を参考にして、調査票(その3)を記入してください。

廃棄物分類表を参照してください。

該当する単位に、必ず
をつけてください。

微量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合
は、「0(ゼロ)」を記入し、単位はkgに、を付けてください。

該当する単位
に、必ず「を」をつ
けてください。

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処
分を把握していない場合は、委託先に確認して記入してくだ
さい。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不
明な場合は、わかる範囲で記入してください。

廃棄物の処理等を県
外の業者に委託して
いる場合は、その理由
を記入してください。

区分 行番	廃棄物の名称	廃棄物の分類 番号(委託時)	年間発生量			中間処理量			廃棄物の分類 番号(処理後)	処理 方法記号	処理 方法	再生利用先		再生利用先の所在地	所在現 場番号	県外 委託	資源化用途	最終処分場所 (委託中間処理時)	
			百 万 単 位	十 千 単 位	一 百 単 位	百 万 単 位	十 千 単 位	一 百 単 位				処理 先又は再生利用先 の名称	再生利用先						
事例:A	1 建設汚泥	0221	7	0	0	7	0	0	2	2	1	1	4	0	kg	0	2	2	
事例:B	2 廃プラスチック	0614	3	0	0	3	0	0	6	1	4	0	6	1	kg	0	1		32
	3								R	3	0				kg	3	3		
	4														kg				
	5														kg				
	6														kg				
	7														kg				
	8														kg				
	9														kg				
	10														kg				

事例:A

当社は、東京都内の工事
現場で排出された建設汚泥
を700tそれぞれ委託し
た。(調査票その2に記載
済)

委託した700tの汚泥は
脱水後に140tとなり、
県内では中間処理すること
が可能な業者がいらないこと
から静岡県にあるx産業
に埋立処分を委託した。

事例:B

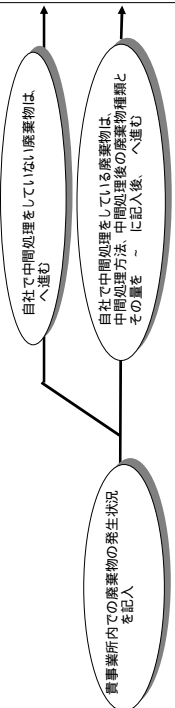
当社は、東京都内の事業所から300t、廃プラスチックを
委託した。(調査票その2に記載済)

委託した廃プラスチックは自社で破砕し、10tは横
浜市内の(株)に中間処理を委託し、その後千葉県
(株)xで埋立処分されている。

破砕した廃プラスチックのうち290tは圧縮後、東
京都のx商店に燃料として有償売却した。

<調査票の記入要領・記入例>

調査票（その2）の質問の流れ



- 該当する処理 処分記号を選択する
- Q 1: 自社の処分場で埋立処分した
 - Q 2: 先般で発生したものを自社で再利用した
 - Q 3: 先般で発生したものを自社で再処分した
 - Q 4: 先般で発生したものを自社で再処分した
 - Q 5: 自社で保管している
 - R 1: 市町村の処分場で埋立処分した
 - R 2: 市町村の清掃工場でリサイクルした
 - R 3: 市町村の清掃工場を委託して処分した
 - S 1: 処理業者の処分場で直接埋立処分した
 - S 2: 処理業者で直接埋立処分した
 - S 3: 処理業者で直接埋立処分した
 - S 4: 廃品回収(資源)業者で処理した
 - Z 1: 農地等の嵩上げ材として処分した
 - Z 2: 知人の所有地で処分した
 - Z 3: 農地・河川敷・山林で処分した
 - Z 4: 納入業者等に下取りしてもらった
 - Z 5: その他

調査票（その2）の記入例

下欄の事例(A~F)に対応したそれぞれの記入例を参考にして、調査票(その2)を記入してください。

該当する単位に必ずつづけてください。

本紙の裏面の廃棄物分類表を参照してください。

微量又は液状廃棄物を抽出し、焼却灰が四捨五入して1kg未満の場合は、「0(ゼロ)」を記入してください。

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先に確認して記入してください。また、不明な場合は、回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入してください。

マニフェスト伝票を参考にして記入してください。なお、不明な場合は、委託業者に確認し、最終処分先をマニフェスト伝票を参考として記入してください。

区分	行番号	廃棄物の名称	廃棄物の分類番号(処理後)	年間の発生量			単位	備考
				百万	千	百		
事例:A	1	洗車汚	2020	0	2	0	kg	
事例:B	2	エンジンオイル	0311	0	3	1	kg	
事例:C	3	大型イモ	0620	0	6	2	kg	
事例:D	4	軽トラック	0620	0	6	2	kg	
事例:E	5	トラック	1201	1	2	0	kg	
事例:F	6	トラック	0614	0	6	1	kg	
	7	ガソリン	1301	1	3	0	kg	
	8	ガソリン	0318	0	3	1	kg	
	9	ガソリン	0310	0	3	1	kg	

事例:A

- 分離槽の清掃を(株)に委託している。
- 汚泥分として年間3tであり相模原市にある(株)の排水施設での中間処理を委託している。
- 委託先は、(株)で、油水分離の残さは、(株)の最終処分場で埋立処分している。

事例:B

- 月にドラム缶1本ぐらいの廃油が発生した。
- 年間の発生量を計算すると2,400kgである。
- 川崎市(株)に処理を委託した。後、燃料として再生利用している。

事例:C

- 年間に廃タイヤが150本発生した。
- このうち大型タイヤの50本は、(株)甲府の(株)xxに売却した。(株)xxでは、プラスチック原料として再生利用されている。
- 普通車用タイヤ100本は(株)xxにある(株)xxに処理を委託している。
- (株)xxではチップ化したのち、神奈川県内の工場で高炉還元剤としてリサイクルしている。

事例:D

- 自動車の修理の際には鉄くずが年間3t発生した。
- 東京都にある(株)xxに売却し、(株)xxでは、鉄鋼原料として再生利用している。

事例:E

- 廃プラスチックが年間で500kg発生した。
- これは相模原市の(株)xxに処理を委託した。
- 委託先では、(株)xx市内の最終処分場で埋立処分している。

事例:F

- ガラスくずが年間1t発生し、県内の業者より処理工場の(株)xxに処理を委託した。
- (株)xxは、(株)xxに処理を委託したが、(株)xxは、(株)xxに処理を委託した。
- (株)xxは、(株)xxに処理を委託したが、(株)xxは、(株)xxに処理を委託した。

処分場番号	処分場の名称	処理・処分方法	処理・処分先又は再生利用先の方法	処理・処分先又は再生利用先の所在地	所在地番号	方法記号			処理後の処分方法	最終処分場所
						1	2	3		
04	相模原市	S3	04	相模原市	04	B			2	43
02	川崎市	S3	02	川崎市	02	E			1	R30
06	愛知県	Q4	06	愛知県	06					R80
03	横須賀市	S3	03	横須賀市	03	G			1	R120
33	東京都	Q4	33	東京都	33					R10
04	相模原市	S3	04	相模原市	04	A			2	01
31	埼玉県	S3	31	埼玉県	31	G			1	R70
33	東京都	Q2	33	東京都	33					R20

この用紙は再生紙を使用しています。

産業廃棄物分類表(その1)

爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は、本用紙右下の特別管理産業廃棄物の分類表をご参照ください。

1. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

種類	分類番号	具 体 例
汚泥 (泥状のもの)	有機性汚泥	0210 製紙汚泥、活性汚泥(余剰汚泥)、ヒルビット汚泥(し尿を含むものは除く)、染色廃水処理汚泥、クリニニウム汚泥(水洗を主とする場合)、イースト菌培養液、その他泥状を呈する有機性廃棄物
	下水汚泥	0211 下水汚泥
無機性汚泥	0220	めっき汚泥、金属表面処理汚泥、研磨汚泥、砂利洗浄汚泥、セメント工場廃水処理汚泥、産業廃水処理汚泥、水酸化アルミ汚泥、イオン交換樹脂再生廃液処理汚泥、廃シヨットプラスチック、廃サントララスト(塗料かす等を含むもの)、脱硝石こう、赤泥、ガラス研磨汚泥、その他泥状を呈する無機性廃棄物
	建設汚泥	0221 建設高含水率汚泥、ベントナイト汚泥
上水汚泥	0222	上水汚泥
	0311	エンジンオイル、機油、グリソ、切削油、絶縁油、圧延油、作動油、重油、原油油、潤滑油、燃料
一般廃油	0312	魚油、鯨油、ラード、天ぷら油、サラダ油、アマニ油、桐油、ゴマ油、なたね油、やし油、大豆油、とうもろこし油
	0320	アルコール類、ケトン、洗浄油
廃固形物	0330	アスファルト、タールピッチ類、バラファンラウ、固形石けん、固形脂肪酸、クレヨン、バステル
	0340	タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム
油付着物	0350	油のしみたウエス、油紙(くず)、廃油材、廃シール材、クレオソート廃油、アンダーコートかす、廃塗料、液状、インクかす、廃りこ
	0400	塩酸、硫酸、フッ酸、クロム酸、リン酸、アッ化水素酸、過塩素酸、スルファミン酸、ケイフッ酸、酸性洗浄液、エッチング液、茶色酸性廃液(漂白液せき工程、染色工程)、クロム酸廃液
写真定着廃液	0401	写真定着廃液
	0402	干酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸、アルコール発酵廃液、アミノ酸発酵廃液
アルカリ	0500	アルカリ性洗浄液、洗びのみ用アルカリ、石灰液、廃灰汁、アルカリ性メッシュ廃液、ドロマイン液、染色排水精製工程、シルクゲ加工、黒液(チップ蒸解液)、脱脂液(金属表面処理、硫化ソーダ液)
	0501	写真現像液
合成繊維	0610	ナロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、混紡繊維、化繊ロープ、化学繊維
	0611	繊維強化プラスチック、ガラス繊維強化プラスチック、FRP廃品
熱可塑性樹脂	0612	ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂
	0613	フェノール樹脂(ベークライト)、ウリア樹脂、エポキシ樹脂、メラニ樹脂、ウレタン樹脂
プラスチック製品(くず)	0614	塗料かす(固形)、エナメルかす、ラッカーかす、廃ポリマー、廃ワニス(樹脂系のもの)、染料かす(樹脂系のもの)、接着剤かす、電線皮層材、フィルム、プラスチックフィルム、発泡スチロール、シート、ビニールシート、ビニール袋、塩ビ管
	0620	廃タイヤ
合成樹脂	0615	パッキン(くず)、ライニング(くず)、固形ラテックス
	0616	農業用農ビニール
石綿(アスベスト)を含むもの	0638	石綿含有ビニール床タイル
	0700	印刷用紙、親紙(くず)、段ボール
木	0800	木くず、おがくず、かんばくず、バーナード、竹、ベニヤ、ベニヤボード類
	0801	防腐、防虫木材、薬液処理合板、CCA処理木材
繊維(くず)	0900	羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセチルトレー紡織維(天然繊維が主体のもの) <<注意>>合成繊維は、廃プラスチック類に分類されます。
	1001	魚、獣の骨、魚、獣の皮、肉類など、皮革(くず)、皮革(くず)、ボイルかす、缶詰め、瓶詰め不良品、乳製品精製残さ、卵から、貝殻、羽毛
動物性残渣	1002	ソースかす、醬油かす、こうじかす、酒かす、ビールかす、酵母、醸造かす、あめかす、餅かす、でんぷんかす、豆腐かす、あんかす、茶かす、米、麦粉、大豆かす、不良品、菓物の皮、種子、野菜(くず)、菓草かす、油かす、パン(くず)、原料(くず)
	1100	ゴム(くず)、エポキシ(くず)、ゴム手袋、ゴムシュー、ゴム板(くず) (注)合成ゴム(くず)は廃プラスチックに分類されます
金属(くず)	1201	鉄(くず)、非鉄(くず)、アルミ(くず)、アルミ缶
	1202	銅線、銅(くず)、アルミ(くず)
混合金属(くず)	1203	本社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの

産業廃棄物分類表(その2)

種類	分類番号	具 体 例
ガラス(くず)	1301	白熱電球、窓ガラス、びん類、ガラススワール、ガラス食器、光学レンズ、クリスタルガラス、理化学用ガラス器具、薬品ビン
	1302	セラミック(くず)、レンガ、かわら、陶器
コンクリート(くず)及び陶磁器	1303	石膏ボード(くず)
	1304	コンクリート製品(くず)
石綿(アスベスト)を含むもの	1338	繊維スレート、石綿セメントサイディングボード
	1401	鑄物砂、サントラスト(塗料かす等を含むものを除く)
鉱さい	1402	高炉水さい、高炉の焼き、平炉の焼き、転炉の焼き、電気炉の残さい、キューボウのノロ、ドロ
	1403	不良鉱石、ボタ、粉砕かす、鉱じん、破石(くず)
がれき類	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
	1520	アスファルトコンクリートの破片
建築物の除去に伴うもの	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、レンガ、スレート、タイル、断熱材
	1538	繊維スレート、石綿セメントサイディングボード
建設混合廃棄物	1532	工事現場内及び自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
	1003	ど畜場から生ずる獣畜に係る固形状の不燃物、食鳥処理場から生ずる食鳥に係る固形状の不燃物
動物のふん尿	1800	畜舎のふん尿、牛のふん尿、豚のふん尿、にわとりのふん尿、馬のふん尿
	1900	畜舎の死体、牛の死体、豚の死体、にわとりの死体、馬の死体
ばいじん	1600	集じん器捕集ダスト、煙道、煙突、冷却器に付着堆積したす
	0100	集じん器、コータス灰、重油灰、木灰、炉排出物、クリンカなど (注)燃焼ごみなどを自己焼却処理した場合、「燃焼灰」ではなく、「焼却する前の」紙(くず)、木くず等を発生時の種類として記入してください。
燃焼灰	0101	廃活性炭、廃カーボン
	2000	有害汚泥のコンクリート固型化物
産業廃棄物を処分するために処理したものの(産業廃棄物処理令第13号)	9020	廃プリンター(側面部)
	9021	廃プリンター(本体)
その他の産業廃棄物(上記具具体例での分類をせず、以下の分類にて記す)	9022	鉛製の管
	9030	鉛製の管または板
種類	9029	廃蛍光灯
	9040	廃自動車
分類番号	9020	9021
	9022	9030

2. 特別管理産業廃棄物

爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

揮発性廃油	0318	燃えやすい廃油、ガソリン、灯油、軽油、トルエン、キシレン、エーテル
強酸性廃液	0408	水素イオン濃度指数(pH)2.0以下の廃液
強アルカリ性廃液	0508	水素イオン濃度指数(pH)12.5以上の廃アルカリ
感染性廃棄物	8098	血液、血清、血清、体液(精液を含む)、血液等が付着した針筒、注射針、メス、試験管、シャーレ、ガラス(くず)等、血液等が付着した実験用器具、手術用手袋等、病原微生物に感染した試験、検査等に用いたもの(試験管、シャーレ等)、汚染物が付着した廃プラスチック類等
	0109	特定有害物質を含む焼却灰
特別管理産業廃棄物	0219	特定有害物質を含む有機性汚泥
	0229	特定有害物質を含む無機性汚泥
特定有害無機性汚泥	0319	特定有害物質を含む廃油
	0409	特定有害物質を含む酸性廃液
特定有害有機性汚泥	0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
	1308	吹き付け石綿(アスベスト)、石綿含有保温材、断熱材、耐火被覆材、大気汚染防止法の特定期間内発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
特定有害鉱さい	1409	特定有害物質を含む鉱さい
	1609	特定有害物質を含むばいじん
P C B B 汚染物	9050	P C B B 汚染物
	9050	P C B B 処理物

神奈川県産業廃棄物総合実態調査票(その2)

形式-6

下記記入例を参考に、平成21年度に貴事業所で発生した動物系固形不要物について、発生及び処理・処分状況を記入してください。

【記入例】

不要物の種類 (具体的に記入ください)	年間発生量 (トン換算)	自己処理方法	自己中間処理後量 (トン換算)	処理・処分先又は再生利用先の 名称	処理・処分先又は再生利用先の 所在地	県外 委託	処分方法
1 頭部・背骨などの 特定部位	150			㈱ × 産業	神奈川県 市		焼却
2 内臓	90			㈱ 化工場	群馬県 ×× 市	1	再生利用
3 骨・羽毛等	20	焼却	1	㈱ ×× 処分場	愛知県 市	2	埋立

自社で焼却などの中間処理をした場合のみ記入ください。

委託した事業者の名称・所在地・処分方法について記入ください。

【記入欄 1】

不要物の種類 (具体的に記入ください)	年間発生量 (トン換算)	自己処理方法	自己中間処理後量 (トン換算)	処理・処分先又は再生利用先の 名称	処理・処分先又は再生利用先の 所在地	県外 委託	処分方法
1					都道府県 市郡		
2					都道府県 市郡		
3					都道府県 市郡		
4					都道府県 市郡		
5					都道府県 市郡		

平成21年度に貴事業所で解体した家畜の頭羽数を記入してください。

【記入欄 2】

1 鶏	
2 牛	
3 豚	
4 その他 (具体的に)	

この用紙は再生紙を使用しています。

県外への委託理由について
 県外の業者に処理を委託している場合、その理由に最も当てはまる番号を下記から1つだけ選んで記入してください。

1. 県内の業者より処理コストが低い。 (処理単価や収集運搬費を含んだ処理料金等)
2. 排出する廃棄物について、県内では中間処理することが可能な業者がない。(許可を有する業者がない、許可を有する業者はいるが受入の余裕がない等)
3. 処分業者(適正処理)の信頼性が低い。
4. 県内事業者は委託廃棄物の分別基準が厳しいため。
5. 自社の系列企業であるため。
6. 委託業者の選定は、本社(支店)等が実施しているため不明である。
7. その他(具体的に)

神奈川県統計調査条例
 平成22年5月25日
 神奈川県告示第398号
 神奈川県環境政策環境部資源循環課

形式-6 神奈川県産業廃棄物総合実態調査票(その1)

本調査の対象産業廃棄物は、動物系固形不要物(家畜の解体等により生ずる固形状の不要物)です。
 貴事業所で発生した動物系固形不要物の発生及び処理・処分状況についてご記入ください。

この欄は記入しないでください。

調査票番号		備考	
区分	地域	業種	備考

1. 本調査の対象期間は平成21年度(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の1年間です。
 2. 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に關して以下の質問にお答えください。
 そのため、貴事業所以外に貴社の本社、工場等があってもそれは調査の対象となりません。
 3. 動物系固形不要物が調査の対象期間中に発生しなかった場合は、下記の「事業所の概要」、「事業内容」、「事業の概要」、「動物系固形不要物の発生有無」欄を記入して返送してください。

事業所の概要		事業内容	
事業所名		(具体的に)	
所在地		(主要製品又は商品)	
代表者氏名	記入者 ふりがな (部課、氏名)		
記入年月日	平成 年 月 日		
	電話番号		

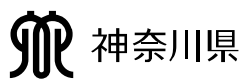
事業の概要	従業員数	事業所の形態
事業所の現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入してください。 (平成21年4月1日現在)	人	貴事業所の形態に対する番号に を付けてください。 1. 工場・作業所 2. 開発研究のみ 3. 事務所のみ 4. その他()

動物系固形不要物発生の有無
 平成21年度の1年間に動物系固形不要物は発生しましたか。 を付けてください。
 該当する番号に

1. 発生した。 → 次に調査票(その2)を記入してください。
 2. 発生しなかった。

事業所の概要、事業内容、事業の概要、動物系固形不要物発生の有無をご確認のうえ、ご返送ください。

この用紙は再生紙を使用しています。



環境農政局 環境部 資源循環課
横浜市中区日本大通 1 〒231-8588 電話(045)210-1111(代表)

この報告書は、再生紙を使用しています。